

委員兼秘書長。48年～52年考試院秘書長。52年以來考試院銓叙部部長。60年5月当時銓叙部部長。

雷 揚 Lei Yang

60年10月当時中共駐ビルマ大使館臨時代辦。61年6月駐ビルマ大使館参事官解任。

頼 亞(亞)力 Lai Ya-li

53年4月当時政務院外交部辦公庁副主任。55年7月中国人民外交学会第三期理事会理事。8月王炳南の補佐としてジュネーヴ中米会談に参加。56年1月駐ソ連大使館参事官。56年10月駐スイス大使館参事官。61年1月免駐スイス大使館参事官、駐マリ共和国特命全權大使。

頼 維 種 Lai Wei-chung 1902～

台湾彰化県の人。北京大学卒業。台中県議会副議長。彰化県議会議長。54年6月台湾省政府委員。57年1月台湾省政府委員辞任。

頼 家 球 Lai Chia-chiu

59年6月当時駐米国国府大使館1等秘書。

頼 毅 Lai I

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

頼 际(際)发(發) Lai Chi-fa

51年当時中央人民政府政務院重工業部辦公庁主任。52年5月同副部長。54年7月第一期全国人民代表大会重慶市代表。11月国務院重工業部副部長。55年5月ドイツ「解放」10周年慶祝式典参加の中共政府代表団員。5月～58年2月国務院建築材料工業部部長。59年

3月第二期全国人民代表大会四川省代表。4月政治協商會議第三期全国委員会委員(共産党代表)、常務委員。9月建築工程部副部長再任。60年7月当時同職。

頼 若 愚 Lai Juo-yü ~1958

日華事变直前まで、中共中央華北局指導下の太行区党委員会書記鄧小平の下でその第2地区委員会書記。48年中華全国総工会秘書長兼政策研究室主任。49年中共政權成立後中共山西省委員会副書記。53年1月まで政務院華北行政委員会委員。同月婚姻法貫徹運動委員会委員。2月中央選挙委員会委員。3月スターリン追悼首都各界人民大会主席団員。5月中国工会第7次全国代表大会主席団員兼大会秘書長、全国総工会第七期中央執行委員会主席、書記処書記。54年8月第一期全国人民代表大会河北省代表。9月同大会第1次会議主席団員、同大会常務委員会委員。12月政治協商會議第二期全国委員会委員(全国総工会)。同月中ソ友好協会第2次全国代表大会(総工会)。55年7月全国人民代表大会第2次会議主席団員。同月各国議連盟参加の人民代表団執行委員会委員。11月日本労組代表との申合せに調印。56年2月中央標準語普及工作委員会委員。3月全国先進生産者代表會議準備委員会副主任委員。同月全国文盲一掃委員会委員。4月全国先進生産者代表會議主席団員。6月全国人民代表大会第3次会議主席団員。9月中共第八期中央委員会委員、中共8全大会で労働組合活動に関し発言。57年9月十月社会主義革命40周年慶祝準備委員会委員。12月中国工会第8次全国代表大会において、工会の工作报告を行う。中華全国総工会第八期執行委員。57年～58年当時中華全国総工会主席兼書記処書記。58年5月死亡、当時全国人民代表大会代表。

頼 少 其 Lai Shao-chi

広東省海豊県の人。広州美術学校卒業。在校中現代版画会に参加、木刻運動を推進。39年桂林において「木刻協会」をつくり、「救亡木刻」(救亡日報附刊)および木刻雑誌「木芸月刊」の編集責任者。戦後内戦の時期には「ノミを七首として人民の敵を斃す」というスローガンの下に解放軍第3野戦軍文工団に参加。49年7月全国文学芸術界連合会および全国美術工作者協会の全国委員。9月第3野戦軍代表として政治協商會議に出席。53年2月当時上海市文学芸術界連合会副主席。54年4月華東美術家協会理事会理事。5月人民対外文化協会理事。12月当時華東美術家協会副主席。60年4月当時中国アフリカ人民友好協会理事。8月中国文芸連合会第三期全国委員会委員。

頼 世 珍 [別号、原甫] Lai Shih-chên [Yüan-fu]

59年6月当時国府駐メキシコ大使館参事官。

頼 西 夔 Lai Hsi-kui

56年2月国民党革命委員会候補中央委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。

頼 祖 烈 Lai Tsu-lieh

53年12月～54年1月当時政務院専家事務管理局長。55年3月国務院専家工作局副局長。58年4月当時国務院外国専家局副局長。59年9月国務院外国専家局副局長。

頼 大 超 Lai Ta-chao

53年7月新民主主義青年団第2次全国代表大会にて第二期中央委員。

頼 傳 珠 Lai Chuan-chu 1909～

江西省の人。早くから中共に参加、革命工作に従事。後江西ソヴェト区に入り、34年江北指揮部参謀長。大西遷に参加。41年の新4軍事件後、中央革命軍事委員会華中分会委員。戦争末期第18集団軍参謀長。戦後西北から東北に行き、第4野戦軍附政治委員を歴任。広東軍管会副主任兼広東省人民政府委員。50年4月鄧華とともに海南島上陸作戦に参加。53年3月～54年2月当時中央人民政府人民革命軍事委員会総幹部部管理部副部長。54年6月広東省人民政府委員を解任。8月第一期全国人民代表大会中南軍区代表。55年2月当時解放軍総幹部部副部長。9月1級八一勳章、1級独立自由勳章および1級解放勳章。59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。4月国防委員会委員。60年3月第二期全国人民代表大会第2次会議主席団員。61年6月当時上将。

頼 名 湯 Lai Ming-tang 1911～

江西省の人。中国空軍軍官学校、米フォート・レヴェンワース指揮参謀学校卒業。46年～49年駐英大使館付空軍武官。49年～50年中国空軍第2軍司令官。51年～54年行政院国防部第2庁長。54年以來参謀副長。59年7月情報参謀次長辞任、副参謀総長。

洛 桑 却 批 Losang Chompel

53年6月中国仏教協会理事。

洛 桑 賢 贊 Losang Chienzan

56年4月西藏自治区準備委員会農林処副処長。

洛 桑 三 旦 Losan Samten

西藏族。56年4月当時西藏地方政府高官。55年9月当時西藏自治区準備委員会準備処副処長。

洛桑称烈 Losang Trengle

西藏族。56年4月西藏自治区準備委員会全体委員，兼農林处处长。

洛桑丁曾 Losang Denzin

西藏族。53年6月当時達頼駐北京辦事処副処長。

洛桑年扎 Losang Nenchā

56年12月全国工商業連合会第二期執行委員(四川省)。

洛登协(協)繞 Lotren Shirab

53年6月中国仏教協会理事。

洛巴 Lopa

西藏族。53年12月青海省海南藏族自治州人民政府委員。

洛风(風) Luo Fêng

53年7月新民主主義青年団第2次全国代表大会にて第二期中央委員。54年9月当時中国人民解放軍志願軍帰国部隊代表団代表。56年2月朝鮮慰問団(団長王子宜)の副団長。10月国務院国家檔案(記録文書)局副局長。59年9月国家檔案局副局長。

乐(樂)怡然 Yüeh I-ian

56年2月九三学社第四期中央委員会委員。

乐(樂)松生 Yüeh Sung-shêng 1908~

北京出身。北京匯文中学，天津育才專科学学校卒業。北京同仁堂老藥店經理。北京市興業投資公司董事長。49年北京市人民政府財政經濟委員会委員。51年2月北京市人民政府委員

会委員。53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会北京市代表。55年2月北京市副市長，北京市原子武器使用反対署名運動委員会副主席。当時北京市工商業連合会主任委員。56年2月朝鮮慰問団副団長。同月中国亞洲団結委員会委員。11月~57年1月全国人民代表大会代表団員としてソ連，東欧訪問。56年12月全国工商連第二期執行委員会副主任委員(北京市)。58年4月当時中華全国工商業連合会副主任委員。8月当時北京市副市長。59年3月第二期全国人民代表大会北京市代表。4月同大会予算委員会委員。

乐(樂)森瑋 Yüeh Sên-hsün

54年9月まで西南軍政委員会文化教育委員会委員。55年5月中国科学院生物学地学学部委員。56年1月当時重慶大学地質系教授。

駱介子 Luo Chieh-tzu

56年2月国民党革命委員会候補中央委員。57年2月国民党革命委員会台湾平和解放工作委員会委員。60年11月右派分子のレッテルを除かれる。

駱耕漠 Luo Kêng-mo

54年6月まで華東軍政委員会財政經濟委員会委員。11月国務院国家計画委員会副主任。55年6月中国科学院哲学社会科学学部委員。56年7月貿易代表団員としてチェコ訪問。58年4月当時国家計画委員会副主任。

駱子程 Luo Tzu-chêng

53年~55年3月当時中共黒竜江省委員会農村工作部副部長。

駱是愚 Luo Shih-yü

54年11月国務院中央工商行政管理局副局長。56年3月政治協商会議全国委員会学習委員会委員。58年4月当時国務院中央工商行政管理局副局長。

藍榮(榮)玉 Lan Jung-yü

55年1月政治協商会議第一期福建省委員会副主席。2月福建省高級人民法院院長。59年2月福建省副省長再任。

藍海 [本名，于恩洋] Lan Hai

[Yü Ên-yang]

日本へ留学。藍海の筆名で60年以来人民日報へ度々各種の記事を投稿。

藍志民 Lan Chih-min

53年7月中国新民主主義青年団第2次全国代表大会にて第二期中央委員会候補委員。

藍昌法 Lan Chang-fa

瑤族。50年頃中央人民政府民族事務委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会広西省代表。9月同大会民族委員会委員。56年3月桂西僑族自治州副州長。59年3月第二期全国人民代表大会広西僑族自治区代表。4月同大会民族委員会委員。

藍天 Lan Tien

(Lam Thian) 1929~

広東省の人。シンガポール在住華僑。宝玉商，連興珠寶商經營者。56年8月シンガポール工商業貿易規察団秘書として中共を訪問。

藍田 Lan Tien

58年4月第一期全国人民代表大会四川省代

表。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。

藍馬 Lan Ma

56年1月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(文学芸術界連合会)。60年7月全国文芸工作者代表大会主席団員。

藍翎 Lan Ling

56年2月中国亞洲団結委員会委員。

兰(蘭)錫純 Lan Hsi-chun

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(医薬衛生界)。

樂全訓 Luan Chüan-hsün

53年6月中華全国民主青年連合会第2次全国代表大会にて第二期全国委員会委員。

り

李亚(亞)羣 Li Ya-chün

54年3月まで西南軍政委員会文化教育委員会委員。55年1月西康省人民委員会委員。60年8月中国文芸界連合会第三期全国委員会委員。

李亚(亞)光 Li Ya-kuang

56年12月国務院国家建設委員会委員。

李亚(亞)农(農) Li Ya-nung

54年6月まで華東軍政委員会文化教育委員会委員。55年6月中国科学院哲学社会科学学部委員。

李安 Li An

53年2月当時天津市人民政府公用局局長。

李晏平 Li Yèn-ping

58年5月第24回国際労働大会中華民国代表。59年5月同43回大会中華民国代表。60年5月同44回大会代表。

李伟(偉) Li Wei

音楽家。大衆向歌曲選評委員。53年8月当時人民革命軍事委員会総政治部文化部文芸処処長。9月中国音楽家協会常務理事。54年9月当時人民解放軍副政治委員。57年12月中華全国総工会第八期執行委員。58年4月当時中国音楽家協会常務理事。9月体育運動委員会委員。60年8月中国文芸界連合会第三期全国委員会委員。10月人民解放軍総部、総政治部宣伝部副部長。61年1月周恩来総理に随行中国文化芸術代表団副団長としてビルマ友好訪問、当時大佐。

李伟(偉)光 Li Wei-kuang

49年9月台湾民主自治同盟代表として政治協商会議に参加。54年7月当時台湾民主自治同盟華東総支部主任委員。59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。

李偉南 [英豪] Li Wei-nan

(Lee Wee-nam) [Ying-hao] 1881~

広東省澄海県の人。シンガポール在住華僑。広東省潮州系華僑の元老、金融界の有力者といわれる。華僑学校を創設、救国運動に参加し、日本軍進駐当時逮捕投獄される。後四海通銀行総経理兼董事。再和成偉記、万益成滙兌信局、海泉棧等を経営。元中華総商會会長。

李貽贊 Li I-tsan

56年12月全国工商業連合会第二期執行委員(北京市)。

李維果 Li Wei-kuo

(Lee Wei-kuo) 1903~

四川省の人。清華大学卒業、28年~31年米カリフォルニア大学およびコロンビア大学に留学、コロンビア大学博士。37年大元帥司令部秘書。42年~45年外交部総務司司長。45年~48年宣伝部次長および宣伝部長。48年~49年翁行政院長の下に秘書長。49年~52年極東委員会中国代表。

李維汉(漢) [別名、罗(羅)迈(邁)]

Li Wei-han [Luo-mai] 1897~

湖南省湘潭の人。若い頃毛沢東の新民学会に加入。19年最初の留仏苦学生として周恩来等とフランスに赴き、22年中共パリ支部創立に参加。数年後帰国、後ソヴィエト区に入り党工作(李立三系)に従う。28年頃瞿秋白、李立三、向忠發等と共に中共中央を指導。36年中央組織部長。37年以来中央統一戦線工作部および組織部の指導に当る。38年傍ら陝北公学副校長に就任。46年国共和平会談中共代表の1人として重慶、南京において周恩来を援助。後中共中央統一戦線工作部長。49年9月政治協商会議全国委員会常務委員兼秘書長。10月政務院秘書長、同院政治法律委員会委員、民族事務委員会主任委員。同月中ソ友好協会理事。53年1月憲法起草委員会委員、選挙法起草委員会委員。2月中央選挙委員会委員。9月中央人民政府政務院財政經濟委員会副主任(政務院秘書長解任)。10月中華全国工商業連合会會員代表大会にて「私营工商業の増産節約運動、私营工商業者の思想改善」問題につき報告。54年2月当時抗米援朝総会委員。8月第一期全国人民代表大会湖南省代表。9月同大会第1次会議主席団秘書長、同大会常務委員会副委員長。11月国務院第8辦公室主任。12月政治協商会議第二期全国委員

会副主席。55年7月各国議会連盟参加の人民代表団執行委員会委員。同月全国人民代表大会第2次会議主席団団員。56年3月当時政治協商会議全国委員会学習委員会主任委員。6月全国人民代表大会第3次会議主席団団員。9月中共8全大会において党の統一戦線工作に関し発言。同月中共第八期中央委員。英仏語に堪能、法律問題にも明るいといわれる。57年8月商工界が整風運動を全面的に展開した問題について談話を発表。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。4月同常務委員会副委員長。政治協商会議第三期全国委員会委員(中国共産党代表)。同委員会第1次全体会議主席団員。同委員会第1回会議全国委員会副主席。60年3月第二期全国人民代表大会第2次会議主席団員。8月中共統戦部報告会で「学習毛沢東著作逐步改造世界観」について演説。61年1月当時中共統一戦線工作部部长。6月論文「中国人民民主統一戦線の特長」を発表(紅旗12号)。

李維光 Li Wei-kuang

54年8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。12月中ソ友好協会総会第二期理事会理事。56年2月中国亜洲團結委員会委員。59年4月第二期人民代表大会第1次会議で「我々は真に信仰の自由を享有している」について発言。

李維国 Li Wei-kuo

55年2月湖南省人民委員会委員。58年3月湖南省人民検察院検察員。

李維新 Li Wei-hsin

53年12月当時西北行政委員会商業局局長。55年1月国務院商業部部長助理。12月中国商業工会全国委員会執行委員。56年4月商業部副部長。同月全国先進生産者代表会議主席団

団員。58年4月当時中国商業工会全国委員会副主席、第1商業部副部長。

李維民 Li Wei-min

53年~54年当時鞍山市人民政府副市長。55年2月鞍山市市長。

李郁生 Li Yü-shèng

54年10月~55年1月当時中央人民政府対外貿易部第2局副局長。

李一清 Li I-ching 1907~

山西省昔陽の人。かつて予西行政公署主任、晋冀魯予辺区政府公安局長。48年3月中原臨時人民政府第2副主席(鄧子恢が主席)。49年末中南軍政委員会委員、同委員会財政經濟委員会副主任、53年1月中南行政委員会委員、同委員会財政經濟委員会主任。60年2月当時武漢鋼鐵公司党委書記、同総経理。

李一氓 [一民] Li I-min [I-min]

34年中華全国ソヴィエト区第2次代表者大会で中央候補執行委員。43年頃淮海区行政公署主任。終戦後中共蘇皖辺区政府主席。49年4月大連に旅大行政公署が設けられた時、韓光の下に第1副主席。53年6月世界和平理事会中共側理事、同会常務委員会委員としてブダペストで開催の世界平和理事会に出席。11月ウィーンで開催の世界平和理事会に出席。54年7月世界平和理事会ベルリン特別会議中共代表団代表(団長郭沫若)。8月第一期全国人民代表大会四川省代表。55年3月アジア諸国会議出席の中共代表団団員。同月中国人民対外文化協会理事。6月ヘルシンキ世界平和大会中共代表団団員。7月各国議会連盟参加の人民代表団執行委員会委員。8月各国議会連盟理事会理事。56年3月スウェーデンで開催の世界平和理事会特別会議中共代表団

員。58年3月駐ビルマ大使。60年5月中国、ビルマ友好不可侵条約と国境協定批准書の交換。61年1月ビルマ大統領から国境問題解決に貢献があったとして勲章を授けらる。

李 引 桐 Li Yin-tung

(Lee In-tong) 1914~

福建省南安県の人。シンガポール在住華僑。ゴム業。南方有限公司、南成樹膠有限公司(在日本および香港)、南泰有限公司(在タイ)等の主席董事。56年7月シンガポール工商業貿易視察団副総務として日本ついで中共を訪問。

李 殷 丹 Li Yin-tan

55年2月広西省人民委員会委員。

李 蔭 蒼 Li Yin-tsang

56年11月国務院郵電部部長助理。58年12月郵電部部長助理を免ず。

李 蔭 蓬 Li Yin-pêng

浙江省の人。北京大学土木工程系卒業。英国留学。55年4月当時国務院城市建设総局城市設計院副院長。10月当時国務院国家建設委員会城市建築処処長。

李 宇 超 Li Yü-chao

58年11月山東省副省長。

李 云(雲)川 Li Yün-chuan 1919~

山東省の人。56年1月当時第1機械工会秘書長。57年11月訪日中国第1機械工会代表团団長、当時同工会副主席。58年4月第1機械工会全国委員会副主席。60年7月当時中国機械工会全国委員会主席、61年1月訪日中華全

国総工会代表团(団長李頡伯)秘書長。当時同工会主席。

李 云(雲)鶴 Li Yün-hé

54年6月まで華東軍政委員会土地改革委員会委員。55年3月安徽省人民委員会委員。

李 運(運)昌 [云(雲)昌] Li Yün-chang

[Yün-chang] 1908~

河北省楽亭県の人。李大釗の血縁者。36年初頭、唐山方面で党工作に従事。38年開源炭鉱労働者に対し工作し、戦線脱落部隊を結合せしめ、密雲の地方武装、包森部隊等を吸収、冀東を中心とする中共根拠地を建設。同年晋察冀軍区司令聶榮臻の下に第4縦隊司令。40年第4縦隊は熱河、察哈爾方面に勢力を伸張、冀熱察司令に就任し、中共中央の指令下に対満工作の直接責任者。43年日本軍「1418軍部隊」(いわゆる特警隊)に抵抗、ゲリラ活動。44年には長城線から南滿にかけ、冀察熱遼区を新設。45年ソ連の対日宣戦前6月熱河省へ進出、さらに瀋陽を攻撃、のちに北上しチチハル、ハイラル方面に作戦。46年冀熱察遼辺軍区司令、同辺区政府委員。49年9月東北解放区代表として政治協商会議に出席、10月中央人民政府の政務院交通部副部長。54年9月国務院交通部副部長。56年9月中共8全大会において「公路・水運の運輸障害排除」につき発言。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)、常務委員。

李 永 Li Yung

「毛沢東号」機関車の機関士。46年春廃車を修復した「毛沢東号」に乗込み、「責任乗車制」を実施、滿洲から関内へ、華北から中南へと示範の役割をはたし、50年9月までに

184,600軒の安全運転を行ったとされ、全国工業労働模範代表に選出。54年8月第一期全国人民代表大会北京市代表。9月同大会資格審査委員会委員。55年7月同大会第2次会議主席団員。57年12月中国工会第8次全国代表大会に於て中華全国総工会第八期執行委員。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。4月同大会に於て代表資格審査委員会委員。同大会第1次会議で「鉄道労働者は働くほど力が出てくるし、働くほど賢くなる」について発言、当時中国鉄路工会全国委員会副主席。4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国総工会)。

李 永 新 Li Yung-hsin

58年6月中華民国第七期行政院蒙藏委員会委員長。60年5月行政院政務委員、蒙藏委員会委員長を免ず。

李 永 祿 Li Yung-lu 1907~

河北省天津出身。中国鉄路工会北京分区委員会副主席。55年2月北京市人民政府委員会委員。

李 英 Li Ying

54年1月当時撫順市人民政府農林局局長。59年1月江西省人民検察院検察員を免ず。

李 英 华(華) Li Ying-hua

現在45歳。57年12月訪日中国放送技術代表団員。

李 榮 德 Li Jung-tê

(Lee Eng-teh) 1909~

クアラルムプール生れ。クラング在住華僑。クアラルムプールのセントジョーンズ学院卒

業。保険業。マライ華僑公会クラング分会長、クラング中華総商会会長、市会議員。

李 榮(榮)棣 Li Jung-ti

54年11月最高人民法院審判員。

李 銳 Li Jui

中共政権成立後湖南人民政府新聞出版局長兼新湖南日報理事。50年湖南省政府土地改革委員。53年水力発電建設総局局長。55年11月電力工業部部長助理。58年4月当時水利電力部部長助理。59年2月当時水利電力部副部長。

李 益 三 Li I-san

54年3月当時東北地方工業局局長。56年1月当時国務院地方工業部食品工業局副局長。

李 延 祿 Li Yèn-lu

吉林省生れ。滿洲事変発生後の東北人民革命軍、のちの東北抗日連合軍第4軍軍長。松江省人民政府副主席。49年8月東北人民政府が樹立されると、その政府委員。53年1月東北行政委員会委員。54年8月松江省人民政府副主席を解任。同月第一期全国人民代表大会黒龍江省代表。同月黒龍江省人民政府副主席。9月東北行政委員会委員解任。55年1月黒龍江省副省長。59年3月第二期全国人民代表大会黒龍江省代表。4月同代表大会第1次会議で「黒龍江省ではどのようにして輸送の輻湊状況を改良したか」について発言。60年4月当時中国人民保衛世界和平委員会黒龍江省分会主席。

李 炎 Li Yèn

60年12月対外貿易部副局長。61年4月中共

駐ガーナ大使館商務参事官。

李 应(應)吉 Li Ying-chi

53年6月当時中国進出口公司副經理。55年3月アジア諸国会議中共代表団団員。6月アルゼンティン国際貿易促進委員会第2次大会出席中共代表としてブエノスアイレスに赴く。56年1月当時中共駐エジプト商務代表。59年6月免駐アラブ連合エジプト地区商務代表処代表、駐アラブ連合大使館商務参事官。

李 恩 求 Li En-chiu

52年4月中共駐ポーランド大使館参事官。55年2月当時駐ルーマニア大使館臨時代辦。9月外交学院副院長。61年6月当時外交部条約法律司副司長。

李 恩 业(業) Li Ên-yeh

54年8月第一期全国人民代表大会本溪市代表。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

李 温 仁 Li Wên-jên

55年2月福建省人民委員会委員。

李 化 方 Li Hua-fang

55年2月民主同盟第二期中央委員会候補委員。

李 华(華) Li Hua

53年12月当時雲南省紅河哈尼族自治区第1回人民代表會議において同区協商會議委員。59年3月第二期全国人民代表大会華僑代表。

李 华(華)生 Li Hua-shêng

53年8月当時天津市抗米援朝分会副主席。55年1月天津市人民委員会委員。58年4月当時天津市副市長。

李 华(華)伯 Li Hua-po

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。56年12月同第二期執行委員(四川省)。

李 嘉 Li Chia 1918~

蘇州生れ。上海滬江大学入学後、日本に留学。一高で勉強中に終戦。上海新民晚報編集、47年中央通訊社に入社、現在東京支社長。

李 嘉 人 Li Chia-jên

60年1月当時広東省副省長。11月当時広東省中ソ友好協会副会長。

李 嘉 仲 Li Chia-chung

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

李 樺 Li Hua

広東省の人。著名な版画家。25年広州美術学校を卒業後、日本に留学研究。30年帰国し、母校において教鞭をとり、木刻運動に従事。32年学校内に現代版画会を組織。日華事変勃発後従軍し、蘇・贛・予・鄂・湘などを転戦。戦争中、ペン、竹筆、木炭、水彩などの素描を描く。55年11月中共入党、当時中央美術学院教授。58年4月当時中華美術家協会常務理事。

李 海 秋 Li Hai-chiu

55年1月当時中共駐ソ大使館参事官。

李 开(開)荣(榮) Li Kai-jung

瑤族。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。同大会第1次會議で「社会主義祖国の統一と民族の団結は各民族人民の最大の利益である」について合同発言、同大会民族委員会委員。

李 开(開)信 Li Kai-hsin

56年11月国务院国家經濟委員会委員。59年9月国家經濟委員会委員。

李 覚 Li Chüeh

54年3月当時人民解放軍西藏軍区参謀長。12月政治協商會議第二期全国委員会委員(特別招請人士)。55年6月当時西藏軍区副司令員。56年2月中国国民党革命委員会候補中央委員。58年12月同第四期中央委員会候補委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

李 覚 之 Li Chüeh-chih 1903~

広東省台山県の人。ニューヨーク在住華僑。広東省政府参議、国民党駐米総支部執行委員、ニューヨーク米州日報総經理、ニューヨーク寧陽会館主席、中華公所常務議員、広東建設協会米国分会副会長等を歴任。59年3月第一期国民大会僑居国外国民第3区美東代表に補選。

李 学 盈 Li Hsüeh-ying

55年2月遼寧省人民委員会委員。

李 学 海 Li Hsüeh-hai

55年2月当時武漢長江大橋技術顧問委員会委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

李 學 燈 Li Hsüeh-têng

59年5月台湾高等法院判事兼院長。

李 喚 羣 Li Huan-chün

広東省梅県の人。現在72歳位。在インドネシア華僑。スラバヤ僑南小学名誉董事、スラバヤ惠潮会館総理を歴任。現在スラバヤ中華

僑団連合会主席。54年9月第一期全国人民代表大会華僑代表。

李 干(幹)輝 Li Kan-hui

55年2月上海市人民委員会委員。

李 干(幹)成 Li Kan-chêng

55年2月上海市人民委員会委員。

李 幹 [芭均] Li Kan

[Chi-chün] 1901~

江蘇省無錫県の人。米ハーバード大学経済学博士。上海交通大学交通管理学講師、国立中央大学商学院副教授、国民政府鉄道部科長等歴任。41年~45年駐米大使館商務参事官。45年最高經濟會議副秘書長。46年~48年国際貿易司副司長。48年駐米中国技術代表団秘書長、国連分担金委員会代表。56年9月国際通貨基金及び国際復興開発銀行理事会第11回年会中華民国代表団顧問。57年9月同第12回中華民国代表団代表。59年9月同第14回代表。60年9月同第15回代表。61年2月中央銀行理事。6月中央銀行副総裁。

李 漢 魂 Li Han-hun 1895~

広東省の人。保定軍官学校卒業。37年第64軍軍長。38年第8集團軍副司令。39年第35集團軍総司令。38年~45年広東省政府主席。49年2月海南特区行政長官。3月何応欽内閣内政部長。6月閩錫山内閣に留任したがその後渡米。

李 翰 園(園) Li Han-yüan

54年8月当時甘肅省協商委員会秘書長。12月甘肅省人民委員会委員。56年2月国民党革命委員会中央委員。59年3月第二期全国人民代表大会甘肅省代表。

李翰卿 Li Han-ching

55年2月山西省人民委員会委員。

李岷阳(陽)〔女〕 Li Chi-yang

53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。6月当時同連合会宣伝教育部副部長。12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(中華全国民主婦女連合会)。

李希庚 Li Hsi-kêng

61年10月当時中ソ友好協会総会副秘書長。

李希凡 Li Hsi-fan

54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(新民主主義青年団)。

李其明〔啓明〕 Li Chi-ming

[Chi-ming]

西北行政委員会公安部副部長を経て、53年1月西北行政委員会公安局長。57年3月陝西省副省長。58年8月当時陝西省党委員会常務委員。61年2月同書記。

李季 Li Chi 1921~

河南省の人。詩人。日華事変勃発直後、延安魯迅芸術学院に入り、まもなく地方行政工作に参加、その時の体験をもとに陝西を背景とした長篇叙事詩「王貴与李香香」を発表、中共中央文芸賞を獲得。その後長篇叙事詩「報信姑娘」を人民文学に発表。53年10月中国作家協会理事。55年2月中国作家協会創作委員会副主任。60年7月全国文芸工作者代表大会主席団員。61年3月アジア・アフリカ作家会議東京大会参加中国代表団団員、当時アジア・アフリカ作家会議中国連絡委員会副秘書長。

李琦 Li Chi

54年11月当時国務院総理辦公室副主任。60年6月当時太原市委第1書記、同市民兵政治委員。

李琦濤 Li Chi-tao

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。55年2月上海市人民委員会委員。60年3月中国共産主義青年団中央委員会書記処書記、常務委員。5月当時中共青年団上海市委員会書記。11月中国青年代表団を率い朝鮮を友好訪問。61年3月フィンランド民主青年連盟第6次代表大会へ中共青年団代表としてヘルシンキ訪問。

李熙謀 Li Hsi-mou

(Lee Shih-mou)

1897年生れ。浙江省嘉善県の人。58年8月国連の第2回原子力平和利用国際会議中華民国首席全権代表。59年9月国際原子力総署大会第3回常会中華民国代表。10月国際原子力機関主催の会議(東ウィーン)に出席。60年10月当時国府教育部常務次長、行政院原子能委員会秘書長。61年3月免教育部常務次長。

李輝〔女〕 Li Hui

54年8月第一期全国人民代表大会山西省代表。59年3月第二期全国人民代表大会山西省代表。4月同大会第1次会議で「分配がよければ生産をよりよく促進することができる」について発言。

李義招 Li I-chao

台湾省出身。在日華僑。倉庫、貿易、製帽を業としている。高砂商行(本店神戸、支店、

台北、東京、岡山)社長、関西華僑中有数の資産家。

李義常 Li I-chang

福建省の人。ビルマ在住華僑。自由日報発行人。緬甸国術社社長。

李菊生 Li Chü-shêng

60年1月中共駐インドネシア大使館参事官。7月当時ジャカルタ総領事。9月当時二重国籍合同委中国側副首席代表。12月中共・インドネシア間の二重国籍問題条約実施辦法を交換。

李吉平 Li Chi-ping

55年9月~56年1月当時中共邢台地方委員会書記。60年4月当時山東省聊城地方党委員会第1書記。

李劫人 Li Chi-jèn

54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。9月まで西南軍政委員会文化教育委員会委員。55年7月中国人民外交学会第三期理事。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。60年8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

李頴伯 Li Chieh-po

河北省の人。解放区職工連合会準備会秘書長。48年8月第6次全国労働大会準備委員、同大会で中華全国総工会執行委員、常務委員。当時中国鉄路総工会準備委員会主任。49年9月全国総工会を代表して政治協商會議に出席。51年頃中国鉄路工会全国委員会主席、世界労働連行委員。51年10月ベルリンで開催の世界労働連行委員会に朱学範等とともに出席。53年5月中国工会第7次全国代表大会主席団員。

同大会で第七期執行委員、主席団委員、書記処書記。9月ウィーンで開催の世界労働連第3回代表大会に中共工会代表団秘書長として出席。54年2月中華全国総工会代表団団長としてインド訪問。5月中国人民対外文化協会理事。8月第一期全国人民代表大会天津市代表。9月同大会第1次会議提案審査委員会委員。10月中華全国総工会副主席。12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(中華全国総工会)。55年3~4月エカフェ会議にオブザーバーとして出席の世界労働代表団の団長として来日。7月全国人民代表大会第2次会議提案審査委員会委員。当時中華全国総工会国際連絡部部長。11月北京で日本労働組合中共訪問代表団と総工会との申合せに調印。56年3月全国先進生産者代表会議準備委員会委員。4月同代表会議主席団員。6月全国人民代表大会第3次会議提案審査委員会委員。57年12月中国工会第8次全国代表大会中華全国総工会第八期執行委員。58年5月中共第八期中央委員会候補委員。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。先進生産者代表会議準備委員会副主任委員兼秘書長。4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中華全国総工会)、常務委員。9月当時中華全国総工会副主席。60年1月業余教育委員会副主任。2月全国教育文化衛生体育等方面社会主義先進グループ工作者代表。8月当時中国北鮮友好協会理事、朝鮮解放15周年祝賀訪朝代表団副団長。10月中国人民8団体と日本12団体訪華代表団との共同声明に署名。61年1月訪日中華全国総工会代表団団長。

李亨瑞 Li Hêng-jui

61年4月当時石家荘郵電学院副院長。

李俠公 Li Hsia-kung

貴州省の人。49年末、中央人民政府政務院

参事，西南軍政委員会委員。53年1月西南行政委員会委員。当時中国国民党革命委員会貴州省分部準備委員会召集人。55年2月貴州省人民委員会委員。56年2月国民党革命委員会中央委員。58年12月同第四期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会貴州省代表。

李 强 Li Chiang

元モスクワ郵電人民委員会研究院技師。49年政務院新聞総署広播（放送）事業局局長兼新華通訊社放送事業局長。郵電部無線電信総局局長。52年8月政務院対外貿易部副部長。53年2月駐ソ大使館商務参事官。54年11月國務院対外貿易部副部長。55年6月中国科学院技術科学学部委員。56年6月中国電子学会準備委員会副主任委員。11月電子学研究所所長。60年2月当時外交部第2亜洲司副司長。3月中朝相互供応貨物議定書に調印。同月末に中ソ貿易会談のため副団長としてモスクワ訪問。5月中蒙経済技術援助協定結算議定書調印。61年4月対外経済連絡総局副局長。

李 强 光 Li Chiang-kuang 1915~

広東省の人。国立北京大学卒業。米ニューヨーク大学卒業。44年中央通訊社ニューヨーク通信員。56年当時中央通訊社パリ支局特派員。

李 强 奋(奮) Li Chiang-fên

55年6月当時遼寧省外事処処長。60年5月当時國務院外交部第2亜洲司副司長。

李 鏡 村(邨) Li Ching-tsun

55年3月安徽省人民委員会委員。

李 玉 琛 Li Yü-chên

東北の農村出身。中南区の戦闘英雄。戦後中共が来て五華畝の土地と家の分配を受け、

後中共軍兵士となり、彰化の戦に「剛胆英雄」の称号を受く。50年珠江三角州地帯の「解放營」の教官に転勤、投降国府軍の改造工作に功績をあげたといわれる。

李 玉 池 Li Yü-chih

60年7月中共駐アフガニスタン臨時代理大使。

李 均 Li Chün

56年3月広西省桂西僮族自治州副州長。

李 欣 Li Hsin

51年3月中共駐東独大使館参事官。55年1月駐英代辦処参事官。

李 金 德 Li Chin-tê

55年3月~59年4月國務院秘書庁副主任。

李 金 发(髮) Li Chin-fa

広東省梅県の人。詩人。仏国パリ美術大学彫塑科卒業。上海美術専門学校教授、国立中央大学副教授、国民政府大学院秘書、国立芸術院教授等歴任。象徴派の詩風を移植、「微雨」(25年)「幸福のために歌う」(26年)等の詩集は異彩を放ったといわれる。

李 琴 [韻如] Li Chin

[Yün-ju] 1909~

広西省桂林の人。中央政治学校第二期外交系卒業。駐サイゴン領事館主事、駐マニラ領事館領事官補、駐オーストラリア公使館3等書記官、駐ボンベイ領事、国府外交部科長、駐クワラルンプール総領事、国府外交部亜東司司長を歴任、56年8月駐グアテマラ公使。56年7月駐コロンビア公使。61年4月駐コロンビア大使。

李 君 九 Li Chün-chiu

55年2月湖南省人民委員会委員。

李 君 武 Li Chün-wu

55年10月当時天主教北京教区副主教。56年3月政治協商会議全国委員会学習委員会委員。

李 薰 Li Hsün

冶金学者。55年6月中国科学院技術科学学部常務委員会委員。12月当時同科学院金属研究所學術委員会委員。56年1月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。2月九三学社第四期中央委員会委員。58年4月当時九三学社第五期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

李 荆 山 Li Ching-shan

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。56年12月同第二期執行委員(遼寧省)。

李 桂 英〔女〕 Li Kui-ying

54年8月第一期全国人民代表大会雲南省代表。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。4月同大会第1次會議で「社会主義祖国の統一と民族の団結は各民族人民の最大の利益である」について合同発言。

李 桂 賢 Li Kui-hsien

ホノルル生れ。原籍広東省中山県。ハワイ在住華僑。燕京大学修業、米ミシガン大学法科卒業。弁護士。ホノルル法院副総検察官、下院議員当選2回、同議院司法委員会主席等を経て、49年当時上院議員。

李 启(啓)新 Li Chi-hsin

60年4月中国アフリカ人民友好協会常務理事。5月中共中央機関負責工作人。

李 惠 友 Li Hui-yu

54年11月新疆省伊犁哈萨克族自治州副州長。

李 景 韓 Li Ching-han

53年3月当時中国郵電工会全国委員会主席代理。54年8月第一期全国人民代表大会河南省代表。55年11月当時郵電工会主席。56年3月当時全国先進生産者代表會議準備委員会委員。4月同代表會議主席团团員。57年12月中国工会第8次全国代表大会に於て総工会第八期執行委員。58年4月~60年4月当時中国郵電工会全国委員会主席。59年3月先進生産者代表會議準備委員会委員。4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国総工会代表)。

李 景 唐 Li Ching-tang

山東省青島の人。中共黨員。元華北人民政府外事処長。中共天津市委員会委員。中国進出口公司天津分公司經理。55年3~4月の間中共貿易代表团团員として来日。

李 景 膺 Li Ching-ying

53年12月当時中共中央西北局 組織部副部長。54年11月中央人民政府政務院監察部副部長。56年9月中共第八期中央監察委員会候補委員。61年3月当時貴州省委書記。

李 景 林 Li Ching-lin

54年9月まで寧夏省人民政府副主席。55年2月広西省人民委員会委員。58年10月当時中共寧夏回族自治区工作委員会書記、人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会寧夏回族自治区代表。60年6月当時政協寧夏回族自治区委員会主席。

李 景 潞 Li Ching-lu

57年5月国府經濟部常務次長。58年3月同

次長解任。

李 敬 漁 Li Ching-yü
55年3月山東省人民委員会委員。

李 庆(慶)伟(偉) Li Ching-wei
58年12月河南省副省長。

李 庆(慶)達 Li Ching-kui
55年5月中国科学院生物学地学学部委員。
57年6月中国農業科学院學術委員会委員。58年4月当時中国土壤学会理事長。59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。

李 繼 之 Li Chi-chih
元河北省人民政府教育庁長。54年8月河北師範学院院長。55年2月河北省人民委員会委員。

李 繼 侗 Li Chi-tung
55年5月中国科学院生物学地学学部委員。
59年3月第二期全国人民代表大会内モン自治区代表。61年12月死去(64歳)。

李 迎 希 Li Ying-hsi
53年10月当時人民解放軍工兵副司令員。55年6月当時人民解放軍湖北軍区副司令員。60年9月当時駐武漢部隊責任者、少将。

李 芝(藝)华(華) Li I-hua
60年10月当時蘇州市市長。

李 杰 庸 Li Chieh-yung
55年2月江西省副省長。58年4月～60年7月当時江西省副省長。

李 杰(傑)三 Li Chieh-san
55年2月河北省人民委員会委員。

李 潔 Li Chieh 1912～
浙江省の人。光華大学卒業。浙江省寧海、瑞安、寧波の各県長。浙江省第2行政区長官。政府宣伝局員、国民党中央青年運動委員会委員、国民政府情報部第1科長を歴任。

李 浩(濤)芝 Li Chieh-chih 1903～
広東省興県に生る。かつて余漢謀部隊の營、団、旅長等をつとめ、49年10月葉劍英の下に広東省人民政府委員。55年2月広東省人民委員会委員。55年2月広東省人民政府委員。

李 建 興 [紹唐] Li Chien-hsing
[Shao-tang] 1890～

台湾省台北県の人。16年猴硐福興煤炭公司に入社、34年現在の瑞三煤礦公司の前身の炭硯を開坑。38年狗硐坑の新層を開発、40年より終戦までスパイ嫌疑で入獄。45年以降国民大会代表、省政府顧問、石炭調整委員会主任委員、省自治協会常務理事、中華日報董事、大陸救災総会理事を歴任。また瀛社詩社を主宰。61年2月国府中央銀行理事。

李 建 梓 Li Chien-tzu
53年5月当時中共中央華東局直属機関党委員会副書記、兼華東局機関業余政治学校副校長。

李 建 修 Li Chien-hsiu
54年8月当時中共平山県委員会副書記。

李 建 平 Li Chien-ping
53年7月～54年6月当時東北炭鉱管理局局長。55年11月国務院石炭工業部部長助理。60年1月国務院石炭工業部副部長。

李 軒 Li Hsüan
53年10月当時政務院中央地質部探礦工程司

副司長。61年1月地質部副部長。

李 健 生 [女] Li Chien-shêng
53年1月婚姻法貫徹運動委員会委員。4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。54年9月中国人民志願軍婦国防部隊代表団代表。12月政治協商会議第二期全国委員会委員(中華全国民主婦女連合会)。55年10月当時紅十字会北京市分会副会長。56年2月民主同盟第二期中央委員会候補委員。

李 堅 眞 [女] Li Chien-chên
広東省豊順県人。現在57歳。54年8月第一期全国人民代表大会広東省代表。55年2月広東省人民委員会委員。56年9月中共第八期中央委員会候補委員。59年3月第二期全国人民代表大会広東省代表。60年4月広東省委書記。

李 堅 貞 [女] Li Chien-chên 1900～
広東省豊順県の出身。27年夫とともに中共に入党し、同年勃発した東江農民暴動に参加、古大存の第11軍宣伝員、その後広東各地区で工作。30年福建ソヴェト区に行き、同地のソヴェト政府内で33年まで工作。後江西省の瑞金に行く。34年大西遷に参加。37年延安陝甘特区ソヴェト政府婦女部長。49年4月中華全国民主婦女連合会執行委員。同年中南軍政委員会委員。当時中共中央華南分局婦女工作委員会書記。

李 劍 农(農) Li Chien-nung
54年12月当時中国人民政治協商会議第二期全国委員会委員(社会科学団体)。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(同)。

李 劍 白 Li Chien-pai
53年中共黒龍江省委員会副書記。54年8月

同省委員会秘書長。61年2月当時黒龍江省委書記。

李 劍 民 Li Chien-min
(Lie Chan-min)
広東省河源県の人。現在36歳。ジャカルタ在住華僑。49年広東中山大学法学院経済系卒業。50年以來ジャカルタ中山中学校校長。ジャカルタ惠州会館副理事長。52年以來ジャカルタ中華総会理事。55年以來ジャカルタ中華総会文教部副主任、珈瑪烈大学秘書。59年9月ジャカルタ地方戦時掌権局に逮捕される。

李 权(權)超 Li Chüan-chao
57年5月当時天津市委員会政法部部长。60年9月当時天津市委常務委員。10月天津市副市長。

李 儼 Li Yèn
55年6月当時中国科学院哲学社会科学学部委員「古代数学史料」「中算史集」(第1～5集)の著者。59年3月第二期全国人民代表大会河南省代表。

李 五 香 Li Wu-hsiang
53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。56年12月同第二期執行委員(華僑)。59年1月福建省第二期人民代表大会代表。

李 伍 Li Wu
55年3月～58年9月当時国務院広播(放送)事業局副局長。60年3月中華全国新聞工作者協会理事会常務理事、書記処書記。10月当時中国ラテンアメリカ友好協会理事。

李 公 俠 Li Kung-hsia

53年1月当時北京市建築公司經理。55年2月北京市人民委員会委員。

李 光 榮(榮) Li Kuang-jung

瑤族。54年8月第一期全国人民代表大會雲南省代表。

李 光 華(華) Li Kuang-hua

拉祜族。53年4月雲南省瀾滄拉祜族自治區人民政府主席。54年8月第一期全国人民代表大會雲南省代表。9月同大會民族委員會委員。59年9月第二期全国人民代表大會雲南省代表。4月第二期人民代表大會第1次會議で「社会主義祖國の統一と民族の團結は各民族人民の最大の利益である」について合同發言。

李 光 軍 Li Kuang-chün

50年3月中国油脂公司の責任者。

李 光 燦 Li Kuang-tsan

教授。49年10月中央人民政府政務院法制委員會委員。

李 光 前 Li Kuang-chien

(Lee Kong-chian) 1894~

福建省南安県の人。シンガポール在住華僑。上海交通大学卒業。南洋華僑の有力者陳嘉庚の女婿。31年南益樹膠公司、南益黄梨製造廠を創設し、以来ゴム、パインアップルの栽培、加工および輸出に従事。その農園および工場の科学化、取扱数量の多額なる点、同業者中随一といわれる。南益火鋸枋木廠、南益彩色印刷公司を兼営、また華僑銀行および東方実業有限公司主席董事。41年渡米しゴム會議に出席。43年コロンビア大学東南アジア研究会講師。48年渡英し、世界ゴム研究会に出席。50年ブラッセルで開催の世界第7回ゴム研究会會議にマレイ地区代表として出席。中華総商

會會長、華僑中学董事主席等を歴任。

李 光 保 Li Kuang-pao

拉祜族。53年4月雲南省瀾滄拉祜族自治區人民政府副主席。55年2月雲南省人民委員会委員。58年11月雲南省人民代表大會代表委員會委員。

李 光 祿 Li Kuang-lu

中国人民志願軍の機関銃班長。3台のタンクを爆破して第1級の戦功をたて、また51年1月朝鮮で38度線突破の時、英軍ロイヤル・タンク大隊撃破に偉功をたてたといわれる。

李 向 甫 Li Hsiang-fu

59年9月國務院機關事務管理局副局長。

李 孝 式 Li Hsiao-shih

(Lee Hau-shik) 1901~

香港生れ。クアラルムプールの在住華僑。マラヤ連邦政府財政部長、治安判事、立法委員、錫鉱山経営者。香港クインス・カレッジ、ロンドン大学、セントジョン・カレッジに学び、23年ケンブリッジ大学卒業。24年錫鉱採掘事業を開始。セランガール中華総商會長、全マレイ中国人鉱業協會會長、中国錫復興資金貸付委員等を歴任。56年1月ロンドンにおけるマラヤ独立會談に同盟派代表として出席。

李 更 新 Li Kêng-hsin

56年11月~58年4月当時國務院物資供給總局副局長。

李 庚 Li Kêng

中国青年出版社社長兼総編集。53年3月中華全国青年第2次代表大會準備委員會委員。7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。同月ブカレストにて開催の第3回世界青年代

表大会および第4回世界青年と学生平和友誼懇親節に中共青年代表団団員として出席。54年12月中ソ友好協會第2次全国代表会代表(中華全国民主青年連合会)。

李 香 山 Li Hsiang-shan

56年9月当時四川省達県地区委員会書記。

李 浩 Li Hao

53年1月当時陝西省長安県人民政府県長。

李 珩 Li Hêng

四川省の人。現在60歳。天文学者。中国科学院紫金山天文台研究員。57年2月東京で開催の国際地球観測年西太平洋地域連絡協議会に出席。58年4月当時中国天文学会副理事長。

李 耕 辛 Li Kêng-hsin

54年7月当時中央人民政府国家計画委員会物資分配局副局長。

李 耕 濤 Li Kêng-tao

53年9月当時天津市財政經濟委員会副主任、同市私營企業増産節約委员会主任委員。11月当時天津市体育運動委员会主任。55年1月~58年4月当時天津市副市長。当時中共天津市委員会副書記。58年10月河北省副省長。59年3月第二期全国人民代表大會河北省代表。4月第二期人民代表大會第1次會議で「全力を集中し、重点を保証しよう」について發言。

李 荒 Li Huang

53年7月当時中共遼西省委員会第2副書記。54年9月東北人民政府文化教育委員会委員および同人民監察委員会委員を解任。55年3月当時中共遼寧省委員会副書記。60年4月当時遼寧省委書記。8月中朝友好協會遼寧省分会

長。11月当時遼寧省中ソ友好協會副會長。

李 高 峰 Li Kao-fêng

60年10月当時瀋陽市副市長。

李 广(廣)錡 Li Kuang-chi

53年7月当時中国教育工会南京市委員会副主席。同月ウィーンにて開催の世界教育工作者代表大會に出席の中共代表団団員。

李 广(廣)祥 Li Kuang-hsiang

60年6月当時広州市副市長。12月同再選。

李 广(廣)臣 Li Kuang-chên

河北省東鹿県の人。現在68歳位。第1次世界大戦当時ヨーロッパ戦場参加の皮革工。フランス在留華僑連合会創立者の1人。54年9月第1期全国人民代表大會華僑代表。

李 广(廣)田 Li Kuang-tien 1907~

山東省の人。作家。始めフランス象徴派の流れをくむ詩人として卞之琳、何其芳らと詩集「漢園集」を発表。その後清華大学教授となり、日華事変勃発後昆明西南連合大学教授。戦後北京に帰り、清華大学副教務長を経て、53年1月雲南大学副校長。この間50年10月設立された中央文学研究所で指導。53年10月中国作家協會理事会理事。55年7月中国人民外交学会第三期理事会理事。著書は小説「引力」、紀行集「西行記」等。

李 广(廣)文 Li Kuang-wên

55年3月山東省人民委員会委員。55年8月~56年6月の間に第一期全国人民代表大會山東省代表として補選。

李 璜 [幼椿] Li Huang

[Yu-chun] 1896~

四川省華陽の人。日本、フランスに留学、パリ大学卒業。22年パリにおいて曾琦らと「中国青年党」を組織。帰国後、国立北京師範大学教授、国立武昌大学および国立北京大学歴史教授等歴任。38年～47年国民参政会議員。43年国民参政会幹部会委員、憲政推進委員会委員。45年サンフランシスコ会議の中国代表の一員。46年憲法起草委員会委員。48年總統府諮詢委員会委員。57年ボルネオより香港に帰還。著書「歴史と社会科学」「古中国的跳舞と神秘故事」この本は仏国漢学家 M. Granet: Danses et Légendes de la Chine ancienne 1926 Paris の抄訳である。その他「法国文学史」「国家主義的教育」「欧洲遠古文化史」。

李 兴(興)中 Li Hsing-chung

55年1月政治協会議第一期河北省委員会副主席。2月河北省人民委員会委員。7月当時河北省交通庁庁長。56年2月中国国民党革命委員会中央委員。58年12月中国国民党革命委員会第四期中央委員会委員。

李 衡 甫 Li Hêng-fu

54年8月当時河北省人民政府農林庁副庁長。

李 鴻 祥 Li Hung-hsiang

雲南省軍政委員会委員。53年1月雲南省人民政府委員。55年2月雲南省人民委員会委員。58年11月雲南省人民委員会委員。

李 合 邦 Li Hê-pang

53年1月当時陝西省人民政府人民監察委員会副主任。同月陝西省人民政府委員。54年12月陝西省人民委員会委員。

李 克 佐 Li Kê-tsuo

華北区工業労働模範。54年4月当時華北農

業機械総庁工程師。55年2月北京市人民委員会委員。56年1月当時国営北京農業機械庁総工程師。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表。4月第二期人民代表大会第1次会議で「共同刈取機の生産はきっと倍になる」について発言。

李 克 农(農) Li Kê-nung 1907~

中共黨員。安徽省合肥の人。留仏苦学生。帰国後中央ソヴェト区に入り、統一戦線工作部秘書長、社会部長を歴任。49年中央人民政府政務院外交部副部長、中ソ友好協会総会理事。54年4月ジュネーブ会議中共代表団代表。8月第一期全国人民代表大会安徽省代表。55年6月当時人民解放軍副総参謀長。9月1級八一勲章、1級独立自由勲章および1級解放勲章、当時人民解放軍上將。56年9月中共第八期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会安徽省代表。4月政治協会議第三期全国委員会委員(中国共産党)、同会常務委員。60年4月全国民兵代表会議主席団員。

李 克 夫 Li Kê-fu

55年8月当時中共駐フィンランド商務專員。59年6月免駐フィンランド大使館商務参事官。

李 国 伟(偉) Li Kuo-wei

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会武漢市代表。9月同大会第1次会議提案審査委員会委員。12月政治協会議第二期全国委員会委員(中華全国工商業連合会)。55年2月湖北省人民委員会委員。7月全国人民代表大会第2次会議提案審査委員会委員。11月湖北省工商連監察委員会第1召集人。56年6月全国人民代表大会第3次会議提案審査委員会委員。11月～57年1月全国人民代表大会代表団員としてソ連、東欧訪問。59年3月第二期全国人民代

表大会湖北省代表。4月政治協会議第三期全国委員会委員(中華全国工商業連合会代表)、常務委員。政治協会議全体会議主席団。第二期全国人民代表大会提案審査委員会委員。

李 国 豪 Li Kuo-hao

同済大学教授。55年2月武漢長江大橋技術顧問委員会委員。同月上海市人民委員会委員。6月中国科学院技術科学学部委員。

李 国 瑞 Li Kuo-jui

53年12月当時北京市自来水公司經理。55年2月北京市人民委員会委員。

李 国 鼎 Li Kuo-ting

58年12月行政院米援運用委員会秘書長。60年工業開発投資本部主任。61年7月陳誠副總統の訪米に随行。

李 国 标(標) Li Kuo-piao 1932~

57年3月訪日中国糸綢公司代表団団員。12月訪日中国化学工業視察団団員。

李 国 平 Li Kuo-ping

54年7月当時武漢大学数学教授。55年5月中国科学院物理学数学化学学部委員。

李 根 源 [印泉] Li Kên-yüan

[Yin-chüan] 1876~

雲南省騰越県の人。日本陸軍士官学校第六期歩兵科卒業。第1革命に際し、雲南独立に参劃、雲南副都督。13年国会議員に挙げられる。15年袁世凱の帝制問題起るや、岑春煊を助けて反対運動に努め、広東肇慶軍務院の組織に参加。17年陝西省長。18年岑春煊が広東軍政府首席政務総裁となるやその顧問。22年の国会に議員として参加し、同年汪大燮内閣に入り農商総長。23年張紹曾内閣に留任し国

務総代理を兼任。大總統黎元洪を擁護して直隸派と争い黎失脚後蘇州に隠棲。28年馮玉祥より招聘せられたが出でず、専ら社会事業に尽瘁。50年頃西南軍政委員会委員。53年1月西南行政委員会委員。54年12月政治協会議第二期全国委員会委員(特別招請人士)。59年4月政治協会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

李 濟 [濟之] Li Chi

[Chi-chih] 1896~

湖北省鍾祥の人。米国に留学、クラーク大学心理学学士、社会学学士、ハーバード大学博士。清華大学教授。20年以来中央研究院歴史語言研究所考古組主任兼研究員、中央博物院準備処主任等歴任。39年重慶第3回全国教育會議に出席。56年当時中国民族学会責任者。59年7月当時中央研究院院士。60年当時国府中央研究院歴史語言研究所主任。著書「安陽発掘報告」(4冊)「田野発掘報告」「西陰村史前遺存」、訳著「周口店儲積中1個荷漢漢形的白歯」「俯身葬」「奉天沙鍋屯及河南仰韶村之古代人骨与近代華北人骨之比較」、研究論文の主なもの「殷墟銅器種及其相關之問題」「近数年中国考古研究概況」「城子崖総報告」「殷墟陶器之研究」「小屯与仰韶」「河南安陽之亀殻」「小屯出土之商代芸術器」「18年秋季工作之経過及其重要発見」等。

李 濟(濟)寰 Li Chi-huan

56年10月國務院地質部副部長。59年9月地質部副部長再任。

李 濟(濟)深 [任潮] Li Chi-shên

[Jên-chao] 1886~1959

広西省梧州に生る。北京陸軍大学卒業。26年の北伐前、黄埔軍官学校副校長および国民革命軍第4軍軍長。27年国民党中央執行委員。33

年秋反蔣勢力としての福建人民政府を樹立。失敗後一時香港に逃る。37年日華事変勃発後戦地党政委員会主任、軍事委員会西南辦公処主任。41年～44年桂林の国府軍事委員会行営主任。46年4月蔡廷鍇と共に国民党民主化組織を計る。47年2月香港に赴き反蔣介石活動に従事。11月華南民主連合軍総司令。48年1月国民党革命委員会を結成しその主席。49年9月政治協商会議全国委員会常務委員会副主席。10月中央人民政府委員会副主席、中ソ友好協会副会長。12月国民党革命委員会中央常務委員会主席。53年1月憲法起草委員会委員。2月中央選挙委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会広西省代表。9月同大会第1次会議主席団員、同大会常務委員会副委員長。12月政治協商会議第二期全国委員会委員(中国国民党革命委員会)、同副主席。同月中ソ友好協会第2次代表会代表、同協会総会第二期副会長。55年7月各国議会連盟参加の人民代表団主席団員。8月朝鮮「解放」10周年慶祝式典参加代表団員として平壤に赴く。56年2月国民党革命委員会第三期中央委員会主席。9月中共8全大会において国民党革命委員会、民主同盟、民主建国会、政治協商会議、民主促進会、農工民主党、致公党、九三学社および台湾民主自治同盟を代表して「中国各民主党的人民民主統一戦線は、中国共産党の指導下に中国の革命と国家の建設事業に対して顕著な作用を發揮した」と演説。11月～57年1月全国人民代表大会代表団副団長としてソ連、東欧を訪問。57年9月中国国民党革命委員会全党整風工作會議に於て「全党を動員し右派を徹底的に打倒せよ」と発言。当時同委員会委員。9月十月社会主義革命40周年慶祝準備委員会委員。58年12月中国国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会広西僮族自治区代表。4月政治協商会議第三期全国委員会委員

(中国国民党革命委員会)。政治協商会議主席団員。第二期全国人民代表大会第1次會議の主席団員。同大会常務委員会副委員長。政治協商会議第三期全国委員会第1次會議全国委員会副主席。5月中ソ友好協会第三期副会長。59年10月死亡。(病死)

李士英 Li Shih-ying

河南省の人。49年中共の上海占領後、上海市人民政府公安局局長。同年最高人民檢察署委員、華東軍政委員会委員兼公安部副部長。53年1月華東行政委員会委員。12月当時山東省人民政府政治法律委員会主任。同月山東省人民政府副主席。54年2月当時人民解放軍慰問代表団第4總分団(華東)副団長。6月華東軍政委員会政治法律委員会委員を解任。55年8月最高人民檢察院副檢察長。56年9月中共第八期中央監察委員会委員。58年4月当時最高人民檢察院副檢察長。8月当時中国政治法律学会第三期理事会書記。11月最高人民檢察院檢察委員会委員。

李士海 Li Shih-hai

54年8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。55年2月江蘇省人民委員会委員。

李士豪 Li Shih-hao 1900～

浙江省諸暨県の人。浙江法政専門學校、明治大学政治經濟科卒業。国民政府実業部冀魯区海洋漁業管理局総務課課長、同建設費徴収主任。中国労働年鑑編集、第2回中国經濟年鑑編集等に当る。49年中央人民政府政務院財政經濟委員会委員。当時農工民主党中央執行委員。51年11月同党中央執行局委員。54年4月当時浙江省農林庁副庁長。8月第一期全国人民代表大会浙江省代表。55年1月浙江省人民委員会委員。著書「中国海洋漁業現状及其建設」。

李士豪 Li Shih-hao

55年2月遼寧省人民委員会委員。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。

李士珍 [號、夢周] Li Shih-chên

[Mèng-chou] 1895～

浙江省寧海の人。23年黄埔軍官學校卒業。25年少将参謀長。28年浙保5団団長。32年日本警察學校卒業。35年日本および欧米視察。36年内政部警官高等学校校長。同年同校は改組せられ中央警官學校となりその教育長。43年三民主義青年団第一期中央常務監察。45年国民党中央執行委員。47年～49年中央警官學校長。50年警政會議中国代表として渡米、日本欧米を視察。51年帰国後行政院設計委員会委員兼市政組召集人。56年8月1956年度公務員高等試験試験委員。

李子健 Li Tzu-chien

53年1月当時中国民主同盟西北總支部委員、陝西省人民政府副秘書長。同月陝西省人民政府委員。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。

李子光 Li Tzu-kuang

53年8月～54年1月当時中共河北省委員会農村工作部部長。58年4月当時河北省副省長。

李子誦 Li Tzu-sung

広東省の人。終戦後広州建国日報および広州連合報編集長歴任。53年香港文匯報編集長。56年2月国民党革命委員会中央委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

李子川 Li Tzu-chuan

55年3月國務院人事局副局長。58年4月当時國務院人事局副局長。

李子明 Li Tzu-ming

54年6月当時中共連南県委員会書記。

李之綿 Li Chih-mien

広東省普寧県の人。タイ国在住華僑。幼少時タイ国に移住。実業家。タイ王室より白象勲章を下賜さる。元タイ国潮州会館主席。

李四光 [仲揆] Li Ssu-kuang

[Chung-kui] (J.S.Lee) 1889～

湖北省黄冈県の人。パーミンガム大学博士。帰国後国立北京大学理学院地質系教授、同主任、中国地質学会長、国立図書館副館長、国立中央研究院地質研究所専任研究員兼所長、中英庚款董事会董事、科学事業臨時協助委員会委員、編訳館の鉱物学および地質学の名詞審査委員を歴任し、27年中央研究院地質研究所主任、中央研究院院士、中国科学院副院長。49年7月全国自然科学工作者代表會議準備委員。9月政治協商会議全国委員会委員。10月政務院文化教育委員会委員。50年8月中華全国自然科学専門学会連合会主席。52年8月中央人民政府政務院地質部部長。53年2月政治協商会議全国委員会常務委員。同月中央選挙委員会委員。4月当時抗米援朝総会常務委員。54年2月中国地質学会理事会理事長。8月第一期全国人民代表大会湖北省代表。9月同大会第1次會議主席団員。12月政治協商会議第二期全国委員会委員(自然科学団体)、同會議第二期全国委員会副主席。同月中ソ友好協会第2次全国代表会代表、同協会総会第二期副会長。55年3月アシア諸国会議中共準備委員会委員。6月中国科学院生物学地質学部常務委員会委員。7月各国議会連盟参加の人民代表団執行委員会委員。9月世界科学工作者協会副主席。56年3月全国先進生産者代表會議準備委員会副主任委員。同月國務院科学規劃委員会副主任委員。4月全国先進

生産者代表会議主席団員。57年7月当時中華全国自然科学専門学会連合会主席。9月10月社会主義革命40周年慶祝準備委員会委員。58年2月中国科学院副院長。4月当時中国人民保衛児童全国委員会副主席。当時中国地質学会理事長。当時国務院科学規画委員会副主任。当時地質部部長。4月～59年7月当時中国科学院副院長。7月中国人民保衛世界和平委員会常務委員。12月中国共産党に入党。59年3月第二期全国人民代表大会湖北省代表。先進生産者代表会議準備委員会委員。4月政治協商會議第三期全国委員会副主席委員(中国科学技術協会)。政治協商會議第1次全体会議主席団員。「五四」40周年記念準備委員会委員(副主任委員)。全国人民代表大会第1次会議の主席団員。5月中ソ友好協会第三期副会長。11月全国地層委員会主任委員。当時中国科学院副院長兼地質部部長。60年1月当時科学技術協会主席。著書「中国地勢変遷小史」「地球の年齢」「北京研究院特約研究員としての古生物研究」「中国北部紡錘虫化石」「寧鎮地層及古生物之研究」「中国北部之蠅科」「南京龍潭地質指南」。

李志剛 Li Chih-kang
54年11月当時丹陽県長。

李志民 Li Chih-min 1908～
湖南省出身。若い頃紅軍第1軍団に入る。陝西省人民政府委員会委員、中共第20兵団副司令員、西北軍政委員会委員を歴任。49年人民解放軍のうちの第1集団軍政務委員、同年末陝西省人民政府行政委員。50年6月～53年1月西北軍政委員会委員。53年2月志願軍政治部主任としての軍功により、北鮮最高人民会議より北鮮最高勲章「1級国旗勲章」を受く。54年6月～56年1月当時志願軍政治委員。54年8月第一期全国人民代表大会志願軍

代表。56年1月中共駐越南大使館参事官。9月中共第八期中央委員会候補委員。57年11月貴州省人民検察院検察員。

李思敬 Li Ssu-ching
56年11月国務院物資供給総局副局長。60年11月国家測繪総局副局長。当時国務院物資供給総局副局長。

李斯熾 Li Ssu-chih
59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。60年3月第二期全国人民代表大会第2次会議主席団員。

李紫輝〔女〕 Li Tzu-hui
55年2月遼寧省人民委員会委員。

李紫菜 Li Tzu-tsai
ビルマ生れ。ビルマ在住華僑。精米業。抗日運動に参加し戦争中中国に逃れ、戦後帰郷AFPFLに加盟。ラングーン市会議員。

李紫翔 Li Tzu-hsiang
安徽省の人。中国国民党革命委員会川康臨時工作委員会常務委員。西南軍政委員会委員兼労働部副部長。53年1月西南行政委員会委員。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(中国国民党革命委員会)。55年1月四川省人民委員会委員。56年2月国民党革命委員会中央委員。60年1月思想改造を認められて右派分子のレッテル解除。

李嗣聰 Li Ssu-tsung 1898～
河北省慶雲県の人。国立北京大学卒業。中国国民党山西臨時省執行委員兼青年部長、山西省監察委員、山西省党執行部委員兼訓練部長、河北省党部常務委員、中国国民党第五期

中央候補執行委員、第6回中央監察委員兼中央党務審査委員会主任委員、国民会議代表、国民大会代表、国民政府監察院監察使を歴任、監察院監察委員。56年4月中華民国各界日本親善訪問団員として来日。56年当時中国北方建設問題研究会責任者。60年当時監察院副院長。

李時良 Li Shih-liang
上海江南造船所技術工人。現在62歳位。49年中共軍の上海占領前後に、造船所の機械類保全に努力し、中共側より護廠英雄として表彰せらる。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(中華全国総工会)。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中華全国総工会)。政治協商會議第1次全国会議主席団員。

李尔(爾)重 Li Êrh-chung
53年2月～54年3月当時武漢市抗米援朝分会主席。53年8月～54年5月当時中共武漢市委員会第1副書記。54年8月当時中国人民世界平和擁護委員会武漢市分会主席。55年当時湖北省武漢市中ソ友好協会会長。3月政治協商會議湖北省武漢市第一期委員会副主席。4月武漢市委員会第3書記。60年1月当時政協武漢市委員会主席。61年1月中国科学院中南分院(61年1月広州、武漢分院を合併)院長。10月当時中共中南局宣伝部長。

李質忠 Li Chih-chung
福建省の人。現在56歳位。西遷に参加。元中共中央辦公庁機要局(機密通信)局長。54年8月第一期全国人民代表大会福建省福州市代表。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。

李实(實) Li Shih
湖北省襄陽の人。武漢で中学を卒業、北京大

学に入學。19年五四運動以後新文化運動に従い、中学教師をしながら革命地下運動に参加。31年満洲事変前後、国民党特務に捕えられ入獄。日華事変勃発後、出獄して延安に赴き学校を開く。46年以降安徽省桐柏区で遊撃戦に従事し、桐柏行政公署副主任。49年3月中原臨時人民政府成立の際、同政府委員兼民政部部長。53年10月当時政務院教育部高等師範教育司副司長。

李錫奎 Li Hsi-kui
全国鉄路労働模範。中長鉄道管理局瀋陽駅列車編成係員、その指導する李錫奎編成班は新しい列車編成作業方法を案出し、能率を従来より60%以上上げたと言われている。54年8月第一期全国人民代表大会瀋陽市代表。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。4月同大会第1次会議で「鉄道運輸事業を推し進め新しい高まりに」について発言。

李守眞 Li Shou-chên
55年1月天津市人民委員会委員。

李守先 Li Shou-hsien
55年1月西康省人民委員会委員。

李寿軒 Li Shou-hsüan
54年5月当時人民解放軍鉄道兵副司令員。60年4月当時中將、全国民兵代表会議主席団員。

李寿葆 Li Shou-pao
中華キリスト教青年会全国協会副総幹事。53年7月ブカレストにて開催の第3回世界青年代表大会および第4回世界青年と学生平和友誼懇親大会に中共青年代表団員として出席。54年8月世界民主青年連盟理事会北京会

議中共代表団団員。同月中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。

李 壽 雍 Li Shou-yung 1901~

江蘇人。北京大学卒、英オックスフォード大学、ロンドン大学留学、湖南大学文法学院院長、国立暨南大学校長、革命実践研究院副主任、国民党中央設計考査委員会主任委員を歴任。61年2月考試院考選部長。中央銀行理事、同常務理事。

李 樹(樹)森 Li Shu-sèn

2級英雄1等功臣。54年8月第一期全国人民代表大会北京市代表。

李 樹(樹)藻 Li Shu-tsao

54年11月最高人民検察院検察員。58年4月当時最高人民検察院検察員。

李 樹(樹)德 Li Shu-tè

60年11月國務院財政部副部長。

李 秀 山 Li Hsiu-shan

55年6月当時内蒙古自治区呼倫貝爾盟副盟長。

李 秀 眞〔女〕 Li Hsiu-chên 1901~

河南省滑県生れ。貧農の子、日傭工9年間。中共黨員。36年より革命運動に従事。第8路軍に協力し連絡に従事、49年3月中国婦女第1次全国代表会に華北代表として出席。9月冀魯予地区農民の代表として政治協商会議に出席。農民労働英雄。53年2月当時政治協商会議全国委員会委員。4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。

李 秀 珍〔女〕 Li Hsiu-chên 1928~

東北の人。ハルピン女子中学の補導員、そ

の余暇に演劇の脚本を書く。東北学生第1次大会がハルピンで開かれた時、ハルピン市3代表の1人。東北学生連合会が成立するとその執行委員。49年9月全国学生連合会の代表として政治協商会議に出席。

李 秋 野 Li Chiu-yeh

54年12月北京対外貿易学院副院長。

李 修 仁 Li Hsiu-jên

54年3月全国総工会私営企業工作委員会委員。当時全国総工会書記処副主任。

李 聚 奎 Li Chü-kui

湖南省の人。現在56歳位。モスクワ大学卒業。もと第1野戦軍後勤部長、兵団政治委員。53年1月まで東北人民政府委員。55年7月國務院石油工業部部長。56年3月全国先進生産者代表会議準備委員会委員。4月全国先進生産者代表会議主席団団員。58年2月免石油工業部部長。3月任中国人民解放軍総後方勤務部政治委員。59年4月国防委員会委員。60年3月当時解放軍上将。

李 淑 英〔女〕 Li Shu-ying

53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。54年4月当時中華全国総工会候補執行委員、軽工業工作委員会副主任。ブルガリア・メーデー参観代表。9月全国婦女連合会執行委員。57年12月中華全国総工会第八期候補執行委員。58年4月当時中国食品工業工会全国委員会副主席。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国総工会代表)。60年9月当時中国軽工業全国委員会副主席。

李 述 中 Li Shu-chung

54年6月まで華東軍政委員会政治法律委員会委員。55年2月福建省人民委員会委員。

李 俊 龍(龍) Li Chün-lung

54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(中国国民党革命委員会)。56年3月国民党革命委員会中央委員会常務委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年4月政治協商第三期全国委員会委員(国民党革命委員会)。60年11月右派分子のレッテルを除かる(国民党革命委員会中央常務委員)。

李 春 田 Li Chun-tien

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

李 春 明 Li Chun-ming

60年10月日中両国石炭工会共同声明に署名、当時中国煤礦工会全国委員会代理主席。

李 春 霖〔女〕 Li Chun-lin

53年4月中国第2回全国婦人代表大会主席団団員。同月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。54年7月当時中華全国民主婦女連合会西北区工作委員会副主任。

李 舜 琴 Li Shun-chin

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(教育界)。

李 純 青 Li Chun-ching 1915~

福建省の人。現在48歳位。日本に留学。大公報の翻訳、編集および主筆歴任。天津大公報副社長、台湾民主自治同盟副主席。54年8月第一期全国人民代表大会天津市代表。12月政治協商会議第二期全国委員会委員(台湾民主自治同盟)、同常務委員。同月中ソ友好協会第2次全国代表会代表。55年7月中国人民外交学会第三期理事会理事。同月各国議連盟参加の人民代表団執行委員会委員。56年3月当時政治協商会議全国委員会学習委員会副主任委員。11月~57年1月全国人民代表大会代

表団団員としてソ連、東欧を訪問。この間日本問題に関する論文をしばしば発表。57年8月当時台湾民主自治同盟副主席。

李 順 達(達) Li Shun-ta

河南省林県の人。32年飢饉をのがれて山西省平順県西溝村に移ったといわれる。中共進出後、全村に互助組を組織、農耕法、農具改良に尽力。44年秋平順県特等労働英雄にえらばれ、同年さらに太行解放区第1回労働英雄大会に出席。46年全区1等労働英雄。50年華北選出全国農業労働模範。51年度全国農業模範第1次受賞者の一人。52年1月中央人民政府政務院華北行政委員会委員。53年1月~54年9月華北行政委員会委員。54年6月山西省人民代表大会代表。8月第一期全国人民代表大会山西省代表。9月同大会第1次會議主席団団員。55年7月第1回全国人民代表大会第2次會議主席団団員。59年3月第二期全国人民代表大会山西省代表。4月同大会第1次會議主席団員。同會議で「5欠は5有に」について発言。60年3月同大会第2次會議主席団員。61年4月当時山西平順西溝金星公社社長。

李 初 梨 Li Chu-li

四川省生れ。21年東京第1高等学校卒業後更に第5高等学校に学ぶ。馮乃超と共に創造社の運動に参加。後マルキシズムの文学運動に参加。28年発表した論文「怎樣建設革命文学」は新文学運動史の段階を劃したといわれる。戦後中共中央東北局宣伝部副部長。49年10月政務院華僑事務委員会委員兼辦公庁主任。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。55年7月中国人民外交学会第三期理事会理事。55年当時中共中央海外部副部長。55年8月~56年2月当時中共中央機関負責工作人員。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。

李 書 華 Li Shu-bua 1889~

湖北省人。仏国パリ大学卒。22年帰国国立北京大学教授。29年同副校長。30年教育部次長。31年教育部長代理、立法院委員。43年中央研究院秘書長。46年 UNESCO 総会国府代表。現在国府中央研究院院士(数理組)米国滞在。

李 书(書)城 [小垣] Li Shu-chêng

[Hsiao-yüan] 1877~

湖北省潜江县の人。日本に留学。つとに革命運動に投ず。第1革命の際黄興の参謀長として漢陽の守備に当る。14年黄興に従い渡米。20年北京陸軍大学校長。26年蒋介石北伐軍を興すやその帷幕に参じ湖北攻略に尽力。27年湖北省政府委員兼建設庁長。同年国共分裂の際中共派に関係ありとして、胡宗鐸の爲逮捕されたが後釈放。49年武漢軍事管制委員会高級参議。9月当時政治協商会議全国委員会委員。10月中央人民政府農業部部長。54年2月当時抗米援朝総会在京常務委員。8月第一期全国人民代表大会湖北省代表。9月同大会常務委員会委員。10月ソ連農業展覧会参観代表団団長。57年8月全国人民代表大会フィンランド訪問代表団員。58年2月第一期全国人民代表大会第5次会議で法案委員会委員に補選。59年3月第二期全国人民代表大会湖北省代表。4月同大会法案委員会委員、政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)、常務委員。8月当時蘭州軍区駐屯部隊首長。

李 書 田 [耕硯] Li Shu-tien

[Kêng-yên] 1900~

河北省昌黎県の人。北洋大学卒業後、米コネル大学工学博士。27年北洋大学教授兼華北水利委員会委員。32年北洋大学校長。日華事変中西北連合大学(在陝西省南鄭)校務委員。

李 书(書)茂 Li Shu-mao

53年~54年8月当時中国人民解放军青海軍区副司令員。54年12月青海省人民委員会委員。

李 暑 安 Li Shu-an

56年12月全国工商業連合会第二期執行委員(湖南省)。

李 曙 森 Li Shu-sên

元中央人民政府高等教育部工業教育第1司司長。54年当時天津大学副校長。

李 如 洪 Li Ju-hung

55年6月当時国務院第1機械工業部設計総局局長代理。

李 恕 Li Shu

回族。53年6月中華全国民主青年連合会常務委員。59年3月第二期全国人民代表大会北京市代表。

李 少 春 Li Shao-chun

京劇俳優。53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。8月ブカレストの第4回世界青年と学生平和友誼懇親節出演の青年芸術団団員。55年1月ベルマ訪問文化代表団団員。8月中印友好協合理事。56年5月訪日京劇代表団団員。59年3月入党。当時京劇演員。60年3月中国 ラテンアメリカ友協理事。8月中国文学芸術界連合会第三期委員会委員。

李 尙 庸 Li Shang-yung

55年2月江西省人民委員会委員。

李 承 銀 Li Chêng-yin

元中共中央東北局組織部幹部処副処長。54年8月吉林省長春市人民政府市長。

李 承 錕 Li Chêng-kun

60年4月当時長春市副市長、同市委書記。

李 承 仙 [女] Li Chêng-hsien

常書鴻の妻。57年12月訪日中国敦煌芸術展代表団団員。

李 昌 Li Chang

中国新民主主義青年団中央委員会書記処書記。同会の華東準備会主任。52年11月文盲一掃工作委員会副主任。53年1月婚姻法貫徹運動委員会委員。7月新民主主義青年団第二期中央委員会常務委員。54年6月ハルビン工業大学校長。8月第一期全国人民代表大会ハルビン市代表。56年9月中共第八期中央委員会候補委員。

李 昌 源 Li Chang-yüan

康藏公路(西康省、西藏間の道路)総工程師。54年12月当時西南公路工程局第2施工局総工程師。56年1月当時国務院交通部公路総局代理総工程師。

李 釗 Li Chao

61年当時南京市人民委員会秘書長。

李 祥 Li Hsiang

志願軍2級英雄特等功臣。55年2月河南省人民委員会委員。

李 紹 禹 Li Shao-yü

61年10月当時中国人民銀行副行長。

李 紹 昌 Li Shao-chang 1891~

広東省中山県の人。ロスアンゼルス在住華僑。米エール大学卒業。コロンビア大学碩士。ミシガン州立大学中国文化系教授。ロスアンゼルス中華青年会総幹事。著書「中国文化發展史」「中国文化研究概略指針」。

李 湘 若 Li Hsiang-juo

55年3月安徽省人民委員会委員。

李 筱 亭 Li Hsiao-ting

四川省の人。もと同盟会會員。中国国民党革命委員会川康臨時工作委員会常務委員。50年頃西南軍政委員会委員兼人民監察委員会主任委員。53年1月西南行政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。55年1月政治協商会議第一期四川省委員会副主席。

李 頌 陶 Li Sung-tao 1906~

湖北省の人。フーン大学修学。広東、黄埔興業公司(Whampoa Development Co.)総經理、台湾航業公司協理、中国油槽船公司協理、招商局協理を歴任。台湾航業公司取締役、招商局総經理、外航船舶協会主席。58年12月政府間海事諮詢組織大会第1回会議中華民国首席代表。61年3月同第2回会議代表。

李 常 青 Li Chang-ching

53年当時中共松江省委委員会書記。54年8月まで松江省人民政府委員。10月当時中共ハルビン市委委員会書記。

李 蒸 [云(雲)亭] Li Chêng

[Yün-ting] 1892~

河北省欒県の人。渡米、コロンビア大学に学んで同大学博士。帰国後北京大学はじめ各大学の教育学教授、江蘇省立民衆教育院実験部主任をへて、30年国民政府教育部社会教育司長。33年国立北平師範大学校長。日華事変中西北連合大学(在陝西省南鄭)校務委員。重慶の三民主義青年団中央団部の幹事兼宣伝処長。後国民党中央執行委員。49年国共和平会談の代表として北京に行き、9月政治協商会議に出席。政務院参事。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(中国国民党革命委

員会)。56年2月国民党革命委員会中央委員。4月政治協商會議全國委員會教育組副組長。58年12月中国国民党革命委員会第四期中央委員會委員。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(中国国民党革命委員会)。

李 焯(燭)坐(塵) Li Chu-chên 1883~

湖北省の人。日本蔵前高工電気化学科卒業。18年日本より帰国、茫旭東と協力して天津塘沽で塩および石鹼工業を興し、久大塩業と永利製鹼の両社を経営。日華事変勃発後四川省自流井で久大塩場を経営。また茫旭東と四川省曲部五通橋で永利鹼廠を経営。重慶では工業協会理事長。45年民主建国会常務委員。46年旧政治協商會議に工業界代表の資格で出席。終戦後天津に帰る。49年1月天津「解放」後破壊工場を整理し、生産復興のため努力。9月中国民主建国会天津市分会主任委員。10月中央人民政府委員。52年天津市商工業連合会主任委員。53年1月~54年9月華北行政委員会副主席。53年1月選挙法起草委員会委員。3月当時天津市各界人民代表會議協商委員会副主席。11月民主建国会総会委員会副主任委員。同月全国工商業連合会第一期執行委員会副主任委員。54年2月当時人民解放軍慰問代表団副総団長。3月当時天津市抗米援朝分会副主席。7月世界平和理事会ベルリン特別會議中共代表団代表。8月第一期全国人民代表大會天津市代表。9月同大会常務委員会委員。同月公私合營久大塩業公司総経理。12月政治協商會議第二期全国委員会常務委員。同月中ソ友好協会総会第二期副会長。55年1月当時中国国際貿易促進委員会副主席。3月政治協商會議天津市第一期委員会副主席。3~4月の間中共貿易代表団副団長として来日。56年1月民主建国会中央委員会副主任委員。2月中国亞洲団結委員会委員。3月国際貿易促進委員会對外貿易仲裁委員会委員。5月~58年

1月國務院食品工業部部長。12月全国工商業連合会第二期執行委員会副主任委員。57年9月ソ連社会主義革命40周年慶祝準備委員会委員。58年2月任輕工業部部長。4月当時中華全国工商業連合会副主任委員、当時中国国際貿易促進委員会副主席。59年3月第二期全国人民代表大會河北省代表。先進生産代表會議準備委員会委員。同月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国民主建国会)、常務委員。第二期全国人民代表大會に於て提案審査委員会委員。同大会第1次會議の主席団員。5月中ソ友好協会第三期副会長。60年2月当時輕工業部部長、中ソ友好同盟条約締結10周年慶祝のため副団長として訪ソ。3月第二期全人大第2次會議提案審査委員会委員。12月ビルマ独立13周年祝典へ周総理に随行、訪問。

李 心 源 Li Hsin-yüan

55年1月四川省人民委員会委員。

李 心 清 Li Hsin-ching

54年当時中共中央華南分局宣伝部部長。

李 振 Li Chên

54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(特別招請人士)。56年2月国民党革命委員会候補中央委員。58年12月中国国民党革命委員会第四期中央委員会候補委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

李 进(進) Li Chin

60年3月中国ラテンアメリカ友好協会副総幹事、理事。7月全国文芸工作者代表大會主席団員。

李 新 农(農) Li Hsin-nung

60年10月当時中共駐イラク大使館商務参事官。

李 人 俊 Li Jên-chün

49年山東省人民政府工鉱部部長、華東軍政委員会財政經濟委員会委員、後同秘書長。52年8月中央人民政府燃料工業部副部長。53年8月中共ルーマニア間科学技術合作連合委員会第1回會議に出席のためルーマニアに赴く。54年6月華東軍政委員会財政經濟委員会委員を解任。11月國務院燃料工業部副部長。59年9月石油工業部副部長。

李 人 林 Li Jên-lin 1918~

安徽省天門の人。長江沿岸天門の貧しい漁師の家に育ち、少年先鋒隊に入り、ついで賀龍麾下の軍隊に入りゲリラ戦に従う。31年~34年国府軍の「圍剿」との戦いに従軍、ついで大西遷に参加。47年中原作戦の時李先念麾下として武漢襄河湖沼地区を制圧。中共軍中原地方の兵团司令。54年6月まで湖北省人民政府委員。55年9月1級解放勳章。

李 瑞 Li Jui

60年5月当時黒龍江省委常委、同組織部長。

李 瑞 軒 Li Jui-hsüan

(Li Swee-hyan) 1906~

福建省の人。シンガポール在住華僑。白米、油類商榮利行総経理。56年7月シンガポール工商業貿易視察団団員として日本ついで中共を訪問。

李 瑞 山 Li Jui-shan

60年6月当時中共湖南省委員会書記。

李 瑞 宗 Li Jui-tsung

ビルマ生れ。ビルマ在住華僑。チャータード・バンクの貸付部主任。和勝公司(紅帮系)の幹部。AFPFLのラングーン・ハハン地区主任。反共的といわれる。

李 井 泉 Li Ching-chüan

江西省の人。49年当時人民解放軍西南軍区副政治委員。50年3月四川省川西行政公署主任。52年8月四川省人民政府主席。10月四川省軍区政治委員。53年1月西南行政委員会委員。53年11月~54年4月当時中共四川省委員会書記。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(共産党)。55年1月四川省人民委員会委員。同月政治協商會議第一期四川省委員会主席。56年9月中共第八期中央委員会委員。58年5月中央政治局委員。8月四川省委員会書記。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国共産党代表)。10月論文「人民公社はわが国の社会発展の必然的産物である」を発表。60年11月10月社会主義革命43周年記念式典(モスクワ)出席中国党政府代表団団員。劉主席に随行ブレイジネフ議長訪問。

李 世 焱 Li Shih-yên

55年3月安徽省人民委員会委員。

李 世 軍 Li Shih-chün

30年ごろ国民政府寧夏省政府委員兼教育庁長。56年2月国民党革命委員会中央委員。

李 世 杰(傑) Li Shih-chieh

53年1月当時綏遠省行政幹部学校教育長。同月綏遠省人民政府委員。54年4月当時 Deng 汗陵墓移転および新陵園建築委員会委員。6月綏遠省人民政府委員解任。55年4月内蒙古自治区人民委員会委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。60年6月当時内蒙古政治協商會議副主席。

李 世 甲 Li Shih-chia

福建省閩侯県の人。米国に留学、潜水船操

縦技術を実習す。帰国後船隊副官、艦長、国府海軍部次長も歴任。中共政権成立後、福建省政治協商会議委員。60年5月当時福建省政協委員会委員。

李世俊 Li Shih-chün

農学者。53年2月中国科学院訪ソ代表团員としてソ連訪問。8月当時中央人民政府農業部植物保護司司長。55年3月アツア諸国会議出席中共代表团員。

李世璋 Li Shih-chang

49年10月政務院人民監察委員会秘書長。54年8月第一期全国人民代表大会河南省代表。11月国務院監察部副部長、当時中国銀行董事。56年3月国民党革命委員会第三期中央委員会常務委員。58年4月当時監察部副部長。6月江西省副省長。12月国民党革命委員会第四期中央委員会常務委員、委員。59年3月第二期全国人民代表大会河南省代表。

李世农(農) Li Shih-nung

54年6月まで華東軍政委員会人民監察委員会委員。55年3月安徽省副省長。56年1月当時中共安徽省委員会副書記。58年4月当時安徽省副省長。

李正义(義) Li Chêng-i

54年11月最高人民法院審判員。

李正廷 Li Chêng-ting

57年10月中国共産党甘肅省委員会候補書記、常務委員。60年9月甘肅省委員会平涼県委第1書記。

李生堂 Li Shêng-tang

53年7月人民志願軍上校として朝鮮軍事停戦委員会連合觀察小組主席組員。

李生民 Li Shêng-min

中共黨員。国務院公安部科長。中国進出口公司処長。55年3～4月の間中共貿易代表团隨員として来日。56年12月当時中国運輸機械進口公司副經理。

李西屏 Li Hsi-ping

54年8月第一期全国人民代表大会湖北省代表。55年2月湖北省人民委員会委員。同月政治協商会議第一期湖北省委員会副主席。56年2月国民党革命委員会中央委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。

李成君 Li Chêng-chün

53年11月全国工商業連合第一期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会瀋陽市代表。55年2月遼寧省人民委員会委員。7月全国人民代表大会第2次會議主席団員。56年12月全国工商連第二期執行委員(遼寧省)。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

李性眞 Li Hsing-chên

広東省梅県の人。インドネシアのスマラン在住華僑。スマラン中国公学董事長、中国国民党駐スマラン直属支部常務委員。

李政才 Li Chêng-tsai

怒族。54年8月雲南怒江傈僳族自治州人民政府副主席。

李政治 Li Chêng-chih

58年1月訪日中共煤礦工会代表团通訳。

李政道 Li Chêng-tao

上海人。35才。米国シカゴ大学博士。米国コロンビア大学教授。量子場論、統計力学、流体力学、天文物理等専攻。57年国府中央研究院院士。57年ノーベル物理学受賞。

李青如 Li Ching-ju

54年6月西康省人民政府委員。同月当時中国人民銀行西康省分行行長。西康省人民政府商業庁庁長。55年1月西康省人民委員会委員。

李清华(華) Li Ching-hua

55年2月遼寧省人民委員会委員。

李清泉 Li Ching-chüan

日華事变中に新4軍第2師第4旅第11団政治処主任をしたことあり。52年1月中共駐チェコ大使館参事官。54年当時駐チェコ大使館臨時代辦。59年4月駐スイス大使。

李棲凤(鳳) Li Chi-fêng

55年3月安徽省人民委員会委員。

李菁玉 Li Ching-yü

55年2月～56年3月当時農業機械管理総局局長。56年10月国務院農業部部長助理。60年4月北京農業機械化学院長。

李聖五 Li Shêng-wu 1899～

山東省の人。北京大学、日本帝国大学、英国オックスフォード大学卒業。曾て暨南大学、復旦大学教授、上海商務印書館編集、「東方雜誌」総編集者。33年国民政府外交部総務司長。のち汪精衛の和平運動に参加。40年以降汪政権の司法行政部長、教育部長を歴任。45年国府より漢奸として拘禁されたが、のち香港に逃れ中華書局総編集、新亜書院研究員。61年8月来日。

李霽野 Li Chi-yeh 1904～

安徽省霍邱県の人。魯迅の弟子。「未名社」幹部で、ロシア文学の翻訳書が多い。トロツキーの「文学と革命」、短篇集「不幸の一群」、ドストエフキーの「罪と罰」、アンドレーフの「黒仮面の人」、創作「集影」等がある。天

津市文学芸術界連合会副主席。54年12月政治協商会議第2期全国委員会委員(中国民主促進会)。同月中ソ友好協商会第2次全国代表大会代表、同協会総会第二期理事会理事。55年3月政治協商会議天津市第一期委員会副主席。56年3月当時天津文化副局長。4月文化代表团員としてイタリア訪問。当時中国作家協会天津分会理事会理事。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国民主促進会代表)。5月中ソ友好協会第三期理事会理事。

李石 Li Shih

53年12月～54年6月当時中共駐北鮮大使館1等書記官。59年4月当時駐スウェーデン大使館参事官。60年1月当時中共駐スーダン大使館臨時代辦。

李石曾 Li Shih-tsêng 1882～

河北省の人。本名は煜瀛。清朝光緒年間に仏国留学。在仏中に中国同盟会に加入。19年北京大学法科学長。24年～50年国民党中央監察委員会委員。北伐完成後に北平政治分会主席兼国立北平大学校長。29年～49年北平中国研究院長。48年総統顧問。52年国民党中央評議委員。現在総統府資政。

李雪峯 Li Hsüeh-fêng 1905～

山西省永濟の人。49年中共中央中南局組織部部長兼職工工作委員会書記。中南軍政委員会委員。52年8月中南軍政委員会政治法律委員会主任。10月中南軍政委員会副主席。53年1月中南行政委員会副主席。53年当時中共中央中南局第2副書記。54年8月第一期全国人民代表大会河南省代表。9月同大会常務委員会委員。55年7月同大会第2次會議主席団員、同会議提案審査委員会主任員。同月各国議会連盟参加の人民代表团執行委員会委員。56年6月全国人民代表大会第3次會議主席団

団員、同会議提案審査委员会主任委員。9月中共第八期中央委員会委員、同委員会中央書記処書記。58年11月中国共産党工業工作部部长。59年1月～4月の間ソ連共産党第21回大会(モスクワ)に中国共産党代表団員として訪問。3月第二期全国人民代表大会河南省代表。先進生産者代表会議準備委員会委員。4月第二期全国人民代表大会常務委員会委員。60年2月全国教育文化衛生体育方面先進單位工作者代表会議準備委員会副主任委員。10月全国文教先進工作者代表大会主席団員。

李 川 江 Li Chuan-chiang

工業労働模範。54年8月第一期全国人民代表大会遼寧省代表。56年4月当時全国先進生産者代表会議主席団員。59年3月第二期全国人民代表大会吉林省代表。

李 先 念 Li Hsien-nien 1908～

湖北省黄安県の人。青年時代郷里で大工。34年大西遷の時紅軍第4方面軍の団政治委員。38年末湖南省から武漢近郊に進出し、江漢区、大別山一帯の中原地区に抗日根拠を建設し部下兵力は6万余に達したといわれる。41年新4軍第5師長(豫皖鄂辺区)。45年中共中央候補委員。46年政治協商会議後、中共軍の中原撤退に伴い、「中原解放区」から北方に移駐。47年中共軍の反攻が開始されるや、劉伯承と共に再び中原地区に入り、「中原解放区」を拡大。49年中南軍政委員会副主席、湖南省人民政府主席、中共湖北省委員会書記。湖北軍区司令委員。52年10月武漢市長。53年1月中南大行政区婚姻法貫徹運動委员会主任。同月中南行政委員会副主席兼財政經濟委員会主任。53年当時中共中央中南局第3副書記、中共湖北省委員会書記。54年6月武漢市人民政府市長および湖北省人民政府主席を解任。同月中央人民政府政務院財政經濟委員会副主

任、財政部部长。8月第一期全国人民代表大会湖北省代表。9月同大会第1次会議主席団員。同月國務院副總理、財政部部长、国防委員会委員。11月國務院第5辦公室主任。56年9月中共第八期中央委員会委員、同中央委員会中央政治局委員。57年6月第一期全国人民代表大会第4次会議にて「1956年国家決算及び1957年国家予算案の報告」をした。58年2月第一期全国人民代表大会第5次会議にて「1957年国家予算の執行情況と1958年国家予算草案に関する報告」をした。2月54年、55年、56年、57年の国家經濟建設公債の償還的中番号の公告を行う。4月当時第5辦公室主任、国防委員会委員。5月中国共産党中共書記処書記。59年3月第二期全国人民代表大会湖北省代表。3月先進生産者代表会議準備委員会委員。4月国防委員会委員、財政部部长兼國務院副總理。第二期人民代表大会第1次会議で「1958年国家決算および1959年国家予算草案に関する報告について発言。9月國務院財政貿易辦公室主任。論文「中華人民共和国10年財政の偉大な成果」を発表。60年1月中国、ドイツ民主共和国通商航海条約ならびに60年～62年バーター協定に署名。3月第二期全人大第2次会議で59年決算、60年予算について報告。中ソ60年バーター議定書調印式に参加。5月中国、イラク貿易ならびに支払協定調印式に参加。9月中国、ギニア共同声明ならびに友好条約調印式に参加。10月中国、ビルマ国境条約調印式に参加。中国対北鮮借款供与協定ならびにプラット供与技術援助協定に署名調印。11月キューバ革命政府經濟代表団团长ゲバラ少校と中国、キューバ共同声明に署名。同時に經濟合作協定を締結、バーター議定書と科学技術合作議定書に署名調印。12月中国、カンボディア友好、不可侵条約調印式に参加。61年2月中国、アルバニア航海条約、借款協定、1961年バータ

ーならびに支払議定書に調印。代表団長となってアルバニア、チラナ訪問。4月中国アルバニア經濟議定書3件に調印。

李 先 聞 Li Hsien-wèn

50年当時国府中央研究院院士。同院植物研究所主任。

李 銑 Li Hsien

56年9月中共8全大会で「各民族連合の農業社を創設した経験」について報告、当時中共雲南省文山地方委員会組織部長。

李 善 中 Li Shan-chung

59年6月当時国府スペイン国大使館1等秘書。

李 善 邦 Li Shan-pang

広東省の人。現在59歳。地震学者。中国科学院地球物理研究所員。57年2月東京で開催の国際地球観測年西太平洋地域連絡協会に出席。

李 祖 蔭 [糜寿] Li Tsu-yin

[Mi-shou] 1899～

湖南祈陽の人。北京朝陽大学法律科卒業。同大学の援助で日本に留学、明治大学で民法を研究。19年帰国して北京大学副教授、朝陽学院名誉教授、「法律評論」総編集、燕京大学副教授を歴任。49年10月中央人民政府政務院法制委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。著書「法律辞典」「比較民法総則編綱要」「比較民法債編通則」「比較民法債編分則」「比較民法物権編、親屬編、継承編」等。輯録に「民法総則編」「李資政公遺集」「家祥人壽集」等。

李 甦 先 Li Su-hsien

54年9月当時中共駐北越3等書記官。

李 楚 离(離) Li Chu-li

終戦前晋察冀辺軍区、冀熱軍区政治委員。49年広西省人民政府委員、当時中共広西省委員会副書記。50年9月中央人民政府政務院人事部副部長。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(共産党)。56年9月中共第八期中央監察委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国共産党代表)、常務委員。

李 苏(蘇) Li Su

56年1月当時科学院応用化学研究所學術委員会委員。57年6月当時化学工業部部长助理。59年1月同助理解任、北京化工学院院长任命。6月中国化学化工学会副理事長。60年7月化学工業部副部長。

李 苏(蘇)波 Li Su-po

53年7月当時中共遵義地方委員会書記、貴州省人民政府遵義専区専員。

李 宗 恩 Li Tsung-èn

北京協和医学院院長。53年1月当時北京市抗米援朝分会常任委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(医薬衛生界)。56年3月政治協商会議全国委員会学習委員会委員。57年7月中華全国自然科学専門学会連合会第一期全国委員会の会議において常務委員として曾昭倫、錢偉長の右派分子に対し質問をなす。

李 宗 黄 [伯英] Li Tsung-huang

[Po-ying] 1890～

雲南省鶴慶県の人。雲南武備学堂、保米陸軍軍官学校卒業。24年国民党第一期中央候補

執行委員。28年国民政府建設委員会委員。31年国民党第四期中央候補執行委員。35年国民党第五期中央委員，中央党部地方自治計画委員会副主任，国民政府建設委員会委員。著書「中国国民党史」「新広東觀察記」「考察江寧鄒平青島定県記実」。

李宗仁 Li Tsung-jên 1890~

広西省の人。所謂広西派の領袖。広西陸軍学堂卒。初め陸榮廷の麾下に在ったが陸の失脚後孫文に投ず。1927年国民党第2次中央監察委員，国民政府委員，軍事委員会委員。武漢，南京分裂後南京派に与せしめ，武漢政府が共産党を排除するや之に接近し蔣介石をして下野のやむなきに至らしめ，蔣下野後国民革命軍總司令。28年蔣復活後之と提携，革命軍第4集團軍總司令として北伐に従事。29年軍の編遣問題，政治分会廃止問題等事毎に蔣に圧迫せられている広西派の頹勢挽回を策し，李濟深と提携，大広西主義を標榜して先づ蔣派の湖南主席魯滌平を駆逐。李濟深監禁さるや広東に帰り，之に代って広西の実権を握り，進んで西湖に出で蔣軍に対抗を企図したが陳済棠の広東クーデターに遇い失脚，その後広西において張發奎と合作反蔣工作に努む。30年間錫山，馮玉祥等の反蔣挙兵に呼応一時長沙を占領せしめ広東軍に後路を絶たれ，敗れて広西に逃る。31年広東派独立するや之と合作し政府委員，軍事委員会常務委員，第4集團軍總司令。広東，南京両政府妥協成立後32年西南政務委員会常務委員，西南軍事委員会委員となり依然広西の実権を握り蔣介石の一敵国の観を呈す。35年監察院委員，36年広西綏靖主任，38年津浦線方面總指揮として日本軍と徐州に会戦大敗す。安徽省政府主席。39年第5戦区（安徽，湖北方面）總司令。45年軍事委員会北平行營主任兼華北戦区司令官。48年副総統。49年~50年総統代理。49年中共の平

和条件を受諾交渉せるも決裂，広東において国民党非常委員会副委員長を兼任したが間もなく香港に去り，次いで米國に亡命。

李宗林 Li Tsung-lin

四川省の人。現在51歳位。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。55年1月四川省人民委員会委員。58年9月四川省委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。10月成都市市長，同委員会書記。

李相符 Li Hsiang-fu

中国民主同盟常務委員，教授。49年10月中央人民政府政務院林壘部副部長。56年1月政治協商會議第二期全国委員会中国民主同盟代表委員に補充。2月民主同盟第二期中央同盟第二期中央常務委員会委員。58年12月中国民主同盟第三期中央常務委員会常務委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（中国民主同盟代表）。

李錚 Li Chêng

56年12月全国工商業連合会第二期執行委員（江蘇省）。

李則綱 Li Tsê-kang 1892~

安徽省桐城縣の人。武昌高等師範学校卒。文学史学専攻。国立暨南大学講師，中国公学教授等歴任。55年3月安徽省人民委員会委員。56年2月民主同盟第二期中央委員会候補委員。

李大釗 [守常] Li Ta-chao

[Shou-chang] 1888~1927

河北省楽亭の人。天津北洋法政学堂をへて日本に留学。早稲田大学卒業。旧中国同盟会員。帰国後北京大学教授として社会運動史を講じ，傍ら図書館主任。18年春学生を集めてマルクス主義研究会を創設。19年5月4日北

京に勃発した学生運動（「五・四」運動）にはその門下生が主要役割を演じたといわれる。20年中国社会主义青年団が北京に組織せられるやこれに加入し，爾来北京で北方中共の党務を指導。22年国民党入党，23年京漢鉄道罷業終了後ソ連に赴く。24年国民党第一期中央執行委員。同年モスクワにおける第5回コミンテルン大会に出席。孫文死後華北において国民党および中共の指導的役割を演じ，27年張作霖のソ連大使館手入に際し逮捕され，同年4月28日刑死。中共創立当初においては陳独秀と並ぶ党の指導者。遺著に「守常文集」がある。

李大章 Li Ta-chang 1910~

四川省の人。日華事変中中共中央華北局太行分局宣伝部長。戦後中共中央東北局宣伝部副部長。49年四川省川南人民行政公署主任。ついで西南軍政委員会委員。52年8月四川省人民政府副主席。53年1月西南行政委員会委員。53年11月~54年1月当時中共四川省委員会副書記。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。55年1月四川省省長。56年9月中共第八期中央委員会候補委員。58年1月宝成鉄道開通式典で挨拶。7月四川省省長。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。4月同大会第1次会議の主席団員。同大会第1次会議で「1959年農業大豊作をかちとるために奮闘しよう」について発言。60年5月中国共産党四川省委員会書記。

李大中 Li Ta-chung

60年8月当時解放軍大校，駐アラブ連合大使館武官。

李代耕 Li Tai-kêng

55年11月国务院電力工業部部長助理。58年12月中共經濟代表団副団長としてハンガリー

訪問。

李卓皓 Li Chuo-hao

広州人。49才。金陵大学卒。米国カリフォルニア大学博士。同大学生物化学及実験内分沁学教授。57年国府中央研究院院士。

李卓然 Li Chuo-jan

湖南省の人。49年当時中共中央東北局宣伝部部長。同年8月東北人民政府委員兼文化教育委員会主任。53年1月東北行政委員会副主席。54年4月東北憲法草案初稿討論委員会副主任委員。9月東北行政委員会副主席および東北人民政府文化教育委員会主任を解任。12月政治協商會議第二期全国委員会委員（中国共産党）。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（中国共産党代表）。

李琢菴 Li Chuo-an

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会雲南省代表。9月西南軍政委員会財政經濟委員会委員を解任。55年11月当時雲南省工商連主任委員。56年12月全国工商連第二期執行委員（雲南省）。58年2月第一期全国人民代表大会第5次會議において右派分子の理由により，代表資格を剝奪。

李琢之 Li Chuo-chih

53年4月~55年4月当時中共駐チェコスロヴァキア大使館商務参事官。55年9月~56年6月駐ユーゴスラヴィア大使館商務参事官。11月ユーゴスラヴィア訪問貿易団副団長。58年2月対外貿易部五金進口公司經理。60年6月駐英代辦処商務参事官。

李澤 Li Tsé

54年9月当時中共湖北省委員会工業部副部長。

李 达(達) [鶴明] Li Ta

[Hè-ming] 1889~

湖南零陵の人。日本に留学、東京帝国大学採礦冶金科卒業。帰国後陳独秀の下に雑誌「新青年」編集に従事、文学革命に主導的役割を果し、中共創立大会に出席（毛沢東、董必武等と共に当時の幹部14名中の生残り組）。後中共を離れ天津のプロテスタント系新聞「益世報」の記者。後ジャーナリズムから退き上海に行き、専ら社会学を研究。省立湖南大学、武昌大学、上海法制学院、国立北平大学法学院の教授、暨南大学社会系主任兼教授などを歴任。33年に中国大学経済系名誉教授。36年国立北京大学教授。49年全国文学芸術界連合会香港分会顧問。中南軍政委員会委員、同文化教育委員会副主任。7月全国社会科学工作者代表会議準備委員会副主席。同年9月政治協商会議に出席、同会議全国委員会委員。10月政務院文化教育委員会委員、法制委員会委員。国立湖南大学学長。53年1月~56年5月当時武漢大学学長。53年1月中南行政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会安徽省代表。12月政治協商会議第二期全国委員会委員（社会科学団体）。同月中ソ友好協会第2次全国代表会代表（教育会）。55年6月中国科学院哲学社会科学学部常務委員会委員。57年6月國務院科学規劃委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会湖北省代表。4月第二期人民代表大会第1次会議で「社会科学工作者の努力すべき方向」について発言。6月中国科学院武漢分院主任委員。同年中国哲学会主席、理事。著書「実践論解説」「社会学大綱」。

李 达(達) Li Ta 1902~

陝西省の人。現在60歳位。モスクワ軍事学校卒業。ロシア語堪能、英語にも通曉。井崗山籠城時代よりの中共幹部党员。27年南昌反乱に加担、34年任弼時麾下紅軍第6軍団参謀長、西遷に参加。日華事変中第8路軍129師

参謀長。46年山西—河北—山東—河南軍区参謀長。47年同軍区の軍は中原野戦軍となり、李は48年に軍の第2野戦軍参謀長となる。49年人民解放西南軍区副司令員兼参謀長。50年頃西南軍政委員会委員。53年1月西南行政委員会委員。53年6月当時中国人民志願軍参謀長。54年11月國務院国防部副部长。55年9月1級八一勳章、1級独立自由勳章および1級「解放」勳章。上將。56年国防部副部长。57年通訊兵司令。58年公安部副部长。59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。4月国防委員会委員、第二期人民代表大会第1次会議で「チベット人民は新しく生れて来た」について合同発言。9月国防部副部长解任。60年6月当時國務院体育運動委員会副主任。61年英国モンゴメリー元帥の中国訪問に際し、全行程を案内。10月当時中国人民国防体育協会主任。

李 达(達)潮 Li Ta-chao

61年7月当時政治協商会議広東市委員会副主席。

李 竹 平 Li Chu-ping

日華事変中中共淮南蘇皖区行政公署民政処長。55年6月当時國務院紡織工業部基本建設局局長。

李 中 一 Li Chung-i

56年10月~59年1月國務院紡織工業部部長助理。60年5月國務院紡織工業部副部长。

李 中 襄 Li Chung-hsiang 1895~

江西省南昌の人。20年上海交通大学卒業。23年~26年江西省の大学教授。26年~27年南京中央大学講師。30年安徽省秘書長。31年安徽省教育委員、安徽大学教授、国民党党務計画委員。33年江西掃匪討伐司令部党務部長兼党機関紙民国日報の指導者、南京第5次国民

大会江西委員。35年江西省国民党党部執行委員、南昌市教育委員。37年~46年国民参政会参政員。46年~47年江西省政府民政庁長。50年~52年行政院設計委員会委員。52年立法院秘書長。

李 儲 文 Li Chu-wèn

54年8月中国キリスト教全国会議主席団団員、同会議で中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。56年3月当時中国キリスト教三自愛国運動委員会秘書長。61年1月中国キリスト教第二期全国会議常務委員。

李 兆 珍 Li Chao-chèn

全国工業労働模範。55年1月天津市人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。

李 兆 炳 Li Chao-ping

湖南省の人。現在46歳位。延安魯迅芸術学院卒業。53年6月~54年3月当時中央人民政府人民革命軍事委員会総政治部文化部副部长。55年当時人民解放軍総政治部文化部副部长。61年6月当時革命博物館館長。

李 超 Li Chao

55年12月当時鞍山鋼鐵建設公司副經理。58年2月中国アラブ連合友好協会理事。60年3月中国ラテンアメリカ友好協会理事。4月中国アルバニア友好協会秘書長。

李 超 伯 Li Chao-po

55年9月國務院国家統計局副局長。59年1月免國務院化学工業部部長助理。60年5月國務院化学工業部副部长。

李 潮 年 Li Chao-nien

60年当時国府行政院經濟部商業司長。61年

3月免經濟部参事、經濟部司長。

李 澄 之 Li Chèng-chih

53年8月当時山東省協商委員会副主席。12月当時山東省抗米援朝公会秘書長。54年6月まで華東軍政委員会文化教育委員会委員。8月第一期全国人民代表大会山東省代表。9月同大会資格審査委員会委員。55年3月山東省副省長。56年2月国民党革命委員会中央委員。58年11月山東省副省長。12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表、4月同大会代表資格審査委員会委員、同大会第1次会議で「印度の政治家が当面する局面に対して賢明なる行動をとるように希望する」、「黄河に大ダムをつくり永遠に水を制御して天災を防ごう」について発言。61年4月当時政協山東省委副主席、中国人民保衛世界和平委員会山東分会副主席。

李 呈 桂 Li Chèng-kui

54年8月第一期全国人民代表大会湖南省代表。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（少数民族）。

李 呈 祥 Li Chèng-hsiang

哈尼族。53年12月雲南省紅河哈尼族自治区人民政府主席。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員（少数民族）。同月中ソ友好協会第2次全国代表会代表。55年2月雲南省人民委員会委員。59年4月第二期全国人民代表大会第1次会議で「社会主義祖国の統一と民族の団結は各民族人民の最大の利益である」について合同発言。

李 廷 贊 Li Ting-tsan

59年9月国家測繪総局副局長。60年8月同局長。

李 廷 順 Li Ting-shun

59年3月第二期全国人民代表大會遼寧省代表。4月同大会第1次會議で「高く赤旗を掲げ、勝に乗じて前進し、銅の生産に向おう」について発言。

李 貞〔女〕 Li Chên

四川省の人。大西遷に参加。53年1月当時中国人民志願軍政治部秘書長。4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大會湖南省代表。55年9月1級解放勳章を受く、当時中共海軍政治部副主任。57年9月中華人民共和國婦女連合会主席団委員、執行委員。10月軍事檢察院副檢察長、最高人民檢察院副檢察長。59年3月第二期全国人民代表大會湖南省代表。60年2月三八国際労働婦女節50周年記念準備委員会委員。4月南京軍区首長、少将。

李 庭 祿 Li Ting-lu

58年9月～60年7月当時黒竜江省副省長。

李 砥 平 Li Ti-ping

54年8月第一期全国人民代表大會遼寧省代表。59年3月第二期全国人民代表大會吉林省代表。60年3月吉林省第二期党委員会書記。10月当時吉林省政治協商會議主席。

李 棣 华(華) Li Ti-hua

55年1月北京外国語学院副院長。

李 鼎 銘 Li Ting-ming

陝西榆林道伊公署科長。榆林中学教師等、教育界に20余年奉職。中共が延安に来てのち積極的に中共の反蔣政策・土地政策に協力した。後米脂県財務委員会主席。41年同県参議會議長を経て、陝甘寧辺区第2回参議會議

員。後陝甘寧辺区政府主席。

李 迪 俊〔滌鏡〕 Li Ti-chün

[Ti-ching] 1901～

湖南省黄梅の人。清華学校卒業。29年米ウイスコンシン大学博士。シカゴ、ハーバード両大学にも学ぶ。中央政治学校、中央大学兼任教授、国立中央大学教授。30年外交部科長。31年兼任幫辦。32年秘書。33年情報司司長、時事月報主任編集。39年～46年駐キューバ公使。42年～46年コロンビア、ヴェネズエラおよびドミニカ共和国公使兼任。46年インドネシア特別代表団大使。47年～57年1月駐トルコ大使。48年パリ国連第3回総会代表。57年1月駐ブラジル大使に特任。56年10月第9回ユネスコ大会代表。56年～59年6月当時パラグァイ大使兼任。60年4月ブラジル遷都典礼特使。著書「比較英国選挙運動史」(英文)。「孫中山先生の政治学説」(英文)。

李 迪 生 Li Ti-shêng

陝西省の人。53年7月～54年9月当時広西省人民政府教育庁副庁長。54年9月広西省人民政府委員に補充任命。

李 哲 人 Li Chê-jên

50年中共党華北局政策研究局長、兼政務院華北辦事処農業局長。52年政務院華北行政委員会委員兼貿易局局長。53年1月中央人民政府對外貿易部副部長。11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大會湖南省代表。55年2月中共貿易代表団团长として、中ソ55年換貨議定書に署名。11月貿易代表団团长として訪ソ、56年度中ソ連バーター協定に調印。56年3月對外貿易部代理部長として中共アルバニア56年度バーター

ー貿易支払議定書に署名。58年4月当時對外貿易部副部長。11月中国貿易代表団团长として訪ソ。59年2月同团长としてモスクワにおいて中ソ59年度バーター議定書に調印。9月商業部副部長。61年4月商業部副部長解任、對外經濟聯絡局副局長に任命。

李 鉄(鐵)亞(亞) Li Tieh-ya

55年2月雲南省人民委員会委員。

李 鉄(鐵)民 Li Tieh-min ~1956

中国民主同盟マライ支部常務委員。49年10月政務院華僑事務委員会副主任委員。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(華僑)。56年6月当時全国帰国華僑連合会準備委員会副主任委員。12月死亡。

李 天 煥 Li Tien-huan

湖南省の人。36年大西遷の時、工農紅軍第4方面軍第30軍政治主任。47年4月「解放軍報」に甘肅廻廊における敗北の記事をのせる。53年3月～54年2月当時人民解放軍公安部隊副政治委員。54年8月第一期全国人民代表大會軍隊代表。12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(軍隊)。55年9月1級八一勳章および1級解放勳章を受く、当時人民解放軍中將。59年3月第二期全国人民代表大會軍隊代表。9月國務院公安部副部長。

李 天 健 Li Tien-chien

54年12月陝西省人民委員会委員。

李 天 民 Li Tien-min

四川省華陽県出身、52歳位。27年黄埔中央軍官学校の武漢分校に入学。28年早大政経科入学。32年卒業帰国、北京の中国日報主事に就任。日華事変中は三民主義青年団四川支部

幹事長、中国国民党四川省党部執行委員。終戦後は国民代表大會制憲代表に任ぜられ、47年立法院立法委員。59年7月「中共の革命戦略」。61年3月「人民公社が中共にもたらした困惑」を発表。(民主評論12巻6期)

李 天 佑 Li Tien-yu 1905～

河南省の人。大西遷参加の中共幹部。33年1月江西省百色における百色ソヴェト樹立、紅軍第7軍成立に参加。33年瑞金紅軍学校入学、34年第3軍団第5師師長。37年新編第8路軍第115師第686連隊司令。46年ハルビン衛戍司令兼松江軍区司令員。47年東北人民解放軍第1縦隊司令員。49年第38軍司令員。50年広西省軍区司令員兼広西省人民政府委員。51年6月広東省軍区司令員、後第13兵団司令員。朝鮮事変のさい東部戦線に従軍といわれる。53年1月まで中南軍政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大會中南軍区代表。9月広西省人民政府委員を解任。58年9月広州軍区司会員。59年3月第二期全国人民代表大會軍隊代表。4月国防委員会委員、当時上將。

李 霑 吾 Li Chan-wu

53年3月～54年12月当時中ソ友好協会副総幹事。53年5月中ソ友好協会総会訪ソ参観団副团长。54年5月中国人民对外文化協会理事。55年4月当時中ソ友好協会総会副秘書長。60年10月同再任。

李 田 英〔女〕 Li Tien-ying

山東省婦女生産模範。(一家11人、所有地僅かに6華畝、46年夫は従軍、一家を1人で支え、耕作にはげみ、傍ら家事をいかにすれば能率が上るかを工夫し、全村の婦人の共同作業を考え、その指導に好成績をあげたといわれる)。46年中共に入党。山東省広饒3区三柳

村中共支部宣伝委員兼村婦女会会長。54年8月第一期全国人民代表大會山東省代表。

李 都 Li Tu

61年10月当時中共長春市書記処書記。

李 冬 青〔女〕 Li Tung-ching

54年8月第一期全国人民代表大會武漢市代表。54年10月～55年8月当時武漢市民主婦女連合会副主席。59年3月第二期全国人民代表大會湖北省代表。4月同大会第1次會議で「躍進の体列の中で婦女は奇蹟を行っている」、「工業建設指導に関するいくつかの問題」、「チベット人民は新しく生れてた」について合同發言。60年9月当時政協武漢市委員会副主席。

李 东 潮 Li Tung-chao

55年6月当時旅大市副市長。60年10月当時旅大市中ソ友好協会副会長。

李 登 瀛 Li Têng-ying

53年9月当時中共中央西南局農村工作部副部長。54年11月国務院第7辦公室副主任。12月政治協商會議第二期全国委員会委員（農民）。56年3月国務院科学規劃委員会副秘書長。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（農民）。9月～60年12月国務院農林辦公室副主任。

李 登 丰〔豊〕 Li Têng-fêng

54年2月当時全国総工会財務部部長。57年12月中国工会第8次全国代表大會において中華全国総工会第八期候補執行委員。58年4月当時中国金融工会工作委員会主任。59年3月先進生産者代表會議準備委員会委員。

李 濤〔李滔〕 Li Tao〔Li Tao〕

長く中国革命軍事委員会に勤務。ロシア語に長ず。49年9月政治協商會議に人民解放軍総部代表の一人として出席。51年3月に成立したという在滿「極東国際連合兵団」の副参謀長といわれる。5月北京に洪水対策本部が組織された時、董必武、傅作義の下にその副部長。人民革命軍事委員会作戦部部長。52年1時遼東省人民政府主席を兼任。53年2月～10月当時駐ソ大使館参事官。54年8月第一期全国人民代表大會遼寧省代表。同月遼寧省人民政府副主席。55年2月遼寧省副省長。9月1級八一勳章、1級独立自由勳章および1級解放勳章を受く。11月当時遼寧省中ソ友好協会準備委員会副主任。56年9月中共第八期中央委員会候補委員。57年12月中国工会第8次全国代表大會において中華全国総工会第八期執行委員。

李 濤 Li Tao

54年8月第一期全国人民代表大會湖南省代表。

李 特 夫 Li Tê-fu

55年10月当時安東市副市長。

李 德 純 Li Tê-chun 1926～

遼寧省の人。中国人民外交学会通訳。55年12月中共学術視察団通訳として来日。

李 德 臣 Li Tê-chên

56年12月全国工商業連合会第2二期執行委員(山東省)。

李 德 新 Li Tê-hsin

60年1月当時鄭州市副市長。

李 德 全〔女〕 Li Tê-chüan

河北省通県生れ。父は牧師。北平貝満女子中学卒業。協和女子大学卒業後、貝満女子中学教員。29歳のとき馮玉祥と結婚。馮に従い蒙古、ソ連を視察。日華事変中重慶で婦女慰勞總會を指導。同時に中ソ文化協会婦女委員会の工作に従事。戦後婦女連合会主席となり中国児童福利事業協進会を組織し托児所工作。中国人民救済総会執行委員会理事会長。49年4月中華全国民主婦女連合会副主席。10月中央人民政府衛生部長。華北行政委員会委員。中国紅十字会会長。53年4月当時国際民主婦女連合会理事。同月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。5月世界婦人大会出席中共代表団副団長。6月コペンハーゲンで開催の世界婦女大会に出席。53年6月～55年7月当時世界平和理事会中共理事。53年8月当時中ソ友好協会総会理事。54年3月当時文化教育委員会委員。5月中国人民対外文化協会理事。同月ノルウェー・オスロで開催の第23回赤十字協会理事会會議出席の中国代表団団長。8月第一期全国人民代表大會河北省代表。9月華北行政委員会委員を解任。同月第1期全国人民代表大會第1次會議主席団団員。同大会提案審査委員会委員。10～11月の間中国紅十字会訪日代表団団表として来日。12月政治協商會議第二期全国委員会委員（社会救済福利団体）、中ソ友好協会第2次全国代表會代表（中国紅十字会総会）、政治協商會議第二期全国委員会常務委員、中ソ友好協会総会第二期副会長。55年3月アジア国家會議中国準備委員会委員。6月当時中国人民児童保護全国委員会副主席、世界母親大会代表団団長、各国議會連盟参加の人民代表団執行委員会委員。11月パキスタン訪問中国婦人代表団長。56年1月中国オリンピック委員会副主任。2月中国亜州団結委員会副主席、中国婦女文化代表団団長としてイタリアに赴く。3月全

国先進生産者代表會議準備委員会委員、国務院科学規劃委員会委員。同月中国婦女代表団団長としてユーゴスラヴィアに赴く。4月全国先進生産者代表會議主席団団員。6月全国人民代表大會第3次會議提案審査委員会委員。57年3月中国チェコ保健合作協定に調印。9月十月社会主義革命40周年慶祝準備委員会委員。12月訪日中国紅十字会代表団団長。58年4月当時全国婦女連合会副主席、中華医学会名誉会長、国務院衛生部部長。7月中国人民保衛世界和平委員会常務委員、委員。中国・アジア・アフリカ団結委員会副主席、委員。12月中国共産党に入党。59年3月第二期全国人民代表大會河北省代表。4月ソ連赤十字第4回代表大會に、中国代表団長として出席（モスクワ）。政治協商會議第二期全国委員会委員（社会救済福利団体代表）、常務委員。同大会第1次全体會議において提案審査委員会委員。第二期全国人民代表大會第1次會議主席団員、提案審査委員会委員。同月衛生部部長。5月中ソ友好協会第三期副会長。9月体育運動委員会委員。10月論文「10年来の衛生工作」（人民日報）。60年2月全国教育文化衛生体育等方面社会主義先進グループ工作者代表會議準備委員会副主任委員、三八国際労働婦女節50周年記念準備委員会委員。3月政治協商會議第三期第2次會議提案審査委員会委員。当時中国北鮮友好協会会長。4月国際婦女大会（デンマーク）へ代表団長として参加。10月中国・アジア・アフリカ団結委員会と日本・アジア・アフリカ団結委員会訪中代表団との共同声明に調印。

李 任 之 Li Jên-chih

55年3月安徽省人民委員会委員。60年2月当時安徽省党委書記。

李任仁 [重毅] Li Jèn-jèn

[Chung-i] 1878~

広西省生れ。清末桂林で書院を經營し、革命青年を教育。29年再び故郷に帰り、国民党監察委員および広西省参議会議長。後香港に行き、李済深の国民党革命委員会に加わる。49年中南軍政委員会委員、広西省人民政府副主席。53年1月中南行政委員会委員。当時国民党革命委員会中央委員会委員、同委員会広西省分部準備委員会常務委員。2月当時政治協商会議全国委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会広西省代表。11月当時華僑事務委員会副主任。12月中ソ友好協会第2次全国代表大会代表(国民党革命委員会)。55年2月広西省副省長。56年3月国民党革命委員会第三期中央委員会常務委員。58年4月当時広西僮族自治区副主席、國務院華僑事務委員会副主任委員。12月国民党革命委員会第四期中央委員会常務委員。59年3月第二期全国人民代表大会広西僮族自治区代表。4月同大会第1次会議で「衛生工作は偉大な成果をおさめた」について合同発言。9月華僑事務委員会副主任委員。60年3月当時民族自治区委員会主任委員。

李 宁(寧) Li Ning

53年12月人民政府本溪市市長。

李 能 Li Nèng

54年8月第一期全国人民代表大会雲南省代表。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。4月同大会第1次会議で「一つの人民公社の美しい風景」について発言。

李 波 Li Po

53年10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。54年12月中ソ友好協会第2次全国代表大会代表(中国文学芸術界連合会)。60

年8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。61年1月当時安徽省潁上県委書記。

李 沛 文 Li Pei-wèn

広西省の人。李済深の長子。米國に留学。広州嶺南大学農學院院長、広東省柑橘研究所所長を歴任。54年9月まで広西省人民政府委員。55年2月広西省人民委員会委員。5月華南農學院副院長。56年1月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月同会議第三期全国委員会委員(教育界代表)。

李 佩 云(雲) Li Pei-yün 1929~

河北省の人。外交出版社通訳。56年5~6月の間、訪日京劇代表团翻譯員として来日。

李 佩 先 Li Pei-hsien

60年7月保定市書記、兼市長。

李 佩 膺 Li Pei-ying

55年2月山西省人民委員会委員。

李 培 基 Li Pei-chi

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

李 培 根 Li Pei-kèn

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員、当時同青年団四川省委員会第2書記。8月ブカレストにて開催の第4回世界青年と学生平和友誼懇親節に出席の中共青年代表团団員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(新民主主義青年団)。55年1月四川省人民委員会委員。60年3月中国共産主義青年団中央委員会常務委員。

李 培 之 [女] Li Pei-chih

河北省の人。中華全国民主婦女連合会執行委員。49年10月中央人民政府最高人民法院委員会委員。中国人民大学教務部副部長。53年1月華北行政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会河北省代表。9月華北行政委員会委員を解任。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。4月当時中国人民大学副校長。7月北京市經濟学会理事会副會長。

李 培 福 Li Pei-fu

54年12月甘肅省人民委員会委員。57年10月甘肅省委員会候補書記、常務委員、同農村工作部副部長。58年10月甘肅省副省長。

李 梅 Li Mei

59年9月國務院華僑事務委員会委員。

李 白 虹 Li Pai-hung

60年11月当時中国国民党中央委員会第6組副主任。

李 伯 球 Li Po-chiu

中国農工民主党中央執行委員会委員、同中央執行局副秘書長。52年政務院財政經濟委員会委員。53年1月当時中国農工民主党中央委員会副主任委員。5月民主同盟七中全会主席団員。54年8月第一期全国人民代表大会広東省代表。12月政治協商会議第二期全国委員会委員(中国農工民主党中央委員会)。同月中ソ友好協会第2次全国代表大会代表。55年2月北京市人民委員会委員。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。57年9月農工民主党中央整風工作會議において章伯鈞、黄琪翔らと共に反共産党・反社会主義右派分子として批判される。58年2月第一期全国人民代表大会第5次會議において右派分子として代表資格を取消。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(農工民主党中央代表)。60年11月右派分子のレッテ

ル解除。

李 伯 剛 Li Po-kang

54年2月当時人民解放軍慰問代表团第5總分団(中南)副団長。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。

李 伯 釗 [女] Li Po-chao 1911~

四川省重慶の人。父は県長。楊尚昆の夫人。25年女子師範に学び、共産主義青年団に加入。26年上海に移る。27年~30年モスクワ中山大学に学ぶ。30年福建ソヴェト区に入り、32年まで政治部で勤務。ついで江西省瑞金に赴き、「赤色中国」の編集に従事。34年5月ゴルキー演劇学校創設者の一人。西遷に参加し、37年前鋒劇団監督。日華事変末中共中央北方局秘書。53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。同月中国作家協会理事會理事。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。12月中ソ友好協会第2次全国代表大会代表(中国文学芸術界連合会)。58年4月当時中国戲劇家協会理事会主席団員。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。4月同大会第1次會議で「知識分子は頭を使わなければならない以上に手を使って働くこともしなければならない」について発言。60年2月三八国際労働婦女節50周年記念準備委員会委員。7月全国文芸工作者代表大会主席団員。8月中国文芸界連合会第三期全国委員会委員。

李 发(發)南 Li Fa-nan

広西省人民政府財政庁庁長。54年9月広西省人民政府委員。

李 范(範)一 Li Fan-i 1891~

湖北省応城の人。米コロンビア大学卒業。

国立交通大学校長、国民政府交通技術学校校長、無線電台管理处長、無線電機製造廠長、陝西省教育庁長、湖北省建設庁長を歴任。終戦前第1紡織公司総経理。49年9月政治協商会議全国委員会委員。10月政務院燃料工業部副部長。54年2月当時抗米援朝総会在京常任委員。8月第一期全国人民代表大会湖北省代表。11月国務院燃料工業部副部長。55年7月国務院石油工業部副部長。58年4月当時石油工業部副部長。59年3月第二期全国人民代表大会湖北省代表。9年石油工業部副部長。

李 范(範)五 Li Fan-wu

吉林省穆林県の人。31年中共に入党。32年劉万套抗日自衛軍に加入。35年末東北抗日連軍第5軍政治委員、東部吉林抗日協会主任。38年晋察冀辺区東北工作委員会委員。46年合江省人民政府副主席。49年松江省人民政府副主席。49年10月政務院林墾部副部長。51年林業部副部長。54年8月第一期全国人民代表大会黒竜江省代表。9月同大会予算委員会委員。58年9月黒竜江省省長。59年3月第二期全国人民代表大会黒竜江省代表。4月同大会第1次会議主席団員。同大会予算委員会委員。同大会第1次会議で「黒竜江の農工業は空前の発展をしている」について発言。60年3月黒竜江省第二期委員会書記、第二期全国人民代表大会第2次会議主席団員。

李 范(範)如 Li Fan-ju

中共黨員。中出中央社会部委員(特務工作担当)。中国糧穀油脂出口公司經理代理。55年3～4月の間中共貿易代表団員として来日。56年12月当時中国糧穀油脂出口公司經理。60年2月当時在朝鮮商務参事官。61年3月中共・北鮮パーター貿易議定書調印式に参加。

李 微 Li Wei

55年8月当時中共安慶市委員会書記。

李 微 塵 Li Wei-chên 1903～

広東省の人。香港在住。英文をよくす。香港創墾社の中心人物。雑誌「熱風」の発行者。

李 彌 [炳仁] Li Mi

[Ping-jèn] 1901～

雲南省の人。26年黄埔軍官学校第四期卒業。26年～27年第3軍軍教育団中尉排長(当時団長は朱徳)。27年四川第20軍第4師に入る。27年～28年第22軍第1師第2団の營長。30年第59師305 団上校団長。38年～40年新編23師第1旅少将旅長、および第5師副師長。40年第1師師長。42年第8軍副軍長、兼芷綏師管区司令。44年第8軍中將軍長。45年山東地区日本軍民を送還。45年～48年第8軍軍長。48年～50年第13兵团司令。雲南省政府主席。50年末からビルマ中国国境附近においてゲリラ活動を指揮したが、55年台湾に渡る。

李 萍 Li Ping

福建省の人。日華事変中蘇北区塩阜区地方党委員会書記。52年4月中共駐ビルマ大使館参事官兼ラングーン総領事。53年1月当時政務院重工業部建設工程公司第1工程処政治処主任。

李 淼 Li Miao 1931～

北京生れ。61年3月アジア・アフリカ作家会議東京大会中国代表団通訳。

李 品 仙 [鶴齡] Li Pin-hsien

[Hê-ling] 1893～

広西省蒼梧の人。保定軍官学校卒業。26年第8軍副軍長。27年第8軍長兼武漢衛戍司令。湖北省政府委員。28年国民革命軍第4集

団軍第2軍団総指揮兼第8軍長として北伐に参加、第51師長。31年広東独立後、第4集团第8軍長、第22師長兼軍事委員会委員、広西第5路軍総司令総謀長、中央候補執行委員。37年蘆溝橋事件の頃第11集团軍総司令。38年第21集团軍総司令。39年～45年第5戦区副総司令。39年安徽省政府主席。45年第10戦区総司令。48年華中軍政長官公署副主任。48年～49年桂林綏靖主任。

李 斌 Li Pin

日華事変中に淮北区淮宝県県長。54年9月まで西南軍政委員会財政經濟委員会委員。11月国務院国家建設委員会委員。56年12月国務院国家建設委員会副主任、当時中国対外貿易運輸公司副經理。58年7月当時四川省副省長。61年4月アフガニスタン大使館商務参事官。

李 夫 克 Li Fu-kè

55年2月当時人民解放軍西南軍区副参謀長。

李 夫 全 Li Fu-chüan

55年2月湖北省人民委員会委員。

李 富 春 Li Fu-chun 1901～

湖南省の人。留仏苦学生出身。22年中共党旅仏支部に加入。23年蔡暢と結婚。24年帰国、27年～31年江蘇派何孟雄派の闘将となり地下活動に従事。31年～34年江西省中共党委員会書記。35年大西遷当時紅軍政治総局副主席兼独立大兵团政治委員、次いで陝甘寧地区中共党委員会書記。44年頃中共中央書記処副書記等を歴任。45年の中共7全大会で中央委員。47年9月満洲の第3次財政經濟會議に中共中央東北局代表。49年5月東北行政委員会財政經濟委員会副主任、東北人民政府委員会副主席、中共中央東北局副書記。10月中央人民政府政務院政務委員、同財政經濟委員会副主任、重工業部部长。53年3月モスクワに

ついて「53年度物資融通に関する協定」に關印。5月中央人民政府特派チエコ「解放」8周年記念訪問団団長。9月中央人民政府国家計画委員会副主席。54年9月国務院副總理、同院国家計画委员会主任。12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(中国共産党)。55年7月全国人民代表大会第2次會議において、国民經濟振興第1次5カ年計画に就いて報告。56年3月全国先進生産者代表會議準備委員会主任委員。同月国務院科学規劃委員会副主任委員。4月「中国の工業部門發展に対するソ連援助に関する協定」および「蘭州—トルキスタン、シベリア鉄道アクトガイ駅間鉄道の建設および60年よりの同鉄道運輸連絡協定」に署名。同月全国先進生産者代表會議主席団員。6月全国人民代表大会第3次會議において、「国民經濟5カ年計画の執行情況」を発表。9月中共第八期中央委員会委員、中央政治局委員、中共8全大会で「過去の中国における国民經濟計画の経験と教訓に基いて、その計画水準を高めるための意見」を発表。57年3月中国人民政治協商會議第二期全国委員会第3次全体會議の予備会談において、国民經濟の發展に関する第二期5カ年計画の建議説明を行う。当時国務院副總理、国家計画委员会主任。12月中国工会第8次全国代表大会において「第一期5カ年計画の成果と今後における社会主義建設の任務、方針」等に関して報告。58年4月当時国務院科学規画委員会副主任。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。先進生産者代表會議準備委員会主任委員。4月全国人民代表大会において1959年度国民經濟計画草案について報告。9月国務院工業交通辦公室主任。国家計画委員会委員。10月当時中共中央政治局委員兼国務院副總理。60年論文「1960年の新たな躍進を迎えよう」(紅旗第1号)および「総路線の赤旗を高く掲げひきつづき前進せよ」を発表(紅旗16号)。

60年3月第二期全人代第2次会議で1960年国民経済計画草案について報告。8月北ヴェトナム15周年記念式典(ハノイ)に慶祝団長として参加。10月中国ビルマ国境条約調印式に参加。61年4月国務院工業交通辦公室主任解任。

李 賦 都 Li Fu-tu

陝西省の人。49年西北軍政委員会財政經濟委員会委員、水利部部长。53年1月西北行政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。当時西北行政委員会水利局局長。56年2月中国国民党革命委員会中央委員。58年4月当時中華全国自然科学専門学会連合会常務委員。12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会河南省代表。4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国科学技術協会)。

李 风(風)〔女〕 Li Fèng

54年8月第一期全国人民代表大会旅大市代表。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

李 福 祥 Li Fu-hsiang

58年8月当時湖南省朝鮮訪問慰問文芸工作団団員。59年3月第二期全国人民代表大会上海市代表。

李 馥 清〔女〕 Li Fu-ching

54年8月第一期全国人民代表大会陝西省代表。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会陝西省代表。

李 芬 Li Fèn

55年10月当時武漢長江大橋工程局副総工程

師。

李 文 Li Wèn

華東人民革命大学教育長。53年12月上海第1医学院副院長。54年9月まで東北人民政府文化教育委員会委員。

李 文 华(華) Li Wèn-hua

元広東省北江区專員。53年広東省人民政府粵北行政公署副主任。9月広東省人民政府農林庁副庁長。

李 文 宜〔女〕 Li Wèn-i 1906~

湖北省の人。民主同盟常務委員周新民の妻。日華事変末期雲南で婦人運動を指導。当時昆明地方法院主任書記。45年冬雲南省婦女連議会を組織。49年全国民主婦女連合会常務委員、同会を代表して政治協商会議に出席。49年ブダペストの国際民主婦女連合会大会に中共代表として出席。53年1月婚姻法貫徹運動委員会委員。4月当時中央人民政府労働部辦公庁副主任。同月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会湖北省代表。12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(中国民主同盟)。56年2月民主同盟中央常務委員会委員。57年9月全国婦女連合会第三期執行委員会委員。58年12月中国民主同盟第三期中央委員会常務委員。59年3月第二期全国人民代表大会湖北省代表。4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国民主同盟代表)。61年4月当時中国民主同盟中央委員会代理秘書長。

李 文 卿 Li Wèn-ching

53年1月陝西省人民政府委員。54年12月陝西省人民委員会委員。

李 文 高 Li Wèn-ko

55年11月当時湖南省江華瑶族自治県人民委員会委員。

李 文 灝 Li Wèn-hao

55年1月浙江省人民委員会委員。

李 文 采 Li Wèn-tsai

54年9月まで西南軍政委員会財政經濟委員会委員。55年6月中国科学院技術科学学部常務委員会委員。

李 文 精 Li Wèn-ching

蒙古族。54年12月当時平地泉行政区副主席。

李 文 珍 Li Wèn-chèn

ビルマ生れ。原籍福建省。ビルマ在住華僑。戦時中華僑救災総会長、華商商会主席であったが、中国に逃れ、戦後帰郷して、華商商会主席を三期歴任。中共政權成立後同商会主席を辞任。反共的といわれる。

李 文 圃 Li Wèn-pu

60年11月国府考試院参事。

李 文 陵 Li Wèn-ling

60年3月当時厦門市市長。

李 平 Li Ping

54年11月国務院中国民用航空局副局長。58年4月当時国務院中国民用航空局副局長。60年4月当時鄭州市副市長。

李 平 衡 Li Ping-hèng

54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(中国国民党革命委員会)。56年2月国民党革命委員会第三期中央委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年4月

政治協商会議第三期全国委員会委員(国民党革命委員会代表)。

李 平 心 Li Ping-hsin

中国民主促進会理事。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(中国民主促進会)。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員。

李 秉 权(權) Li Ping-chüan

55年2月山西省人民委員会委員。

李 秉 中 Li Ping-chung

54年7月第一期全国人民代表大会重慶市代表。55年9月全国青年社会主義建設積極分子大会主席団員。

李 炳 助 Li Ping-hsün

59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

李 炳 章 Li Ping-chang

53年4月雲南省瀾滄拉祜族自治区人民政府委員。

李 炳 瑞 Li Ping-jui

(Lee, Edward Bing-sheuy) 1904~

広東省の人。米マックギル大学修学。30年~32年「北平導報」主筆。32年~37年 The Chinese Republic に勤務。37年~39年中山大学教授、広東省政府スポークスマン。39年~42年外交部書記官。43年~48年僑務委員会顧問、駐米大使館1等書記官。47年 Chinese News Service ワシントン事務所長。48年国民党中央監察委員、立法委員。著書「孫逸仙博士の生涯とその偉業」「宣戦無通告の中日戦争の2年間」「現代の広東」「関税自主に対する中国の奮闘」。

李 炳 泉 Li Ping-chüan

56年1月当時中国新聞工作者連誼会副秘書長。60年3月中華全国新聞工作者協会理事会常務理事、同書記処書記。中国ラテンアメリカ友好協会理事。

李 勉 之 Li Mien-chih

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国工商連合会代表)。

李 步 新 Li Pu-hsin

54年2月当時人民解放軍慰問代表団第4総分団(華東)副団長。8月第一期全国人民代表大会安徽省代表。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(共産党代表)。

李 步 青 [廉方] Li Pu-ching

[Lien-fang] 1877~

湖北省京山県の人。日本に留学。辛亥、民国革命運動に活躍。かつて武昌師範大学教授、河南教育庁長、河南大学教授などを歴任。49年9月特別招請代表の資格で政治協商会議に出席。同年末中央人民政府政務院文化教育委員会委員、中南軍政委員会委員。53年1月中南行政委員会委員。55年2月政治協商会議第一期湖北省委員会副主席。

李 甫 山 Li Fu-shan

53年12月まで甘肅省人民政府委員。54年11月最高人民検察院検察員。58年6月右派分子の理由により最高人民検察院検察員を罷免。

李 保 森 Li Pao-sên

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

李 慕 愚 Li Mu-yü

53年2月当時政務院第1機械工業部設計司副司長。

李 方 訓 Li Fang-hsün

54年12月南京大学副校長。55年5月中国科学院物理学数学化学学部委員。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(教育界代表)。

李 方 平 Li Fang-ping

広東省の人。現在46歳位。55年5月中共駐北ヴェトナム海防領事館副領事。

李 仿 尧(堯) Li Fang-yao

彝族。54年8月第一期全国人民代表大会貴州省代表。59年3月第二期全国人民代表大会貴州省代表。

李 芳 沅(遠) Li Fang-yüan

54年6月まで華東軍政委員会委員。56年10月~59年6月国務院内務部部長助理。58年7月青海省副省長。

李 峯 Li Fêng

中共山東省惠民地区委員会書記。

李 葆 华(華) [赵振声] Li Pao-hua

[Chao Chên-shêng]

45年6月中共第七期候補中央委員、中共北京市委委員会書記。49年9月政治協商会議に京津両市代表として出席。53年1月当時政務院水利部副部長。54年11月国務院水利部副部長。12月政治協商会議第二期全国委員会常務委員(共産党)。同月中ソ友好協会第2次代表会代表(共産党)。56年9月中共第八期中央委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員

会委員(中国共産党代表)、常務委員。9月水利電力部副部長。60年5月ポーランド訪問(経済合作)代表団団員。61年韓哲一、劉瑞竜と共に中央華東書記局。

李 葆 和 Li Pao-hè

55年2月河南省人民委員会委員。

李 凤(鳳)恩 Li Fêng-ên

特等労働模範。鞍山製鉄所の副総技師。55年2月当時中国人民世界平和擁護委員会遼寧省分会委員。60年8月当時武漢煉鉄廠副廠長。

李 凤(鳳)兰(蘭) [女] Li Fêng-lan

54年8月第一期全国人民代表大会河北省代表。全国紡織工業労働模範。細番手綿絲「五潔工作法」の創造者で、公私合営唐山華新紡織公司細番手綿絲女工。54年中共入党。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。

李 凤(鳳)林 Li Fêng-lin

53年10月志願軍1級英雄特等功臣。54年11月最高人民検察院検察員。59年4月当時最高人民検察院検察員。

李 凤(鳳)蓮 [女] Li Fêng-lien 1920~

14歳の時、革命に参加。供給部工廠、被服廠、中央印刷工場でいずれも第1級の働き手として活躍、辺区労働英雄に選ばれ、48年8月ハルピンの全国第6回労働大会に出席。49年9月政治協商会議全国委員会委員。50年中国人民大学工場管理部に入学。全国工業模範。54年8月第一期全国人民代表大会陝西省代表。57年9月全国婦女連合会第三期執行委員会委員。12月中国工会第8次全国代表大会において中華全国総工会第八期執行委員。59年3月第二期全国人民代表大会陝西省代表。

李 丰(豐)平 Li Fêng-ping

55年1月浙江省副省長。58年4月当時浙江省副省長。61年2月当時中共党浙江省委书记。

李 宝 光 [女] Li Pao-kuang

53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員、同連合会常務委員。7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。54年3月当時全国民主婦女連合会農村工作部副部長。54年6月まで河南省人民政府委員。56年3月政治協商会議全国委員会学習委員会委員。57年5月中国共産主義中央委員会委員。58年4月当時中華人民共和国全国婦女連合会書記処書記、執行委員。59年3月先進生産者代表会議準備委員会副秘書長。

李 宝 书(書) Li Pao-shu

56年4月当時全国先進生産者代表会議主席団員。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

李 芒 Li Mang 1920~

遼寧省の人。61年3月アジア・アフリカ作家会議東京大会中国代表団秘書。

李 北 准 Li Pei-huai

60年9月当時長春市副市長。

李 樸 生 Li Pu-shêng 1896~

広東省の人。広東高等師範学校卒業。前広東市政府土地局長。国府僑務委員会副委員長。58年7月僑務委員会副委員長再任。60年7月当時同。同11月当時中国国民党中央委員会第3組副主任。

李 穆 生 Li Mu-shêng

54年5月当時上海市衛生局副局長。

李 凡 天 Li Fan-tien

広東省中山県生れ。広州中山大学に在学中

思想問題で同大学を逐われ、上海の暨南大学に入り、卒業後文学創作に従う。37年延安に行き、陝北公学の教授。日華事変中華北遊撃区にあって、連合大学教育学院院長となる。後晋南の抗日大学の教員。戦後東北に派遣され、中共宣伝部副部長。その後軍に従い、南昌に行き接收工作に当る。広州軍管会文教委員会主任。54年4月当時中共中南局宣伝部第2副部長。

李 萬 居 Li Wan-chü 1901~

台湾省雲林県の人。24年福州より上海に赴く。32年パリ大学卒業。国民軍事会議国際事務委員会広東香港事務所長。国民参政会議憲法起草委員会委員。45年台湾革命同盟会長。台湾民声報を創刊。10月台湾新生報社長。46年5月台湾省参議会副議長。10月国民大会代表。47年新生報董事長、同年創刊の公論報社長、台北市記者公会常務理事、報業公会常務理事行政院設計委員会委員、台湾省臨時議會議員。59年12月台湾省議会で国府批判の演説をした、当時公論報社長。著書「現代英吉利政治」「法国社会運動史」等。

李 滿 盈 Li Man-ying

55年1月四川省人民委員会委員。

李 民 欣 [澤霖] Li Min-hsin

[Tsê-lin]

広東省番禺県の人。保定の陸軍速成学堂で蔣介石等と同期生。27年李濟深が国民革命軍第8路軍総指揮となった頃から、ひきつづきその幕僚として財政方面を担当。日華戦初期桂林で逸仙中学を設立経営。48年1月香港で李濟深等の国民党革命委員会が結成されるとその中央常務委員兼財務委員会主任。同じ頃国民党民主促進会の常務理事にもなり、49年9月政治協商会議に同会代表の一人として出

席。広東省人民政府委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(中国国民党革命委員会)。55年6月当時広州市副市長。

李 夢(夢)华(華) Li Mèng-hua

54年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。55年7月ワルシャワにおける第5回世界青年および学生平和友誼交歓節参加の中共青年代表団体育隊隊長。55年10月当時国務院体育運動委員会運動競賽司司長。56年1月当時中国オリンピック委員会委員。5月中国パキスタン友好協理。58年4月中華全国青年連合会第三期全国委員会副主席、常務委員。59年10月当時中国游泳協会主席。60年8月当時中国北ヴェトナム友好協理。61年6月当時体育運動委員会副主任。

李 夢(夢)吼 Li Mèng-hou

56年12月当時中国機械進口公司(中共側)經理。58年12月ハンガリー訪問中共經濟代表団副団長。

李 夢(夢)夫 Li Mèng-fu

55年3月国務院專家工作局副局長。58年4月当時国務院外国專家局副局長。61年1月国務院機關事務管理局副局長。

李 夢(夢)齡 Li Mèng-ling

54年5月第一期全国人民代表大会吉林省代表。55年2月吉林省人民委員会委員。

李 明 Li Ming

53年8月~54年6月当時中共中央華南分局組織部副部長。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(新民主主義青年団)。58年12月太原礦業学院副院長。

李 明 远(遠) Li ming-yüan

60年4月当時貴州省委員会委員、同省総工会主席。

李 明 剛 Li Ming-kang

57年5月当時人民解放軍空軍政治局第2組組部々長。

李 明 晃 Li Ming-huang 1909~

ホノルル生れ。原籍広東省中山県。米インディアナ大学卒業。ハワイ・ヒロ市毎日新聞西報社長、ハワイ下院議員等を歴任。

李 明 灝 [仲堅] Li Ming-hao

[Chung-chien] 1897~

湖南醴陵の人。保定軍官学校卒業。22年日本士官学校歩兵科卒業。程潜が韶関講武堂を造った時、その戦術教官。北伐の時程潜国民革命軍第6軍長の下に団長、師長として従軍。29年程潜と広西系が反目した後軍を退く。45年~48年重慶の警備司令兼軍長。後、何応欽と合わず上海に去る。久しからずして中共地区に赴く。程潜、陳明仁が長沙で中共に寝返ったのも、彼の工作の結果であったという。49年湖南人民政府委員、政治協商会議全国委員会委員。52年8月中南軍政委員会政治法律委員会委員兼任。53年1月中南行政委員会委員。54年2月人民解放軍慰問代表団第5総分団(中南)副団長。8月全国第一期人民代表大会湖南省代表。9月同大会予算委員会委員。同月国防委員会委員。55年2月湖北省副省長。9月1級解放勳章を受く。58年4月当時湖北省副省長、国防委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。4月同大会において予算委員会委員、国防委員会委員。61年2月当時武漢中ソ友協副会長。

李 明 揚 [師广(廣)] Li Ming-yang

[Shih-kuang] 1890~

江蘇省肅県の人。保定陸軍軍官学校に学ぶ。李烈鈞に従い革命運動に参加、第二革命失敗後、独逸に亡命しベルリン大学に学ぶ。20年

李烈鈞が陳炯明の広東恢復軍応援のため挙兵するに際し、援粵贛軍梯団長。24年大元帥行營秘書長として孫文の北伐に従う。26年新編独立第1師師長。30年~34年江蘇省政府委員。日華戦争中揚子江下流附近で遊撃隊を指揮、ついで汪精衛政権に参加。その後国民党民主派に所属。49年華東軍政委員会委員。政治協商会議全国委員会委員。53年1月華東行政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。9月国防委員会委員。58年4月当時国防委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。4月国防委員会委員。

李 鳴 龢 Li Ming-hé

60年当時国府行政院經濟部鈷業司長。

李 綿 Li Mien

西北大学師学院副院長。54年8月西安師範学院副院長。

李 孟 竞(競) Li Mèng-ching

中共黨員、かつて統一戦線工作部科長級であつたといわれる。56年11~12月の間中共漁業代表団秘書として来日。59年9月当時中国人民外交学会秘書。

李 孟 萍 Li Mèng-ping

56年6月当時国府外交部機要(機密通信)室主任。56年以来駐ロスアンゼルス総領事。

李 默 於 Li Mo-yü

50年12月中共駐ブルガリア大使館参事官。

李 友 秀 [女] Li Yu-hsiu

53年4月中国第2回全国婦人代表大会主席団団員。54年7月第一期全国人民代表大会江西省代表。55年6月世界母親大会中共代表団団員としてスイスに赴く。59年3月第二期全

国人民大会江西省代表。

李友邦 Li Yu-pang

台湾省の人。中央軍官学校卒業。元国民党中央執行委員。台湾省国民党改造委員。49年～50年新生報（台北）発行人。

李有安 Li Yu-an

54年8月第一期全国人民代表大会安徽省代表。59年3月第二期全国人民代表大会安徽省代表。

李有箴 Li Yu-chên

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（華僑）。

李裕丰(豊) Li Yü-fêng

56年12月当時中国絲綢公司上海分公司副經理。

李予昂 Li Yü-ang

56年11月～59年4月国務院財政部部長助理。59年4月当時山東省委員会常務委員。61年1月当時山東省副省長。

李养(養)吾 Li Yang-wu

54年11月最高人民法院審判員。

李耀 Li yao

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

李耀先 Li Yao-hsien

54年8月第一期全国人民代表大会熱河省代表。

李耀峯 Li Yao-fêng

54年7月新疆博爾塔拉蒙古自治州人民政府副主席。

李翼中 Li I-chung 1895～

広東省の人。24年国民党に入党。27年国立中山大学政治経済系卒業。29年～33年青島特別市党部常務委員兼組織宣傳部長。青島民国日報社社長。漢口特別市党部整理委員会常務委員。北平、天津、河北、北寧平綏各省市及び鐵路党部指導員。33年江蘇省政府第2科長兼蘇北匪案審理処主任。日華戦時中中央社会部総務処長、秘書長、中央党務委員、交通部簡任秘書、中央組織部秘書等を歴任。45年国民党六全大会中央執行委員、台湾省党部主任委員。47年台湾省政府委員、社会処長兼合作事業管理処処長。

李磊 Li Lei

54年12月甘肅省人民委員会委員。

李乐(樂)光 Li Lê-kuang

53年1月当時北京市抗米援朝分会秘書長。5月北京市選挙委員会委員11月当時中共北京市委員会統一戦線工作部部長。12月北京市公債推銷委員会副主任委員。

李乐(樂)平 Li Lê-ping

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。61年当時政治協商会議江蘇省委員会副主席。

李藍炎 Li Lan-yên

56年3月第四期全パキスタン医学会議出席の中華医学会代表団員。

李藍丁〔女〕 Li Lan-ting

浙江省海寧県の人。模範看護婦。18歳で中共軍の衛生員となり、8年間従軍して黄河と揚子江の間を転戦。46年秋中共軍の淮北撤退の時、5百余名の負傷兵を率いて空襲下を移動、病をおして担架をかつぎ、肋骨を打った

が任務を完成したといわれ、50年秋華東区から模範工作者全国代表に選ばれた。朝鮮事変が起ると華東医療隊を率いて従軍したといわれる。

李兰(蘭)生 Li Lan-shêng

60年3月当時中共駐ジャカルタ総領事。

李兰(蘭)貞 Li Lan-chên

江蘇省灌雲竜苴区の人。労働模範。中共軍家族の慰勞、食糧の徴集に功勞あり、淮海戦のとき、前線支援の第1級の功勞者となり、また蘇北の沂河治水工事にも第1級の功勞を立てたといわれる。

李力 Li Li

53年1月当時鞍山鋼鉄公司設計処副処長。9月当時鞍鋼黑色冶金設計公司副經理。

李力殷 Li Li-yin

54年6月当時中共駐ビルマ大使館参事官。55年11月ラングーンにおける中緬両国航空運輸協定調印式に参加。61年7月免駐ビルマ大使館参事官。3月当時外交部辦公庁副主任、陳毅のインドネシア訪問に随行。

李力果 Li Li-kuo

56年10月国務院第1機械工業部副部長。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

李立 Li Li

60年1月当時河南省委員会書記。

李立三〔伯山、能至、敏然〕

Li Li-san [Po-shan, Nêng-chih, Min-jan] 1896～

湖南省醴陵県に生る。湖南中学卒業後、22年勤工儉学生としてフランスに赴く。23年春趙世炎と共にパリに到り、陳延年、陳喬年（共に陳独秀の子）およびドイツから来た周恩来、張崧甫等と中国少年共産党団を結成、宣伝を担当。その後この団体は、中国共産党旅仏支部と改称。25年五・卅運動の際、上海総工会委員長に就任してストを指導。五・卅運動後中華全国総工会を代表してモスクワのプロフィンテルン大会に出席。26年冬帰国。27年5月漢口に到り共産党5全大会に出席。8月1日南昌暴動に参加し、革命委員会委員、政治保安処長に就任。暴動失敗後、香港に逃亡。広東暴動で広東省委員会書記張太雷が死亡したので、その後任として、28年初頭に香港に派遣され省委員会書記。その後また上海に呼び戻され中共中央に勤務。当時名義上は向忠發が総書記であったが、実権は掌握していたといわれる。長沙暴動後湘鄂贛ソヴィエト政府主席に推された（未就任）。30年末陳紹禹等の反対によっていわゆる李立三路線が覆されるに及び、モスクワに招致される。45年6月中共中央委員。46年夏入滿。48年8月中華全国総工会副主席。49年10月中央人民政府委員、政務院政務委員、労働部部長。53年8月当時中国人民抗米援朝総会常務委員。56年9月中共第八期中央委員会委員、中共8全大会において主観主義、派閥主義の過誤に付き自己批判的演説をなす。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中国共産党代表）、常務委員。10月当時中共中央工業工作部副部長。

李立柏 Li Li-po

54年7月台湾省政府委員。台湾省保安司令部副司令。57年8月台湾省政府委員再任。

李隆 Li Lung

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委

員（特別招請人士）。

李良序 Li Liang-hsü

貴州省出身。日本中央大学卒業。57年10月訪日中国塩業視察団団員。

李凌 Li Ling

中央歌舞団副団長。大衆向歌曲選評委員。53年7月ブカレストにて挙行の第4回世界青年と学生平和友誼懇親節に出演の中共青年芸術団副団長。55年7月ワルシャワにおける第5回世界青年および学生平和友誼大会参加の中共青年代表団芸術団副団長。58年4月当時中国音楽家協会常務理事。

李林〔女〕 Li Lin 1926~

冶金陶磁学者。科学院冶金陶磁研究所副研究員。56年10~11月アジア太平洋電子顕微鏡会議出席中共学術団員として来日。59年4月政治協商会議第二期全国委員会委員（中華全国青年連合会）。

李林 Li Lin

53年2月当時旅大市人民政府副市長。60年2月~61年10月駐北鮮大使館文化参事官。61年3月中朝61年度文化合作協定調印式に参加。

李林枝 Li Lin-chih

55年1月四川省人民委員会委員。

李倫振 Li Lun-chên

54年12月当時中共青海省玉樹地方委員会書記。

李琳 Li Lin

54年2月~56年1月当時中共山西省平順県委員会書記。

李蘭田 Li Lin-tien

54年6月当時政務院高等教育部中等技術教育司副司長。

李麟玉 Li Lin-yü

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（教育界）。

李零石 Li Ling-shih

55年2月当時国務院鉄道部新建鉄路総局第3工程局代理局長。

李連春〔孟平〕 Li Lien-chun

[Mêng-ping] 1906~

台湾省台南県の人。神戸商業職業学校卒業。加藤物産に入社。22年同社台湾支店勤務。総督府米穀局米穀納入組合事業部長。台湾省會合作金庫理事長。46年春台湾省糧食局副局長。同年8月同局長。54年6月同局長留任。57年8月台湾省政府委員再任。

李連捷 Li Lien-chieh

54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員（自然科学団体）。55年1月当時北京農業大学土壤農業化学系教授。6月中国科学院生物学地学学部委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中国科学技術協会代表）。

李連璧 Li Lien-pi

53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。

李朗如 Li Lang-ju

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。55年1月政治協商会議第一期広東省委員

会副主席。2月広東省人民委員会委員。56年12月全国工商連第二期執行委員（広東省）。59年2月中国人民政治協商会議広東省第二期委員会副主席。60年11月広州市第四期人民代表大会により同市副市長に選出。61年3月当時政協広東省委副主席。

李六如 Li Liu-ju

中共6全大会の中央委員。日華事変中政治秘書処処長。49年東北人民政府司法部長兼人民法院長。中央人民政府最高人民檢察署副檢察長。54年12月政治協商会議第二期全国委員会常務委員（共産党）。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中国共産党代表）。常務委員。60年7月全国文芸工作者代表大会主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

李和才 Li Hè-tsai

哈尼族。53年12月雲南省紅河哈尼族自治区政協委員会主席。54年8月第一期全国人民代表大会雲南省代表。9月同大会民族委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。4月民族委員会委員。同大会第1次会議で「社会主義祖国の統一と民族の団結は各民族人民の最大の利益である」と合同発言。

李和曾 Li Hè-tsêng

54年4月ソ連メーデー参観団団員。55年6月中国インドネシア友好協会理事。56年5、6月の間訪日京劇代表団団員として来日。60年4月中国アフリカ友好協会理事。

李匯〔匯〕川 Li Hui-chuan

55年1月中共駐ソ大使館参事官。56年8月当時国務院外交部ソ連東欧司副司長。

里基木古 Li-chi-mu-ku

彝族。54年8月第一期全国人民代表大会西

康省代表。9月同大会民族委員会委員。55年7月同大会第2次会議主席団員。

陸〔陸〕阿狗 Lu A-kou

国营上海第2紡織機械廠スプリング工場生産小組長。51年ソ連のメーデー参観。52年同廠副廠長。54年2月当時上海労働模範。8月第一期全国人民代表大会上海市代表。

陸〔陸〕阿妹 Lu A-mei

53年12月上海市人民代表大会代表。

陸〔陸〕为〔爲〕公 Lu Wei-kung

54年12月甘肅省人民委員会委員。

陸〔陸〕禹 Lu Yü

54年5月当時中共北京市委員会工業部副部長。

陸運濤 Lu Yün-tao

(Loke Wan-tho) 1913~

マレイ・クワラルムプール生れ。原籍広東省。シンガポール在住華僑。錫業界の成功者故陸佑の末子。29年スイス・チロン大学留学。33年ケンブリッジ大学に転学。英語および歴史を専攻。38年ロンドン経済大学卒業。馬來論壇報所有者。華連銀行東方連合保險有限公司、広利銀行等の董事。

陸〔陸〕淵雷 Lu Yüan-lei

54年8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。12月当時上海市中医藥学術研究委員会副主任委員。

陸海安 Lu Hai-an

広東省三水の人。50歳位。香港真報社長。61年8月国府第2次陽明山會議に出席。

陸(陸) 学 善 Lu Hsieh-shan

53年11月当時中国科学院近代物理研究所副所長。54年7月当時同院応用物理研究所代理所長。55年5月同院物理学数学化学学部委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国科学技術協会代表)。

陸(陸) 学 斌 Lu Hsieh-pin

54年6月華東軍政委員会文化教育委員会委員を解任。58年11月安徽省副省長(再選)。

陸(陸) 侃 如 Lu Kan-ju

53年3月~54年11月当時山東大学副校長。53年10月文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。同月作家協会理事會理事。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(教育界)。56年2月九三学社第四期中央委員会委員。57年9月九三学社全国整風工作會議において右派分子として批判さる。60年1月思想改造の結果右派分子のレッテルを解除。

陸(陸) 規(觀) 虎 Lu Kuan-hu

55年1月天津市人民委員会委員。

陸(陸) 其 康 Lu Chi-kang

53年6月全国民主青年連合会第2次全国代表大会にて第二期全国委員会委員。

陸(陸) 曦 Lu Hsi

山東省の人。50歳位。52年12月長春鉄道共同管理中ソ連合委員会中共側委員。53年9月当時東北行政委員会外事処処長。60年当時中共駐カルカッタ総領事。

陸 京 士 Lu Ching-shih 1908~

江蘇省の人。26年上海法律学校卒業。26年~36年郵便局書記。28年~29年上海労働連盟

常任委員。27年~40年中国労働連盟郵務労働者常任委員長。35年~41年中国労働協会長。36年~45年社会部組織訓練司長。46年~50年国民党農工部副部長。50年以來自由中国勞工連盟主席。46年~49年上海力報(Workers' Daily) 董事長。48年以來 国府立法委員。56年当時中国社会行政学会責任者。59年2月第23会期立法院預算委員会召集委員。

陸(陸) 玉 琴〔女〕 Lu Yü-chin

60年6月全国文教先進工作者代表大会主席団員。

陸(陸) 欽 墀 Lu Chin-chih

56年2月当時民主同盟第二期中央委員会候補委員。

陸(陸) 景 云(雲) Lu Ching-yün

54年8月第一期全国人民代表大会山西省代表。59年3月第二期全国人民代表大会陝西省代表。

陸(陸) 景 珩 Lu Ching-hêng

60年当時南京市キリスト教三自愛国運動委員会秘書長。

陸(陸) 熒 Lu Ying

60年当時広東省人民委員会副秘書長。

陸(陸) 庆(慶) 美 Lu Ching-mei

水家族。54年8月第一期全国人民代表大会貴州省代表。9月同大会民族委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会貴州省代表。4月同大会民族委員会委員。

陸(陸) 巧 生 Lu Chiao-shêng

59年3月第二期全国人民代表大会浙江省代

表。

陸(陸) 曜〔女〕 Lu Tsui

53年4月~54年4月当時全国民主婦女連合会国際工作部部長。53年4月世界婦人大会出席中共代表団団員、全国民主婦女連合会第二期執行委員、同常務委員、6月コペンハーゲンで開催の世界婦人大会出席中共代表団秘書長。11月ウィーンで開催の世界平和理事会に理事として出席。54年5月対外文化協会常務理事。同月世界平和理事会ベルリン特別會議出席中共代表団理事。12月政治協商會議第二期全国委員会委員(全国民主婦女連合会)。同月中ソ友好協会第2次全国代表会代表。

陸(陸) 士 嘉〔女〕 Lu Shih-chia

53年4月全国民主婦女連合会第二期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会浙江省代表。12月中国婦人訪仏代表団員。当時清華大学教授。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。11月~57年1月全国人民代表大会代表団員としてソ連東欧訪問。59年3月第二期全国人民代表大会浙江省代表。4月第二期人民代表大会第1次會議で「印度干涉者の挑発を中国人民はもう黙ってほっておくわけにいかない」について合同發言。同上會議で「科学研究もやはり大衆とともに歩まなければならない」について發言。60年2月三八国際婦女節準備委員会委員。

陸(陸) 志 伟(偉) Lu Chih-wei 1930~

中国国際貿易促進委員会機械工程師。55年10~11月の間中共見本市代表団工作員(会場機械据付担当)として来日。58年4月当時中華全国自然科学専門学会連合会常務委員。

陸(陸) 綬 規(觀) Lu Shou-kuan

国務院対外貿易部秘書。55年3月中共貿易

代表団秘書として来日。

陸(陸) 秀 Lu Hsiu

四川省の人。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(全国民主婦女連合会)。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中華全国婦女連合会代表)。

陸(陸) 秀 軒 Lu Hsiu-hsüan

60年11月当時政協会広西僑族自治区委員会副主席。

陸 潤 成 Lu Jun-chêng

56年6月~60年8月当時国府駐シアトル総領事。

陸(陸) 小 波 Lu Hsiao-po

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。55年2月江蘇省人民委員会委員。56年12月工商連第二期執行委員(江蘇省)。

陸(陸) 昌 榮(榮) Lu Chang-jung

54年8月第一期全国人民代表大会志願軍代表(2級英雄、栄立1等功臣)。

陸 宗 輿 Lu Tsung-yü 1875~1932

浙江省海寧県の人。日本早稲田大学専門部卒。清朝時代各国憲政考察大臣参贊として渡欧、徐世昌の東三省総督時代東三省塩務督辦。徐の北京に帰還後中央において資政院議員、印鑄局長、度支部副大臣。民国成立後1913年参議院議員、同年民国の初代駐日公使。16年辞任。17年参議院議員、又日支合弁中華滙業銀行の設立に参与その総理となり、段祺瑞を援けて所謂西原借款成立に努力。18年幣制局総裁兼竜煙鉄磁公司督辦。15年五・四排日運動に際し親日派として攻撃せられ幣制局長

を辞す。27年安国軍外交討論会委員。同年中華滙業銀行を辞し交通銀行総理となるも間もなく辞任天津に閉居。その後竜煙鉄礦公司総裁たりしも、32年退任次いで死去。

陸(陸) 地 Lu Ti

僮族。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国文学芸術界連合会)。60年8月当時中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

陸 徵 祥 Lu Chêng-hsiang

1870~亡年不詳

江蘇省上海県の人。北京同文館を卒業して駐露公使館通訳を振り出しに外交界に入り、和蘭公使、ヘーグ万国平和会議代表、駐露公使を歴任。民国成立後初代外交総長。次いで國務總理兼外交総長。次いで趙秉鈞、段祺瑞各内閣の外交総長、参政院資政。1915年徐世昌内閣の外交総長となり日支交渉に当る。17年王士珍内閣外交総長。19年現職の儘巴里平和会議首席全権。20年辞任。22年駐瑞西公使。国際連盟会議及国際労働会議に中国代表として参加。27年辞任後白耳義国に滞在。

陸(陸) 鎮 藩 Lu Chên-fan

佈依族。54年8月第一期全国人民代表大会貴州省代表。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(少数民族代表)。

陸(陸) 定 一 Lu Ting-i 1907~

江蘇省無錫生れ。上海交通大学卒業後、米国およびソ連に留学。英語とロシア語は流暢といわれる。帰国後一時新聞記者。24年中共に入党。31年瑞金のソヴェト区に到り、共産主義青年団総書記。37年紅軍第1方面軍宣伝部長に就任。42年第18集團軍政治部副主任。45年中共中央委員。46年政治協商会議中共代表。その後中共駐南京辦事処主任として国民

政府との連絡に当る。中共中央宣伝部長。49年政務院文化教育委員会副主任。50年中国世界平和擁護大会全国委員会委員。中国新政治学研究会委員。53年10月~54年3月当時中共中央宣伝部副部長。54年8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。9月同大会常務委員会委員。54年10月~56年6月当時中共中央宣伝部部長。54年12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(中国共産党)、同協会総会第二期理事会理事。56年2月中央標準語普及工作委員会副主任、全国文盲一掃協会委員。5月「百花齊放百家争鳴」と題して講演、6月人民日報に発表。9月中共第八期中央委員会委員、中央政治局候補委員。57年9月中央宣伝部部長として作家協会党組織拡大会議において丁玲、陳企霞反党グループを批判。58年4月当時國務院中央推广普通話委員会副主任。5月中央政治局候補委員。59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。4月同大会第1次会議の主席団員。國務院副總理。5月中ソ友好協会第三期理事会理事。10月当時中共政治局委員候補兼國務院副總理。60年11月十月社会主義革命43周年記念式典(モスクワ)出席中国、党、政府代表団員。

陸(陸) 殿 棟 Lü Tien-tung

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

陸 佩 玉〔女〕 Lu Pei-yü [Mrs.

Dison Hsueh-feng Poe] 1904~

江蘇省の人。江蘇省立第1女子師範学校卒業。上海如皋女子中学校長。51年~54年台湾省議會議員。57年当時台北婦女協会長、国民婦女協会常任委員。

陸(陸) 平 Lu Ping

48年全国総工会青年工作部副部長。49年新

民主青年連盟第1中央委員会常任委員兼同青年工作部長。52年12月ハルビン鉄道管理局長。54年11月國務院鉄道部副部長。57年10月北京大学副学長、当時中共北京大学党委第1書記。59年3月第二期全国人民代表大会黒竜江省代表。60年3月中国ラテンアメリカ友好協会理事。北京大学校長。

陸(陸) 平 东 Lu Ping-tung

56年5月当時國務院農業部糧食生産総局副局長。

陸(陸) 方〔女〕 Lu Fang

53年7月新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。

陸(陸) 榕 树(樹) Lu Jung-shu

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国致公党)。60年4月当時致公党広西自治区委員会副主任委員。南寧市政協会副主席。

栗 再 濫 Li Tsai-wên

山東省の人。現在46歳位。中共黨員。48年8月中華全国総工会執行委員、組織部部長。49年9月政治協商会議出席。53年5月中国工会第7次全国代表大会主席団員兼同団副秘書長(当時全国総工会辦公庁主任)、同大会で総工会第七期執行委員会主席団員、書記処書記。54年2月当時人民解放軍慰問代表団副総団長。8月第一期全国人民代表大会山東省代表。10月当時全国総工会副主席。56年1月中国オリンピック委員会委員。3月当時全国先進生産者代表会議準備委員会委員。同月西藏訪問中央代表団副団長兼第2分団団長。4月全国先進生産者代表会議主席団員。57年12月中国工会第8次全国代表大会において中華全国総工会第八期執行委員。58年4月当時中華全国総工会書記処書記。59年3月先進生

産者代表大会議準備委員会委員。4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国総工会代表)。政治協商会議第三期第1次全体会議において提案審査委員会委員。政治協商会議第三期第1次全体会議主席団員。61年1月山東省副省長に補選。

栗 在 山 Li Tsai-shan

元新4軍第5師参謀長。のち人民解放軍第4野戦軍13兵团副師長、柳州軍区副主任、竜州边防局長といわれる。53年7月新民主主義青年団第2次全国代表大会にて第二期中央委員。

栗 树(樹) 彬 Li Shu-pin

59年6月当時中華全国総工会体育部部长。9月國務院体育運動委員会委員。60年6月当時中国登山協会主席。

栗 德 萃 Li Tè-tsui

54年8月第一期全国人民代表大会熱河省代表。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

栗 又 文 Li Yu-wên

満洲生れ。現在54歳位。モスクワ大学卒業。49年8月~53年1月東北人民政府委員兼秘書長、当時中共中央東北局副書記。53年当時吉林省人民政府主席。54年8月第一期全国人民代表大会吉林省代表。55年2月吉林省省長。59年3月第二期全国人民代表大会吉林省代表。60年10月当時中共吉林省委書記処書記、吉林省長。

柳 亞(亜)子〔棄疾〕 Liu Ya-tzu

[Chi-chi] 1886~1958

江蘇省呉県の人。詩人。清末詩文の結社「南社」を主宰しつつ、革命運動に奔走。孫文の

同盟会に加入して北伐に参加。国民政府第二期、第四期、第五期中央監察委員。戦後人民政府委員。民主同盟執行委員。49年10月中央人民政府委員会委員兼政務院文化教育委員会委員。53年1月華東行政委員会副主席。53年1月～55年11月当時国民党革命委員会中央常務委員。54年8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。9月同大会第1次会議主席団員、同大会常務委員会委員。12月中ソ友好協会第2次全国代表会代表(国民党革命委員会)。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。3月国民党革命委員会第三期中央委員会常務委員。「蘇曼殊全集」(28年)「乗桴集」(29年)「明末史」などの編著がある。58年病死。

柳 雨 峰 Liu Yü-fêng

53年10月～55年12月当時中共駐カルカッタ総領事。59年1月～60年8月駐インドネシア使館参事官。

柳霞士登塔巴 Liu-sha Thupten-tarpa

西藏族。52年10月の国慶節に西藏致敬団団長として参列。53年3月スターリン追悼首都各界人民大会主席団員。6月中国仏教協会理事。55年3月西藏地方政府扎薩(高官の名称)として国務院全体会議第7次会議に列席。56年4月西藏自治区準備委員会全体委員。59年3月西藏叛乱事件により、西藏自治区準備委員会委員及び一切の職務を免ぜらる。

柳 鶴 圖 Liu Hé-tu

61年3月国府国防部新聞局長解任。台湾インガルス造船会社に就職。

柳 克 述 [劍霞] Liu Kè-shu

[Chien-hsia] 1905～

湖南省長沙の人。北京大学, ロンドン大学

卒業。28年北平日報主筆。29年～33年中央政治学校政治学講師。34年中央政治学校教授。35年～37年軍事委員会宣昌行轅。同広東行轅第2庁長。38年～39年湖北省政府秘書長。44年～50年立法委員。44年～48年最高国防会議議員。44年～50年国民党中央執行委員会常任委員。51年以来交通部政務次長。56年8月1956年度公務員高等試験試験委員。59年9月国際電気通信連合全権代表大会全権代表。60年8月交通部政務次長。

柳 士 英 Liu Shih-ying

55年2月湖南省人民委員会委員。56年2月国民党革命委員会第三期候補中央委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会候補委員。

柳 湜 Liu Shih

かつて陝甘寧辺区政府教育庁庁長。49年北京市人民政府教育局局長。中央人民政府政務院教育部視導司司長。52年8月同教育部副部長。54年11月国務院教育部副部長。12月政治協商会議第二期全国委員会委員(教育界)。55年11月アルバニア訪問中共文化代表団団長。

柳 青 Liu Ching

陝西省北部の人。作家。10数歳の時マルクスの共産党宣言を読み、35年の「一二・九」運動前後に抗日運動に参加し、後西安でパンフレットの編集に当たるといわれる。39年延安に赴き陝甘寧辺区文化協会勤務。ついで従軍、前線で戦闘し、傍ら8路軍の戦いを描写した短篇「集地雷」を発表、貧農の清算闘争を経験、この体験を素材にして長編小説「種穀記」および「銅牆鉄壁」を著す。53年10月中国作家協会理事。60年7月全国文芸工作者代表会主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

柳 大 网(綱) Liu Ta-wang

化学者。54年4月当時科学院秘書処勤務。55年5月科学院物理学数学化学学部委員。56年1月当時科学院应用化学研究所學術委員会委員。60年1月当時科学院化学研究所所長。

柳 野 青 Liu Yeh-ching

55年2月湖北省人民委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(教育界代表)。

隆 煜 Lung Yü

53年6月中国仏教協会理事。

隆 海 Lung Hai

53年6月中国仏教協会理事。

刘(劉) 阿 魯 子 Liu-a-lu-tzu

彝族。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。

刘(劉) 亞(亞) 休 Liu Ya-hsiu

53年6月中国仏教協会理事。

刘(劉) 亞(亞) 平 Liu Ya-ping

60年10月北京輕工業学院副院長。

刘(劉) 亞(亞) 雄 [女]

Liu Ya-hsiung

終戦前太岳行政主任公署第1行政專員公署專員。49年当時中共長春市委員会書記。4月中華全国民主婦女連合会執行委員、後同城市工作部部长。8月東北人民政府委員会委員。52年中央人民政府労働部副部長。53年4月全民主婦女連合会第二期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会長春市代表。58年4月当時労働部副部長。59年3月第二期全国人民代表大会吉林省代表。60年2月全国教育文

化衛生、体育等方面先進単位工作者代表会議準備委員会委員。6月全国文教先進工作者代表大会主席団員。60年7月当時労働部副部長。

刘(劉) 亞(亞) 樓 Liu Ya-lou

空軍上將。紅軍大西遷の際林彪の第1軍団第2師政治部主任。53年2月解放軍空軍司令。54年8月第一期全国人民代表大会解放軍空軍代表。9月国防委員会委員。12月中ソ友好協会総会第二期理事会理事。55年9月1級八一勳章、1級独立自由勳章および1級解放勳章。56年6月訪ソ。9月中共第八期中央委員会委員。59年4月国防委員会委員。5月中ソ友好協会第三期理事会理事。9月国務院国防部副部長。10月中国訪朝軍事友好代表団団員。61年12月訪越軍事友好副団長(団長叶劍英)。

刘(劉) 愛(愛) 悌 [女]

Liu Ai-ti 1936～

労働模範、青年団員、上海国营棉紗廠細紗女工。55年10月～11月中共見本市代表団工作員として来日。

刘(劉) 晏 春 Liu Yèn-chun

59年3月第二期全国人民代表大会河南省代表。

刘(劉) 偉(偉) Liu Wei

55年5月国務院地質部部長助理。

刘(劉) 維 毅 Liu Wei-i

60年9月南京郵電学院副院長。

刘(劉) 維 勤 Liu Wei-chin 1906～

38年濟華大学化学科卒業。48年～51年マリアナ州立大学に留学。50年6月碩士。52年1月博士。57年12月中共訪日中華医学總會代

表団員。

劉 維 熾 Liu Wei-chih 1892~

広東省人。ハワイ・ホノルル大学卒業。同盟会に加入。29年~31年京漢及滬杭甬鉄道局長。32年鉄道部次長。33年~36年工業部政務次長。35年以後国民党中央執行委員会委員。39年自由公債売却のため政府使節として渡米。40年~43年国民党海外党部部長。48年5月~11月の間第一期行政院に於て僑務委員会委員長。11月より49年3月の間中華民国第二期行政院に於て工商部部長に任ず。48年12月孫科内閣の交通部長。その後香港に移住。

劉(劉) 郁 民 Liu Yü-min

60年8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。

劉 毓 奇 Liu Yü-chi

(Low Yoke-kee) 1908~

福建省の人。シンガポール在住華僑。ゴム業。新業樹膠有限公司董事兼經理。56年7月シンガポール工商業貿易視察団ゴム組正組長として日本ついで中共を訪問。

劉(劉) 毓 中 Liu Yü-chung

60年8月中国文学芸術界連合会第三期委員会委員。

劉 毓 棠 [思召] Liu Yü-tang

[Ssu-chao]

58年4月国府駐カナダ国バンクーバー総領事。59年4月駐ウェリントン総領事。

劉(劉) 一 峯 Liu I-fêng

江西省の人。教育者。49年末中南軍政委員会委員兼江西省人民政府副主席。53年1月中南行政委員会委員。54年12月政治協商会議第

二期全国委員会委員(中国民主建国会)。55年1月政治協商会議第一期江西省委員会副主席。2月江西省人民委員会委員。

劉(劉) 允 中 Liu Yün-chung

53年4月当時甘肅省人民政府衛生庁庁長。54年12月甘肅省人民委員会委員。56年当時甘肅医科大学総監督次長。10月~11月アシア産業保健会議出席のため団長として来日。60年12月当時甘肅省科学技術委員会副主任。

劉(劉) 寅 Liu Yin

54年11月国務院第2機械工業部副部長。59年9月第1機械工業部副部長。60年9月第3機械工業部副部長。10月中朝科学技術合作議定書に調印。61年10月中朝科学技術合作委員会第4次会議中国代表団長として北鮮訪問。

劉(劉) 寅 夏 Liu Yin-hsia

54年11月最高人民法院審判員。55年2月最高人民法院審判委員会委員。58年6月右派分子の理由により最高人民法院審判委員会委員、審判委員の職務を罷免。

劉(劉) 蔭 福 [女] Liu Yin-fu

54年8月第一期全国人民代表大会天津市代表。

劉(劉) 云(雲) Liu Yün

53年5月中華全国総工会候補執行委員。54年4月当時広西省工会連合会副主席。57年12月中国工会第8次全国代表大会において中華全国総工会第八期候補執行委員。58年4月当時中国農業水利工会全国委員会副主席。

劉(劉) 云(雲) 鶴 Liu Yün-hê

60年8月当時建築工程技術情報局局長。

劉(劉) 云(雲) 波 Liu Yün-po

55年1月四川省人民委員会委員。

劉(劉) 永 業(業) Liu Yung-yeh

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。56年12月同第二期執行委員(福建省)。60年1月人民日報によれば改造の結果右派分子のレッテルを解除された由。

劉(劉) 永 生 Liu Yung-shêng 1895~

福建省永遠の人。少年時代は乞食、瓦職人、竹工、牧童。後に中共遊撃隊に参加。49年1月中国人民解放軍閩粵桂辺区縦隊司令。53年当時福建省人民政府委員兼福建軍区副司令員。54年8月第一期全国人民代表大会福建省福州市代表。55年2月福建省人民委員会委員。57年12月中国工会第8次全国代表大会において中華全国総工会第八期候補執行委員。58年4月当時中国紡織工会全国委員会副主席。59年2月福建省副省長。3月第二期全国人民代表大会福建省代表。60年7月当時福建省副省長。

劉(劉) 英 [女] Liu Ying

37年中共浙江省浙東委員会書記。40年蘇北指揮部政治部主任。41年1月新4軍第1師長兼政治委員。国民党に逮捕され44年釈放。55年1月国務院外交部部長助理。59年3月第二期全国人民代表大会河南省代表。9月外交部部長助理。

劉(劉) 英 源 Liu Ying-yüan

河北省富城寨の人。労働者出身。工場長。労働模範。30年間英米煙草会社包装工。46年哈爾濱「解放」後哈爾濱發電所に勤務。49年同所副所長。48年8月中華全国総工会執行委員。50年北京石景山發電所所長。7月中国電業工会全国委員会副主席。53年4月当時華北

電業管理局副局長。54年8月第一期全国人民代表大会北京市代表。58年4月当時中国電業工会全国委員会副主席。

劉(劉) 英 才 Liu Ying-tsai

52年12月当時ハルビン鉄道管理局副局長。

劉 英 潛 [夢天] Liu Ying-chün

[Mêng-tien]

59年6月当時国府駐ブラジル大使館参事官。

劉(劉) 榮(榮) 显(顯) Liu Jung-hsien

彝族。54年8月第一期全国人民代表大会雲南省代表。58年11月第二期全国人民代表大会雲南省代表(選)。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表(公告)。4月第二期人民代表大会第1次會議で「社会主義祖国の統一と民族の団結は各民族の最大の利益である」について合同発言。

劉(劉) 瀛 初 Liu Ying-chu

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。56年12月同第二期執行委員(貴州省)。

劉(劉) 焱 Liu Yèn

54年7月当時中国新民主主義青年団天津市委員会代表。

劉(劉) 王立明 [王立明] [女]

Liu Wang Li-ming [Wang Li-ming]

安徽太湖の人。19歳の時中国婦人代表として渡米。20年帰国。夫劉湛恩は滬江大学校長(暗殺)。49年政務院政治法律委員会委員。当時民主同盟中央委員。53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国婦女

連合会代表)。60年11月右派分子のレッテルを
除かれる(民主同盟中央委員)。

刘(劉) 恩 兰(蘭)〔女〕 Liu Ên-lan
59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員
(中国科学技術協会)。

刘(劉) 化 倫 Liu Hua-lun
55年2月当時中共駐アルバニア大使館3等
書記官。

刘(劉) 加 林〔女〕 Liu Chia-lin
53年6月中華全国青年連合会第二期全国委員
会委員。

刘(劉) 佳 Liu Chia 1916~
遼寧省の人。56年5月~6月訪日京劇代表
団副団長として来日。当時中国戯劇家協会理事。

刘(劉) 柯 Liu Kê
55年1月北京外国語学院副院長。60年11月
当時同副院長。

刘(劉) 家 祺 Liu Chia-chi
60年4月当時広東省帰国華僑連合会副主席。

刘(劉) 家 栋 Liu Chia-tung
53年5月~54年11月当時中共鞍山市委員会
副書記。

刘(劉) 华(華) Liu Hua
56年12月全国工商業連合会第二期執行委員
(雲南省)。58年11月雲南省人民委員会委員。

刘(劉) 华(華)香 Liu Hua-hsiang
江西省の人。現在53歳位。大西遷時代より
の中共黨員。53年1月綏遠省人民政府委員。

当時解放軍蒙綏軍区副司令。54年4月~55年8
月当時内蒙古軍区副司令。54年6月綏遠省人
民政府委員解任。59年3月第二期全国人民代
表大会軍隊代表。60年5月当時内蒙古軍区副
司令。

刘(劉) 嘉 树(樹) Liu Chia-shu
現在52歳。57年12月訪日中国化学工業視察
団団員。

刘(劉) 恢 先 Liu Hui-hsien
55年2月武漢長江大橋技術顧問委員会委員
(九三学社)。59年4月政治協商會議第三期
全国委員会委員。

刘(劉) 开(開)荣(榮)〔女〕 Liu Kai-jung
56年2月九三学社第四期中央委員会委員。

刘(劉) 开(開)基 Liu Kai-chi
53年12月当時中共山西省委員会農村工作部
副部長。54年4月当時同第1副部長。58年4
月~60年7月当時山西省副省長。

刘(劉) 开(開)渠 Liu Kai-chü
江蘇省蕭県の人。彫刻家。仏パリ美術専門
学校を卒業。帰国後杭州芸術専科学校教授兼
彫刻科主任。49年末~54年6月華東軍政委員
会文化教育委員会委員。53年10月中国文学芸
術界連合会第二期全国委員会委員。同月中国
美術家協会副主席。54年5月人民对外文化協
会理事。54年8月第一期全国人民代表大会浙
江省代表。55年6月ヘルシンキ世界平和大会
に参加。56年2月民主同盟第二期中央委員会
委員。58年4月当時中国美術家協会副主席兼
常務理事。59年3月第二期全国人民代表大会
浙江省代表。4月第二期人民代表大会第1次
會議で「印度干涉者の挑発を中国人民はもう
黙ってほっておくわけにいかない」について

合同発言。60年8月中国文学芸術界連合会第
三期全国委員会委員,中国美術家協会副主席。
作品「80師抗日陣亡將士記念塔」「成都無名英
雄銅像」「労働者農民レリーフ像」等。

劉 錯 Liu Chieh 1906~
広東省中山県の人。英オックスフォード、
米コロンビア各大学卒業。立法院秘書,駐英
大使館参事官を歴任。42年~45年駐米大使館
公使。45年~47年外交部次長。47年~48年国
連信託統治理事会中国代表。47年以降駐カナ
ダ大使。52年第7回国連総会中国代表。56年
11月第11回国連総会全権代表。59年8月第14
回同総会全権代表。60年2月第2次連合国海洋
法會議首席全権代表。4月トーゴラント国
独立慶賀特使。9月第15回国連総会全権代表。

劉 愷 鍾 Liu Kai-chung
江西永豊の人。現在58歳。東南大学文学士。
仏パリ大学法科博士院研究員。帰国後監察院
参事,行政院参事,第5組組長,陝西省政府委員
兼総統府行政改革委員会顧問,光復大陸設計
委員会委員等を歴任。61年1月監察院秘書長。

刘(劉) 皚 星 Liu Ai-hsing
59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員
(教育界)。

刘(劉) 皚 风(風) Liu Ai-fêng
48年華北人民政府教育部副部長。49年10月
中央人民政府政務院教育部辦公庁主任。52年
11月政務院高等教育部副部長。54年8月国家
計画委員会文教計画局局長。11月国務院高等
教育部副部長。56年3月国務院科学規画委員
会副秘書長。59年4月政治協商會議第三期全
国委員会委員(教育界代表)。9月教育部副部
長,体育運動委員会委員。60年6月全国文教先
進工作者代表大会主席団員,副秘書長。61年

7月ソ連全国高等教育関係者大会に出席。

刘(劉) 格 平 Liu Kê-ping
回族。49年10月中央人民政府委員会委員兼
政務院民族事務委員会副主任委員。53年1月
選挙法起草委員会委員。2月中央選挙委員会
委員。5月中国国民文化協進会主任。54年6
月当時中央民族学院副院長。8月第一期全国
人民代表大会天津市代表。9月同大会常務委
員会委員,同大会民族委員会主任委員。12月
~56年2月当時中共中央統一戦線工作部副部
長。55年3月中央民族学院院長。56年2月中
国亞洲團結委員会副主席。5月中国パキスタ
ン友好協会会長。9月中共第八期中央委員会
委員,兼中央監察委員会委員。57年7月第一
期全国人民代表大会第4次會議において「広
西僑族自治区および寧夏回族自治区の成立に
関する議案」の審査報告を行う。9月十月社
会主義革命40周年慶祝準備委員会委員。58年
10月寧夏回族自治区主席。59年3月第二期全
国人民代表大会寧夏回族自治区代表。4月同
大会第1次會議の主席団員。同常務委員会委
員。同民族委員会主任委員。60年3月当時中
共寧夏回族自治区委員会書記処書記。

刘(劉) 鶴 Liu Hê
53年5月迪化市抗美援朝分会主席。60年4
月当時中共ウルムチ市委員会書記処書記。

刘(劉) 学 勤 Liu Hsüeh-chin
中国国際貿易促進委員会職員。55年10月~
11月中共見本市代表团工作員として来日。

刘(劉) 学 文 Liu Hsüeh-wên
56年5月当時上海市公私合営大中華橡膠(ゴ
ム)廠総工程師。59年4月政治協商會議第三
期全国委員会委員(特別招請人士)。

劉 濶 才 Liu kuo-tsai
57年8月台湾省政府委員。

劉(劉) 干 Liu Kan
60年12月当時中共駐インドネシア国マカッサル領事。

劉(劉) 冠 英 Liu Kuan-ying
54年6月当時中央人民政府民族事務委員会辦公庁副主任。60年9月当時同職。

劉(劉) 咸 一 Liu Hsien-i
化学者。53年2月中国科学院訪ソ代表団員。55年1月北京工業学院副院長。60年9月西北工業大学副校長。

劉(劉) 貫 一 Liu Kuan-i
53年1月中国人民世界平和擁護委員会秘書長。2月当時抗米援朝総会秘書長。6月～12月ブダペスト、ウィーンの世界平和理事会に出席。54年5月対外文化協会常務理事。7月ベルリンの世界平和理事会特別会議に出席。8月第一期全国人民代表大会河北省代表。12月世界平和理事会ストックホルム会議に出席。55年1月ウィーンの世界平和理事会常務委員会に出席。6月ヘルシンキ世界平和大会に出席。7月外交学会第三期理事会理事。56年11月～57年1月全国人民代表大会代表団秘書長としてソ連、東欧訪問。

劉 漢 華 Liu Han-hua
広東省梅県の人。タイ国在住華僑。少年時代父と共にタイ国に移住、店員より身を起し乾発利出入口貿易有限公司、湄南保険倉庫有限公司、乾海輪船有限公司、中央運輸有限公司等を創設、また織布工場、ガラス工場(湄南玻璃製造廠)を経営、さらに泰華農民銀行

を創設しその副董事長。タイ国客属総会理事、進徳公立学校董事長、公立医院董事長、六神廠総監察、偷間連欵社董事長、タイ国中華総商会常務理事、タイ国訪華専使等を歴任。

劉(劉) 汉(漢)光 Liu Han-kuang
54年9月当時中国糧穀油脂出口公司(中共側)副經理。

劉(劉) 汉(漢)生 Liu Han-shêng
53年3月当時世界労連アジア・オーストラリア連絡局秘書長。59年9月地質部副部長。60年7月当時同職。

劉(劉) 岩 Liu Yèn
53年雲南省西雙版納傣族自治区人民政府副主席(漢族)。55年6月雲南省西雙版納傣族自治州副州長。

劉(劉) 雁 林 Liu Yèn-lin
55年2月鞍山市副市長。

劉(劉) 希 媛〔女〕 Liü Hsi-Yüan
59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。

劉(劉) 希 文 Liu Hsi-wèn
53年～55年8月当時中央人民政府対外貿易部第3局副局長。59年10月当時対外貿易部第4局副局長。60年4月中国アフリカ人民友好協会理事。61年10月当時対外貿易部第4局長。

劉 季 洪 Liu Chi-hung
北平師範大学卒、河南西北で学校長正中書局董事長、政治大学教育学系主任歴任。60年2月国立政治大学長(台湾)。

劉(劉) 季 平 Liu Chi-ping
49年当時蘇南人民行政公署副主任兼文教処処長。49年末～54年6月華東軍政委員会文化

教育委員会委員。54年1月上海市人民政府副市長。55年2月上海市副市長に再選。57年1月上海市副市長に3選(文教、衛生、気象、外事担当)。59年10月中共山東省書記処書記。6月全国文教先進工作者代表大会主席団員。

劉(劉) 其 人 Liu Chi-jèn
少将。54年7月当時中央人民政府人民革命軍事委員会総政治部副秘書長。55年9月1級独立自由勳章および1級解放勳章。56年9月中共第八期中央監察委員会候補委員。

劉(劉) 淇 生 Liu Chi-shêng
58年10月当時第1機械工業部第2局長。60年11月第3機械工業部副部長。

劉(劉) 毅 Liu I
50年11月北京に設立の国营中国工業器材公司責任者。

劉(劉) 儀(儀)民 Liu I-min
55年10月当時建築工程部中南工程管理総局水泥製管廠廠長。

劉(劉) 九 学 Liu Chiu-hsüeh
53年7月当時工業労働(安全生産)模範。54年8月第一期全国人民代表大会河南省代表。59年3月第二期全国人民代表大会河南省代表。4月同大会第1次会議で「我々は古い堅坑を若返えさせた」について発言。

劉(劉) 及 辰 Liu Chi-chèn
56年2月九三学社第四期中央委員会委員。

劉 馭 萬 Liu Yü-wan 1896～

湖北省宜昌の人。清華大学卒。21年～22年米国各大学(オベリン、ウィスコンシン、およびハーバード)に学ぶ。36年～46年太平洋問題研究所常任秘書。46年対日理事会副秘書長。46年～48年京城総領事。47年～50年国連朝鮮委員会中国代表。48年～49年駐韓外交代表、外交部顧問。50年駐日代表団副団長。51年国連代表団顧問。56年6月当時駐国連代表団辦事処処長。57年1月駐キューバ国公使。3月兼駐ハイティ国公使。57年9月駐キューバ国大使。61年1月駐韓国大使。著書「第1次大戦以来のギリシャの外交政策」。

劉(劉) 鏡 西 Liu Ching-hsi
55年1月北京政府学院副院長。60年9月当時中国政法学会理事。12月中国、カンボディア友好協会成立と共にその理事。

劉(劉) 仰 嶠 Liu Yang-chiao
60年4月当時中共湖北省委书记。4月全国文教先進工作者代表大会主席団員。

劉(劉) 曉 Liu Hsiao
湖南省湘潭県の人。34年1月江西省瑞金の中華ソヴェト臨時政府第2次全国代表大会にて中央執行委員。42年頃江蘇省委員会書記。45年中共第七期候補中央委員。49年当時中共上海市委員会第2書記。49年末～53年1月華東軍政委員会委員、兼人民監察委員主任。53年1月華東行政委員会委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員、同常務委員(中華全国総工会)。同月中ソ友好協会総会第二期理事。55年1月駐ソ大使。56年9月中共第八期中央委員会委員。59年1月ソ連共産党第21回大会出席、中国共産党代表団員。4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国共産党)、常務委員。5月中ソ友好協会第三期理事

会理事。60年11月ソ連の十月社会主義革命43周年記念式典出席中国党政府代表团団員。

劉 金 樟 Liu Chin-chang

福建省の人。ビルマ在住華僑。戦後船舶業を開業。国民党員として反共運動に携り、自由日報を財政的に援助しているといわれる。

刘(劉) 吟 庆(慶) Liu Yin-ching

55年2月熱河省人民委員会委員。

刘(劉) 君 实(實) Liu Chün-shih

55年2月湖南省人民委員会委員。

刘(劉) 群 先〔女〕

Liu Chün-hsien 1907～

江蘇省無錫県の人。24年綿織工。26年中共に入党。25年～27年の革命の際婦人労働運動を指導。27年武漢の第4次全国労働大会に出席。27年～30年モスクワに留学、同地で秦邦憲と結婚。30年帰国、中共中央女工部部長。33年江西中央ソヴェト区に入る。34年中共軍の大西遷に従い、陝西到着後は全「解放」区の労働者運動と合作社運動を指導。46年延安女子大学教育長。

刘(劉) 勁 Liu Ching

59年3月第二期全国人民代表大会湖北省代表。4月同大会第1次会議で「西藏人民は新しく生れた」について合同発言。

刘(劉) 型 Liu Hsing

52年～53年当時中共湖南省委員会秘書長。53年1月北京地質学院院長。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。9月農墾部副部長。華僑事務委員会委員。

60年2月全国教育と文化衛生、体育等方面先進単位と、先進工作者代表会議準備委員会委員。

劉 啓 光〔字、明遠。號、了然居士〕(原名侯朝宗) Liu Chi-kuang [Ming-yüan, Liao-ian] (Hou Chao-tsung) 1905～

台湾省嘉義県の人。戦前反日革命運動に参加。中国に亡命、軍事委員会政治部上校主任科員。42年～45年国民党台湾党部準備処を創設、軍事委員会台湾工作団主任。戦後台湾行政長官公署参事、新竹県長。46年華南商業銀行董事長(56年当時も在職)、台湾中華国貨公司、高雄百貨公司、台湾マッチ公司等を創設、その董事長、台北市商会理事長、行政院設計委員会委員、中央改造委員会工商運動委員会委員。51年～55年当時台湾省臨時省議會議員。

刘(劉) 启(啓)新 Liu Chi-hsi

49年末～54年9月東北人民政府人民監察委員会委員。56年2月国民党革命委員会中央委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。

刘(劉) 惠 之 Liu Hui-chih

54年11月最高人民検察院検察員。55年11月同院鉄路水上運輸検察院副検察長。57年12月当時最高人民検察院運輸検察院副検察長。右派分子として人民日報の「社説」で論難され、58年6月同様理由により最高人民検察院鉄路水上運輸検察院副検察長、最高人民検察院検察員の職務を罷免される。

刘(劉) 惠 宁(寧) Liu Hui-ning

55年2月広西省人民委員会委員。

刘(劉) 惠 农(農) Liu Hui-nung

55年1月武漢市副市長。12月当時中共武漢市委員会副書記。60年1月当時中共武漢市委書記、武漢市市長、漢口軍分区政治委員。

刘(劉) 惠 民 Liu Hui-min

55年3月山東省人民委員会委員。56年5月当時同省衛生庁副庁長兼山東省中医院(漢方医院)院長。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表。4月同大会第1次会議で「印度の政治家が当面する局面に対して賢明なる行動を取る様に希望する」について合同発言、「祖国の医薬宝庫は素晴らしいものを無尽に蓄えている」について発言。

刘(劉) 敬 宜〔本義〕 Liu Ching-i

[Pèn-i] 1898～

河南省開封の人。22年米シガン大学で航空機械研究。帰国後奉天航空処技師。26～7年当時南京飛行機修理廠廠長。日華事变勃発後渡米、中国空軍を代表して各種の軍事會議に出席、中国航空公司の總經理。49年11月中共に寝返り、中国民用航空公司總經理。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

刘(劉) 敬 之 Liu Ching-chih

53年6月当時中共中央東北局報刊(新聞、出版物)処副処長。

刘(劉) 敬 陶 Liu Ching-tao

55年3月当時中国絲綢公司(中共側)副經理。

刘(劉) 景 范(範) Liu Ching-fan

河北省の人。もと西北解放区辺区政府代理主席、兼人民監察委員会主任委員、財政經濟

委員会委員。49年10月中央人民政府政務院人民監察委員会副主任委員。52年政務院中央節約委員会秘書長。53年1月婚姻法貫徹運動委員会副主任兼秘書長。2月中央選挙委員会委員。4月政務院人民監察委員会副主任。54年8月第一期全国人民代表大会河南省代表。11月国務院監察部副部長。55年5月同院地質部副部長。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国共産党代表)。9月地質部副部長。

刘(劉) 景 平 Liu Ching-ping

河北省の人。54年8月内蒙古自治区人民政府委員、当時自治区人民政府財政經濟委員会副主任、商業部部長。55年4月同自治区人民委員会委員。57年3月北京市人民検察院、検察委員会委員。60年8月内蒙古自治区副主席。

刘(劉) 庆(慶)祥 Liu Ching-hsiang

53年12月当時山東省工業労働模範。54年4月当時全国工業労働模範。61年10月当時濟南市副市長。

刘(劉) 庆(慶)瑞 Liu Ching-ju

55年当時中共黨員、華東軍区民衆運動科長、中国国際貿易促進委員会職員。55年10月～11月中共見本市代表团工作員として来日。

刘(劉) 薊〔女〕 Liu Chi

53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。

刘(劉) 杰(傑) Liu Chieh

49年末～54年6月河南省人民政府委員。51年中南軍政委員会工業部部長。52年8月中央人民政府地質部副部長。54年11月国務院地質部副部長。55年5月国務院第3辦公室副主任。56年3月モスクワの総合原子核研究所設立に関する国際會議に出席。59年4月政治協商会

議第三期全国委員会委員（中国科学技術協会）。59年9月第2機械工業部副部長。60年9月第2機械工業部長。

刘(劉) 傑 三 [杰三] Liu Chieh-san
[Chieh-san]

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。55年11月当時湖北省工商連副主任委員。56年12月全国工商連第二期執行委員（湖北省）。

刘(劉) 建 华(華) Liu Chien-hua

54年7月第一期全国人民代表大会江西省代表。55年2月江西省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会江西省代表。61年1月当時中共江西省贛南区委員会第1書記。

刘(劉) 建 熙 Liu Chien-hsi

59年3月第二期全国人民代表大会貴州省代表。4月同大会第1次会議で「万水千山はただじっとしているのみ、これに鉄路を通じ天にもとどかせねばならぬ」について発言。

刘(劉) 建 勛 Liu Chien-hsün

59年2月～61年2月当時中共広西省僮族自治区委員会第1書記。

刘(劉) 建 勳(勳) Liu Chien-hsün

河北省の人。現在54歳位。大西遷以来の中共黨員。50年中南軍政委員会委員。52年湖北省政府委員、湖北軍区政治委員。53年1月中南行政委員会委員。54年当時湖北省委員会書記。6月湖北省人民政府委員を解任。8月第一期全国人民代表大会湖北省代表。58年5月中共第八期中央委員会候補委員。

劉 建 群 Liu Chien-chün 1902～

貴州省遵義の人。貴州法政専門学校卒業。

元中央軍官学校政治部主任、国民軍事委員会政訓処長、中央軍官学校政治部主任、三民主義青年団副書記長。30年国民政府軍政部参事。32年軍事委員会政治訓練処長。35年国民党第五期中央執行委員会委員長。36年広州行營辦公庁第2庁長。48年以来立法委員。50年～51年立法院長。

刘(劉) 建 章 Liu Chien-chang

54年11月国務院鉄道部副部長。55年2月中国鉄道代表団長として北鮮訪問。59年9月鉄道部副部長。60年6月全国文教先進工作者代表大会主席団員。

劉 兼 善 Liu Chien-shan 1896～

台湾省の人。正則英語学校、早稲田大学に学ぶ。22年～24年広東総司令部公報処長。23年～25年国立中山大学教授。27年～28年広東省蕉嶺県長。32年～36年南京軍官学校教授。46年台湾省参議会議員。46年～47年台湾大学教授。47年～53年台湾省政府委員。60年8月考試院考試委員。

刘(劉) 健 Liu Chien

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員兼西安市委員会書記。8月ブカレストの第4回世界青年と学生平和友誼懇親節に出席。

刘(劉) 健 农(農) Liu Chien-nung

53年9月ウィーンの世界労連第3回代表大会に出席。55年11月当時林業工会副主席。58年当時中国林業工会準備委員会副主任。

刘(劉) 献 林 Liu Hsien-lin

61年10月当時済南市副市長。

刘(劉) 显(顯)宜 Liu Hsien-i

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委

員（特別招請人士）。

刘(劉) 元 瑄 Liu Yüan-hsüan

55年1月西康省人民委員会委員。

刘(劉) 公 誠 Liu Kung-chêng

53年6月当時上海セメント工廠廠長。6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。55年7月ワルシャワの第5回世界青年および学生平和友誼交歓節に参加。

刘(劉) 公 然 Liu Kung-jan

55年1月天津市人民委員会委員。

劉 光 炎 Liu Kuang-yên 1904～

浙江省の人。復旦大学卒業。30年～40年中央日報記者。39年復旦大学および中央政治学校教授。40年国民党中央宣伝部弘報委員会委員。42年～45年三民主義研究委員会委員長。46年国立政治大学教授。47年～48年中央週刊発行人。48年以来新生報および中華日報論説記者。著書「ジャーナリズムへの入門」「新聞記事の書き方」「戦時下の新聞記者の訓練」。

刘(劉) 光 汉(漢) Liu Kuang-han

53年9月～56年12月当時中国糧穀油脂出口公司（中共側）副經理。

刘(劉) 光 金 Liu Kuang-chin

労働模範。53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。

刘(劉) 向 三 Liu Hsiang-san

53年12月当時政務院燃料工業部辦公庁主任。55年1月国務院燃料工業部部長助理。12月同院石炭工業部部長助理。58年4月当時石炭工業部副部長。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。9月石炭

工業部副部長。60年2月全国文教先進工作者代表大会主席団員。

刘(劉) 向 文 Liu Hsiang-wên

54年1月当時中共駐北鮮大使館2等書記官。

刘(劉) 効 陶 Liu Hsiao-tao

56年12月当時中国絲綢公司（中共側）副經理。

刘(劉) 庚 Liu Kêng

53年1月陝西省人民政府委員（人事庁庁長）。59年4月当時西安市長。60年5月当時中共西安市委委員会書記。

刘(劉) 厚 生 Liu Hou-shêng

53年7月当時上海市人民政府文化事業管理局芸術事業管理处副処長。55年1月当時中国戯劇家協会常務理事。

刘(劉) 昂〔女〕 Liu Ang

59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。9月總理辦公室副主任。60年2月国務院總理辦公室公室副主任を免ずる。

刘(劉) 洪 河 Liu Hung-hé

53年7月ウィーン世界教育工作者代表大会に出席。当時中国教育工会河北省工作委員会主任。

刘(劉) 洪 达(達) Liu Hung-ta

54年11月労働模範。8月第一期全国人民代表大会遼寧省代表。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

刘(劉) 洪 濤 Liu Hung-tao

55年1月政治協商会議第一期河北省委員会副主席。2月河北省人民委員会委員。

劉 浩 春 Liu Hao-chun

61年当時交通大学原子研究所（在台湾）教務長兼教授。

刘(劉) 浩 天 Liu Hao-tien

中將。60年5月当時南京駐屯部隊首長。

刘(劉) 耕 园(園) Liu Kêng-yüan

54年12月当時中共駐チェコスロヴァキア大使館3等書記官。

刘(劉) 崗 Liu Kang

55年12月当時中共新疆ウイグル自治区疏附県委員会書記。

刘(劉) 兴(興) Liu Hsing

55年2月湖南省人民委員会委員。

劉 兴(興)元 Liu Hsing-yüan

湖南省の人。中將。現在46歳位。52年人民解放軍中南軍区幹部部部長。54年広州軍区副政治委員。54年2月当時第4野戦軍幹部部部長。55年当時広州軍区政治委員。56年2月人民解放軍広州駐屯軍指導機関責任者。

刘(劉) 兴(興)胜(勝) Liu Hsing-shêng

59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。(広州地区部隊)中校。

刘(劉) 鴻 文 Liu Hung-wên

53年1月当時中共河南省委員会統一戦線工作部副部長。55年2月河南省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会河南省代表。60年4月当時中共河南省委員会常務委員、政協河南省委員会副主席。中国アフリカ人民友好協会理事。

刘(劉) 剛 Liu Kang

54年4月当時中共河南省委員会第3副書記。

60年8月西北工業大学副校長。

刘(劉) 克 Liu Kè

54年5月当時人民解放軍鉄道兵技術副司令。大校。

刘(劉) 克 屏 Liu Kè-ping

60年3月ハルビン建築工程学院副院長。

刘(劉) 克 凡 Liu Kè-fan

60年1月当時中国イスラム教経学院秘書長。中国イスラム教徒巡礼団副団長。

刘(劉) 克 林 Liu Kè-lin

53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。

劉 國 運 Liu Kuo-yün 1908~

湖南省衡陽の人。29年中央軍官学校卒業。30年空軍軍官学校第一期卒業。36年陸軍大学卒業。40年~42年空軍軍官学校教育課長代理。43年空軍第3路軍副司令、航空委員会参謀処長。45年空軍第4路軍司令、同第3路軍司令。48年空軍総部副参謀長。49年~52年参謀長。52年~54年7月国防部参謀次長、空軍中將。

刘(劉) 国 鈞 Liu Kuo-chün

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。55年2月江蘇省人民委員会委員。11月江蘇省工商連副主任委員。56年12月全国工商連第二期執行委員。58年10月江蘇省副省長。59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。

刘(劉) 国 珍 Liu Kuo-Chên

55年7月当時中共西藏工作委員会秘書。

刘(劉) 国 樑 Liu Kuo-liang

54年1月当時天津鉄道管理局局長。

刘(劉) 今 生 Liu Chin-shêng

56年3月中国国際貿易促進委員会対外貿易仲裁委員会委員。56年12月当時中国対外貿易運輸公司經理。

刘(劉) 昆 水 Liu Kun-shui

54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(合作社)。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(合作社)。

刘(劉) 崑 Liu Kun

53年6月当時中国新民主主義青年団中央青年工作部副部長。7月同青年団第二期中央委員。55年8月中国煤礦(炭鋳)工会第二期全国代表大会代表。

刘(劉) 济(濟)川 Liu Chi-chuan

55年5月当時中共江蘇省六合県委員会副書記。

刘(劉) 济(濟)蓀 Liu Chi-sun

55年2月湖北省副省長。58年4月~60年7月当時湖北省副省長。

刘(劉) 隴 Liu Tsé

56年1月政治協商会議第二期全国委員会委員(特別招請人士)。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

劉 士 毅 [任天] Liu Shih-i

[Jèn-tien] 1890~

江西省都昌の人。10年北洋陸軍速成学校卒業。17年~22年日本陸軍砲工学校、砲兵射撃学校、東京帝大造兵科卒業。27年第14軍軍長兼第2師師長、軍事委員会教育処長。32年~

37年中央軍事政治学校第1分校副校長兼教育長。37年第31軍長。38年武漢軍訓部次長。46年国防部次長。48年戦略顧問兼華中軍政長官公署政治部委員。49年総統府参軍長。52年4月総統府戦略計画研究委員会主任委員。56年以来総統府国策顧問。

刘(劉) 士 元 Liu Shih-yüan

56年4月西藏自治区準備委員会辦公庁副主任。

刘(劉) 子 奇 Liu Tzu-chi

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

刘(劉) 子 毅 Liu Tzu-i

55年2月貴州省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会貴州省代表。

刘(劉) 子 义(義) Liu Tzu-i

陝西省の人。現在47歳位。日華事変中は晋察冀辺区第3分軍区第18団長。53年1月陝西省人民政府委員(公安庁副庁長)。54年12月陝西省人民委員会委員。

刘(劉) 子 久 Liu Tzu-chiu 1901~

山東省広饒県の人。日華事変中は中共淮北蘇皖辺区委員会書記。45年中共第七期候補中央委員。49年9月政治協商会議第一期全国委員会委員。50年政務院財政經濟委員会委員。当時中華全国総工会政策研究室主任。8月中国教育工会全国委員会副主席。53年5月総工会第七期執行委員会主席団委員、書記処書記、文教部部長。54年8月第一期全国人民代表大会山東省代表。10月総工会副主席。55年2月工会代表団団長としてビルマ訪問。4月國務院労働部副部長。56年9月中共8全大会で「賃金改革の状況と問題」と題して発言。57年12月中国工会第8次全国代表大会において。

中華全国総工会第八期執行委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（中華全国総工会代表）。9月労働部副部長。

劉 子 建 Liu Tzu-chien

59年7月当時ピッツバーグ大学教授。

劉(劉) 子 厚 Liu Tzu-hou

河北省の人。日華事変中予鄂辺区行政公署財政処長。49年末湖北省人民政府委員、当時中共湖北省委員会組織部長、中南軍政委員会人民監察委員会委員。51年湖北省人民政府副主席。53年1月中南行政委員会委員。3月～55年7月当時中共湖北省委員会第2書記。54年8月湖北省人民政府主席。55年2月湖北省省長。58年10月河北省省長。5月中共第八期中央委員会候補委員（補選）。12月当時中共河北省委員会書記。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。4月同大会第1次會議で「十分に有利な条件を利用して今年の食糧と綿花の生産目標を実現しよう」について発言。61年10月当時中共河北省書記、河北省省長。

劉(劉) 子 載 Liu Tzu-tsai

53年5月当時中共中央東北局宣伝部副部長。53年～54年9月東北行政委員会文化教育委員会副主任。54年11月國務院高等教育部副部長。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（教育界代表）。同委員会第一次全体會議主席団員。59年9月教育部副部長。

劉(劉) 子 文 Liu Tzu-wên

四川省人。53年当時華東行政委員会公安部長、陳毅と親交あり。61年ジュネーブにおけるラオス関係国際會議中共代表団員。

劉(劉) 子 余 Liu Tzu-yü

61年1月当時國務院教育部办公厅副主任。

劉(劉) 子 林 Liu Tzu-lin

戦闘英雄。53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。54年8月第一期全国人民代表大会西南軍区代表。

劉(劉) 之 綱 Liu Chih-kang

江西省の人。千葉医科大学卒業。南洋医大、江蘇医大等の教授歴任。49年末～53年1月中南軍政委員会委員。53年1月中南行政委員会委員。54年7月第一期全国人民代表大会江西省代表。55年2月江西省人民委員会委員。56年2月国民党革命委員会中央委員。58年12月同第四期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会江西省代表。

劉(劉) 次 玄 Liu Tzu-hsüan

55年2月吉林省人民委員会委員。56年12月全国工商連第二期執行委員（吉林省）。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（中華全国工商業連合会代表）。

劉(劉) 志 堅 Liu Chih-chien

中將。53年2月～54年2月当時人民革命軍事委員会総政治部宣伝部部長。55年7月人民解放軍総政治部宣伝部部長。9月1級八一勳章、1級独立自由勳章および1級解放勳章。

劉(劉) 志 保 Liu Chih-pao

56年3月当時中共河南省武安県委員会副書記。

劉(劉) 芝 明 Liu Chih-ming 1906～

遼東省の人。中共地下工作員、中央党学校の教育副主任および主任を歴任といわれる。45年～49年中共中央遼東分局宣伝部部長、中

共中央東北局文化委員会書記、東北文化協会主任等の各職を歴任。49年8月～53年1月東北人民政府委員。53年1月～54年9月東北行政委員会委員兼文化教育委員会副主任。53年9月政務院文化部副部長。55年5月國務院文化部副部長。

劉(劉) 思 孝 Liu Ssu-hsiao

54年4月当時寧夏省蒙古自治区人民政府委員。

劉(劉) 思 慕 Liu Ssu-mu

中共中央華南局の機関誌といわれる香港発行「群衆」誌の連続執筆者。中共の対日問題評論家。「日本工人運動の攻防戦」「迅速準備対日和約」等の論文掲載。54年8月第一期全国人民代表大会広東省代表。55年7月中国人民外交学会第三期理事会理事。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会広東省代表。4月同大会第1次會議で「文教事業の徹底的革命」について合同発言。

劉 師 舜 [琴五] Liu Shih-shun

[Chin-wu] 1900～

江西省宜豊の人。北京清華学校卒業。21年～25年米ジョンズホプキンス、ハーバード、コロンビアの各大学に学び、博士号あり。25年～27年清華大学教授。27年外交部条約委員会専任委員。32年～41年外交部欧米司司長。30年～32年立法委員。32年外交部國際司次長。42年～44年駐カナダ公使。44年～47年同大使。47年～49年翁内閣の外交部政務次長。49年～52年国連安保理事会中国代表団員。52年国連第7回大会中国代表。56年4月駐メキシコ大使に特任。駐国連信託統治理事会代表を免ず。58年3月駐メキシコ大使を免ずる。著書「領

事裁判権問題」。

劉 誌 軒 Liu Chih-hsüan

広東省南海県の人。キューバ在住華僑。国民党駐キューバ総支部執行委員会書記長、三民主義青年団キューバ区隊長、中華総会館副主席、国民政府立法委員等を歴任。60年11月当時国府立法委員。

劉 峙 Liu Shih 1892～

江西省の人。陸軍大將。16年保定軍官学校卒業。27年～28年第1軍軍長。29年国民党中央執行委員。30年～35年河南省政府主席。37年～38年第1戦区副司令兼第2集団軍総司令。39年～45年重慶衛戍地区総司令。45年2月第5戦区総司令。その後鄭州治安公署主任。48年6月徐州掃共総司令。49年1月華東掃共総司令罷免。55年～60年当時総統府国策顧問。

劉(劉) 持 鈞 Liu Chih-chün

59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。4月同大会第1次會議で「河北省の紡織工業の空前の躍進」について発言。

劉(劉) 慈 愷 Liu Tzu-kai

54年6月遼東省人民政府委員。55年2月吉林省人民委員会委員。58年7月吉林省副省長（再選）。

劉(劉) 錫 瑛 Liu Hsi-ying

54年3月当時天津市各界人民代表會議協商委員会副主席。12月政治協商會議第二期全国委員会委員（教育界）。55年3月政治協商會議天津市第一期委員会副主席。56年2月九三学社第四期中央委員会委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（教育界）。

劉(劉) 錫 五 Liu Hsi-wu

54年9月まで吉林省人民政府委員。56年1月

政治協商會議第二期全国委員会委員（中国共産党）。9月中共第八期中央監察委員会委員（副書記）。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（中国共産党），同常務委員。

刘(劉) 錫三 Liu Hsi-san

55年2月広西省人民委員会委員。60年5月当時鞍山市副市長。

刘(劉) 若明 Liu Juo-ming

55年3月中共駐ポーランド大使館参事官。

刘(劉) 树(樹)勛(勳) Liu Shu-hsün

59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。61年10月当時南京市副市長。

刘(劉) 秀实(實) Liu Hsiu-shih

55年2月河北省人民委員会委員。

刘(劉) 秀梅〔女〕 Liu Hsiu-mei

陝西省の人。現在39歳位。53年1月当時綏遠省民主婦女連合会主任。53年1月～54年6月綏遠省人民政府委員。54年8月内蒙古自治区人民政府委員（同政府人事部副部長）。同月第一期全国人民代表大会内蒙古自治区代表。59年3月第二期全国人民代表大会内蒙古自治区代表。

刘(劉) 秀风(風) Liu Hsiu-fêng

回族。広西省の人。医師。54年9月広西省人民政府委員（広西省南寧市人民政府委員）。55年2月広西省人民委員会委員。

刘(劉) 秀峯 Liu Hsiu-fêng 1911～

河北省完県の人。24年中国共産主義青年団に加入し、学生運動を指導。26年保定で逮捕投獄。出獄後完県中共県委員会書記。その後

天津で地下工作、逮捕投獄。35年出獄、河北省委員会組織部長。日華事変勃発後、抗日義勇軍を組織してゲリラ活動。後延安に赴く。45年中共張家口市委員会書記。ついで張家口市参議会議長。49年天津市人民政府副市長。53年1月～54年9月華北行政委員会副主席。53年3月当時中共中央華北局委員。11月～54年3月当時中共中央華北局第3副書記。54年9月国務院建築工程部副部長、ついで建築工程部部長。12月政治協商會議第二期全国委員会委員。55年11月建築工事視察団員として訪ソ。56年9月中共8全大会で「当面の基本建設における3つの問題」と題して発言。58年4月当時建築工程部部長。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。3月先進生産者代表会議準備委員会委員。4月建築工程部部長。60年7月当時同職。

刘(劉) 秀峯 Liu Hsiu-fêng

55年2月山西省高級人民法院院長。58年12月同（再選）。

刘(劉) 聚奎 Liu Chü-kui

河南省の人。長く人民解放軍の師団政治委員。49年末四川省川北人民行政公署副主任。53年1月西康省人民政府副主席。

刘(劉) 叔鶴〔女〕 Liu Shu-hè

56年2月中国国民党革命委員会候補中央委員。58年12月同第四期中央委員会候補委員。

刘(劉) 淑清〔女〕 Liu Shu-ching

56年1月政治協商會議第二期全国委員会委員（特別招請人士）。56年12月全国工商業連合会第二期特別招請執行委員。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。4月同大会第1次會議で「人民公社よりいいもの

はない」について発言。

刘(劉) 述周 Liu Shu-chou

55年5月政治協商會議上海市第一期委員会副主席。3月当時中共上海市委員会委員。12月第一期全国人民代表大会上海市代表に補選、上海市副市長。10月～56年9月当時中共上海市委員会統一戦線工作部部長。56年9月中共8全大会で「党外人と協力を適切に行うべし」と題して発言。57年1月上海市副市長に再選。（商工、行政、改造、民族、華僑、宗教担当）。59年3月第二期全国人民代表大会上海市代表。60年7月当時上海市副市長。

刘(劉) 述文 Liu Shu-wên

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（中国科学技術協会）。

刘(劉) 春 Liu Chun

49年10月中央人民政府政務院民族事務委員会委員、当時中共内蒙古工作委員会副書記兼組織部部長。52年11月民族事務委員会副主任。53年～54年6月当時北京中央民族学院副院長。54年8月第一期全国人民代表大会貴州省代表。同月内蒙古自治区人民政府委員を解任。11月国務院民族事務委員会副主任。56年2月中央標準語普及工作委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。9月民族事務委員会副主任兼委員。60年7月当時民族事務委員会副主任。

刘(劉) 俊秀 Liu Chün-hsiu

54年7月第一期全国人民代表大会江西省代表。55年2月江西省人民委員会委員。56年1月当時中共江西省委員会第2副書記。59年3月第二期全国人民代表大会江西省代表。

刘(劉) 俊峰 Liu Chün-fêng

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

刘(劉) 儁 Liu Chün

55年2月湖北省人民委員会委員。

刘(劉) 順元 Liu Shun-yüan

52年12月華東行政委員会副秘書長兼直屬機關業余政治学校校長。55年2月江蘇省副省長。56年9月中共8全大会で「江蘇省の工業と資源の潜在力を充分に發揮させよ」と発言、当時中共江蘇省委員会書記。58年4月当時江蘇省副省長。

刘(劉) 汝械 Liu Ju-yü

54年11月最高人民検察院検察員。58年6月右派分子の理由により、最高人民検察院検察員の職務を罷免。

刘(劉) 恕 Liu Shu

61年4月中共駐パキスタン大使館商務参事官。

刘(劉) 舒侠 Liu Shu-hsia

55年8月当時太原市副市長。

刘(劉) 少华(華) Liu Shao-hua

61年4月北京鋼鉄学院副院長。

刘(劉) 少奇〔胡服〕 Liu Shao-chi

[Hu-fu] 1898～

湖南省寧郷県に生まる。20年社会主義青年団に加入。21年中国共産党成立直後入党。22年中国労働組合書記部の工作に従事。同年秋江西省萍郷炭鉱区安源労働組合の労働運動を指導、後に同組合会長。この闘争により、労働

運動指導者として注目され始める。25年5月広州の第2次全国労働大会で中華全国総工会を組織、副委員長。五・三〇事件に上海で闘争を指導。同年冬広州に帰り総工会を指導。26年9月北伐軍の武漢到着後、武漢で湖北総工会工作を担任。27年革命失敗後、国民党支配地区における地下工作に転じ、労働運動の指導を継続。32年秋江西ソヴィエト区に入り、全国総工会工作を担任。35年末大西遷完了後北京その他の国民党支配地区で労働運動、学生運動を指導。抗日民族統一戦線工作を推進。36年～42年中共中央北方局書記、中原局書記、華中局書記を歴任。この間新4軍解散後の再建工作を指導。43年中共中央書記処書記および中国人民革命軍事委員会副主席。45年中共第七期中央委員、中央政治局副主席、中央委員会書記。45年5月中共7全大会で党規約改正について報告（「党を論ず」）。48年8月中華全国総工会名誉主席。11月「国際主義と民族主義」を発表。49年9月政治協商会議第一期全国委員会常務委員。10月中央人民政府副主席。人民革命軍事委員会副主席、中ソ友好協会総会第一期会長。52年10月ソ連共産党第19回大会に中共代表として出席。53年1月憲法起草委員会委員。2月中央選挙委員会主席。54年8月第一期全国人民代表大会北京市代表。9月同大会常務委員会委員長。56年9月中共第八期中央委員会委員、同副主席、中央委員会中央政治局委員、同常務委員会委員、中共8全大会第1回会議で中央委員会を代表して「政治報告」。58年5月中共8全大会第2回会議で中央委員会を代表して「活動報告」。59年3月第二期全国人民代表大会北京市代表。4月中華人民共和国主席、国防委員会主席。9月中華人民共和国成立10周年祝賀論文「マルクス・レーニン主義の中共における勝利」を雑誌「平和と社会主義の諸問題」に発表。10月中国共産党と日本共産党の共同声明に調印（北京）。

60年1月中ソ友好集会（モスクワ）で国際共産主義運動の団結強化について演説。9月中国ギニア友好条約及びセクトーレ・ギニア大統領との共同コミュニケに調印。11月中国党政代表团団長として81カ国共産党労働者党代表者会議（モスクワ）に参加。12月シアヌーク・カンボディア元首との共同声明に調印（北京）。61年8月ヌクルマ・ガーナ大統領との共同コミュニケに調印（北京）。10月中共ネパール国境条約に調印（北京）。

刘(劉) 少 卿 Liu Shao-ching
日華戦時代新4軍第5師参謀長。55年9月1級独立自由勳章、1級解放勳章。

刘(劉) 少 俊 Liu Shao-chün
54年11月～58年9月最高人民検察院検察員。60年7月当時同職。

刘(劉) 少 儻 Liu Shao-tang
55年2月江蘇省高級人民法院院長。

刘(劉) 少 白 Liu Shao-pai
晋綏辺区において中共の反蔣介石政策、土地改革等に積極的に努力した人。55年2月政治協商会議第一期山西省委員会副主席。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

刘(劉) 少 文 Liu Shao-wèn
中將。55年9月1級八一勳章および1級解放勳章。

刘(劉) 尙 之 Liu Shang-chih
54年8月まで福建省人民政府委員。56年10月國務院司法部部長助理。

刘(劉) 承 釗 Liu Chêng-chao
53年1月華西大学校長兼教授。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。55年5月中国科学院生物学地学学部委員。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。4月第二期人民代表大会第1次会議で「中国科学技術協会は国民経済計画の実現のために闘おう」について合同発言。同会議で「又紅又專の路線を歩まなければならない」について発言。

刘(劉) 昌 Liu Chang
55年8月当時人民解放軍内モンゴル軍区政治部主任。少將。

刘(劉) 昌 汉(漢) Liu Chang-han
55年12月当時國務院 鉄道部設計 総局副局長。中蒙ソ鉄道国際連絡開通記念に中共代表団員として参加。

刘(劉) 昌 义(義) Liu Chang-i
59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

劉 捷 Liu Chieh
江蘇省の人。60年12月当時香港新生晚報編集長。

刘(劉) 祥 綸 Liu Hsiang-lun
61年9月現在中共駐北鮮大使館参事官。

刘(劉) 振 尧(堯) Liu Chên-yao
53年5月当時中共黒竜江省委員会工業部副部長。

刘(劉) 振 国 Liu Chên-kuo
54年1月当時西藏軍区政治部主任。

劉 振 聲 Liu Chên-shêng 1894～
台湾省花蓮県の人。台湾農業専科学校卒業。花蓮製糖工場副工場長、東台区合会儲蓄公司理事長。台湾糖業公司技師、顧問、花蓮県参議会議長。東台湾礦業開発公司理事長、花蓮区合会儲蓄公司理事長、国民大会代表、台湾省政府委員を歴任。54年6月台湾省政府委員留任。57年8月台湾省政府委員解任。

刘(劉) 振 亭 Liu Chên-ting
53年11月全国 工商業連合会 第一期執行委員。56年12月同第二期執行委員(遼寧省)。

劉 振 東 [鐸山] Liu Chên-tung
[Tuo shan] 1901～

山東省黄県の人。米コロンビア大学経済学博士、英ロンドン大学および仏パリ大学において研究。中国経済学社、中国地政学会、学芸学社、中国社会科学社、政治評論社等の学術団体に加入。広州国立中山大学、国立中央大学教授を歴任。41年～45年財政部煙草専売局長。46年～48年国家経済委員会委員。48年立法委員、中央政治学校教務副主任兼財政系主任。政府専売計画委員会秘書長。60年11月当時立法委員。著書「中国幣制改革問題与有限銀本位制」「新生活運動与国民経済」「中国における所得稅問題」。

刘(劉) 振 邦 Liu Chên-pang
53年8月当時中共武漢市委員会紡織工業委員会書記。56年1月当時河北省農林庁林業局局長。

劉 振 鵬 [寄春] Liu Chên-pêng
[Chi-chun]
59年6月当時国府駐フィリピン国大使館参事官。11月駐ギリシア大使館参事官。

劉 眞 [白如] Liu Chên
[Pai-ju] 912~

安徽省鳳台の人。33年武漢大学卒業。日本東京高等師範学校卒業。42年国立湖北師範学院教授。48年立法委員、陳誠の幕僚等を歴任。49年~55年台湾省立師範学院長。55年台湾師範大学校長。56年当時中国語文学会責任者。56年~57年6月当時省立師範大学校長。三民主義學術研究会責任者。57年8月台湾省政府委員兼教育庁長。10月日本世界教育會議代表団長として来日。著書「教育行政」「新式測驗編造法」「儒家倫理思想概要」。

刘(劉) 进(進)中 Liu Chin-chung
55年7月中国人民外交学会第三期理事會理事、副秘書長。

刘(劉) 震 Liu Chên
53年1月東北人民政府政務委員解任。58年5月中共第八期中央委員会候補委員。

刘(劉) 仁 Liu Jên 1909~
四川省の人。終戦前中共中央北方局北方分局組織部長、中共北京市委員会副書記。51年2月北京市人民政府委員会委員、北京市各界人民代表會議協商委員会副主席。55年2月北京市人民委員会委員。6月当時政治協商會議北京市委員会主席。55年7月~56年9月当時中共北京市委員会第2書記。56年9月中共第八期中央委員会候補委員、中共8全大会で「首都の社会主義改造と建設問題について」発言。60年以降人民解放軍北京守備司令を兼任。

刘(劉) 仁 术(術) Liu Jên-shu
61年4月国務院参事。

劉 瑞 恒 [月如] Liu Jui-hêng
(J. Heng Liu), [Yüeh-ju] 1890~

河北省天津の人。天津北洋大学卒業。15年米ハーバード大学医学博士。帰国後上海赤十字病院医官、協和医学校医科部長、同副校長、中国医学協会長。28年~30年国民政府衛生部常務次長、同部長、衛生署長、禁煙委員会会長、編訳館細菌学免疫学の名詞審査委員。30年~38年中国医学協会会長。36年科学事業臨時協助委員会委員。44年~45年駐米大使館中国救済事務組員。46年以来中国医学援助局医務局長。58年5月世界衛生組織10周年記念会及び第11回期世界衛生大会出席中華民国首席代表。

刘(劉) 瑞 龙(龍) Liu Jui-lung
江蘇省南通県の人。ソ連留学。28年中共第六期中央委員。後東南幹部訓練班主任。41年皖南事変後、華中淮北蘇皖辺区党委員会委員兼同辺区行政公署主任。中共中央華中局統一戦線工作部委員。45年3月淮北建設学院院長。50年~54年6月華東軍政委員会土地改革委員会副主任。50年当時中共中央華東局農村工作委員会書記、中共上海市委員会委員。52年8月中央人民政府農業部副部長。54年11月国務院農業部副部長。55年3月農業訪問団団長としてビルマ訪問。58年4月~60年11月当時農業部副部長。59年6月「“八字憲法”農業大躍進の農耕法」と題する論文を発表(人民中国6月号)。9月論文「農業八字憲法の形成と発展」を発表(人民日報25日)、華僑事務委員会委員。農業部副部長。60年1月論文「1960年の農業戦線」を発表(紅旗2号)。61年1月免農業部副部長、中共中央華東局書記と伝えられる。

刘(劉) 崇 乐(樂) Liu Chung-yüeh
54年8月第一期全国人民代表大会福建省福

州市代表。55年5月中国科学院生物学地学学部委員。58年11月雲南省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会福建省代表。

刘(劉) 世 梅 [女] Liu Shih-mei
労働模範(セメント工)。53年4月~5月総工会の派遣でポーランドのメーデー参加。54年8月第一期全国人民代表大会北京市代表。

刘(劉) 正 文 Liu Chêng-wên
55年1月黒竜江省高級人民法院院長。

刘(劉) 正 良 Liu Chêng-liang
59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。

刘(劉) 生 标(標) Liu Shêng-piao
59年6月国務院国家計画委員会委員。

刘(劉) 成 鵬 Liu Chêng-pêng
59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国致公党)。

刘(劉) 成 棟(棟) Liu Chêng-tung
現在51歳。55年1月~56年11月国務院林業部副部長。56年10月同院森林工業部副部長。57年10月訪日中国農業技術団副団長。当時ハルビン林学院院長。

刘(劉) 西 尧(堯) Liu Hsi-yao
53年12月当時中共湖北省委員会第1副書記。58年11月国務院科学技術委員会副主任。59年9月科学技術委員会副主任。60年7月当時同職。

刘(劉) 西 元 Liu Hsi-yüan
53年6月中華全国民主青年連合会常務委員。7月中国新民主主義青年団第二期中央委員会

常務委員。10月当時中央人民政府人民革命軍事委員会総政治部青年部副部長。55年9月1級解放勳章。8月~56年6月の間に第一期全国人民代表大会湖北省代表に補選。56年5月当時青年団中央委員会書記処書記。9月当時中華全国民主青年連合会副主席。57年3月青年代表団団長として来日。58年4月~60年6月当時中華全国民主青年連合会副主席。59年3月第二期全国人民代表大会湖北省代表。4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中華全国青年連合会代表)、常務委員。「五四」40周年記念準備委員会委員。全国人民代表大会にて法案委員会委員。10月日本各界中国建国10周年祝賀代表団と中国側7団体との共同声明に調印。

刘(劉) 星 Liu Hsing
50年~54年9月西南軍政委員会財政經濟委員会委員。54年9月国務院国家計画委員会委員。11月同院国家建設委員会委員。56年11月同副主任。

刘(劉) 星 垣 Liu Hsing-yüan
59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。

刘(劉) 清 揚 [女] Liu Ching-yang
河北省天津の人。五四運動の時学生運動に参加。後北平女子師範大学入学、後渡仏苦学。44年9月~56年1月民主同盟中央委員。50年~54年8月中央人民政府政務院文化教育委員会委員。53年1月婚姻法貫徹運動委員会委員。4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。54年7月当時中ソ友好協会理事。8月第一期全国人民代表大会河北省代表。12月政治協商會議第二期全国委員会委員(社会福利救済団体)。同月中ソ友好協会総会第二期理事會理事。55年2月河北省人民委員会委員。6月~

ルシンキの世界平和大会に出席。10月当時紅十字総会副秘書長。11月婦人代表団員としてパキスタン訪問。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。58年4月当時中国婦女連誼会副主席。中華人民共和国全国婦女連誼会副主席。12月中国民主同盟第三期中央常務委員会常務委員。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。4月同大会法案委員会委員。政治協商会議第三期全国委員会委員（社会救济福利団体）、常務委員。5月中ソ友好協会第三期理事会理事。60年6月当時中国全国婦女連誼会副主席。61年10月中国紅十字会副会長。

刘(劉) 盛 田 Liu Shêng-tien

59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

刘(劉) 靖 宇 Liu Ching-yü

52年5月当時中共駐ルーマニア大使館参事官。53年12月当時外交部ソ連東欧司専員。54年1月～55年12月当時外交部ソ連東欧司副司長。

刘(劉) 靖 基 Liu Ching-chi

49年当時安達紡織公司総経理。49年末～54年6月華東軍政委員会財政経済委員会委員。53年11月全国工商業連誼会第一期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会上海市代表。12月政治協商会議第二期全国委員会委員。55年11月当時上海市工商連常務委員。56年12月全国工商連第二期執行委員(上海市)。59年3月第二期全国人民代表大会上海市代表。4月第二期全国人民代表大会予算委員会委員。同大会第1次會議で「疑いを消し、引き続き積極的に改造しよう」について発言、政治協商会議第三期全国委員会委員（中華全国工商業連誼会代表）。同第1次全体會議主席団員。

劉 聖 斌 Lin Shêng-pin 1910～

遼寧省の人。35年清華大学卒業。46年英ロンドン大学卒業。47年～48年東北大学教授。48年以来国府立法委員。

刘(劉) 靜 宜〔女〕 Liu Ching-i

56年1月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。

刘(劉) 靜 山 Liu Ching-shan

53年12月山西医学院副院長。当時山西省教育工会副主任。

刘(劉) 积(積)学〔群式〕 Liu Chi-hsiieh
[Chün-shih] 1878～

河南省新蔡県の人。日本法政大学専門部卒業。28年国民政府立法院委員。30年～32年河南省政府委員。49年中南軍政委員会委員。当時国民党革命委員会河南分会準備委员会主任委員。9月政治協商会議代表。54年4月当時河南省各界人民代表會議協商委員会副主席。55年2月河南省人民委員会委員。

刘(劉) 雪 葦 Liu Hsiieh-wei

46年～47年延安より山東に至り、山東省文化協会副主任、「山東文化」刊行。49年以降上海にて文芸指導。52年当時「文芸月報」編集委員、新文芸社社長、中共中央華東局宣伝部文芸処処長。55年6月党内胡風分子として批判さる。著書「論野草」「魯迅散論」。

刘(劉) 仙 洲〔本名、振華(華)〕

Liu Hsien-chou [Chên-hua]

河北省完県の人。現在72歳位。18年香港大学卒業後、保定裕徳学校、天津直隸工業専門学校、河北大学各教授を歴任。24年天津北洋

大学校長。その後奉天東北大学教授。49年末～56年1月当時清華大学副校長。53年1月～54年9月華北行政委員会委員兼民政局局長。54年8月第一期全国人民代表大会河北省代表。55年5月中国科学院技術科学学部委員（常任委員）。6月中共入党許可。58年12月清華大学第3次科学工作討論会において1年来の同校における科学研究について報告、当時清華大学副校長。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。61年3月当時清華大学第1副校長。著書「応用機械学」「蒸気機関」「内燃機関」その他。

劉 先 雲 Liu Hsien-yün 1910～

湖北省大冶県の人。武昌中山大学卒業。湖北省政府委員兼秘書長、立法委員を歴任。54年6月～57年8月台湾省政府委員兼教育庁庁長。

刘(劉) 先 志 Liu Hsien-chih

55年3月山東省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表。4月第二期人民代表大会第1次會議で「印度の政治家が当面する局面に対して賢明なる行動を取る様に希望する」について合同発言。

刘(劉) 先 胜(勝) Liu Hsien-shêng

55年2月江蘇省人民委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

刘(劉) 善 本 Liu Shan-pên 1916～

山東省安邱の人。35年杭州笕橋航空学校入学。日華事変中昆明、成都、蘭州で服務。43年米ダグラス、アレキサンダー高級航空学校に派遣、ニューメキシコ州でB24の飛行訓練。46年6月延安に飛行し中共側に入る。54年8

月第一期全国人民代表大会人民解放軍空軍代表。9月国防委員会委員。55年9月1級解放勳章。56年9月当時解放軍空軍訓練部副部長。58年4月当時国防委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。4月国防委員会委員。60年7月当時国防委員会委員。

刘(劉) 祖 榮(榮) Liu Tsu-jung

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。9月～54年8月当時同青年団中央委員会少年兒童部副部長。

劉 宗 翰 Liu Tsung-han

56年6月当時国府駐グアテマラ代理公使。59年6月当時駐ヨハネスブルグ総領事（兼任）。

劉 增 華 Liu Tsêng-hua

(Mathew) 1910～

遼寧省の人。34年米ホリー・クロス大学卒業。その後コロンビア大学にて研究。35年～36年東北大学およびカソリック大学教授。37年～41年中国海関勤務。42年～46年外交部情報司新聞科長。42年～45年ナショナル・ヘラルド副総編集。46年～47年駐日代表団員。47年～48年駐日代表団阪神僑務分処主任。48年～52年駐日代表団僑務処処長。52年～53年駐日大使館参事官、董頭光大使着任まで臨時代理大使。53年～54年外交部参事官。54年以来外交部歐洲司司長。58年11月駐エル・サルヴァドル公使。61年6月駐エル・サルヴァドル大使。

刘(劉) 尊 棋 Liu Tsun-chi

54年5月中国人民对外文化協会理事。55年7月中国人民外交学会第三期理事会理事。8月当時「人民中国」総編集。

刘(劉) 多荃 Liu Tuo-chüan

54年12月政治協商會議全國委員會特別招請委員。58年12月国民党革命委員會第四期中央委員會委員。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(特別招請人士)。

劉 乃 殿 Liu Nai-tien

55年3月山東省人民委員會委員。

劉 大 中 Liu Ta-Chung

59年当時国府中央研究院院士(人文組)。

刘(劉) 大年 Liu Ta-nien

歴史学者。53年5月訪ソ中国科学院代表団員。54年4月当時中国科学院秘書処秘書。55年5月中国科学院哲学社会科学学部委員。

刘(劉) 岱峯 Liu Tai-fêng

山西省の人。50年~53年1月西南軍政委員會委員。53年1月西南行政委員會委員。55年2月雲南省副省長。56年11月国務院国家經濟委員會副主任。58年4月当時国家經濟委員會副主任。59年9月国家基本建設委員會副主任兼委員。60年7月当時雲南省副省長。当時国家基本建設委員會副主任。61年1月国家計画委員會副主任。

刘(劉) 卓甫 Liu Chuo-fu

50年~54年9月西南軍政委員會財政經濟委員會委員。54年11月国務院商業部副部長。55年9月国務院農産品採購部副部長。58年11月雲南省副省長。60年8月中国ヴェトナム友好協会雲南分会長。61年1月当時雲南副省長。

刘(劉) 澤榮(榮) [紹周]

Liu Tsê-jung [Shao-chou] 1892~
広東省高要県の人。14年露パトログラフ

大学卒業。23年東支鉄道教育局副局長。27年同鉄道理事会稽核局長。30年ソ華會議中国代表部専門委員として訪ソ。のち国民政府駐ソ大使館参事官。49年10月中央人民政府政務院外交部外交条約委員会委員。54年12月政治協商會議第二期全國委員會委員(対外平和友好団体)。55年7月中国人民外交学会第三期理事會理事。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(対外和平友好団体代表)。

劉 達 人 Liu Ta-jên

59年6月当時国府駐オーストラリア国大使館1等秘書。

刘(劉) 达(達)潮 [大超]

Liu Ta-chao [Ta-chao]

48年8月中華全国総工会執行委員。49年10月~54年8月中央人民政府政務院人民監察委員會委員。53年5月総工会第七期經費審查委員會委員。54年12月政治協商會議第二期全國委員會委員(全国総工会)。55年4月中国海員工会主席。57年12月中国工会第8次全国代表大会において中華全国総工会第八期執行委員。58年4月当時中国海員工会全国委員會主席。59年3月先進生産者代表會議準備委員會委員。4月政治協商會議第三期全國委員會委員(中華全国総工会代表)。

刘(劉) 丹 Liu Tan

53年12月浙江大学副校長。当時浙江省人民政府文化教育委員會副主任。

刘(劉) 端 葵 Liu Tuan-fên

元西北人民革命大学副校長。54年9月西北大学副校長。

刘(劉) 中 Liu Chung

50年~54年9月西南軍政委員會財政經濟委員會委員。55年1月四川省人民委員會委員。

刘(劉) 仲 容 Liu Chung-jung

54年12月政治協商會議第二期全國委員會特別招請委員。55年1月北京外国語学院院長。56年2月国民党革命委員會中央委員。57年2月国民党革命委員會台湾平和解放工作委員會委員。58年12月国民党革命委員會第四期中央委員會委員。北京外国語学院副院長。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(国民党革命委員會代表)。

刘(劉) 兆 倫 Liu Chao-lun

現在43歳。57年10月訪日中共農業技術団員。61年11月広東省人民委員會委員。

刘(劉) 长(長)貴 Liu Chang-kui

54年8月第一期全国人民代表大会熱河省代表。

刘(劉) 长(長)胜(勝)

Liu Chang-shêng 1903~

山東省海陽の人。貧農出身。24年ウラジオストックで共産主義青年団に参加。当時革靴職人ならびに埠頭人夫。36年延安に赴き、全国総工会西北執行局の工作に従事。日華事変勃発後、上海で秘密工作。45年中共第七期中央委員。48年8月第6次中華全国労働大会に出席。中華全国総工会執行委員、兼華東辦事処主任、上海市総工会主席。49年9月政治協商會議全國委員會委員。50年1月華東軍政委員會委員、同財政經濟委員會委員、労働部部长。52年10月ソ連共産党第19回大会に中共代表として出席。53年2月政治協商會議全國委員會常務委員。3月スターリンの葬儀に参列。53年4月および9月ウィーン世界労働會議出席。5月全国総工会第七期執行委員會副主席。11月ウィーン世界平和理事会出席。54年6月チェコ共産党第10回大会出席。8月第一期全国人民代表大会山東省代表。56年9月中共第

八期中央委員會委員。11月~57年1月全国人民代表大会代表団員としてソ連、東欧を訪問。途中12月イタリア共産党大会出席。57年12月中華全国総工会副主席、中華全国総工会第八期執行委員。58年4月当時中華全国総工会副主席兼書記処書記。59年2月当時中国人民世界平和擁護委員會常務委員。3月第二期全国人民代表大会山東省代表、先進生産者代表會議準備委員會委員。4月ポーランドのワルシャワで開かれた世界労働執行委員会19回會議に出席。第二期全国人民代表大会において常務委員會委員。12月統一労働組代表大会(サンチャゴ)出席中国労働代表団団長。60年4月中国アフリカ人民友好協会会長。6月当時中華全国総工会副主席。61年2月~6月中国アフリカ友好協会代表団団長としてギニア、マリ、ガーナ、ニジェール、上ヴォルタ、セネガル、トーゴ、ダホメ8カ国を歴訪。

刘(劉) 长(長)瑞 Liu Chang-ju

59年3月第二期全国人民代表大会黒竜江省代表。

刘(劉) 长(長)福 Liu Chang-fu

労働模範。54年8月第一期全国人民代表大会天津市代表。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。

刘(劉) 龍 光 Liu Chung-kuang

49年南京市軍事管制委員會委員兼交通接管委員會主任。同水利部部长。50年淮河水利工程総局局長、中央政務院水利部治淮委員會副主任委員。50年1月~54年6月華東軍政委員會財政經濟委員會委員。

刘(劉) 通 Liu Tung

55年1月政治協商會議第一期福建省委員會

副主席。2月福建省人民委員会委員。56年2月国民党革命委員会中央委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（国民党革命委員会代表）。

劉 廷 蔚 Liu Ting-wei 1904~

浙江省永嘉の人。燕京大学理学院卒業。米コーネル大学で研究、科学碩士、生物学博士。米ニューヨーク州農事試験場研究員、上海滬江大学生物系教授代理主任、中央農業実験所兼任技正、北平分所病虫害学系主任、中央水産実験所副所長を歴任。52年2月国府中国農村復興連合委員会技正（動物解剖および昆虫学の専門家）。

劉(劉) 定 安 Liu Ting-an

53年9月当時中央人民政府政務院農業部農政司司長。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

劉(劉) 定 五 Liu Ting-wu

54年12月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

劉(劉) 程 云(雲) Liu Chêng-yün

55年3月国務院廣播(放送)事業管理局副局長。59年3月国務院廣播事業局副局長解任。

劉(劉) 鼎 Liu Ting

49年初め華北人民政府企業部副部長。8月中華全国自然科学専門学会連合会常務委員。10月中央人民政府政務院重工業部副部長。52年8月同院第2機械工業部副部長。55年1月国務院第2機械工業部部長助理。58年4月当時中華全国自然科学専門学会連合会常務委員。59年9月第1機械工業部副部長。60年7

月当時同職。60年9月第3機械工業部副部長。61年4月対外経済連絡総局副局長。

劉(劉) 天 香 Liu Tien-hsiang

55年1月浙江省人民委員会委員。56年8月中国民主促進会第四期中央委員会候補委員。

劉(劉) 田 夫 Liu Tien-fu

58年9月広東省副省長。60年7月当時同職。

劉 東 巖 Liu Tung-yên

60年11月当時国府国民大会副秘書長。

劉(劉) 棟(棟) 业(業) Liu Tung-yeh

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。55年2月福建省人民委員会委員。11月当時福建省工商連主任委員。56年12月全国工商連第二期執行委員（福建省）。

劉(劉) 同 詒 Liu Tung-kaio

労働模範。54年8月第一期全国人民代表大会山東省代表。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表。4月同大会第1次会議で「大衆は真に『武松』の様に勇ましく、困難は紙の虎と同じである」について発言。

劉(劉) 道 衡 Liu Tao-hêng

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

劉(劉) 導 生 Liu Tao-shêng

山東省の人。50年~53年1月華東軍政委員会委員。53年1月華東行政委員会委員。3月当時解放軍海軍副政治委員。4月中国青年出版社常務董事。7月中国新民主主義青年団第二期中央委員会常務委員兼中央書記処書記。同月青年代表団副団長としてブカレスト訪問。54年8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表、当時世界民主青年連盟理事会理事。55年

9月1級八一勳章、1級独立自由勳章および1級解放勳章。

劉(劉) 德 珍 Liu Tê-chên

工業労働模範。54年8月第一期全国人民代表大会北京市代表。59年3月第二期全国人民代表大会北京市代表。

劉(劉) 德 有 Liu Tê-yu 1931~

河北省の人。大連中学2年中退。外文出版社通訳。55年3月中共貿易団通訳として、また12月中共学術視察団通訳として来日。57年10月訪日中国農業技術団通訳、61年3月アジア・アフリカ作家会議東京大会参加中国代表団通訳。当時外文出版社「人民中国」編集員。

劉(劉) 宁(寧) 一 Liu Ning-i 1905~

河北省満城の人。25年五・三〇事件に参加。その後開灤炭坑労働者。29年唐山、天津、北平地区の労働運動を指導。32年唐山趙各莊炭坑ストライキを指導、逮捕され6年間入獄。37年日華事変勃発直後出獄、上海労働運動責任者として活動。43年延安にて陝甘寧辺区の労働組合を指導。44年8月「解放区」労働組合連合会を結成。46年南京上海地区で活動。3月国府側の弾圧で「解放区」へ引揚ぐ。48年8月ハルビン第6次全国労働大会で中華全国総工会副主席。49年9月政治協商會議第一期全国委員会常務委員。53年1月選挙法起草委員会委員。2月~55年12月当時アジア及び太平洋地域平和連絡委員会秘書長。53年4月~54年1月当時中国人民世界平和擁護委員会秘書長。53年5月総工会第七期副主席。6月ブダペストの世界平和理事会出席。9月ウィーンの世界労働大会に中共工会代表団長として出席。54年4月~56年1月当時世界平和委員会常務委員。54年5月中国人民対外文化協会

常務理事。8月第一期全国人民代表大会山東省代表。9月同大会常務委員会委員。12月ストックホルムの世界平和理事会出席。同月中ソ友好協会総会第二期副会長。55年6月ヘルシンキ世界平和大会に出席。7月中国人民外交学会第三期理事会理事。8月広島における原水爆禁止世界大会の際団長として来日。56年2月中国亞洲団結委員会副主席兼秘書長。4月スウェーデンの世界平和理事会出席。9月中共第八期中央委員会委員。57年9月十月社会主義革命40周年慶祝準備委員会委員。12月中華全国総工会第八期執行委員。58年3月国務院外事辦公室副主任。7月中国人民保衛世界和平委員会副主席。8月中華全国総工会主席。59年1月モスクワにおいて開催のソ連共産党第21回大会に中国共産党代表団員（団長周恩来国務総理）として出席。3月第二期全国人民代表大会山東省代表。先進生産者代表会議準備委員会委員。4月第二期全国人民代表大会第1次会議の主席団員。常務委員会委員。「五四」40周年記念準備委員会委員。5月中ソ友好協会第三期副会長。9月国務院外事辦公室副主任。10月当時中華全国総工会主席。日本各界中国建国10周年祝賀代表団と中国側7団体との共同声明に調印。60年2月教育文化衛生体育関係、社会主義建設グループ、先進活動家全国代表大会準備委員会副主任委員、同委員。7月総評記念式典出席訪日中共代表団団長、8月第6回原水爆禁止世界大会（広島）参加中共代表団団長、訪日報告発表。11月十月社会主義革命43周年記念式典（モスクワ）出席中国党政府代表団団員。61年3月世界平和評議会会議出席のため中共代表団を率いて、ニューデリーを訪問。当時世界平和評議会評議員。

劉(劉) 念 义(義) Liu Nien-i

53年11月全国工商業連合会第一期執行委

員。55年11月当時上海市工商連常務委員会委員。56年1月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。12月全国工商連第二期執行委員(上海市)。59年3月第二期全国人民代表大会上海市代表。

刘(劉) 念 智 Liu Nien-chih

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国民主建国会)。

刘(劉) 珮 芝 Liu Pei-chih

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会ハルビン市代表。同月松江省人民政府委員を解任。55年11月当時黒竜江省工商連準備委員会主任委員。56年12月全国工商連第二期執行委員(黒竜江省)。59年3月第二期全国人民代表大会黒竜江省代表。4月同大会第1次會議で「仕事をよくしさえすれば、改造も更に良く進めることが出来る」について発言。

刘(劉) 培 植 Liu Pei-chih

53年11月～55年4月当時農業部国营農場管理総局局長。56年10月国务院農墾部部長助理。

刘(劉) 培 善 Liu Pei-shan

湖南省人。貧農の出身。新4軍の旅長をしたことあり、55年2月福建省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。4月同大会第1次會議で「福建前線の勝利は全国の支援に頼っている」について発言。

刘(劉) 梅 村 Liu Mei-tsun

人民解放軍第4野戦軍教導員。特等戦功一次、大功一次、小功二次の戦闘英雄。54年8月第一期全国人民代表大会中南軍区代表。

刘(劉) 白 羽 Liu Pai-yü 1915～

河北省の人。小説家。日華事变後延安に行き、戦後東北で従軍、後第4野戦軍に随って中南区で工作。50年秋訪ソ。51年7月「中国人民の勝利」の映画製作に協力し、スターリン賞を獲得。10月文化代表団員としてインド、ビルマ訪問。53年10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。中国作家協会理事。54年5月中国人民对外文化協会理事。8月第一期全国人民代表大会河北省代表。55年1月「文芸報」編集委員会委員。2月中国作家協会創作委員会主任。56年12月作家協会書記処書記。58年4月当時中国作家協会書記処書記。9月中国北鮮友好協会理事。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。5月中ソ友好協会第三期理事会理事。9月中国アルバニア友好協会副会長。60年4月中国アフリカ人民友好協会常務理事、同理事。8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会委員。中国作家協会副主席。61年1月アジア・アフリカ作家会議常設委員会(コロンボ)中国作家代表団団長。3月アジア・アフリカ作家会議東京大会参加中国代表団副団長。作品「モスクワ訪問」「記無敵三勇士」「光芒前途に在り」。

刘(劉) 伯 承 Liu Po-chêng 1892～

四川省の人。元帥。26年中共加入、楊森の第20軍に国民党代表兼中共湖北省委員会特派員として入り、湖北西部にて国民革命軍の秘密工作に従事。27年8月1日南昌暴動の際軍事委員会参謀長。28年モスクワ赤軍軍官学校に留学。30年帰国。31年江西中央ソヴェト区に入り、彭楊軍事学校で練兵2カ月。32年紅軍総参謀長。37年第129師長、晋冀魯豫辺区で活動。終戦前は晋察冀辺軍区司令兼太行軍区司令。45年中共第七期中央委員会委員。46年中原人民解放軍司令。49年4月南京を陥

れ、南京軍事管制委員会委員、当時第2野戦軍司令。49年中共中央西南局第2書記。10月中央人民政府委員、人民革命軍事委員会委員。西南軍政委員会主席。51年人民解放軍軍事学院院长。53年1月西南行政委員会主席。54年6月人民革命軍事委員会副主席。8月第一期全国人民代表大会人民解放軍華東軍区代表。9月同大会常務委員会委員、国防委員会副主席。55年9月1級八一勳章、1級独立自由勳章及び1級解放勳章。56年9月中共第八期中央委員会委員、中央政治局委員。57年11月中国人民解放軍訓練總監部部長解任。58年4月当時国防委員会副主席。59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。同大会第1次會議の主席団員。同大会において常務委員会副委員長。国防委員会副主席。60年7月当時同職。

刘(劉) 披 云(雲) Liu Pi-yün

元中央人民政府 高等教育部 教学指導司司長。54年6月南開大学副校長。58年9月南開大学副校長を解任。11月雲南省副省長。61年10月当時同職。

刘(劉) 飞(飛) Liu Fei

55年3月安徽省人民委員会委員。

刘(劉) 斐 [名, 章] Liu Fei

[Chang] 1900～

湖南省醴陵県の人。北伐参加。30年日本陸軍大学に入学。帰国後広西軍で工作。48年国防部長。49年4月国共北京平和会談に国府側代表として参加。12月国民党革命委員会中央委員。50年～53年1月中南軍政委員会委員。53年1月中南行政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会湖南省代表。9月国防委員会委員。56年2月国民党革命委員会中央委員常務委員に再任。57年2月国民党革命委員会台湾平和解放工作委員会委員。58年4月当

時国防委員会委員。12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)、常務委員。全国人民代表大会法案委員会委員。国防委員会委員。第二期人民代表大会第1次會議で「貢献しようとするれば、更に改造を強めなければならない」について発言。60年7月当時国防委員会委員。

刘(劉) 冰 Liu Ping

53年6月中国新民主主義青年団第二期中央委員、中央青農(青年農民)部部長。

刘(劉) 彬 Liu Pin

49年以前中共中央委員会西滿分局民間運輸局次長。51年国务院重工業部鉄鋼工業局長。55年1月国务院重工業部部長助理。11月同院第3機械工業部副部長。58年4月当時中国金属学会副理事長。59年9月冶金工業部副部長(再任)。60年7月当時同職。

劉 傳 中 Liu Fu-chung

61年3月中華民国行政院財政部参事。当時財政部(簡任)秘書。

刘(劉) 风(風)竹 Liu Fêng-chu

55年2月吉林省人民委員会委員。56年2月国民党革命委員会候補中央委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会候補委員。

刘(劉) 文 蔚 Liu Wên-wei

53年12月当時中共中央西北局統一戦線工作部副部長。55年3月政治協商會議陝西省第一期委員会副主席。57年12月中国工会第8次全国代表大会において中華全国総工会第八期執行委員。

刘(劉) 文 学 Liu Wên-hsüeh

55年7月当時人民解放軍浙江軍区政治部主任。

刘(劉) 文 輝 [自乾] Liu Wên-hui

[Tzu-chien] 1895~

四川省大邑県の人。保定陸軍軍官学校卒業。27年国民政府軍第24軍長。29年四川西部及び西康に地盤を持つ。32年西蔵軍の進出を防禦。36年西康省建設委員会主席。38年西康省初代省長。50年西南軍政委員会副主席。51年政治協商会議全国委員会委員に補選。53年1月西南行政委員会副主席。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。9月国防委員会委員。12月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員、同常務委員。55年1月政治協商会議第一期四川省委員会副主席。55年9月1級解放勳章。56年2月国民党革命委員会中央常務委員。58年4月当時国防委員会委員。12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。4月政治協商会議第三期全国委員会委員(国民党革命委員会代表)、常務委員。政治協商会議第三期第1次全体会議主席団員。第二期全国人民代表大会において予算委員会委員。同大会第1次会議で「県を歩き、新しい村を訪ね、公社をたたえる」について発言。國務院林業部部長。国防委員会委員。60年3月当時国防委員会委員。

刘(劉) 文 树(樹) Liu Wên-shu

55年2月河南省人民委員会委員。57年9月当時中共全国婦女連合会第三期執行委員。59年3月第二期全国人民代表大会河南省代表。

刘(劉) 文 典 Liu Wên-tien 1890~

安徽省合肥県の人。日本に留学。安徽大学、清華大学、北京大学国文学教授を歴任。

56年1月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。

劉 文 島 [塵蘇] Liu Wên-tao

[Chên-su] 1893~

湖北省広済県の人。保定軍官学校第一期卒業。東京帝国大学法学士、早稲田大学政治科、仏パリ大学卒業。帰国後国民革命軍総司令部政治訓練部主任。北伐軍漢口占領後、漢口特別市党務執行委員、国民党第三期中央執行委員、湖北省政府委員兼民政庁庁長、漢口市政委員会委員、漢口市市長等。27年南京国民革命軍総司令部政治訓練部主任。同年秋中央代表として湖南に赴き、何健等を懐柔。29年~31年武漢派没落後、漢口特別市長、国民党第3次中央候補執行委員。31年漢口市長を辞し湖北省政府委員兼民政庁長。31年~33年駐独塊公使。33年~34年駐伊公使。34年~37年駐伊大使。30年~50年国民党第五期中央執行委員。48年以来立法委員。訳書「政党政治論」「行業組合論」。

刘(劉) 文 濤 Liu Wên-tao

55年2月江西省人民委員会委員。

刘(劉) 文 伯 Liu Wên-po

53年1月陝西省人民政府委員。当時中国国民党革命委員会陝西省分部準備委員会委員。

刘(劉) 秉 彦 Liu Ping-yên

60年9月國務院第3機械工業部副部長。

刘(劉) 秉 琳 Liu Ping-lin

55年3月山東省人民委員会委員。61年1月山東省副省長に補選。

劉 邦 彦 Liu Pang-yên

59年10月駐日中華民国大使館参事官。

刘(劉) 放 Liu Fang

53年9月中共ルーマニア技術協力連合委員会秘書としてルーマニアに赴く。当時中央人民政府燃料工業部石油管理総局副局長。59年9月石油工業部副部長。60年1月石油工業部部長助理解任。

刘(劉) 蓬 Liu Pêng

55年2月遼寧省人民委員会委員。

刘(劉) 宝(寶)忠 Liu Pao-chung

54年8月第一期全国人民代表大会河北省代表。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。

刘(劉) 宝(寶)田 Liu Pao-tien

湖北省の人。遼東省人民政府民政庁庁長。49年8月東北人民政府民政部副部長。53年1月東北行政委員会委員兼秘書長。54年6月遼東省人民政府委員を解任。8月遼寧省瀋陽市市長。当時中共瀋陽市委員会副書記。9月東北行政委員会委員を解任。55年2月遼寧省副省長。58年1月当時中共瀋陽市委員会書記。12月遼寧省副省長。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。4月第二期人民代表大会第1次会議で「6大設備を期限、数量、品質、規画に応じて完成することを確保しよう」について合同発言。

劉 牧 羣 [挺生] Liu Mu-chün

[Ting-shêng]

福建省沙県の人。保定航空学校卒業。日本および欧米に留学。中央航空学校広州分校主任。戦時中蘭州空軍第1軍区代理司令。39年空軍第2路司令、空軍機械学校教育長、陸軍大学卒業、空軍第1路司令。46年空軍訓練司令。49年台湾へ撤退後総統府侍衛長。60年11

月当時総統府第3局局長。

刘(劉) 民 生 Liu Min-shêng

山東省の人。元山東省参議会副議長。49年~53年1月華東軍政委員会委員。53年1月華東行政委員会委員。当時中央人民政府最高人民法院華東分院院長。54年8月第一期全国人民代表大会山東省代表。55年3月山東省副省長。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表。4月第二期人民代表大会第1次会議で「印度の政治家が当面する局面に対して賢明なる行動をとる様に希望する」について合同発言。60年7月当時山東省副省長。

刘(劉) 名 榜 Liu Ming-pang

54年8月第一期全国人民代表大会河南省代表。55年2月河南省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会河南省代表。

刘(劉) 明 輝 Liu Ming-hui

55年2月雲南省副省長。58年11月雲南省副省長。59年7月雲南省政治協商会議第二期委員会主席。60年5月当時中共雲南省委員会書記。

劉 明 電 Liu Ming-tien

台湾省台南生れ。現在62歳。在日華僑(東京在住)。ベルリン、モスクワ大学出身。経済学者。社会学者。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(華僑)。

刘(劉) 明 夫 Liu Ming-fu

54年11月國務院国家計画委員会委員。55年~56年3月当時国家計画委員会商業計画局局長。59年9月国家計画委員会副主任兼委員。60年10月当時国家計画委員会副主任。61年4月対外経済連絡総局副局長。著書「第1次5カ年計画における商業」。

劉 茂 恩 [書霖] Liu Mao-èn

[Shu-lin] 1894~

河南省鞏県の人。保定陸軍軍官学校卒業。26年国民革命軍第2集団軍第4軍長。30年討逆第11路軍総指揮兼第15軍軍長、河南省政府委員。31年陸軍第65師長、石友三討伐に参加。33年安徽第33区行政督察專員兼大安県長。34年第15軍長兼第65師長。36年予鄂皖辺区第2綏靖区司令官。37年第13軍団長。39年第5集団軍副総司令。第14集団軍総司令。44年河南省政府主席、兼同省警備総司令。45年中央監察委員。55年~56年当時総統府戦略顧問。

刘(劉) 孟 純 Liu Mèng-chun

54年9月当時中国人民志願軍婦国部隊代表団代表。12月政治協商会議第二期全国委員会委員(中国国民党革命委員会)。55年1月政治協商会議全国委員会副秘書長。56年2月国民党革命委員会中央委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(国民党革命委員会代表)。

劉 友 琛 Liu Yu-chèn 1901~

甘肅省の人。29年米コロンビア大学卒業。30年~31年中央大学教授。32年~33年甘肅省政府建設庁長。34年~36年上海商業貯蓄銀行開封支店長。43年~45年西北大学教授。46年国民大会代表。46年以来国府立法委員。57年立法院第17会期経費稽核委員会召集委員。58年12月当時立法委員。

刘(劉) 有 光 Liu Yu-kuang

59年3月第二期全国人民代表大会軍隊代表。

刘(劉) 裕 民 Liu Yü-min

49年福建人民政府工業処主任。50年財政經

済委員会副主任兼任。52年省政府物貨交換委員会、労働雇傭委員会委員。59年9月国務院建築工程部副部長。60年1月免建築部部長補佐。60年7月当時建築工程部副部長。

劉 餘 年 Liu Yü-nien

56年9月国府駐日大使館随員。61年3月同職。

刘(劉) 墉 如 Liu Yung-ju

50年西北軍政委員会財政經濟委員会委員兼財政部副部長。53年1月政務院文化教育委員会副秘書長。54年11月国務院機関事務管理局局長。

刘(劉) 瑤 章 Liu Yao-chang

国民党時代北京市市長。49年10月政務院水利部辦公庁主任。54年12月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。56年2月国民党革命委員会候補中央委員。10月国務院水利部部長助理。

刘(劉) 昱 平 Liu Yü-ping

54年11月最高人民法院審判員。

刘(劉) 萊 夫 Liu Lai-fu

53年3月~54年6月当時北京市総工会副主席。59年7月当時中共北京市委財貿部部長。

刘(劉) 瀾 涛(濤) Liu Lan-tao 1904~

陝西省の人。45年中共第七期候補中央委員。50年9月中央人民政府華北事務部部長。52年1月政務院華北行政委員会主任委員。53年1月同委員会主席。同月選挙法起草委員会委員。53年~54年当時中共中央華北局第3書記。54年8月第一期全国人民代表大会河北省代表。9月華北行政委員会主席を解任。同月全国人民代表大会常務委員会委員。55年11月当時中

刘(劉) 立 富 Liu Li-fu

労働模範。53年8月ブカレストの世界青年学生懇親会に出席。54年8月第一期全国人民代表大会旅大市代表。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。4月第二期人民代表大会第1次会議で「苦しい労働は上手な労働に、生産は上昇」について発言。

刘(劉) 良 湛 Liu Liang-chan

60年12月西安公路学院副院長。

刘(劉) 良 模 Liu Liang-mo

53年6月中華全国民主青年連合会常務委員。54年8月中国キリスト教全国会議副秘書長、中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。56年2月民主同盟第二期中央委員会候補委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国青年連合会代表)。4月政治協商会議第三期第1次全体会議主席団員。

刘(劉) 林 元 Liu Lin-yüan

55年2月雲南省人民委員会委員。57年12月中国工会第8次全国代表大会において中華全国総工会第八期執行委員。58年11月雲南省人民委員会委員。60年8月中国ヴィエトナム友好協会雲南分会副会長。

刘(劉) 烈 人 Liu Lieh-jên

55年2月江蘇省人民委員会委員。

刘(劉) 連 璽 Liu Lien-hsi 1922~

労働模範。かつて見本市代表団工作員として東独訪問。天津紡織機械廠技術工人。55年10月中共見本市代表団工作員として来日。

劉 廉 克 [占一] Liu Lien-kè

[Chan-i] 1902~

北平民国大学卒業。内蒙党務指導委員会秘

共中央副秘書長。12月東独ピーク大統領誕生80年祝典参加、ルーマニアをも訪問。56年2月朱徳に随って訪ソ。9月中共第八期中央委員会委員、中央書記処候補書記、中央監察委員会委員、同副書記、中共8全大会で「党の規律を正しく遂行し党の監察工作进行を強化せよ」と発言。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。4月同大会において常務委員会委員。9月論文「中国共産党は中国人民の社会主義建設への最高統帥」を発表、当時中共中央書記処候補書記。

刘(劉) 瀾 波 Liu Lan-po 1905~

遼寧省生れ。46年8月東北行政委員会委員。49年8月東北人民政府委員、当時中共遼東省委員会副書記、遼東省人民政府主席。50年9月中央人民政府燃料工業部副部長。54年8月第一期全国人民代表大会本溪市代表。11月国務院燃料工業部副部長。55年7月~58年2月同院電力工業部部長。56年9月中共第八期中央委員会候補委員。58年4月当時中国電機工程学会準備委員会主任委員。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。先進生産者代表会議準備委員会委員。4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国共産党代表)、同常務委員。9月水利電力部副部長。60年7月当時同職。

刘(劉) 兰(蘭) 哇 [女] Liu Lan-chi

54年7月第一期全国人民代表大会重慶市代表。55年6月スイスの世界母親大会に出席。58年2月第一期全国人民代表大会第5次会議において右派分子の理由により、代表資格を剝奪。

刘(劉) 兰(蘭) 亭 Liu Lan-ting

54年12月甘肅省人民委員会委員。

書、蒙藏旬刊社編集人、熱河省政府委員兼教育庁長、国民大会代表、行政院設計委員、蒙藏委員会委員を歴任。54年6月蒙藏委員会委員長。58年7月行政院政務委員蒙藏委員会委員長解任。

刘(劉) 芦(蘆) 隱 Liu Lu-yin 1894~
江西省永豊県の人。早くより中国同盟会に加入し革命運動に従事。復旦大学卒業後、米カリフォルニア大学にて経済学を学ぶ。国民党中央執行委員、宣伝部長、考試院副院長等を歴任。37年某事件により逮捕。56年1月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月同会議第三期全国委員会同。

刘(劉) 和 賡 Liu Hè-kéng
49年当時蘇北人民行政公署財政処長。50年~54年6月華東軍政委員会財政經濟委員会委員。55年2月江蘇省人民委員会委員。

龙(龍) 老 保 Lung Lao-pao
59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。

龙(龍) 云(雲) [志舟, 子舟]
Lung Yün [Chih-chou, Tzu-chou] 1887~
雲南省昭通の人。夷族。雲南講武堂卒。24年唐繼堯広西省侵入の際第5軍長として殊勲を樹つ。27年雲南政変に際し、胡若愚と合作、唐繼堯の独裁制を改め委員制となし省政府委員に任ず。28年蔣介石の北伐に呼応し、雲南省主席兼政府委員、同時に国民政府軍事委員会委員、国民革命軍第38軍長、第13路軍総指揮。31年国民党第四期中央候補執行委員。35年国民党第五期中央監察委員。日華事変勃発後勢力を拡大したが、太平洋戦争勃発後雲南

公路開設に伴い、蔣直系大部隊が省内に進駐、戦争末期その地位を奪われ、異父弟盧漢が省主席を継承。香港に亡命、反蔣態度を表明。49年10月中央人民政府委員会委員、人民革命軍事委員会委員。53年1月西南行政委員会副主席、当時国民党革命委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会雲南省代表。9月同大会第1次会議主席団員、同大会常務委員会委員、国防委員会副主席。12月政治協商会議第二期全国委員会委員(特別招請人士)、同委員会常務委員。55年7月全国人民代表大会第2次会議主席団員。56年2月国民党革命委員会第三期中央委員。3月同中央委員会副主席。6月全国人民代表大会第3次会議主席団員。11月~57年1月全国人民代表大会代表団員としてソ連、東欧訪問。58年2月第一期全国人民代表大会第5次会議において右派分子の理由により代表資格を剝奪、また国防委副主席及び常務委員会委員を罷免。12月国民党革命委員会第四期中央委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)、同常務委員。

龙(龍) 冬 花 [女] Lung Tung-hua
55年9月全国青年社会民主建設積極分子大会主席団員。56年1月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(農民代表)。政治協商会議第三期第1次全体会議主席団員。

凌 霞 新 Ling Hsia-hsin
59年3月第二期全国人民代表大会湖南省代表。

凌 其 翰 Ling Chi-han
54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員。55年7月中国人民外交学会第三期理事会理事。56年2月国民党革命委員会候補中央委

員。5月ブラッセルの国際民主法律工作者協会第6回大会に出席。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

凌 其 峻 Ling Chi-chün
53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員。55年4月中国民主建国会中央常務委員。11月~56年1月当時北京工商連副主任委員。56年2月~9月当時政治協商会議北京市委員会副主席。56年12月全国工商連第二期執行委員(北京市)。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国工商業連合会代表)。

凌 鴻 勛 [竹銘] Ling Hung-hsün
[Chu-ming] 1894~
広東省番禺県の人。15年交通大学卒業、米コロンビア大学留学。18年帰国、鉄道技師として北京政府交通部に勤務、京漢鉄道沿線鉄橋および津浦鉄道黄河鉄橋の架設等に従事。23年上海南洋大学教授。24年~27年国立交通大学学長。27年~29年広西省梧州工程局長。その後隴海鐵路管理局副局長、兼潼西工程局長。ついで粵漢鐵路建設、36年粵漢鐵路局長。29年~45年湘桂、天西、宝天等の鉄道局長または工程局長を歴任。46年国民大会代表。46年~49年交通部次長。48年中央研究院院士。53年以来中国石油公司董事長、中国工程師学会理事長。国立台湾大学鉄道技術部教授。48年11月より49年3月の間中華民國第二期行政院に於て交通部長兼任。56年8月56年度公務員高等試験試験委員。59年7月当時中央研究院院士。60年11月当時総統府国策顧問。

凌 莎 [女] Ling Sha
55年6月インドネシア友好協会理事。7月北京師範学院院長。56年1月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員。

凌 純 聲 Ling Chun-shêng
国府中央研究院院士。60年当時同院民族学研究所主任。

凌 崇 熙 Ling Chung-hsi
(Ling, Samuel C. H.) 1915~
広東省の人。39年香港大学卒業。中央政治学校新聞部卒業。42年~44年国立交通大学講師。45年~47年国連救済復興局(ウンラ)首席技術助手。47年~48年外交部専門助理員。48年~49年外交部報道課長。52年国連中国代表部首席技術助理員。51年~55年外交部首席技術助理員。55年以降駐米大使館参事官。59年6月当時駐アメリカ国府大使館参事官。著書「1946年~1947年中の国連活動の比較研究」。

凌 楚 珣 Ling Chu-hsün
59年6月当時国府駐ヴェトナム国大使館参事官兼領事事務取扱。

凌 大 琦 Ling Ta-chi
59年3月第二期全国人民代表大会山西省代表。4月第二期全国人民代表大会第1次会議で「石炭を建築のために総合的に利用しなければならない」について発言。

凌 大 曾 Ling Ta-tsêng
56年6月当時国府駐シカゴ総領事。5等景星勲章をもらった。60年2月駐シカゴ総領事解任。

凌 东 林 Ling Tung-lin
54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員(中華全国工商業連合会)。

凌 敏 猷 Ling Min-yu
55年2月湖南省人民委員会委員。56年2月国民党革命委員会候補中央委員。

凌 曼 壽 Ling Man-shou

52年8月国府駐日大使館1等書記官。59年11月同官解任。

梁 威 林 Liang Wei-lin

江西省の人。軍人出身で軍の司令員或は軍区以上の政治員であったといわれる。59年10月～61年6月当時新華社香港支社長。

梁 宇 阜 Liang Yü-kao

(Leong Yew-koh) 1888～

マレイの北ペラク州サラク生れ。マレイのイポー在住華僑。現在弁護士、マラヤ連邦政府厚生部長。ロンドン大学卒業。32年～37年中国政府鉄道部参事、領事館上級査察使、中英国境地帯駐在上級事務官。38年～41年雲南省仏海県長、雲南省立富滇新銀行仏海支店長。42年～45年雲南、ビルマ地区内英米軍と中国軍との連絡官(少将待遇)。46年米国を視察後イポーに法律事務所を開設。46年憲法制定諮詢委員会委員、48年マラヤ連邦内閣閣員、同立法委員、55年ペラク州知事兼内閣閣員。

梁 永 章 Liang Yung-chang

56年5月第39期国際労工大会中華民国労働者側代表。57年6月第40期国際労工大会中華民国労働者側代表。59年5月第43期国際労工大会中華民国労働者側代表。60年5月第44期国際労工大会中華民国労働者側代表。10月国民党中央委員会第5組副主任。

梁 永 福 Liang Yung-fu

23年二・セストに活躍。53年2月～54年2月当時中国鉄路工会全国委員会副主席。57年12月中国工会第8次全国代表大会において中華全国総工会第八期候補執行委員。58年4月当時中国鉄路工会全国委員会副主席。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華

全国総工会代表)。

梁 园(園)东(東) Liang Yüan-tung

元山西大学師範学院院長。54年6月山西師範学院院長。55年2月山西省人民委員会委員。

梁 华(華) Liang Hua

四川省の人。50年西南軍政委員会委員兼人事部副部長。53年1月西南行政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。55年1月四川省人民委員会委員。

梁 华(華)新 Liang Hua-hsin

僮族。54年8月第一期全国人民代表大会広西省代表。55年2月広西省人民委員会委員。56年3月同省桂西僮族自治州副州長。59年3月第二期全国人民代表大会広西僮族自治区代表。

梁 海 Liang Hai

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。55年11月当時広州市工商連副主任委員。56年12月全国工商連第二期執行委員(広東省)。

梁 寒 操 [均勳] Liang Han-tsao

[Chün-mo] 1901～

広東省高要県の人。広東高等師範卒業。27年国民政府財政部参事。28年国民政府鉄道部奏任秘書。29年同部参事、同部総務司長。31年同部参事再任、その後孫科立法院長秘書長。35年国民党第五期中央執行委員、中央政治委員会委員。56年当時中米文化経済協会会長。57年当時同。

梁 寒 氷 Liang Han-ping

54年6月天津師範学院院長。当時天津市人民政府教育局局長。55年1月天津市人民委員

会委員。

梁 煥 文 Liang Huan-wèn

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。55年11月当時広西省工商連執行委員。56年12月全国工商連第二期執行委員(広西省)。

梁 希 [叔伍] Liang Hsi

[Shu-wu] 1884～1958

浙江省婦安の人。日本東京帝大農科卒業。独ザクセン大学で森林化学を研究。北京農業大学森林科主任、浙江大学農学院森林系主任を歴任。日華事変中国立中央大学農学院院長。49年9月政治協商会議第一期全国委員会常務委員。10月政務院林墾部部長。53年1月同院林業部部長、婚姻法貫徹運動委員会委員、当時全国科学技術普及協会主席、世界平和擁護委員会常務委員、中ソ友好協会総会理事。54年8月第一期全国人民代表大会安徽省代表。9月国務院林業部部長。54年12月政治協商会議第二期全国委員会常務委員、中ソ友好協会第二期理事、当時九三学社副主席。5月中国科学院生物学地学学部委員。56年2月九三学社副主席に再任、中国亞洲團結委員会委員。3月国務院科学規画委員会委員。11月～57年1月全国人民代表大会代表団団員としてソ連、東欧訪問。57年9月九三学社全国整風工作会議において「反右派闘争を貫徹せよ」と発言。薛愚等の右派分子を批判。58年4月当時林業部部長、中国林学会理事長、中華全国科学技術普及協会主席。12月北京において死亡。

梁 岐 山 Liang Chi-shan

55年1月四川省人民委員会委員。

梁 毅 文 [女] Liang I-wèn

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委

員(医薬衛生界)。

梁 巨 Liang Chü

59年3月第二期全国人民代表大会広東省代表。

梁 許 春 菊 [女]

Liang Hsü Chun-chü 1918～

台湾省の人。日本奈良女子高等師範学校卒業。56年当時台湾省(台南県)臨時省議會議員、台南県婦女会会長。

梁 仰 云(雲) Liang Yang-yün

山西省の人。54年9月広西省人民政府委員(林業庁長代理)。

梁 金 山 Liang Chin-shan

59年3月第二期全国人民代表大会華僑代表。4月同大会第1次会議で「婦国華僑と華僑家族は毛沢東に感謝している」について発言。

梁 軍 [女] Liang Chün 1929～

黒竜江省徳都県萌芽郷師範学校機械化農場トラクター手。53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会黒竜江省代表。59年3月第二期全国人民代表大会黒竜江省代表。

梁 啓 超 [卓如,任公] Liang Chi-chao

[Chuo-ju, Jèn-kung] 1873～1929

広東省の人。清末の著名な学者、啓蒙家。康有為の高弟。1896年上海で「時務報」を経営。98年康有為の変法自強運動に協力し、戊戌政変にあい日本に亡命。99年～1911年滯日。また欧米視察。その間、「保皇会」を起し、「新民叢報」「清議法」「政論」等の新聞雑誌を発行、孫文らの民主革命論に対抗して立憲君主政治を主張。12年帰国し天津で日刊新聞

を發行、政治教育の徹底と一般的知識の普及を提唱。司法副総長の任命を辞退、法律雑誌を編集、進歩党を組織し革命派に対抗。13年司法総長。14年幣制局総裁。15年日本の対華21カ条要求を攻撃、また袁世凱の帝制問題に反対して天津より逃亡、弟子蔡鍔を支持して雲南で挙兵(第3革命の導火線)。17年世界大戦参加を主張、張勳の復辟運動に反対。19年パリ講和会議中国代表。帰国後時事問題につき筆陣を張る。23年清華大学史学教授に任じ、思想界に活躍し、胡適の「文学革命」を援護。29年北平で死去。著書「飲冰室文集」「先秦政治思想史」「清代學術概論」。

梁 宏 光 Liang Hung-kuang

広東省梅県の人。ビルマ在住華僑。酒造業者。華商商会副主席。中共観光団長として中共視察。

梁 恒 昌 Liang Hêng-chang

60年11月免国府司法行政部秘書、任同部参事。

梁 虹〔女〕 Liang Hung

53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。55年2月雲南省人民委員会委員。58年11月雲南省人民委員会委員。

梁 廣(廣) Liang Kuang

広東省新会県の人。10歳頃南海の紡績業徒弟、広州の電燈廠の工人。14歳香港で造船職工。17歳香港ストに参加。27年革命分裂後上海。30年華南に帰り、造船工、香港工人代表会主席。34年大西遷のとき残留、中共福建省委員会の工作をし、福建で遊撃戦。35年ソ連レーニン学院に入学。38年帰国、中共広東省委員会に参加。48年8月全国総工会執行委員兼粵桂辺縦隊司令。50年10月ロンドン訪問。54年8月広東省人民政府委員を解任。59年3

月第二期全国人民代表大会広東省代表。4月同大会第1次会議で「帝国主義の好むところに投合すれば国を誤り、自らを誤ることになる」とについて合同発言。

梁 廣 堯 Liang Kêng-yao

56年~61年4月国府駐メルボルン領事。

梁 興 義 Liang Hsing-i

60年11月当時中国国民党中央委員会第1組副主任。

梁 興(興)初 Liang Hsing-chu

中将。56年9月当時解放軍広州部隊長。57年4月同職。

梁 鴻 志 Liang Hung-chih 1882~

福建省長楽県の人。京師大学堂卒。早くより段祺瑞の幕下に在り。北京政府法制局参事兼京師衛戍司令部秘書長、肅政使を経て1918年参議院議員兼秘書長。20年安福派失脚後逮捕令発せられ北京日本公使館に通る。24年段祺瑞臨時執政となるや執政府秘書長。25年東方文化事業総委員会委員。26年段の失脚と共に天津に去り、27年安国軍政治討論会員となりしもその後天津に閑居。38年3月南京に維新政府を組織して行政院長。同年中国政府連合委員会委員。39年9月華興商業銀行総裁を兼任。40年3月汪精衛の国民政府監察院長。漢詩を善くし福建十詩人の一人。

梁 国 斌 Liang Kuo-pin

49年福建省人民政府公安部長。52年華東大地区公安局長。華東行政委員会政治法律委員副主任。53年1月華東婚姻法貫徹運動委員会副主任。54年6月華東軍政委員会政治法律委員会副主任を解任。11月最高人民検察院副檢察長。58年4月当時國務院公安部副部長。59年9月公安部副部長。

梁 志 超 Liang Chih-chao

54年2月当時黒竜江省人民政府教育庁庁長。

梁 思 成 Liang Ssu-chêng 1901~

広東省新会県の人。梁啓超の子。清華大学卒業。米ペンシルヴァニア大学の建築学碩士。プリンストン大学名誉博士。帰国後東北大学建築系主任教授、中国营造学社の研究主任、ニューヨーク国連ビル設計団の中国代表などを歴任。52年8月北京市各界人民代表会議協商委員会副主席。53年10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員、中国建築学会第一期副理事長。54年8月第一期全国人民代表大会北京市代表。55年2月武漢長江大橋技術顧問委員会委員、北京市人民委員会委員。5月中国科学院技術科学学部委員。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。58年4月当時中国美術家協会常務理事。12月民主同盟第三期中央常務委員会常務委員。59年3月入党(共産党)当時清華大学建築系主任、第二期全国人民代表大会北京市代表。4月同大会第1次会議で「建築設計工作は正しい道を歩いている」として発言、政治協商会議第三期全国委員会委員(教育界代表)、常務委員。

梁 錫 佑 Liang Hsi-yu

(Liang Sit-you)

広東省梅県の人。現在58歳。ジャカルタ在住華僑。広東嶺南大学に学ぶ。かつてジャカルタ中華商会理事長、同華僑公会理事長、同自由報董事長等を歴任。55年米国國務省の招聘により米国訪問。現在インドネシア華僑商連会常務監事、潤発公司総理、協益米廠総理。

梁 守 槃 Lian Shou-pan

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員

員(特別招請人士)。

梁 从(從)学 Liang Tsung-hsiéh

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

梁 純 夫 Liang Chun-fu

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国民主促進会)。

梁 序 昭 Liang Hsü-chao 1904~

福建省の人。20年海軍船舶航空機建造学校卒業。芝罘海軍学校卒業。24年水雷砲術学校卒業。44年~45年米フロリダ州マイアミおよびキューバのグアンタナモ湾において海軍軍事訓練。46年米国譲渡の艦艇8隻を回航、軍艦太康号指揮官。49年海南島海軍第4区艦隊司令。その後同司令長官。49年海軍本部第5局長。51年海上訓練管区司令官。54年水陸両用軍隊の司令官。54年以来中国海軍総司令。57年6月海軍中將から海軍2級上將に進級。59年1月海軍総司令解任。国防部副部長。60年11月当時行政院国防部政務次長。

梁 序 穆 Liang Hsü-mu

60年当時中央研究院動物研究所主任。

梁 尙 立 Liang Shang-li

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。56年12月同第二期執行委員(広東省)。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中華全国工商業連合会代表)。

梁 昌 汉(漢) Liang Chang-han

54年12月青海省人民委員会委員。

梁 湘 Liang Hsiang

55年6月当時広州市副市長。60年12月再選。

梁 上 苑 Liang Shang-yüan

52年1月当時中共駐インドネシア大使館文化随員。55年9月駐アフガニスタン大使館文化参事官。61年1月免駐ビルマ大使館参事官。

梁 正 中 Liang Chêng-chung

55年4月当時人民解放軍華北軍区後勤政治部主任。

梁 正 平 Liang Chêng-ping

56年4月中共工会代表団員としてオーストラリア訪問、当時山西省煤礦(炭鉱)工会主席。

梁 成 义(義) Liang Chêng-i

55年9月当時中共鶴崗市委員会書記。

梁 聲 泰 Liang Shêng-tai

広東省揚江県の人。ニューヨーク在住華僑。国立政治大学卒業。米州日報総編集、国民党アメリカ東部支部執行委員、国民大会秘書、広東省政府参議等を歴任。

梁 选(選)賢 Liang Hsüan-hsien

56年4月当時中共西藏工作委员会日喀則分工委員会書記。59年3月西藏自治区満備委員会委員。

梁 双 璧 Liang Shuang-pi

55年8月当時中共河北省石家荘地方委員会書記。

梁 漱 溟 [煥鼎] Liang Sou-ming

[Huan-ting] 1893~
原籍広西省桂林県。北京に生る。北京順天

中学卒業。仏教を研究。17年「究元決疑論」を発表。北京大学教授として印度哲学を講じ、「印度哲学概論」を著す。21年「東西文化及其哲学」を発表。社会主義思想の薫染を受けて、23年北京大學を辞し、山東省曹州にて学究。後北平に帰り農村問題を研究。28年広東省立第1中学校長、広東省政府委員、広州政治分会建設委員会主席、広東に「郷治講習所」を開設、人材の養成を計画し、「郷治」を主張。29年河北省定県、山西省等で村政を考察。30年河南村治学院で教育に従事。北京に帰り「村治」月刊を編集、「郷治の主張」を発表。「中国民族自敬運動之最後覚悟」を刊。31年「山東郷村建設研究院」を設けその研究部主任。33年10月同院院長、山東省政府高等政治顧問、山東県政建設計画委員会常務委員、山東省12校師範女生郷村服務訓練処処長、山東文化建設協会評議長。51年10月政治協商会議全国委員(補充)。54年12月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員、政治協商会議第二期全国委員会第1次全体会議において自己批判。55年7月その著書に現われた思想を批判する。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。著書上述数種の外「瀾溟世前文録」「瀾溟世後文録」「郷村建設大意」。

梁 暉 輝 Liang Chuo-hui

56年3月世界卓球選手権大会参加のため秘書として来日、当時北京体育文化協会講師。

梁 达(達)山 Liang Ta-shan

55年2月江西省人民委員会委員。

梁 長 齡 Liang Chang-ling

(Leung Cheung-ling) 1904~
香港生れ。ケッラルムプール在住華僑。現在治安判事、商業および鉱業を經營。香港ク

インス・カレッジ、香港大学卒業。31年~42年華僑学校視学。45年~46年マラヤ連邦華僑学校視学。48年以来連邦立法議員。48年~55年セララン州参事会員。セララン中華総商會副會長。

梁 培 Liang Pei

54年9月~56年2月当時澳門工会連合総会理事長。

梁 伯 强 Liang Po-chiang

病理学専門家。53年5月当時広州中山大学医学院病理学系主任教授。54年7月当時華南医学院病理科主任教授。8月第一期全国人民代表大会広州市代表。55年5月中国科学院生物学地学学部委員。10月当時華南医学院副院長。56年3月~4月全パキスタン医学会議に出席。59年3月第二期全国人民代表大会広東省代表。61年4月当時中山医学院副院長。

梁 必 业(業) Liang Pi-yeh

54年2月当時人民解放軍第4野戦軍政治部副主任。6月~12月当時中南軍区第4野戦軍政治部副主任。54年10月中南軍区政治部副主任。55年9月1級解放勲章。60年6月当時済南軍区首長(中将)。61年3月東独訪問中国軍事代表団団長。

梁 楓 Liang Fêng

56年5月当時中国新民主主義青年団西藏工作委员会副書記。

梁 文 英 Liang Wên-ying

54年6月まで西康省人民政府委員。55年10月国务院紡織工業部部長助理兼辦公庁主任。

梁 步 庭 Liang Pu-ting

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。54年4月~5月ソ連メーデー参観。57年5月当時共産主義青年団中央書記処書記、同常務委員。12月中華全国総工会第八期執行委員。59年3月先進生産者代表会議準備委員会委員。

梁 丰(豐)珠 Liang Fêng-chu

56年12月当時中国国際貿易促進委員会外来華展覽部副部長。

梁 耀 Liang Yao

49年10月~52年10月財政經濟問題評議委員会の合作企業中央行政部会副理事長。52年7月中華全国合作総社臨時理事会副主任。(8月臨時の称がなくなる)。53年11月合作総社が購売合作総社に再組織されたとき同理事会副主任、国家委員。54年7月中華全国購販合作総社理事会副主任。56年12月全国工商業連合会第二期執行委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(合作社)。60年8月国务院商業部副部長。

梁 膺 庸 Liang Ying-yung

元中共中央華北局副秘書長。54年8月中央人民政府国家計画委員会委員。54年11月国务院国家建設委員会委員。59年9月化学工業部副部長。

梁 灵(靈)光 Liang Ling-kuang

55年2月福建省人民委員会委員。59年2月福建省副省長再任。3月第二期全国人民代表大会福建省代表。

廖 霽 亭 Liao Ai-ting

54年12月青海省人民委員会委員。56年1月

政治協商會議第二期全國委員會特別招請委員。

廖 靄 庭 Liao Ai-ting

53年11月全國工商業連合會第一期執行委員。55年11月當時青海省工商連主任委員。56年12月全國工商連第二期執行委員(青海省)。59年4月政治協商會議第五期全國委員會委員(中華全國工商業連合會)。

廖 安 邦 Liao An-pang

56年1月政治協商會議第二期全國委員會特別招請委員。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(特別招請人士)。

廖 運(運)澤 Liao Yün-tsê

56年2月國民黨革命委員會候補中央委員。59年2月同第四期中央委員會委員。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(特別招請人士)。

廖 鉞 Liao Yüeh

53年6月中華全國民主青年連合會第二期全國委員會委員。60年6月當時廣東省青年連合會副主席。

廖 家 岷 Liao Chia-min

60年3月中國ラテンアメリカ友好協會理事。4月當時對外文化協會四川分會副會長，成都市副市長。

廖 蓋(蓋)隆 Liao Kai-lung

55年6月ヘルシンキ世界平和大会に出席。12月東独ピーク大統領誕生80年祝典に中共代表団秘書長として参加。56年1月プラグのワルシャワ条約会議にオブザーヴァーとして出席，当時国防委員会顧問。

廖 漢(漢)生 Liao Han-shêng 1910~

湖北省の人。19歳にして賀竜の紅軍游撃隊に参加。34~36年大西遷に加わり，日華事変中は賀竜麾下の第120師に所属。49年西北軍政委員会委員兼青海軍政委员会主任。50年青海人民政府副主任兼青海東軍地区副司令。53年1月西北行政委員会委員。54年4月当時西北軍区副政治委員。8月第一期全國人民代表大會西北軍区代表。9月国防委員会委員。11月國務院国防部副部长。56年9月中共第八期中央委員会候補委員。58年4月当時軍事学院院长(中將)。60年9月国防部副部长。

廖 季 立 Liao Chi-li

56年11月~59年1月國務院国家經濟委員会委員。59年9月國務院国家計画委員会委員。

廖 經 天 Liao Ching-tien

53年5月中ソ友好協會總會訪ソ参観団副団長。10月~54年12月当時中ソ友好協會總會副幹事。55年4月中ソ友好協會總會副秘書長。

廖 原 Liao Yüan

55年2月広西省人民委員会委員。

廖 志 高 Liao Chih-kao

西康省の人。現在47歳位。清華大学卒業。50年3月西康省人民政府主席。当時中共西康省委員会書記，人民解放軍西康軍区政治委員。53年1月西南行政委員会委員。54年8月第一期全國人民代表大會西康省代表。55年1月西康省省長。58年5月中共第八期中央委員会候補委員。59年3月第二期全國人民代表大會四川省代表。4月民族委員会委員。60年5月当時中共四川省委書記。

廖 似 光〔女〕 Liao Ssu-kuang

54年8月第一期全國人民代表大會広東省代

表。59年2月政治協商會議広東省第二期委員会常務委員。3月第二期全國人民代表大會広東省代表。

廖 少 儀 Liao Shao-i

55年2月江西省人民委員会委員。

廖 承 志〔何柳華(華)〕

Liao Chêng-chih [Hé Liu-hua] 1908~
広東省の人。東京生れ。父は国民党元老廖仲愷，母は何香凝。11年日本に流寓し，カトリック系学校に学ぶ。19年帰国，嶺南大学卒業。25年広州沙面の示威運動に参加。25年8月父暗殺後，再渡日，早稲田大学に入り，28年退校処分後，独，白，和で中国海軍部隊の赤化工作を続け，ハンブルグで逮捕，国外追放，ソ連入国。32年上海に帰り逮捕，母の運動で保釈，江西ソヴィエト区に赴き大西遷に参加。35年中共出版局局長。その後中共広東省委員となり，香港を根拠に海外委員会主任委員。42年曲江で国民党に逮捕。45年中共第七期中央委員。46年釈放。49年4月中国新民主主義青年団中央常務委員兼副書記。5月中華全國民主青年連合總會主席。10月政治協商會議第一期全國委員會委員。10月中央人民政府政務院政治法律委員会委員，華僑事務委員会副主任委員。53年1月選挙法起草委員会委員，2月政治協商會議全國委員會常務委員。当時中国紅十字会在華日本人婦国問題代表団団長。3月スターリンの葬儀に参列。7月新民主主義青年団第二期中央委員会常務委員兼中央書記処書記。9月当時抗米援朝總會常務委員。54年5月当時平和委員会副主席兼秘書長。同月對外文化協會常務理事。7月ベルリンの世界平和理事会に出席。9月第一期全國人民代表大會華僑代表，同大会常務委員会委員。10月~11月訪日紅十字会代表団副団長として来日。11月國務院華僑事務委員会副主任。

12月中ソ友好協會總會第二期副會長。55年1月~56年5月当時紅十字会顧問。55年4月バンドンのアジア・アフリカ會議に出席。6月ヘルシンキの世界平和大会に中共代表団団長として出席。7月外交学会第三期理事会理事。8月当時中国国際貿易促進委員会委員。12月~56年2月インド，ビルマ，パキスタンを訪問。56年2月中国亞洲團結委員会副主席。当時中共中央統一戦線工作部副部长。9月中共第八期中央委員会委員。57年9月十月社会主義革命40周年慶祝準備委員会委員。12月中国紅十字会訪日代表団副団長として来日。58年4月中国人民保衛兒童全國委員会副主席。7月中国・アジア・アフリカ團結委員会主任。59年3月第二期全國人民代表大會華僑代表。4月華僑事務委員会主任。5月中ソ友好協會第三期副會長。9月当時中国人民保衛世界和平委員会副主席，中国・アジア・アフリカ連帯委員会主席。國務院外事辦公室副主任。10月日本各界中国建国10周年祝賀代表団と中国側7団体との共同声明に調印。60年2月帰国華僑接待安置委員会主任委員。8月~9月党政代表団団員としてヴィエトナム訪問。61年1月華僑大学校長。3月~4月世界平和理事会(ニューデリー)出席。

廖 勝(勝) Liao Shêng

広東省廉江県の人。現在49歳位。越南清化省華僑理事会理事長，越華友誼會副會長。53年越南華僑帰国觀光団団長。54年9月第一期全國人民代表大會華僑代表。

廖 井 丹 Liao Ching-tan

四川省の人。現在46歳位。延安中共中央党校卒業。50年~54年9月西南軍政委員会文化教育委員会委員。53年1月西南行政委員会委員，当時中共中央西南局宣伝部副部长。54年

8月第一期全国人民代表大会四川省代表。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。60年5月当時中共成都市委員会第1書記。

廖世剛 Liao Shih-kang

59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。4月同大会第1次會議で「刻苦研鑽すればだれでも奇蹟をつくれる」について発言。

廖世承 Liao Shih-chêng

56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。60年1月当時民主同盟上海市委員会副主任。

廖政国 Liao Chêng-kuo

61年1月当時中国人民解放军上海警備区副司令員。

廖祖裔 Liao Tsu-i

53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。

廖苏(蘇)华(華)〔女〕 Liao Su-hua

四川省の人。現在42歳位。延安抗日大学卒業。50年～53年1月西南行政委員会委員。53年1月西南行政委員会委員。4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。6月デンマーク・コペンハーゲンの世界婦人大会中共代表。54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。55年1月四川省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。60年5月当時重慶市党常務委員、中国平和委員会重慶分会主席。

廖体仁 Liao Ti-jên

53年8月～55年8月当時中央人民政府外貿易部商品檢驗総局副局長。

廖卓之 Liao Chuo-chih

55年2月江蘇省人民委員会委員。

廖仲愷 Liao Chung-kai 1876～1925

広東省の人。米国桑港に生る。日本法政大学卒。滞日中孫文と交わり革命運動に尽力、第1革命後広東都督府総参議、財政司長に任じたが、第2革命失敗後孫文と共に日本に亡命し反袁世凱運動に奔走。20年帰国して広東軍政府財政次長、23年広東省長、大元帥府秘書長。同年2月～3月孫文の命により熱海でヨッフエと会談、国共合作の詳細を討議、帰国後合作推進の中心となり、連ソ容共の方針の下国民党改組を实行。24年国民党第1期中央執行委員、常務委員。同年広東省長、財政部長、軍需総監。25年農民部長兼任、8月朱卓文に暗殺さる。

廖仲琴 Liao Chung-chin

58年6月当時国府駐ブノンベン領事。59年6月当時駐ベルギー大使館1等秘書、4月国際電信連合会行政理事会第14次會議の代表顧問。60年8月当時駐カメルーン臨時代理大使。61年6月当時駐ガボン共和国臨時代理大使。

廖仲畔 Liao Chung-pan

59年4月国際電信連合会行政理事会第14次會議国府顧問。

廖德珍 Liao Tê-chên

58年6月当時国府駐ヴェトナム国ユエ領事。60年8月当時駐ヴィエンチャン領事。

廖沫沙 Liao Mo-sha

58年3月当時中共党北京市委員会教育部長。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。60年1月北京市中ソ友好協会副会長。

廖梦(夢)醒〔女〕 Liao Mêng-hsing

広東省の人。廖承志の妹。現在46歳位。嶺南大学卒業。49年10月中ソ友好協会理事。53年4月中華全国民主婦女連合会執行委員(国際工作部副部長)。54年8月第一期全国人民代表大会広東省代表。59年3月第二期全国人民代表大会広東省代表。60年1月当時全国婦女連合会国内連絡部副部長。

廖容标(標) Liao Jung-piao

55年7月当時人民解放军上海警備区副司令。

廖立民 Liao Li-min

54年6月当時広州市工会連合会代理主席。57年12月中華全国総工会第八期執行委員。

廖联(聯)原 Liao Lien-yüan

僮族。55年2月広西省人民委員会委員。

廖鲁言 Liao Lu-yên

江蘇省の人。現在65歳位。49年末中央人民政府政務院参事室副主任、当時中共中央政策研究室秘書長。52年8月中央人民政府政務院副秘書長兼参事室主任。53年10月～56年1月当時中共中央農村工作部副部長。54年8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。9月国務院農業部部長。55年11月国務院第7辦公室副主任。56年3月全国文盲一掃協会委員。9月中共第八期中央委員会候補委員。59年3月先進生産者代表會議準備委員。4月政治協商會議第三期全国委員会委員(農民代表)、同第1次全体會議主席団員、農業部長に再任。9月国務院農林辦公室副主任。60年2月教育文化衛生体育関係社会主義建設先進グループ先進活動家全国代表大会準備委員会副主任委員。全国文芸工作者代表大会主席団員。9月論文「全党全国人民は農業に大いに力をいれよ」(紅旗17期)。

林以文 Lin I-wên

台湾省の人。台湾富豪林家の一族。在日華僑。日本中央大学卒業。映画館を經營、また現在惠通企業株式会社社長、東京留日華僑連合總會(国府系)会長。

林維先 Lin Wei-hsien

55年1月浙江省人民委員会委員。7月当時浙江軍区司令。59年4月国防委員会委員。

林一元 Lin I-yüan

56年2月国民党革命委員会中央委員。

林一山 Lin I-shan

49年人民解放军第4野戦軍南下工作団秘書長、中央人民政府水利部長江水利委員会主任。

林一心 Lin I-hsin

54年8月第一期全国人民代表大会福建省福州市代表。55年～56年当時福建省人民檢察院檢察長。59年3月第二期全国人民代表大会福建省代表。60年3月当時福建省委員会書記、福建省帰国華僑接待安置委員会主任。

林逸川 Lin I-chuan 1896～

広東省新会県の人。13年カナダに渡航し、ヴァンクーヴァー在住華僑。国民党カナダ総支部執行委員、同代理書記長、駐粵辦事処主任、第4、第6次国民党全国代表大会代表、醒華日報社長等を歴任。

林云(雲) Lin Yün

53年2月～54年8月当時台湾民主自治同盟駐北京辦事処主任。

林永樑 Lin Yung-liang

57年8月国府台湾省政府委員。

林荣(榮)曜 Lin Jung-yao

54年8月第一期全国人民代表大会広州市代表。

林炎城 Lin Yèn-chêng

広東省揭陽県安楽区白雲村の人。農業模範。56年1月政治協商会議第二期全国委員会委員(特別招請人士)。

林應標 Lin Ying-piao

(Lim Eng-peow) 1898~

広東省潮安県の人。シンガポール在住華僑。漢藥商裕豊参茸行経営者。漢藥入口商公局主席。56年8月シンガポール工商業貿易視察団団員として中共を訪問。

林可勝 Lin Kê-shêng

(Robert. K. S. Lim) 1897~

福建省同安県籍、シンガポールに生る。英エディンバラ大学医学博士。24年~37年北京協和医学院生理系主任兼教授。35年国立北京大学文学院教育学系名誉教授。37年~42年中国赤十字救護委員会総幹事兼総隊長。38年~42年軍政部戦時衛生人員訓練所主任。42年~45年ビルマ派遣軍軍医監。45年~47年軍医署戦時衛生勤務設計監察委員会軍医官主任委員。48年中央研究院院士。46年以来軍医総監署長、国防医学院院長。

林華(華) Lin Hua

53年4月当時東北人民政府工業部化学工業管理局副局長。

林家翹 Lin Chia-chiao

福建省閩侯県の人。45歳。カナダ・トロント大学碩士。米国カリフォルニア理工大学博士。米国マサチューセッツ理工大学数学教授。流体力学専攻。57年国府中央研究院院士。

林海云(雲) Lin Hai-yün

49年12月中央人民政府政務院貿易部辦公庁主任兼国外貿易司司長。52年8月政務院対外貿易部辦公庁主任。54年12月国務院対外貿易部海關総署署長。55年6月対外貿易部部長助理。56年10月同部副部長。59年4月同再任。60年6月当時同部税関総署署長。

林楷 Lin Kai

(Lim Khai) 1920~

福建省南安県の人。シンガポール在住華僑。食品、雜貨輸出入業、成豊有限公司経営者。56年8月シンガポール商業貿易視察団食品組正組長として中共を訪問。

林岳川 Lin Yüeh-chuan

黎族。59年3月第二期全国人民代表大会広東省代表。4月民族委員会委員。

林煥熙 Lin Huan-hsi

(Lim Huan-hee) 1913~

福建省思明県の人。シンガポール在住華僑。星馬業業公司經理、北歐紙廠代理人。日本合板会社代理人。56年8月シンガポール工商業貿易視察団団員として中共を訪問。

林汉(漢)达(達) Lin Han-ta

51年中央人民政府教育部社会教育司司長。52年11月文盲工作委員会副主任。54年8月第一期全国人民代表大会上海市代表。11月国務院教育部副部長。55年1月文字改革委員会委員。6月ヘルシンキ世界平和大会に出席。56年2月中央標準語普及工作委員会委員。3月全国文盲一掃協会委員兼秘書長。8月中国民主促進会第四期中央委員会副主席。58年12月同第五期中央委員会常務委員。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。12月右派分子の名称解除。

林杞祥 Lin Chi-hsiang

(Lim Kee-siong) 907~

マラヤのセレムバン在住華僑。セレムバンのセント・ポール学院卒業。治安判事、市會議員、バス会社重役、各種体育競技団体役員。

林其英 Lin Chi-ying

49年末~53年9月当時中央人民政府政務院紡績工業部辦公庁副主任。

林紀東 Lin Chi-tung

58年9月国府司法院大法官會議大法官。

林琦 Lin Chi

55年12月当時中共河北省豊潤県委員会書記。

林亨元 Lin Hêng-yüan

54年11月最高人民法院副庭長。58年6月右派分子の理由により同職を罷免さる。

林玉 Lin Yü

53年6月中華全国民主青年連合会第二期全国委員会委員。

林金莖 Lin Chin-ching

59年11月国府駐日本大使館3等秘書。

林启(啓)煌 Lin Chi-huang

日本明治大学卒業。57年12月訪日中国紅十字会代表団団員。

林慶年 Lin Ching-nien

(Lim Keng-lian) 1893~

福建省安溪県の人。シンガポール在住華僑。北京大学卒業。元漳北保安隊統領、贛軍独立団団長。26年亡父の遺業林金泰茶莊本店を厦門よりシンガポールに移し、南洋一帯華僑の

需要する中国茶を輸入販売。46年マラヤ中南興業有限公司を開設し招商局の代理店業務を行う。中華総商会会長、国民大会代表、国民政府参政員、僑務委員会副委員長等を歴任。現在茶業公会主席。

林繼忠 Lin Chi-chung

(Lim Kay-tiong) 1924~

福建省竜溪県の人。シンガポール在住華僑。林徳根の次子。ゴム業建興有限公司董事長、マラヤ連合王梨製造種植有限公司董事。56年8月シンガポール工商業貿易視察団団員として中共を訪問。

林繼民 Lin Chi-min

(Lim Kee-ming) 1928~

広東省潮安県の人。シンガポール在住華僑。雜貨、綿布、建築材料、化学薬品、油漆、家具類取扱業林徳利有限公司經理。56年7月シンガポール工商業貿易視察団布疋雜貨組正組長として日本ついで中共を訪問。

林浩(潔) Lin Chieh

54年8月まで遼西省人民政府委員。55年2月遼寧省人民委員会委員。

林源 Lin Yüan

55年1月当時国務院輕工業部橡膠(ゴム)工業管理局局長。

林乎加 Lin Hu-chia

55年10月当時中共浙江省委員会副書記。

林虎[隱青] Lin Hu

[Yin-ching] 1882~

広西省陸川県の人。江西武備学堂卒。広西、広東の地区鎮守使、潮梅総指揮等を歴任。長く香港に閉居。59年4月政治協商会議第三期

全国委員会委員（特別招請人士）、常務委員。

林 語 堂 [原名, 玉堂] Lin Yü-tang
[Yü-tang] 1895~

福建省竜溪県の人。16年上海セント・ジョ
ンズ大学文学士, 「チャイニーズ・ソーシャ
ル・アンド・ポリティカル・サイエンス・レビ
ュー」記者。21年米ハーバード大学卒業。23
年独ライプテヒ大学言語学博士。同年帰国, 北
京大学言語学教授兼北京師範大学講師。26年
北京女子師範大学教務長兼英文学学部部長,
厦門大学文科主任。27年広東国民政府外交部
秘書。30年中央研究院外国語編集主任。36年
8月渡米, 明星影片(映画)公司の米国駐在
員。48年ユネスコ事務局勤務。53年国連総会
中国代表団顧問。54年~55年シンガポール南
洋大学総長。59年6月当時外交部顧問。雑誌
「人間世」「論語」「宇宙風」等を主宰, ユーモ
ア小品で知られ幽默大師と称せらる。また英
文雑誌「チャイナ・クリティックス」によっ
て社会問題, 外交問題を論評, ニューヨーク
タイムズ紙の特別寄稿家。著書「英文小品甲
乙丙集」「女子と知識」「林語堂時事述訳彙刊」
「現代新聞散文選」「我国と我國民」「中国の
郷村生活」「北京好日」「前払集」「新しい文
評」「大荒集」「私のこと」「語言学論叢」「生
活の発見」。また中央研究院の研究報告とし
て「支脂之三部古説考」「漢字索引制」中国古
文小品等の英訳「有不為齋古文小品」, 漢英対
照の「浮生六記」「揚州十日記」「冥廖子遊」
等がある。

林 巧 稚 [女] Lin Chiao-chih

産婦人科医。53年4月中華全国民主婦女連
合会第二期執行委員。5月~56年4月当時協
和医学院産婦人科主任教授。54年3月当時北
京市民主婦女連合会副主席。8月第一期全国
人民代表大会北京市代表。55年5月中国科学院
生物学地学学部委員。57年3月中華医学会総

会節育技術指導委員会主任委員。9月全国婦
女連合会第二期執行委員。58年4月当時中華
医学会副会長。59年3月第二期全国人民代表
大会北京市代表。4月同第1次會議主席団
員。同月政治協商會議第三期全国委員会委員
(中華医業衛生界), 同常務委員。60年3月
第二期全国人民代表大会第2次會議主席団
員。6月全国文教工作者代表大会主席団員,
10月当時中国アルバニア友好協合理事。12月
当時政治協商會議北京市委員会副主席。

林 甲 鏞 Lin Chia-yung

西藏族。西康省の人。54年8月第一期全国
人民代表大会西康省代表。9月西康省人民政
府委員, 当時西康省木里藏族自治州協商委員
会主席。59年3月第二期全国人民代表大会四
川省代表。

林 厚 周 Lin Hou-chou

53年11月全国工商業連合会第一期執行委
員。56年12月同第二期執行委員(湖北省)。

林 克 澤 Lin Kê-tsê

54年7月当時広東省人民政府秘書長。55年
2月広東省人民委員会委員。6月当時広東省
人民委員会秘書長。

林 克 武 Lin Kê-wu

59年3月第二期全国人民代表大会広西僮族
自治区代表。60年8月中国ヴェトナム友好
協会広西分会副会長。

林 克 明 Lin Kê-ming

54年8月第一期全国人民代表大会広州市
代表。55年当時広東省政府副秘書長, 広州
市建築工程局長。59年3月第二期全国人民
代表大会広東省代表。4月同大会第1次會
議で「帝國主義の好むところに投合すれば
国を誤り, 自らを誤ることになるう」につ

いて合同発言。

林 國 仁 Lin Kuo-jên

(Lim Kok-gin) 1903~

福建省の人。シンガポール在住華僑。罐詰,
雜貨, 土産品輸出入業光華有限公司董事兼經
理。56年8月シンガポール工商業貿易視察団
団員として中共を訪問。

林 宰 平 Lin Tsai-ping

53年6月中国仏教協会理事。

林 士 笑 Lin Shih-hsiao

53年1月当時中国紅十字会副秘書長。

林 之 翰 Lin Chih-han

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委
員(特別招請人士)。

林 志 澄 Lin Chih-chêng

国府時代広西省航政局長。53年11月全国工
商業連合会第一期執行委員。54年8月第一期
全国人民代表大会広州市代表。55年11月当時
広州市工商連監察委員会主任委員。56年12月
全国工商連第二期執行委員(広東省)。61年3
月当時広州市政治協商會議副主席。

林 斯 馨 Lin Ssu-hsing

54年12月政治協商會議第二期全国委員会委
員(中華全国民主婦女連合会)。

林 日 榮(榮) Lin Jih-jung

山西省出身。現在43歳。57年10月訪日中国
食品出口公司代表団秘書, 当時同公司天津分
公司副經理。

林 錫 禎 Lin Hsi-chên

広東省の人。ビルマ在住華僑。貿易業。華

商商会常務理事。中共観光婦国団員として中
共視察。

林 珠 光 Lin Chu-kuang

55年1月当時福州市婦国華僑連誼会主任委
員。59年1月福建省第二期人民代表大会代表。
60年3月当時同省婦国華僑処理連合会副主席。

林 修 德 Lin Hsiu-tê

55年2月福建省人民委員会委員。60年6月
全国文教先進工作者代表大会主席団員。

林 潤 田 Lin Jun-tien

55年2月河北省人民委員会委員。

林 遵 Lin Tsun

福建省の人。海軍少将。元国府軍第2艦隊
司令。49年中共軍に寝返る。49年9月政治協
商會議第一期全国委員会委員。54年8月第一
期全国人民代表大会山東省代表。9月国防委
員会委員。55年9月1級解放勲章。59年3月
第二期全国人民代表大会山東省代表。4月国
防委員会委員。60年6月当時南京駐屯部隊首
長。

林 肖 硤 Lin Hsiao-hsia

55年1月当時中共ハルビン市委員会副書記。
60年5月当時同委書記処書記。

林 霄 [女] Lin Hsiao 1916~

61年3月訪日中国婦人代表団団員。

林 鏘 云(雲) Lin Chiang-yün 1900~

広東省中山県の人。青年時代から船員, 海
員労働組合の組織に努力。日華事変中は珠江
三角州で港灣労働者, 沖仲仕, 漁師などでゲ
リラ隊を組織し, 日本軍および汪兆銘派軍と
戦い, 後珠江縦隊司令。戦後国共内戦により
華北に転戦。48年8月中華全国総工会常務委

員。49年10月広東省人民政府委員。52年末広東省婚姻法貫徹運動委員会委員。53年5月中華全国総工会執行委員。54年6月当時広東省工会連合会主席。8月第一期全国人民代表大会広東省代表。55年2月広東省人民委員会委員。58年4月当時広東省副省長、9月再選。59年2月中国人民政治協商会議広東省第二期委員会常務委員。3月第二期全国人民代表大会広東省代表。60年6月当時中共広東省委員会常務委員。8月中国ヴェトナム友好協会広東分会長、広東省党政代表団団長としてヴェトナム民主共和国成立15周年祝賀に参加。11月当時同省中ソ友好協会副会長、平和保衛委員会広東省分会主席。

林 疊 [景斐] Lin Tieh [Ching-fei] (Dr. Kalfred Dip Lum) 1899~
 ホノルル生れ。原籍広東省中山県。ハワイ大学文科卒業。コロンビア大学碩士、ニューヨーク大学博士。金発公司董事長、国民党中央執行委員候補、国民政府僑務委員、中央特派僑務專員、ハワイ国民党総支部常務委員、中華公報支配人、国民党駐米総支部常務委員、ハワイ大学、交通大学、ニューヨーク大学等の法政学教授等を歴任。著書英文「ホノルルにおける東洋人の政治勢力」、中国文「行政学大綱」等。

林 植 夫 Lin Chih-fu
 55年1月政治協商会議第一期福建省委員会副主席。2月福建省人民委員会委員。56年2月民主同盟第二期全国委員会委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中国民主同盟）。

林 沁 僧 格 Lin-chin-sêng-kê
 蒙古族。綏遠省の人。53年1月綏遠省人民

政府委員。当時綏遠省烏蘭察布盟自治区人民政府副主任。

林 新 澤 Lin Hsin-tsê
 59年9月世界衛生組織第10回西太平洋区域会議国府代表団顧問。

林 新 民 Lin Hsin-min
 59年5月国府外交部科長を免ず。6月当時駐日本大使館1等秘書。

林 森 Lin Sên 1862~1943
 福建省閩候県の人。清朝末期長く米国に在り、孫文の革命運動を援助。第1革命直後帰国し南京参議院議長。17年南北決裂後広東非常国会に参加。22年福建省長。23年広東大元帥府建設部長。24年国民党第一期中央執行委員、海外部長。25年国民党の内訌に際し左派及び共産党の駆逐を主張、26年共産党及び左派に逐われて広東を去り、鄒魯、居正等と北京西山に会合して共産党駆逐を決議（所謂西山派）。26年在広東左派、共産党召集の国民党第2次全国代表大会に対抗して上海に同様大会を召集、中央執行委員。ついで胡漢民と共に蔣介石の南京政府に入り、27年浙江政治分会委員。同年武漢、南京、両派合作後、中央特別委員会、国民政府、僑務委員会等の各委員となり国民政府部内に重きをなす。28年北伐完成後立法院副院長。29年国民党第3次監察委員。31年立法院長胡漢民監禁後これが後任に、また広東派独立し広東国民政府委員に任せられたが何れも就任せず、南京、広東両派に対し消極的態度を持したが同年末両派妥協成立後、国民党第4次中央監察委員。国民政府改組後国民政府主席。43年8月在任のまま死去。

林 慎 [女] Lin Shên 1906~
 台湾省の人。燕京大学、厦門大学修了。米

コロンビア大学卒業。上海台湾婦女同盟主席。台湾婦女運動協会長、中華婦女反抗ソ連合会常任幹事、台湾社会事業協会長を歴任。48年以来立法委員。台湾省婦女会会長、台湾社会商業協進会会長。

林 水 石 Lin Shui-shih
 福建省の人。ビルマ在住華僑（ビルマ国籍）。戦後煙草工場を経営。現在ビルマ工業総会主席、華商商会理事、ウ・チョウ・ニエン副首相と関係が深いといわれる。

林 世 義 Lin Shih-i
 福建省の人。ビルマ在住華僑（ビルマ国籍）。抗日運動に携わり、戦時中中国に逃れ、中共政権成立後反共運動に挺身し、緬華連合総会常務理事。

林 正 平 Lin Chêng-ping
 福建の人。ビルマ生れ。ビルマ在住華僑。つとに左翼運動に携わり、現在商業を営む傍ら中共系紙人民報の発行人。

林 生 地 Lin Shêng-ti
 インドネシア生れ。現在66歳。スラバヤ在住華僑。両親は福建省人で、インドネシア国籍を所有。東部ジャワにおける第一の富豪といわれ、スラバヤその他各地で煙草工場、精米所、映画館等を経営。社会事業にも関係。

林 生 阳(陽) Lin Shêng-yang
 56年12月全国工商業連合会第二期執行委員（黒竜江省）。

林 西 Lin Hsi
 60年7月当時広州市人民委員会秘書長。12月広州市副市長。

林 石 城 Lin Shih-chêng
 60年6月台湾省政府委員。

林 全 九 Lin Chüan-chiu
 53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。56年12月同第二期執行委員（四川省）。

林 澤 生 Lin Tsê-shêng
 55年1月国務院重工業部部長助理。59年4月冶金工業部副部長。60年1月冶金工業部部長助理を免ぜらる。

林 达(達)飞(飛) Lin Ta-fêi
 広東省出身。現在45歳。57年10月訪日中国食品出口公司代表団員。

林 致 平 Lin Chih-ping
 江蘇省無錫の人。52歳。国立交通大学卒業、ロンドン大学哲学博士、国立四川大学教授航空系主任教授。57年当時中央研究院院士。航空研究院院長。61年6月当時中央研究院数学研究所主任。

林 中 Lin Chung
 61年5月当時中共外交部辦公室副主任。

林 仲 易 Lin Chung-i
 弁護士。49年10月政務院政治法律委員会委員。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員。56年2月民主同盟第二期中央委員会候補委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（中国民主同盟）。

林 兆 侖 Lin Chao-tsung
 55年2月湖南省人民委員会委員。56年2月民主同盟第二期中央委員会委員。

林 兆 南 Lin Chao-nan
 56年6月中共駐エジプト大使館参事官。60

年9月当時中共駐アラブ連合大使館臨時代辦。
61年2月中共アラブ連合61年度貿易議定書に
調印。

林 頂 立 Lin Ting-li 1908~

台湾省雲林県の人。上海大陸大学修了、日
本陸軍經理学校、明治大学卒業。戦後台湾省
衛戍司令部政務部調査課長、全民月報社長。
51年全民日報、民族報、経済時報連合版総管
理処主任委員。51年~56年当時台湾省臨時議
会副議長。56年洋麵糧食管理治罪条例に依り
検挙、懲役7年半の判決。59年8月服役中病
気療養の名目で仮釈放出獄。

林 鉄 Lin Tieh

四川省の人。現在57歳位。広東農民講習会
卒業。49年末河北省人民政府委員。52年11月
河北省人民政府主席。53年1月~54年9月華
北行政委員会委員。49年~56年1月当時中共
河北省委員会書記。54年8月第一期全国人民
代表大会河北省代表。55年2月河北省省長。
56年9月中共第八期中央委員会委員、中共8
全大会で「河北が高級農業合作社組織化を
実現した経験の教訓」について発言。当時中共
河北省委員会第1書記。59年3月第二期全国
人民代表大会河北省代表。4月同大会第1次
会議の主席団員。60年9月「農村における社
会主義、共産主義教育運動を深くくりひろげ
よ」(紅旗15期)を発表。

林 田 烈 Lin Tien-lieh

56年12月全国工商業連合会第二期執行委員
(台湾省)。

林 道 榮 Lin Tao-jung

(Lim Tow-yong) 1926~

広東省潮安県の人。シンガポール在住華僑。
雑貨、綿布商林成發号経営者。56年7月シン

ガポール工商業貿易視察団団員として日本、
ついで中共を訪問。

林 納〔女〕 Lin Na

満洲出身。54年8月第一期全国人民代表大
会黒竜江省代表。59年3月第二期全国人民代
表大会黒竜江省代表。

林 伯 渠〔祖涵〕 Lin Po-chü

[Tsu-han] 1882~1960

湖南省臨澧県の人。1904年日本に官費留学。
華興会、後孫文の同盟会に入る。同会の派遣
で吉林にて2年間教師。11年辛亥革命の時、
湖南都督府科長。16年~19年湖南護路軍司令
程潜の秘書長。20年軍職を辞し上海に赴き、
陳独秀と中国共産党設立に努力。21年~23年
国民党党務部長。24年1月国民党一全大会候
補執行委員。25年孫文逝去後、広東政府農民
部長、中央政治会議委員、財政委員会主席を
兼任。26年程潜と第6軍を組織して北伐に参
加、軍内の党代表。26年国民党中央委員。武
漢に赴き革命軍事委員会秘書長。27年国共分
裂し、南昌暴動の際は賀竜軍に参加し財政委
員会主任、暴動失敗後香港に赴く。27年冬モ
スクワに学び、ハバロフスク大学の漢文教授。
29年~31年ウラジオストック附近に滞在、華
僑労働学校を創設。31年帰国。32年瑞金政府
にて財政を担当。35年大西遷に参加。42年陝
甘寧辺区政府主席、国民参政員。44年~45年
国共重慶会談の中共代表。45年中央第七期中
央委員会委員、中央政治局員。49年4月対国
民党平和会談中共代表。9月政治協商会議第
一期全国委員会委員。10月中央人民政府委員
兼秘書長。53年1月憲法起草委員会委員。2
月政治協商会議全国委員会常務委員。54年8
月第一期全国人民代表大会湖南省代表。9月
同大会常務委員会副委員長。12月中ソ友好協
会総会第二期副会長。56年9月中共第八期中

央委員会委員、中央政治局委員、中共8全大
会で「中国革命の歴史的教訓」と題して発言。
57年9月10月社会主義革命40周年慶祝準備委
員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会
湖南省代表。4月同大会第1次会議の主席団
員、同常務委員会副委員長。5月中ソ友好協
会第三期副会長。8月全国人民代表大会蒙古
人民共和国訪問代表団団長。60年3月第二期
全国人民代表大会第2次会議主席団員。60年
5月29日病死。

林 伯 襄 Lin Po-hsiang

55年2月河南省人民委員会委員。

林 柏 壽 Lin Po-shou 1895~

台湾省台北県の人。英ロンドン大学経済学
部卒業。56年当時台湾セメント公司董事長、
台湾電力公司董事、台湾第1商業銀行董事、
台湾銀行監事、56年4月中華民国各界日本親
善訪問団団員として来日。57年当時台湾区水
泥(セメント)工業同業工会責任者。

林 范〔範〕洪〔女〕 Lin Fan-hung

54年12月政治協商会議第二期全国委員会委
員(医業衛生界)。59年4月政治協商会議第三
期全国委員会委員(医業衛生界)。

林 飛〔飛〕卿〔女〕 Lin Fèi-ching 1916~

32年北京協和医学院卒業。57年12月訪日中
華医学総会代表団団員。

林 美 南 Lin Mei-nan

広東省揭陽の人。現在52歳位。機工学校に入
学。34年上海に赴き工団活動、後中共に入党。
37年日華事变勃発に際し揭陽で青年抗日会を
組織し地下工作、人民政権樹立工作に従事。
戦後国府軍の討伐を受け香港に脱出。後大陸

に帰り、閩粵贛辺区政治部主任、潮梅人民行
政公署主任。55年2月広東省人民委員会委員。

林 萍 Lin Ping

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央
委員。57年5月中国共産主義青年団中央委員
会常務委員。60年5月当時同団山東省委員会
書記。

林 彪 Lin Piao 1908~

湖北省黄安の人。元帥。24年黄埔軍官学校
に入学。25年共産主義青年団に加入。北伐の
時は張發奎摩下第4軍の将校。27年南昌暴動参
加。28年井崗山で、毛沢東と共に紅軍の創建
に努力。29年紅軍第4軍長。32年第1軍団司
令。36年紅軍軍官学校校長。37年紅軍が第8
路軍に改編され、同軍第115師長、同年9月平型
関にて板垣師団21旅団を撃破。その後ソ連に
行き、帰国後抗日軍事政治学校長。45年中共
第七期中央委員、山東軍区司令。ついで東北
民主連合軍総司令、東北人民解放軍司令、平
津前線解放軍司令、中共中央委員会東北局書
記等を経て、49年第4野戦軍司令、兼政治委員
として、平津、両湖、両広作戦指揮。10月中
南軍政委員会主席。50年朝鮮事变発生後人民
志願軍総部司令に就任といわれる。53年1月
中南行政委員会主席。54年8月第一期全国人
民代表大会中南軍区代表。9月国务院副総理、
国防委員会副主席。12月中ソ友好協会総会第
二期副会長。55年3月中共中央委員会政治局
委員に補選。9月1級八一勳章、1級独立自
由勳章及び1級解放勳章。56年9月中共第八
期中央委員会委員、中央政治局委員。58年5
月中共中央委員会副主席。59年3月第二期全
国人民代表大会軍隊代表、同大会第1次会議
主席団員。4月政治協商会議第三期全体会議
主席団員、国务院副総理、国防委員会副主席。
5月中ソ友好協会第三期副会長。9月兼任国

防部部長。60年10月論文「中国革命戦争の勝利は毛沢東の勝利」を発表（紅旗第19号）。

林 彬 [佛性]

Lin Pin [Fo-hsing] 1897~1958

佛江省樂清県の人。北京大学卒業。国立北京医科大学秘書、国民政府行政院委事。28年~48年立法委員、同法律編纂委员会主任委員。48年~50年司法院大法官。50年~54年司法行政部部長。55年~56年当時総統府国策顧問。58年7月病死。著書「民法総則」「民法物権」「民法親屬繼承」「刑法各論」「民法概論」「民刑法概要」「法院組織法等講義」。

林 楓 Lin Fèng 1906~

黒竜江省望奎県の人。27年中共に入党。ソ連に留学。中共中央西北局晋綏分局副書記。終戦直前賀竜の第10師政治委員。45年中共第七期中央委員。46年東北行政委員会主席。49年8月東北人民政府委員会副主席。9月政治協商会議第一期全国委員会委員。10月中央人民政府委員。51年1月当時在鮮中共志願軍司令部作戦部長といわれる。53年1月~54年9月東北行政委員会副主席。同月憲法起草委員会委員。当時中共中央東北局第1副書記。54年8月第一期全国人民代表大会瀋陽市代表。9月同大会常務委員会委員。11月国務院第2辦公室主任。55年7月各国議会連盟参加の人民代表団副主席。56年2月中央標準語普及工作委員会副主任。3月全国文盲一掃協会副会長。9月中共第八期中央委員会委員、中共8全大会で「わが国の建設要員養成問題について」発言。59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。同大会第1次会議主席団員、同大会において常務委員会副委員長。60年1月国務院業余教育委員会主任。2月全国教育文化衛生体育関係、社会主義建設先進グループ工作者代表大会準備委員会副主任委員。3月第二

期全国人民代表大会第2次会議主席団員。6月文教先進工作者代表大会主席団員。

林 文 奎 Lin Wèn-kui 1909~

米国華僑。広州に生る。24年上海交通大学付属中学卒業。英国視察。26年北平清華大学経済系地質系に入学、ついで米コロンビア大学に留学。34年杭州笕橋空軍学校卒業。伊、英、仏、独に留学、空軍学院その他の戦術専門学校卒業、各国の部隊を研究後帰国。38年空軍総指揮周至柔の参謀。蔣総統代表として欧米に対華協力を遊説。39年帰国後、空軍士校及び同軍官学校教官、空軍参謀学校を成都に創設。41年米国志願軍飛虎隊を創設。43年ビルマ派遣軍司令陳誠の参謀。44年昆明空軍第5路司令部参謀長。45年~46年台北空軍司令。46年南京空軍参謀学校教務長。47年英国空軍参謀学校に留学。48年国連軍事参謀委員会中国代表。49年米国内の中米人間に中山学会を創立、52年帰国、国府空軍に勤務。

林 文 盛 Lin Wèn-shèng

福建省の人。現在61歳位。スラバヤ在住華僑。印刷工場経営。中共系の中華連合会副理事長で、スラバヤにおける中共系の著名人物。

林 文 彪 Lin Wèn-piao

54年8月第一期全国人民代表大会広東省代表。59年3月第二期全国人民代表大会広東省代表、4月第二期人民代表大会第1次会議で「すべての事業を作り出す原動力」について発言。

林 平 Lin Ping

江西省興国の人。貧農出身。土地革命の時紅軍に参加。43年東江縦隊政治委員。46年同隊北上の際香港に残留し、後中共の南征軍に加わり、武装化工作に従事。49年1月粵贛湘

辺区縦隊司令。10月広東省人民政府委員、中南軍政委員会委員。53年1月中南軍政委員会委員を解任。54年8月第一期全国人民代表大会広東省代表。60年3月中国ラテンアメリカ友好協会理事。5月訪ラテンアメリカ中国芸術団副団長。10月当時外交部アメリカ・オーストラリア司副司長。

林 平 加 Lin Ping-chia

52年11月当時中共浙江省委員会宣伝部長。60年10月当時同省委書記処書記。

林 炳 坤 Lin Ping-kun

ビルマ生れ。ビルマ在住華僑。精米業。反共的な自由青年社を組織し、親共的華僑に対抗。ウ・バ・スェ首相の愛顧をうけているといわれる。

林 放 Lin Fang

55年3月当時中共駐ポーランド大使館付武官。

林 放 Lin Fang

中共黨員、宣伝工作担当といわれる。56年11月~12月中共漁業代表団通訳として来日。当時中国海員工会通訳。

林 葆 駱 Lin Pao-luo

59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員（特別招請人士）。

林 鋒 Lin Fèng

54年11月最高人民検察院検察員。58年9月免最高人民検察院検察員。

林 渤 民 Lin Po-min

60年4月当時新疆ウイグル自治区委員会書

記処候補書記。

林 曼 Lin Man

54年11月当時中国スウェーデン友好協会会長。

林 默 涵 Lin Mo-han

53年10月中国作家協会理事（工作委員会委員）。58年3月当時宣伝部文芸処処長。59年9月文化部副部長。60年2月教育文化衛生体育関係、社会主義建設先進グループ先進工作者全国代表大会準備委員会委員。6月文教先進工作者代表大会主席団員。8月中国文学芸術界連合会委員。

林 耶 Lin Yeh

55年9月中共駐ハンガリア大使館文化参事官。61年4月同職解任。

林 有 福 Lin Yu-fu

(Lim Yew-hock) 1914~

シンガポール生れ。シンガポール在住華僑。ラフルス学院卒業。英商プレイメン公司書記、ついでシンガポール冷蔵公司書記。47年シンガポール書記公会秘書長。3月英国文化協会奨学金にて渡英し労働運動を研究。10月シンガポールに帰来後、ニューデリーで開催の国際労働組織アジア準備会議にシンガポール労働者を代表して出席。48年労働組合代表として立法議員。49年7月進歩党を脱退し、労工党主席、書記公会主席。51年米政府の招請で渡米視察。第二期および第三期立法議員。55年マーシャル労働戦線連合政府の労働福利部長。56年6月シンガポール憲政交渉失敗のため退任したマーシャル首相の後をうけて首相。

林 揚 增 Lin Yang-tsêng
53年6月中国仏教協会理事。

林 鎔 Lin Jung
53年8月当時中国科学院植物研究所副所長。55年5月中国科学院生物学地学学部委員。57年7月科学院生物学部副主任，中国科学院北京座談会で生物学部委員盛影笙の反動言論を暴露。58年4月当時中国植物学会秘書長。

林 來 榮 Lin Lai-jung
広東省潮陽県の人。タイ在住華僑。もと三井船舶，大阪商船，その他内外船舶会社の埠頭荷役作業の請負業者。後泰記有限公司を創設し，日本のブリッストーン・タイヤの代理店となり，また日本および欧米各国諸工場の製品を取扱う。

林 李 昆 Lin Li-kun
61年11月全国人民代表大会広東省代表。

林 李 明 Lin Li-ming
55年1月政治協商会議第一期広東省委員会副主席。55年8月～9月当時中共広東省委員会副書記。60年2月当時同書記，海南区党委員会第1書記。61年11月広東省副省長。

林 立 Lin Li
59年11月中国ビルマ友好協会総幹事。

林 良 材 Lin Liang-tsai
53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。

林 林 Lin Lin 1910～
福建省の人。詩人。言語・文字改革専門家。33年北京中国大学卒業。33年6月～36年6月滯日。54年8月当時広東省人民政府文化事業

管理局代理局長。55年9月～60年2月中共駐インド大使館文化参事官。59年4月対外文化協会副秘書長。60年1月訪ビルマ中国文化友好代表団副団長。4月中国アフリカ人民友好協会常務理事，10月当時中国インドネシア友好協会総幹事。61年3月アジア・アフリカ作家会議東京大会参加中国代表団副秘書長。当時アジア・アフリカ作家会議中国連絡委員会副 書長。

林 麗(麗) 韞 Lin Li-yün 1933～
台湾省生れ。神戸で育つ。52年7月北京大学入学のため帰国，北京大学物理学部卒業後，中国人民対外文化協会通訳。57年8月第3回原水爆禁止世界大会(東京)中共代表団団員。12月訪日中国紅十字会代表団団員。60年8月第6回原水爆禁止世界大会(広島)中共代表団通訳。

林 礪 儒 Lin Li-ju
広東省信宜県の人。東京高等師範学校卒業後，国立北京師範大学教授，北平大学教授等を歴任。日華事変中は厦門大学教授，北京師範大学校長。49年9月政治協商会議第一期全国委員会委員。政務院教育部中等教育司司長。52年教育部副部長。54年8月第一期全国人民代表大会河南省代表。11月教育部副部長。60年2月教育文化衛生体育関係，社会主義建設先進グループ先進工作者全国代表大会準備委員会委員。6月全国文教先進工作者代表大会委員。

林 連 德 Lin Lien-tê 1922～
福建省厦門の出身。日本一高を経，51年東大経済学部卒業。55年当時青年団員，中共准党員。もと留日学生同学会会長，厦門大学助教授。55年3月～4月中国貿易代表団通訳として，また57年3月～4月中国米綢公司訪問

団通訳として来日。3月当時中国国際貿易促進委員会副科長。屢々周恩来の通訳を勤めたといわれる。

倫 珠 討 凱 Lunchip Topgye
西藏族。56年4月当時西藏自治区準備委員会委員。

れ

冷 通 Lêng Yü ~1959
江蘇省の人。49年政治協商会議第一期全国委員会委員，政務院財政經濟委員会委員，華東軍政委員会委員，同水利部部長。52年11月江蘇省人民政府副主席。53年1月華東行政委員会委員。54年8月第一期全国人民代表大会江蘇省代表。55年2月江蘇省副省長。11月当時政治協商会議江蘇省副主席。59年3月第二期全国人民代表大会江蘇省代表。8月18日病死。

冷 邦 正 Lêng Pang-chêng
彝族。55年4月西康省涼山彝族自治州副州長。

厲 昭 [斯昭] Li Chao
[Ssu-chao] 1901～
上海滬江大学卒業。28年駐メキシコ大使館3等書記官。29年2等書記官。30年外交部討論委員会委員。32年亞洲司科長。35年亞洲司幫辦(補佐)。52年国府外交部礼賓司長。56年6月駐ドミニカ公使。57年10月駐ドミニカ大使。

厉(厲) 男 Li Nan
53年12月旅大市人民政府副市長。当時同政府公安局長。

黎 穎 [女] Li Ying
53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。55年2月山西省人民委員会委員。

黎 曉 Li Hsiao
53年9月当時北京市購販合作総社副主任。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員。55年1月当時北京市手工業生産合作社連合総社主任。58年4月当時中華全国手工業合作総社理事。59年7月当時北京市輕工業局局長。

黎 玉 Li Yü 1905～
山東省生れ。日華事変当初蘇魯予皖軍区委員会書記，後徐向前麾下の第1縦隊政治委員。45年中共第七期候補中央委員，中共中央山東分局委員，山東省戦地工作委員会主席委員，山東省人民政府主席。49年華東軍政委員会委員。52年三反運動に際し辞職。54年6月政務院第1機械工業部副部長(元政務院財政經濟委員会財政組組長)。11月国務院第1機械工業部副部長。59年1月中国国際貿易促進委員会委員。9月農業機械部副部長。

黎 玉 璽 [薪傳] Li Yü-hsi
[Hsin-chuan] 1914～
四川省達県の人。34年電雷海校第一期卒業。独，米に留学。49年海防第2艦隊司令，海軍総司令部参謀長。52年国府海軍少将副司令。54年海軍副総司令。59年1月海軍総司令。6月当時海軍2級上將。

黎 錦 灝 Li Chin-hsi 1890～
湖南省湘潭の人。国語学者。20数年間教育部の国語統一準備委員会常務委員，国語統一，言文一致，言語ローマ字化の運動に尽力，注音符号の制定に参画。49年9月政治協商会議第一期全国委員会委員。54年8月第一期全国

人民代表大会安徽省代表。12月政治協商會議第二期全國委員會委員。55年5月中国科学院哲学社会科学学部委員。6月当時北京師範大学中国語文学系教授。56年2月中央標準語普及工作委員會委員。同月九三学社第四期中央委員會委員。58年12月九三学社第五期常務委員。59年3月第二期全國人民代表大会安徽省代表。4月同大会第1次會議主席団員。60年3月同第1次會議主席団員。著書「国語運動史綱」(34年)。

黎元洪 Li Yüan-hung 1866~1928

湖北省黄県の人。天津水師学堂卒業後、ドイツに留学。帰国後張之洞に従い湖北においてドイツ武官と共に新軍の教練に当り、有数の戦術家と称せらる。民国革命当初革命党弾圧の態度に出たが革命軍に強要せられて鄂軍都督に就任し革命軍の首領となる。南京臨時政府成立後臨時副總統兼湖北都督、参謀総長。1913年南北統一後国会より副總統に挙げられたるも袁世凱總統に押えられ虚位を擁するに過ぎず。16年袁の死後大總統に就任せるも段祺瑞と合わず、政局混乱し張勳の復辟を誘発。その際身をもって日本公使館に難を避け、ついで下野。22年第1奉直戦後直隸派に擁せられて大總統に再任せるも23年逐われて天津に引退、28年逝去。

黎克明 Li Kè-ming

54年11月~60年7月最高人民檢察院檢察員。

黎之淦 Li Chih-kan

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。

黎錫福 Li Hsi-fu

59年1月当時雲南軍区副司令。60年7月当時駐雲南部隊首長(少将)。

黎澍 Li Shu

61年1月「歴史研究」主編。「マルクス・レーニン主義はそれでもなお主観的な科学といえるか」(「歴史研究」60年第1~2期)の論文あり。

黎澹 Li Chün

55年8月当時吉林工業庁副庁長。

黎照寰 Li Chao-huan

53年7月当時上海市中ソ友好協会副会長。54年8月中国キリスト教三自愛国運動委員会常務委員。55年5月政治協商會議上海市第一期委員会副主席。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(対外和平友好団体代表)。

黎智 Li Chih

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。60年5月当時共産主義青年団湖北省分会副主席。

黎明 Li Ming

僮族。54年8月第一期全国人民代表大会広西省代表。59年3月第二期全国人民代表大会広西僮族自治区代表。

黎和兴(興) Li Hè-hsing

広東省東莞県の人。現在69歳位。シドニー在住華僑。シドニー南京樓料理店株主。シドニー東莞同郷会責任者。54年9月第一期全国人民代表大会華僑代表。

連瀛洲 Lien Ying-chou

(Len Ying-chow) 1906~

広東省潮陽県の人。シンガポール在住華僑。雑貨輸出入業、内外船舶、軍隊用食糧の納入業の華興有限公司経営者。41年中華総商會会

長。日本軍進駐直前重慶に赴き、国民参政会参政員。戦後英国軍政首脳者に随行し、シンガポールに帰来、中華総商會会長に復任。49年華連銀行開設と同時に総経理。市政府議員、移民局委員、華人参政局委員、保良局委員等の公職のほか、同郷人の会館、学校の重要役員。

連闊如 Lien Kuo-ju

曲芸家。53年10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員中国曲芸研究会副主席。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員。60年右派分子のレッテル解除。

連貫 Lien Kuan

広東省の人。49年10月中央人民政府華僑事務委員会委員。当時中共中央統一戦線工作部第3室主任。54年8月当時北京帰国華僑連誼会副主席。56年10月中華全国帰国華僑連合会常務委員。57年3月国务院華僑事務委員会委員。10月当時全国人民代表大会常務委員会副秘書長。59年3月第二期全国人民代表大会華僑代表。4月同大会常務委員会副秘書長、同辦公庁副主任。60年2月当時北京市帰国華僑連合会副主席。

連震東 Lien Chên-tung 1904~

台湾台南市の人。日本慶応大学経済学部卒業。45年台北県接收委員長。台北県長。46年台北市長、台湾軍政公署参事。その後台湾省参議会秘書長、国民大会代表、東南軍政公署地政局長。50年~52年国民党中央改造委員会委員。51年中華日報董事長、台湾省建設庁長、第7回国連總會中国代表部顧問、国民党中央委員会第5組長、台湾省政府委員。54年6月以来台湾省民政庁長。56年4月台湾省政府戸口普查副処長兼務。57年6月兼務を解か

る。60年5月行政院内政部長、政務委員。6月免台湾省政府委員兼民政庁長。

練惕生 Lien Ti-shêng

前国民党62軍副軍長(中将)。55年2月福建省人民委員会委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国農工民主党代表)。60年4月当時福建省政治協商會議副主席。

联(聯)慧珠 Lien Hui-chu

西藏族。53年1月~55年6月当時班禅ラマ駐北京辦事副処長。56年4月当時同処代理処長。

ろ

呂韵 Lü Yün

56年4月国务院林業部造林局副局長。9月林業部林業視察団長として北鮮訪問。

呂瑛 Lü Ying

55年2月河北省人民委員会委員。

呂戈子 Lü Kè-tzu

61年1月当時中国新民主同盟主席、在キューバ華僑代表。

呂其恩 Lü Chi-ên

53年3月~55年2月当時ハルビン市市長。55年1月黒竜江省人民委員会委員。60年5月当時中共ハルビン市委員会書記。

呂季直 Lü Chi-chih

56年11月国府僑務委員会委員。

呂季方 Lü Chi-fang

55年3月安徽省人民委員会委員。56年10月合肥礦業学院副院長。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(民主同盟代表)。60年4月当時合肥工業大学副校長。5月政治協商會議安徽省第二期委員會副主席に補選。61年4月当時安徽省科学技術協会副主席, 同省中ソ友好協会副会長。

呂驥 Lü Chi

作曲家。35年一二・九学生運動に活躍。日華事変勃発後延安に入る。「開荒歌」「陝北公学校歌」「抗日大学校歌」「辺区青年行進曲」「華業上前線」等を発表。49年7月中華全国音楽工作者協会主席。53年10月中国文学芸術界連合会第二期全國委員會委員。同月中国音楽家協会(会名変更)主席に再任。54年4月～5月ソ連メーデー参観。5月対外文化協会理事。8月第一期全國人民代表大會湖南省代表。58年7月中国人民保衛世界和平委員會委員。59年3月第二期全國人民代表大會湖南省代表。11月中国アルバニア友好協会理事。60年7月全国文芸工作者代表大會主席団員。8月中国文学芸術界連合会第三期委員。

呂义(義)山 Lü I-shan

60年8月中国ネパール国境合同委員会成立中国側代表(大校)。61年1月当時同委員会中国代表。

呂去病 Lü Chü-ping

54年8月第一期全國人民代表大會瀋陽市代表。56年2月当時瀋陽市総工程師。

呂劍人 Lü Chien-jên

54年8月第一期全國人民代表大會新疆代表。当時中共中央新疆分局統一戦線工作部部長。

55年2月政治協商會議第一期新疆省委員会副主席。59年1月新疆ウイグル自治区人民委員会委員。3月第二期全國人民代表大會新疆ウイグル自治区代表。4月民族委員会委員。60年6月当時中共新疆ウイグル自治区委員会書記。

呂向晨 Lü Hsiang-chên

陝西省の人。現在47歳位。中共陝北公学卒業。もと陝甘寧辺区人民政府総務科長。53年1月陝西省人民政府委員(民政部副庁長)。

呂鴻賓(賓) Lü Hung-pin

農業労働模範。54年8月第一期全國人民代表大會山東省代表。55年1月当時山東莒県愛国農業生産合作社社長。59年3月第二期全國人民代表大會山東省代表。4月同大会第1次會議で「人民公社のよさは言いつくされない」について発言。

呂克白 Lü Kê-pai

56年11月國務院国家經濟委員会委員。59年9月国家基本建設委員会委員。61年1月国家計画委員会委員。

呂志强 Lü Chih-chiang

56年4月最高人民檢察院檢察員。

呂志先 Lü Chih-hsien

58年4月当時中共浙江省委員会金華地方委員会第1書記。9月当時浙江省委常務委員。

呂斯百 Lü Ssu-po

56年2月九三学社第四期中央委員会委員。

呂集义(義) [芳子] Lü Chi-i

[Fang-tzu]

広西省の人。49年10月中央人民政府政務院参事。12月中国国民党革命委員会中央委員。

54年9月広西省人民政府委員。当時中国国民党革命委員会広西省委員会副主任委員。55年2月広西省人民委員会委員。56年2月国民党革命委員会中央委員に再任。58年12月同第四期中央委員。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(中国国民党革命委員会)。60年4月当時国民党革命党広西委員会副主任。

呂叔湘 Lü Shu-hsiang

言語学者。翻訳家。もと開明書店の編集員, 昆明連合大学並びに中央大学教授。53年2月～5月中国科学院代表団員として訪ソ。54年12月政治協商會議第二期全國委員會委員(無党派民主人士)。55年5月中国科学院哲学社会科学学部委員。55年10月～56年9月当時科学院言語研究所副所長。56年2月中央標準語普及工作委員会委員。59年4月政治協商會議第四期全國委員會委員。

呂振羽 [一清] Lü Chên-yü

[I-ching] 1900～

湖南省武岡の人。日本明治大学研究院で研究。帰国後北京の民国大学, 中国大学で中国社会經濟史を講義。日華事変中湖南戦時講学院副院長。唯物史観的方法論による中国古代史研究者。49年10月中央人民政府民族事務委員会委員。53年9月当時東北人民大学校長。54年8月第一期全國人民代表大會長春市代表。55年5月中国科学哲学社会科学学部委員。58年2月第一期全國人民代表大會第5次會議にて民族委員会委員に補選。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(社会科学団体)。著書「史前期中国社会研究」「中国政治思想史」「最近之世界資本主義經濟」(翦伯贊との共著)等。

呂世明 Lü Shih-ming 1900～

台湾省の人。26年早稲田大学卒業。台中汽

車貨運公司社長, 台北バス運輸会社社長, 台湾自動車運輸協会会長, 彰化汽車貨運公司社長を歴任。47年以来国民大会代表。51年台湾省議會議員。

呂正操 Lü Chêng-tso 1905～

遼寧省遼陽県の人。東北講武堂卒業。37年日華事変勃発時第53軍団長。38年満洲を逐われ共産軍に合流。39年抗日軍政大学入学。40年冀中軍区司令, 晋綏軍区司令を歴任。45年終戦と共に満洲に進出, 中共第七期候補中央委員。46年7月東北鉄路総局副局長, 東北人民解放軍鉄道護路軍副司令兼政治部主任。49年10月中央人民政府鉄道部副部長。50年北鮮に従軍といわれる。54年8月第一期人民代表大會本溪市代表。9月国防委員会委員。11月國務院鉄道部副部長。12月政治協商會議第二期全國委員會常務委員。55年9月1級独立自由勳章および1級解放勳章。56年9月中共第八期中央委員会委員。59年2月論文「中国鉄道建設の方針」を発表。3月第二期全國人民代表大會遼寧省代表。4月政治協商會議第三期全國委員會委員, 常務委員, 国防委員会委員。9月鉄道部副部長。60年9月当時鉄道部部長代理。61年7月第6回社会主義諸国鉄道相會議(ブタペスト)に出席, 当時鉄道部副部長。

呂清 Lü Ching

54年10月当時人民解放軍黒竜江軍区副政治委員。55年1月黒竜江省人民委員会委員。

呂澂 Lü Chêng

53年6月中国仏教協会理事。10月同常務理事。59年4月政治協商會議第三期全國委員會委員(宗教界)。61年1月中国科学院哲学社会科学部委員。

呂 東 Lü Tung

終戦時晋中行政主任公署第1行政専員公署専員。戦後東北行政委員会遼東財經辦事処主任。東北人民政府工業部副部長。52年8月政務院重工業部副部長。54年11月國務院重工業部副部長。58年4月当時冶金工業部副部長。

呂 品 Lü Pin

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員会候補委員。

呂 復(復) [健秋] Lü Fu

[Chien-chiu] 1881~

河北省宣化県の人。日本明治大学卒業。革命運動に奔走。12年直隸省議會議員、衆議院議員。第2革命後日本に亡命。第三革命後帰国し上海で民意報記者。20年広東政府政務會議秘書。25年北京政府教育次長。その後北平中国学院社会学教授。48年10月蔣總統の下野を立法院會議において主張す。49年10月察哈爾省人民政府副主席。52年11月河北省人民政府副主席。54年12月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。

呂 文 远(遠) Lü Wên-yüan

55年1月~60年1月國務院労働部部長助理。61年1月労働部副部長。

呂 宝 軒 Lü Pao-hsüan

56年2月吉林省人民委員会委員。

呂 万 吉 Lü Wan-chi 1920~

55年4月最高人民檢察院檢察員。58年4月訪日中国法律家代表団員。

呂 良 Lü Liang

55年2月江西省人民委員会委員。60年6月

全国文教先進工作者代表大会主席団員。

路 禾 父 Lu Hê-fu

53年6月中国仏教協会理事。

路 岩 Lu Yên

53年10月当時唐山電業局局長兼全国電業先進廠唐山発電廠廠長。

路 金 栋(棟) Lu Chin-tung

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員(組織部副部長)。57年5月当時共産主義青年団組織部副部長。60年3月同青年団中央委員会常務委員、同会書記処候補書記に補選。

路 展 Lu Chan

60年11月当時中共在ビルマ大使館付副武官(上校)。61年4月当時同。

魯 閣〔女〕 Lu Kê

53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。

魯 坎 Lu Kan

55年6月当時瀋陽市文化局局長。

魯 曉(曉)明 Lu Hsiao-ming

拉祜族。53年4月雲南省瀾滄拉祜族自治区人民政府副主席。

魯 桂 兰(蘭)〔女〕 Lu Kui-lan

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(農民)。

魯 光 Lu Kuang

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。54年2月解放軍慰問団員として北鮮訪

問。

魯 之 俊 Lu Chih-chün

61年10月中医研究院院長。

魯 釗 Lu Chao

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。55年7月ワルシャワの世界青年学生懇親会に出席。59年12月当時中国共産主義青年団軍事体育部部长。60年3月同団中央委員会常務委員。

魯 紹 猷 Lu Shao-yu

55年2月河北省人民委員会委員。

魯 晋 Lu Chin

53年7月中国新民主主義青年団第二期中央委員。

魯 森 Lu Sên

55年2月熱河省人民委員会委員。

魯 迅 [本名, 周樹人。字, 豫才]

Lu Hsün [Chou Shu-jên, Yü-tsai] 1881~1936

浙江省紹興県の人。中国のゴーリキイの称あり。東京弘文学院、仙台医学専門学校および東京ドイツ協会学校に学ぶ。17年帰国後故郷で教員、後北平で教育部へ15年間出仕。この間北京大学、北京師範大学、女子師範大学で講義。五・四文学革命思潮の高潮に際会、弟の周作人、耿濟之、沈雁永とともに文学研究会を組織し、郭沫若ら創造社のロマン主義文学に対し自然主義運動を起し、雑誌「語絲」を主宰。三・一八事件および女師大問題に関連して北京を逐われ、26年厦門大学教授、次いで広州国立中山大学文科教授。28年辞職し

て上海に居住、著作に専念し「萌芽月刊」を主宰。30年「中国左翼作家連盟」に参加。36年「中国文芸工作者」を組織し、抗日民族解放統一戦線を主唱。「狂人日記」「阿Q正伝」によって作家として登場し、「呐喊」「彷徨」等の小説集の外文化批評、社会悪批判の「熱風」「華蓋集」「而已集」の諸集あり。晩年は殆んど短評随筆類に没頭。この外翻訳ものに「労働者セヴェリョフ」「ゴーゴリの「死せる魂」等。現代中国木刻芸術の育成者ともいわれる。

魯 瑞 林 Lu Jui-lin

54年6月西康省人民政府副主席を解任。55年12月当時中国人民解放军駐昆明部隊代表。60年5月当時同部隊首長(少将)。

魯 崇 义(義) Lu Chung-i

54年12月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。56年2月国民党革命委員会候補中央委員。58年12月同第四期候補中央委員。

魯 大 东 Lu Ta-tung

54年5月当時中共重慶市委員会工業部部长。55年10月当時中共重慶市委員会副書記。

魯 定 华(華) Lu Ting-hua

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年8月第一期全国人民代表大会河南省代表。55年2月河南省人民委員会委員。11月当時河南省工商連代理主任委員。56年12月全国工商連第二期執行委員(河南省)。59年3月第二期全国人民代表大会河南省代表。

魯 挺 Lu Ting

60年12月訪ビルマ中国体育代表団団長。当時解放軍総政治部宣伝部処長(上校)。

魯 蕩 平 [若衡] Lu Tang-ping
[Juo-hêng] 1895~

湖南省寧鄉県の人。湖南各県県長、湖南民国日報主筆、湖南民立晚報および北平民立晚報総経理兼編集、湖南烟酒事務局長、駐粵湘軍第3路司令、天津特別市政府社会局長、天津民国日報主筆、北平民国学院長、東北政務委員会委員、湖北省党部特派員を歴任。35年国民党第五期候補中央執行委員、36年河南省政府委員兼教育長。48年以来国府立法委員。

魯 突 Lu Tu

56年7月国務院国家測繪総局副局長。59年9月再任。

魯 平 Lu Ping

43年頃は蘇皖辺区第1分区委員会書記。56年4月当時官庁水力発電工程処副処長。60年4月当時国家計画委員会対外経済局副局長。

魯 宝 重 Lu Pao-chung

56年2月九三学社第四期中央委員会委員。

魯 珉 Lu Min

満洲生れ。現在41歳位。中共志願軍空軍政治部文化部部长。53年志願軍空軍1級戦闘英雄。53年7月ブカレストの世界青年学生懇親会に出席。

魯 明 Lu Ming

55年10月当時国務院対外文化連絡局局員。60年8月当時対外文化連絡委員会第1司副司長。61年10月任中共在北鮮大使館文化参事官。

卢(盧) 伟(偉)良 Lu Wei-liang

元広東興梅専区専員。53年~56年当時広東

省人民検察院副検察長。

盧 偉 林 Lu Wei-lin

広東省の人。ラングーン在住華僑。国民党三民主義青年団幹部。戦後ビルマに渡り新聞記者となり、現在反共紙亞州報の編集員。在緬華僑文教促進会の指導者。

卢(盧) 郁 文 Lu Yü-wên

四川省の人。現在62歳位。教授。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員。55年4月国務院秘書長助理。56年2月国民党革命委員会中央委員。58年12月同第四期常務委員、同副秘書長。59年3月第二期全国人民代表大会河北省代表。4月同大会法案委員会委員。政治協商会議第三期全国委員会委員(国民党革命委員会代表)、同常務委員。9月国務院副秘書長。

盧 毓 駿 [于正] Lu Yü-chün

[Yü-chêng]

福建省閩侯県の人。パリー水陸工程大学卒業。南京市政府工務局技正科員、市政府技術専員、中山路中山橋設計監督および首都建設工程師、国立工学院および国立労働大学工学院教授、第2次試験委員簡任秘書、第1次首都普通考試建設行政人員典試委員、考試院考選委員会専門委員、江蘇省立医政学院衛生工程教授を歴任。52年国府考試委員。59年10月中華民国49年第2次特殊考試河海航行人員考試典試委員長。

卢(盧) 于 道 Lu Yü-tao

浙江省寧波の人。東南大学(中央大学の前身)の生物学系卒業、米国の大学で大脳皮層の解剖研究に従事。帰国後江蘇医学院教授および中央研究院生理研究所の所長を兼務。日華事変勃発後は重慶にて奥地移転の各大学教

卢(盧) 煥 章 Lu Huan-chang

59年3月第二期全国人民代表大会広東省代表。

卢(盧) 汉(漢) [永衡] Lu Han

[Yung-hêng] 1891~

雲南省昭通の人。雲南軍官学校卒業。第60軍軍長、第30集団軍および第1集団軍総司令を歴任。終戦後仏印進駐軍司令官。昆明政変後、一時東北内戦へ国府軍の一司令官として転出、後雲南に帰り、49年12月昆明クーデターを行い中共側につく。50年3月雲南省軍政委員会主任。51年10月政治協商会議全国委員会常務委員に補任。53年1月西南行政委員会副主席。54年8月第一期全国人民代表大会雲南省代表。9月国防委員会委員。11月国務院体育運動委員会副主任。12月政治協商会議第二期全国委員会特別招請委員(常務委員)。55年9月1級解放勳章。56年2月国民党革命委員会第三期中央委員。57年2月国民党革命委員会台湾平和解放工作委員会委員。58年12月国民党革命委員会第四期中央委員会常務委員。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。4月国防委員会委員、政治協商会議第三期全国委員会委員(民革代表)、常務委員。第二期全国人民代表大会常務委員会委員、法案委員会委員。9月国務院体育運動委員会副主任。61年5月当時政協全国委員会民族組組長。

卢(盧) 吉 茵 Lu Chi-yin

56年12月当時中国国際貿易促進委員会展覽部副部長。

卢(盧) 景 洲 Lu Ching-chou

53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。56年12月同第二期執行委員(安徽省)。

授、中国科学社総幹事代理を兼務。終戦後同社総幹事。49年春北平へ到着。54年12月政治協商会議第二期全国委員会委員。56年2月九三学社第四期全国委員会委員。58年12月九三学社第五期常務委員。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(九三学社)、第1次全体会議の提案審査委員会委員。60年6月当時九三学社上海分社主任委員。

卢(盧) 燕 南 Lu Yèn-nan

江西省の人。53年11月全国工商業連合会第一期執行委員。54年9月広西省人民政府委員。当時広西省工商業連合会準備委員会副主任委員。55年2月広西省人民委員会委員。11月当時広西省工商連副主任委員。

卢(盧) 鋈 Lu Wu

54年11月国務院中央氣象局副局長。59年4月政治協商会議第三期全国委員会委員(中国科学技術協会)。11月中国氣象学会常務理事。

卢(盧) 珈 耀 Lu Chia-yao

53年8月ブカレストの第4回世界青年と学生平和友誼懇親大会出席。当時新民主主義青年団貴州省羅甸県委員会宣伝部長。

卢(盧) 嘉 錫 Lu Chia-hsi

化学者。54年7月当時厦門大学教授。55年2月福建省人民委員会委員。5月中国科学院物理学数学化学学部委員。61年4月当時福建科学技術協会主席、福州大学副校長。

盧 冠 群 Lu Kuan-chün 1911~

広東省の生れ。上海国立暨南大学卒業後、日本東京帝大大学院に学ぶ。終戦直後台湾中華日報社長、50年以降香港時報東京特派員。

卢(盧)庆(慶)駿 Lu Ching-chün

56年1月政治協商會議第二期全国委員会特別招請委員。59年4月同第三期特別招請委員。

卢(盧)广(廣)績 Lu Kuang-chi

56年12月全国工商業連合会第二期執行委員(遼寧省)。60年10月当時瀋陽市副市長。

卢(盧)克勤 Lu Kê-chin

現在42歳。57年12月訪日中国放送技術代表団団長、当時中国放送事業管理局無線電信組管理所所長(中共)。

卢(盧)作孚 Lu Tsuo-fu 1898~

四川省合川の人。実業家。民生公司社長。成都英語補習学校修了。上海を視察、一時成都「川報」記者。25年長江水運の民生実業公司を起す。35年四川省政府建設庁長。51年10月政治協商會議全国委員に補任。

盧 纘 祥 Lu Tsuan-hsiang 1904~

台湾宜蘭県の人。台北県参議会副議長、同議長。漁会理事長。宜蘭県農会理事長。宜蘭民選県長。54年6月以来台湾省政府委員。

卢(盧)子鶴 Lu Tzu-hê

54年8月第一期全国人民代表大会四川省代表。55年1月四川省人民委員会委員。59年3月第二期全国人民代表大会四川省代表。

卢(盧)肃(肅) Lu Su

49年7月中華全国音楽工作者協会全国委員。53年10月中国音楽家協会理事。

卢(盧)书(書)田 Lu Shu-tien

55年1月黒竜江省人民委員会委員。

卢(盧)緒章 Lu Hsü-chang

天津地区で14年間地下工作。49年10月華東軍政委員会貿易部副部長。50年3月中国進出口公司総経理。52年5月中国国際貿易促進委員会委員。53年9月~55年1月当時中央人民政府対外貿易部第3局局長。55年3月訪日貿易代表団副団長として来日。6月国务院対外貿易部部長助理。56年3月中国国際貿易促進委員会対外貿易仲裁委員会委員。10月対外貿易部副部長。56年12月全国工商業連合会第二期執行委員。58年12月中共貿易代表団団長としてイラク訪問。60年7月訪キューバ貿易団団長、中共キューバ貿易協定調印。61年1月~5月アフリカ諸国訪問貿易代表団団長。2月中共アラブ連合61年度貿易議定書調印。

卢(盧)紹武 Lu Shao-wu 1912~

広西省邕寧県の人。僮族。現在49歳位。大西遷に参加し連長、營長、団長歴任。49年第4野戦軍団の師団長として広西省に従事、のち広西省人民政府委員兼同省武鳴政治委員、兼ねて同地軍管分区主任。50年第13兵团師長。51年広西軍区副司令兼武鳴軍分区司令。53年広西軍区司令官代理、ついで同司令官。9月任少将。54年8月第一期全国人民代表大会広西省代表。55年2月広西省副省長。6月当時人民解放軍広西軍区司令。57年広西省委員会常任委員。58年4月広西僮族自治区副主席。59年3月第二期全国人民代表大会広西僮族自治区代表。

卢(盧)心远(遠) Lu Hsin-yüan

53年8月当時中央人民政府華僑事務委員会辦公庁副主任。56年10月中華全国婦国華僑連合会常務委員会副秘書長。58年12月同再任。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員

(華僑)、華僑組副組長。同月華僑事務委員会委員。

卢(盧)正义(義) Lu Chêng-i

55年11月当時国务院教育部小学教育司副司長。

卢(盧)成 Lu Chêng

59年3月第二期全国人民代表大会華僑代表。60年4月当時政治協商會議全国委員会委員。

卢(盧)星文 Lu Hsing-wên

60年1月北京中医学院副院長。

卢(盧)宗澄 Lu Tsung-chêng

59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

盧 致 德 Lu Chih-tê 1900~

広東省の人。29年米ニューヨーク大学卒業医学博士。29年北京協和医学院医学博士。32年~34年軍医総監部技術部員。35年~37年陸軍医務局検査官。36年~37年陸軍軍医学校長。37年~39年野戦軍医。40年~44年陸軍軍医総監。45年~47年陸軍野戦勤務医学校長。48年~52年国防医学研究所総司令事務取扱。53年同研究所総司令。56年6月当時台北国防医学院院長、中華医学会責任者、56年度公務員高等試験試験委員。60年4月世界衛生組織13回世界衛生大会国府首席代表。

卢(盧)长山 Lu Chang-shan

54年6月河南医学院院長。当時河南省人民政府衛生庁副庁長。

盧 爬 川 Lu Tieh-chuan 1887~

タイ生れ。原籍広東省潮安県。タイ在住華僑。多くの精米工場を経営。香港、汕頭、日本、シンガポール、バンコック間の海運事業を行う。バンコック銀行、バンコック商業銀行、保険会社董事。タイ国紅十字会董事、天華医院董事、中華総商会監察委員、潮州会館監察委員等を歴任。

卢(盧)明道〔女〕 Lu Ming-tao

56年1月政治協商會議第二期全国委員会委員(特別招請人士)。

卢(盧)耀武 Lu Yao-wu

60年12月当時中共駐チェコ大使館文化参事官。

老 舍 [本名、舒庆(慶)春。字、舍予]
Lao Shê [Shu Ching-chun,
Shê-yü] 1895~

作家。北京の人。著作に「駱駝祥子」「趙子曰」「離婚」「趕集」「老張の哲学」等あり。24年~30年ロンドン大学東洋科中国語教授。46年劇作家曹禺とともにアメリカに招かれ、49年冬帰国、「方珍珠」「龍鬚溝」を発表。49年10月政務院文化教育委員会委員。51年2月北京市人民政府委員会委員。53年1月華北行政委員会委員。2月北京市戯曲編導委員会顧問。4月チェコの全国演劇コンクールに中共代表として参加。10月中国文学芸術界連合会第二期全国委員会委員。同月中国作家協会理事会副主席、北鮮慰問。54年5月対外文化協会常務理事。54年8月第一期全国人民代表大会北京市代表。12月全ソ作家代表大会に出席。55年2月北京市人民委員会委員。56年2月中央標準語普及工作委員会副主任。12月作家協会書記処書記。57年9月中国作家協会副主席と

して丁玲, 陳企霞を反党グループとして批判。十月社会主義革命40周年慶祝準備委員会委員。58年4月中国民間文芸研究会副理事長, 國務院中央推广普通話委員会副主任。59年3月第二期全国人民代表大会北京市代表。4月政治協商會議第三期全国委員会委員(中国文学芸術界連合会), 五・四40周年記念準備委員会委員, 政治協商會議第三期第1次全体會議主席団員, 第二期全国人民代表大会第1次會議主席団員。60年2月当時中朝友好協会副会長, 8月中国文学芸術界連合会第三期全国委員会副主席。

郎咸芬 Lang Hsien-fên

55年~56年頃全国人民代表大会山東省代表に補選。56年11月~57年1月全国人民代表大会代表団員としてソ連, 東欧訪問。59年3月第二期全国人民代表大会山東省代表。60年7月全国文芸工作者代表大会主席団員。

郎洁(潔)华(華)〔女〕 Lang Chieh-hua

53年4月中華全国民主婦女連合会第二期執行委員。5月当時中国教育工会全国委員会副主席。

郎新康 Lang Hsin-kang

53年4月~54年6月当時中央人民政府外交部交際処副科長。

郎德格〔哥〕 Lang Tè-kè

傣族。53年6月中国仏教協会理事。

郎(朗)頤 貢嚙旺久(秋)

Rantun Gungka-wangchuk
藏族。56年4月当時西藏自治区準備委員会全体委員。61年2月当時政協西藏委員会副主

任, 西藏自治区準備委員会副主任。

郎林 班覚久美

Ranling Panchuk-chomi
藏族。56年2月当時西藏自治区準備委員会全体委員。59年3月西藏暴動事件に際し, 國務院は反逆者として職務を罷免。

朗 照 Lang Chao

53年6月中国仏教協会理事。

朗卓紅 Lang Chuo-hung

60年7月全国文芸工作者代表大会主席団員。

婁凝先 Lou Ning-hsien

55年1月天津市人民委員会委員。60年2月当時天津市副市長。

婁尔(爾)康 Lou Êrh-kang

59年3月第二期全国人民代表大会遼寧省代表。

勞 榦 Lao Kan

湖南省長沙の人。55歳。北京大学卒。米国ハーバート大学に留学。中央研究院歴史語言研究所研究員。57年同院院士。

勞君展〔女〕 Lao Chün-chan

53年4月中華全国民主婦女連合会第二期候補執行委員。54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員。56年2月九三学社第四期中央委員会委員。58年12月同社第五期常務委員。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(九三学社代表)。

勞敬修〔念祖〕

Lao Ching-hsiu [Nien-tsu] 1862~
広東省鶴山県の人。上海總商会会頭。広東

わ

和兴(興)革 Heshinga

蒙古族。54年12月錫林郭勒盟副盟長。

和凤(鳳)昭 Hè Fèng-chao

納西族。59年3月第二期全国人民代表大会雲南省代表。4月民族委員会委員。

和万宝 Hè Wan-pao

納西族。雲南省の人。54年8月第一期全国人民代表大会雲南省代表。

銀行総経理, 国民製糖公司董事, 南洋煙草会社董事等を歴任。59年4月政治協商會議第三期全国委員会委員(特別招請人士)。

楼欽忠 Lou Chin-chung

55年2月山西省人民委員会委員。

楼适(適)夷 Lou Shih-i

53年10月中国作家協会理事会理事。54年12月インド訪問中共文化代表団秘書長。55年1月ビルマ訪問中共文化代表団秘書長。56年1月当時人民文学出版社副社長。

楼邦彦 Lou Pang-yên

54年12月政治協商會議第二期全国委員会委員(社会科学団体)。56年3月政治協商會議全国委員会学習委員会委員。57年9月北京市司法局副局長。首都政法界の會議において右派分子として批判さる。60年11月右派分子のレッテルを除かる。

鹿鍾(鍾)麟〔瑞伯〕 Lu Chung-lin

[Jui-po] 1884~

河北省定県の人。22年河南警務処長, 第11師砲兵第11団長。24年第22旅長, 秋の第2奉直戦に馮玉祥の命で北京クーデターを断行, 京師警衛司令, 暫編陸軍第1師長兼任。26年奉天軍に完敗し外遊, 露国視察。27年河南省政府委員, 鄭州市政庁長, 南京政府軍事委員会委員, 国民軍第1路総指揮兼第1軍長, 北伐に参加, 国民革命軍第2集団軍(馮玉祥軍)第9方面総指揮, 次いで第2集団軍北路総司令, 北伐完成後軍政部次長。29年国民党第三期候補中央執行委員。30年反蔣戦に失敗し天津に隠退。31年国民党第四期候補中央執行委員。35年同第五期中央執行委員。46年の国府軍の整軍に際し退役。49年中共側に投ず。54年9月国防委員会委員。59年4月同再任。

漢字簡化表 画引

注 *印のあるものは漢字簡化第一表に属し、1956年2月1日より使用のこととしたもの。

2画

【一】

厂* (廠)

了* (瞭)

【丨】

卜* (蔔)

【丿】

几 (兒)

几* (幾)

3画

【丶】

广 (廣)

义* (義)

【一】

飞 (飛)

干* (乾幹)

卫 (衛)

才* (纔)

亏 (虧)

习 (習)

万* (萬)

与* (與)

【丿】

个* (個)

千* (韃)

乡 (鄉)

亿 (億)

么* (麼)

4画

【丶】

忆 (憶)

斗* (鬥)

为* (爲)

【一】

云* (雲)

韦 (韋)

办* (辦)

丑* (醜)

专 (專)

劝* (勸)

区* (區)

开* (開)

历 (曆歷)

厅 (廳)

书 (書)

双* (雙)

无 (無)

艺 (藝)

队 (隊)

邓 (鄧)

【丿】

风 (風)

丰* (豐)

凤 (鳳)

仆 (僕)

币 (幣)

从* (從)

仓 (倉倉)

仅 (僅)

气* (氣)

长 (長)

5画

【丶】

汇 (匯集)

汉 (漢)

头* (頭)

宁 (寧)

兰 (蘭)

礼* (禮)

写 (寫)

【一】

灭 (滅)

击* (擊)

节 (節)

扑* (撲)

术 (術)

厉* (厲)

龙 (龍)

东* (東)

对* (對)

圣 (聖)

辽 (遼)

边* (邊)

【丨】

卢 (盧)

叶* (葉)

号* (號)

叹 (嘆)

只* (祇隻)

电* (電)

业 (業)

旧* (舊)

归* (歸)

帅* (帥)

出* (齣)

【丿】

丛 (叢)

冬* (冬)

务* (務)

处* (處)

刍 (芻)

尔* (爾)

乐* (樂)

台* (臺檯颱)

发 (發髮)

6画

【丶】

兴* (興)

关* (關)

冲* (衝)

壮 (壯)

妆 (妝)

产 (産)	欢* (歡)	乔* (喬)	【一】
刘* (劉)	寻 (尋)	杂* (雜)	来 (來)
齐* (齊)	导 (導)	伪* (偽)	寿* (壽)
庄* (莊)	尽* (盡)	伙* (夥)	麦 (麥)
庆 (慶)	孙* (孫)	优* (優)	进 (進)
农 (農)	阳 (陽)	价* (價)	远* (遠)
忤 (懣)	阶 (階)	伤* (傷)	运* (運)
灯* (燈)	阴 (陰)	华 (華)	还* (還)
【一】	【1】	向* (嚮)	迟* (遲)
夹 (夾)	当* (當)	后* (後)	壳 (殼)
划* (劃)	吁* (籲)	妇* (婦)	声* (聲)
尧 (堯)	吓 (嚇)		坟 (墳)
动* (動)	曲 (麴)	7画	坛 (壇)
扩 (擴)	虫* (蟲)	【、】	坏* (壞)
扫* (掃)	团* (團)	沪 (滬)	块 (塊)
执* (執)	回 (迴)	沈* (瀋)	丽* (麗)
巩* (鞏)	网 (網)	沟 (溝)	两 (兩)
协* (協)	屿 (嶼)	穷 (窮)	严 (嚴)
亚 (亞)	岂 (豈)	状 (狀)	芦 (蘆)
权* (權)	岁 (歲)	亩 (畝)	苏* (蘇)
朴* (樸)	师* (師)	疗 (療)	克* (剋)
毕 (畢)	尘 (塵)	疔 (癩)	护* (護)
过* (過)	【、】	应 (應)	扰 (擾)
迈* (邁)	杀 (殺)	这* (這)	报* (報)
达* (達)	爷 (爺)	庐 (廬)	拟* (擬)
夸 (誇)	伞 (傘)	启 (啓)	折* (摺)
夺* (奪)	会* (會)	补* (補)	医* (醫)
压* (壓)	合 (閣)	怀* (懷)	励* (勵)
仄 (仄)	众* (衆)	忧 (憂)	歼* (殲)
买 (買)	朱* (硃)	灶* (竈)	灵* (靈)
戏 (戲)	迁* (遷)	灿 (燦)	层 (層)

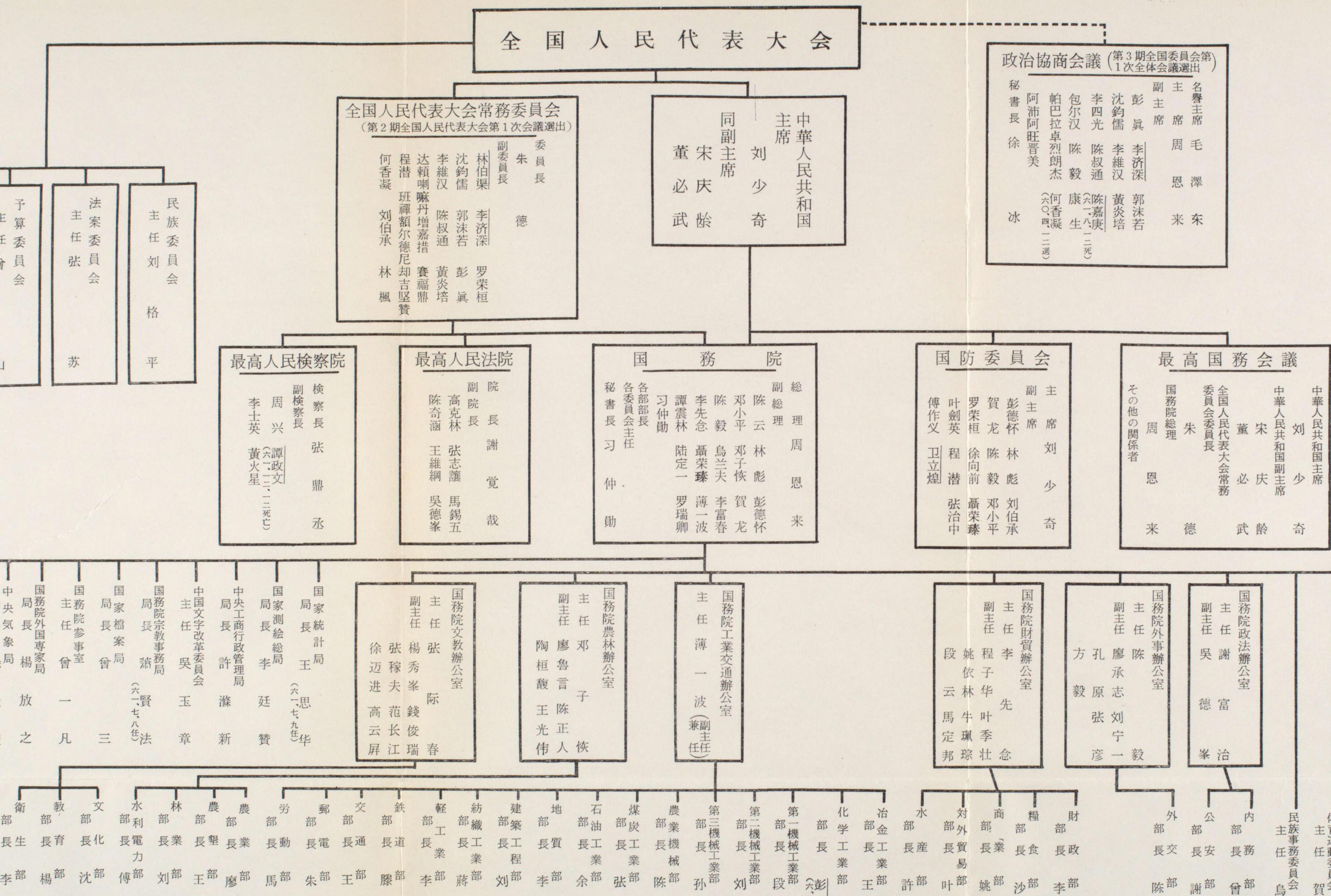
际* (際)	审 (審)	奋* (奮)	【、】
陆 (陸)	实* (實)	态* (態)	洼 (窪)
【1】	疟 (瘧)	录 (錄)	洒* (灑)
卤 (鹵)	宝* (寶)	隶 (隸)	浊 (濁)
别* (譬)	庙* (廟)	范* (範)	洁 (潔)
吨 (噸)	单 (單)	萃 (薈)	浏 (瀏)
听* (聽)	怜 (憐)	弥* (彌)	宪 (憲)
时* (時)	帘* (簾)	卖 (賣)	窃* (竊)
里* (裏)	炉 (爐)	表* (錶)	举* (舉)
县 (縣)	泸 (瀘)	【1】	将 (將)
邮* (郵)	【一】	虏 (虜)	奖 (獎)
园 (園)	松* (鬆)	齿 (齒)	亲 (親)
困* (睏)	肃 (肅)	国 (國)	认 (認)
【、】	丧* (喪)	图 (圖)	疮 (瘡)
谷* (穀)	枣 (棗)	罗* (羅)	袄 (襖)
邻 (鄰)	势* (勢)	岭 (嶺)	恼 (惱)
余* (餘)	拥* (擁)	【、】	姜* (薑)
乱* (亂)	郁* (鬱)	朵 (繖)	娄 (婁)
条* (條)	枪 (槍)	备* (備)	类* (類)
龟 (龜)	极 (極)	凭 (憑)	总* (總)
体* (體)	拣 (揀)	迭 (疊)	炼 (煉)
佣 (傭)	艰* (艱)	刮* (颯)	烂 (爛)
犹* (猶)	环* (環)	肤 (膚)	【一】
彻 (徹)	画* (畫)	肮 (骯)	赵 (趙)
系* (係)	矿 (礦)	肋 (脅)	垫* (墊)
8画	矾 (礬)	肿 (腫)	荐* (薦)
【、】	板* (闆)	征* (徵)	茧 (繭)
卷* (捲)	柜 (櫃)	制* (製)	带 (帶)
泻 (瀉)	构 (構)	舍* (捨)	胡 (鬍)
郑 (鄭)	拦 (攔)	参* (參)	栏 (欄)
村 (襯)	担* (擔)	9画	标* (標)

树 (樹)	紆 (綽織)	获 (穫獲)	11画
牵 (牽)	10画	桩 (樁)	【ノ】
咸* (鹹)	【ノ】	样* (樣)	淀* (澱)
面* (麵)	涩 (澀)	毙 (斃)	渊 (淵)
观* (觀)	涂 (塗)	础 (礎)	渗 (滲)
垦* (墾)	家* (傢)	砾* (礫)	讲 (講)
昼 (晝)	宾* (賓)	致* (緻)	痒* (癢)
逊 (遜)	窍* (竅)	难* (難)	旋* (旋)
【1】	浆 (漿)	悬* (懸)	惊 (驚)
尝* (嘗)	浆 (漿)	剧* (劇)	惧 (懼)
点* (點)	准* (準)	【1】	惨* (慘)
战* (戰)	竞 (競)	党* (黨)	盖* (蓋)
响* (響)	让 (讓)	虑 (慮)	断 (斷)
哑 (啞)	症* (癥)	晒* (曬)	兽 (獸)
显 (顯)	痈 (癰)	罢* (罷)	【一】
虾 (蝦)	离* (離)	紧 (緊)	麸 (麸)
虽* (雖)	斋 (齋)	监 (監)	畜 (畜)
临 (臨)	袜* (襪)	【ノ】	裹 (裹)
【ノ】	养* (養)	爱* (愛)	酝 (醞)
帮* (幫)	递 (遞)	饥 (饑)	据* (據)
毡 (氈)	烬 (燼)	笔 (筆)	梦 (夢)
选* (選)	烛 (燭)	艳 (艷)	属 (屬)
适 (適)	【一】	敌* (敵)	随* (隨)
复* (復複覆)	蚕* (蠶)	牺* (犧)	堕 (墮)
秋* (鞦)	壶 (壺)	脑 (腦)	隐 (隱)
种* (種)	盐 (鹽)	胶 (膠)	【1】
胆* (膽)	坝 (壩)	脏 (臟髒)	购 (購)
胜 (勝)	赶* (趕)	积 (積)	悬* (懸)
俩 (倆)	热* (熱)	称* (稱)	跃 (躍)
独* (獨)	恶 (亞嚶)	借* (藉)	累* (纍)
垒 (壘)		纵 (縱)	祟 (祟)

【ノ】	腊 (臘)	铄 (鑠)	讪 (讪)
秒 (穢)	象 (像)	筌 (筌籤)	【ノ】
岬* (岬)	惩* (懲)	辞* (辭)	篙 (篙)
偿* (償)	须 (鬚)	触* (觸)	缠 (纏)
猎 (獵)	13画	舰 (艦)	17画
质 (質)	【ノ】	继 (繼)	【ノ】
盘 (盤)	滩 (灘)	14画	饕 (饕)
御* (禦)	滤 (濾)	【一】	18画
练 (練)	誉 (譽)	驴 (驢)	【ノ】
12画	寝 (寢)	墙 (牆)	镊 (鑷)
【ノ】	酱 (醬)	辆 (輛)	
滞 (滯)	眷 (眷)	酿 (釀)	
湿* (濕)	粮* (糧)	蓄 (蓄)	
窜 (竄)	【一】	蔑* (蔑)	
装 (裝)	雾 (霧)	愿 (願)	
证* (證)	蒙* (朦濛)	【1】	
衰 (衰)	献* (獻)	嘱 (囑)	
粪 (糞)	摄 (攝)	踊 (踴)	
【一】	摊 (攤)	蜡 (蠟)	
琼 (瓊)	摆 (擺擺)	蝇* (蠅)	
联* (聯)	顾 (顧)	【ノ】	
药 (藥)	碍* (礙)	稳 (穩)	
挣 (掙)	鸡 (鷄)	绳 (繩)	
椭 (橢)	辟* (闢)	15画	
硷 (鹼)	【1】	【ノ】	
确* (確)	龄 (齡)	瘫 (癱)	
【1】	脏 (臟)	【一】	
酋 (酋)	鉴 (鑒)	霉* (霉)	
【ノ】	【ノ】	聪* (聰)	
钟 (鐘)	钻 (鑽)	16画	
钥 (鑰)	铁* (鐵)	【ノ】	
筑* (築)			

中華人民共和國政府組織表

(一九六一年六月現在)



全国人民代表大会

政治协商会议 (第3期全国委员会第1次全体会议选出)

名誉主席 毛泽东
 主席 周恩来
 副主席 彭真、李济深、沈钧儒、李维汉、李四光、陈叔通、包尔汉、陈毅、帕巴拉卓烈朗杰、阿沛阿旺晋美、(六〇、四、二选) 徐冰

全国人民代表大会常务委员会 (第2期全国人民代表大会第1次会议选出)

委员长 朱德
 副委员长 林伯渠、李济深、沈钧儒、郭沫若、李维汉、陈叔通、达赖喇嘛丹增嘉措、班禅额尔德尼却吉坚赞、程潜、何香凝、刘伯承、林楓

主席 刘少奇
 副主席 董必武、宋庆龄

民族委员会 主任 刘格平
 法案委员会 主任 张苏
 预算委员会 主任 曾山
 代表资格审查委员会 主任 马明方

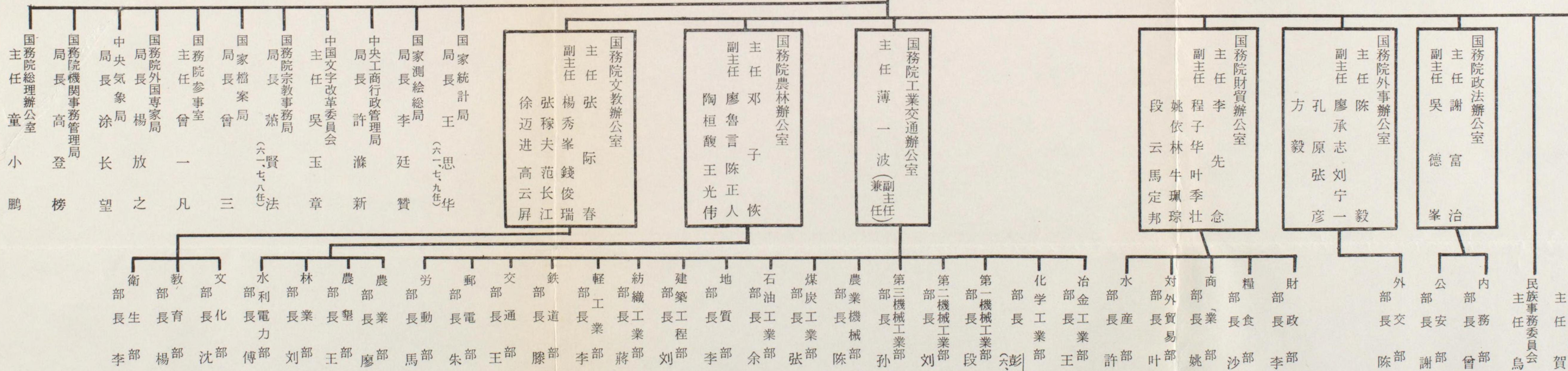
最高人民检察院
 检察长 张鼎丞
 副检察长 周兴、李士英、(六、一、二、二死七) 谭政文、黄火星

最高人民法院
 院长 谢觉哉
 副院长 高克林、陈奇涵、张志让、王维纲、吴德峰、马锡五

国务院
 总理 周恩来
 副总理 陈云、林彪、彭德怀、邓小平、邓子恢、贺龙、陈毅、乌兰夫、李富春、李先念、聶荣臻、薄一波、谭震林、陆定一、罗瑞卿、习仲勋
 各部部長、各委员会主任、秘書長 习仲勋

国防委员会
 主席 刘少奇
 副主席 彭德怀、林彪、刘伯承、贺龙、陈毅、邓小平、罗荣桓、徐向前、聶荣臻、叶剑英、程潜、张治中、傅作义、卫立煌

最高国务会议
 主席 刘少奇
 副主席 董必武、宋庆龄、朱德、周恩来、(其他關係者) 恩来



中国共产

中央委员会

(第八期)

主席

毛泽东

副主席

刘少奇

总书记

邓小平

委员

邓林

陈云

朱德

周恩来

中国共产党組織表

(一九六一年六月現在)

全国代表大会

中央委员会全体会议

王恩茂	陶铸	吕正操	李井泉	李立三	安子文	刘格平	欧阳钦	胡耀邦	徐海东	林铁	王震	李葆华	李雪峰	譚震林	馬明方	王从吾	蕭克	刘长胜	程子华	賴若愚	楊秀峰	薄一波	刘澜涛	康生	李維汉	张云逸	叶劍英	(六二二九死)	李克农	王維舟	賀龙	柯庆施	蕭光	黃克誠	彭真	林楓	陈賡	廖承志	陈毅	邓穎超	罗瑞卿	徐特立	李富春	陈伯达	林彪	董必武	朱德	林伯渠	毛澤东
楊献珍	曾希圣	王树声	吳芝圃	黃敬	賈拓夫	謝富治	习仲勋	赵尔陆	蕭华	郑位三	曾山	許光达	陈少敏	刘亚楼	张聞天	邓华	錢瑛	伍修权	陈郁	张际春	舒同	胡乔木	刘宁一	叶季壮	王稼祥	刘少奇	宋任穷	楊尚昆	邓子恢	王首道	粟裕	譚政	滕代远	烏兰夫	張鼎丞	聶荣臻	李先念	彭德怀	刘伯承	徐向前	陆定一	罗荣桓	蔡暢	吳玉章	陈云	周恩来	邓小平	刘少奇	

中央委员会 (第八期)	主席 毛澤东	副主席 刘少奇	周来	朱德	陈云	林彪	邓小平	總書記 邓小平	委員 林彪
----------------	-----------	------------	----	----	----	----	-----	------------	----------

中央政治局	主席 毛澤东	副主席 刘少奇	周恩来	朱德	陈云	林彪	委員 毛澤东	周来	刘少奇	鄧小平	朱德	彭真	陳毅	羅榮桓	李富春	劉伯承	李先念	李井泉	候補委員 烏兰夫	康生
-------	-----------	------------	-----	----	----	----	-----------	----	-----	-----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-------------	----

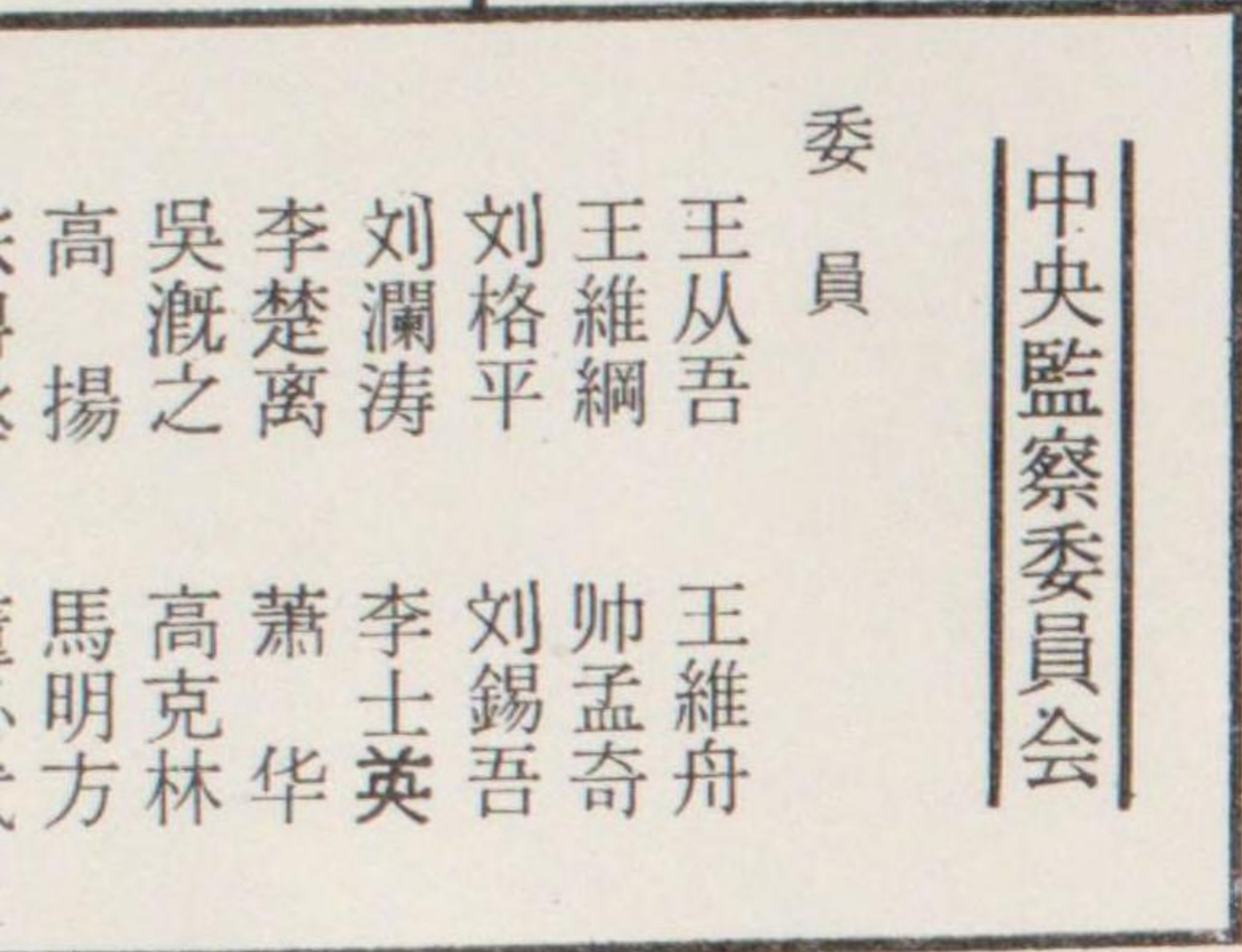
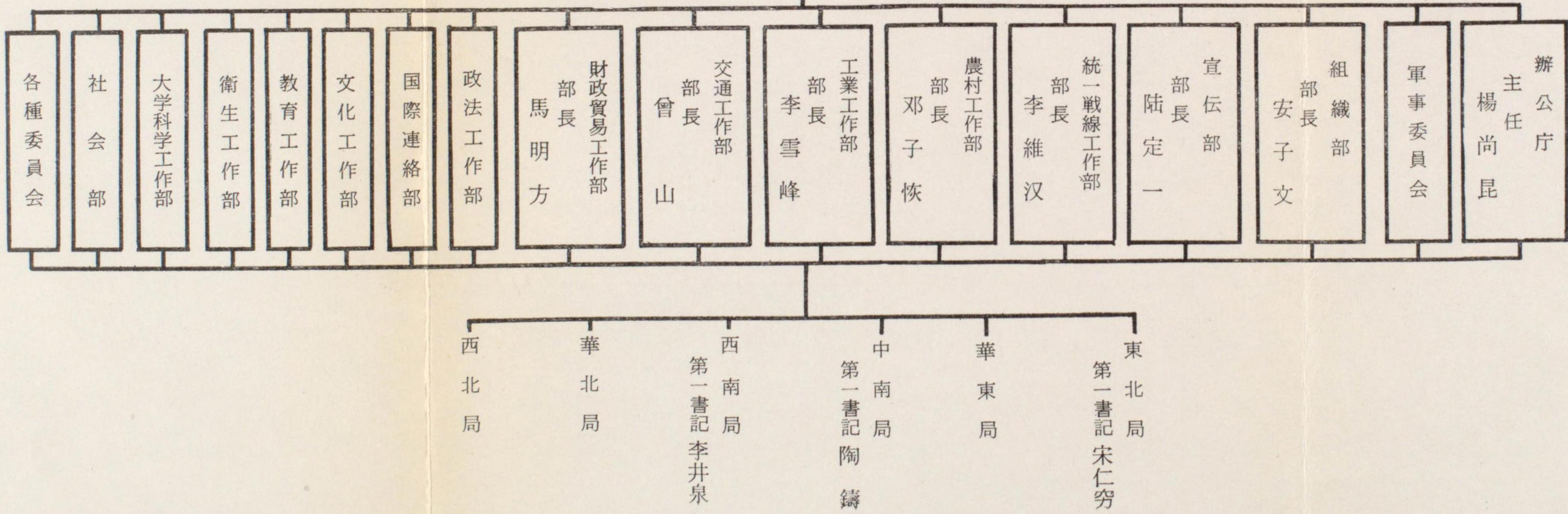
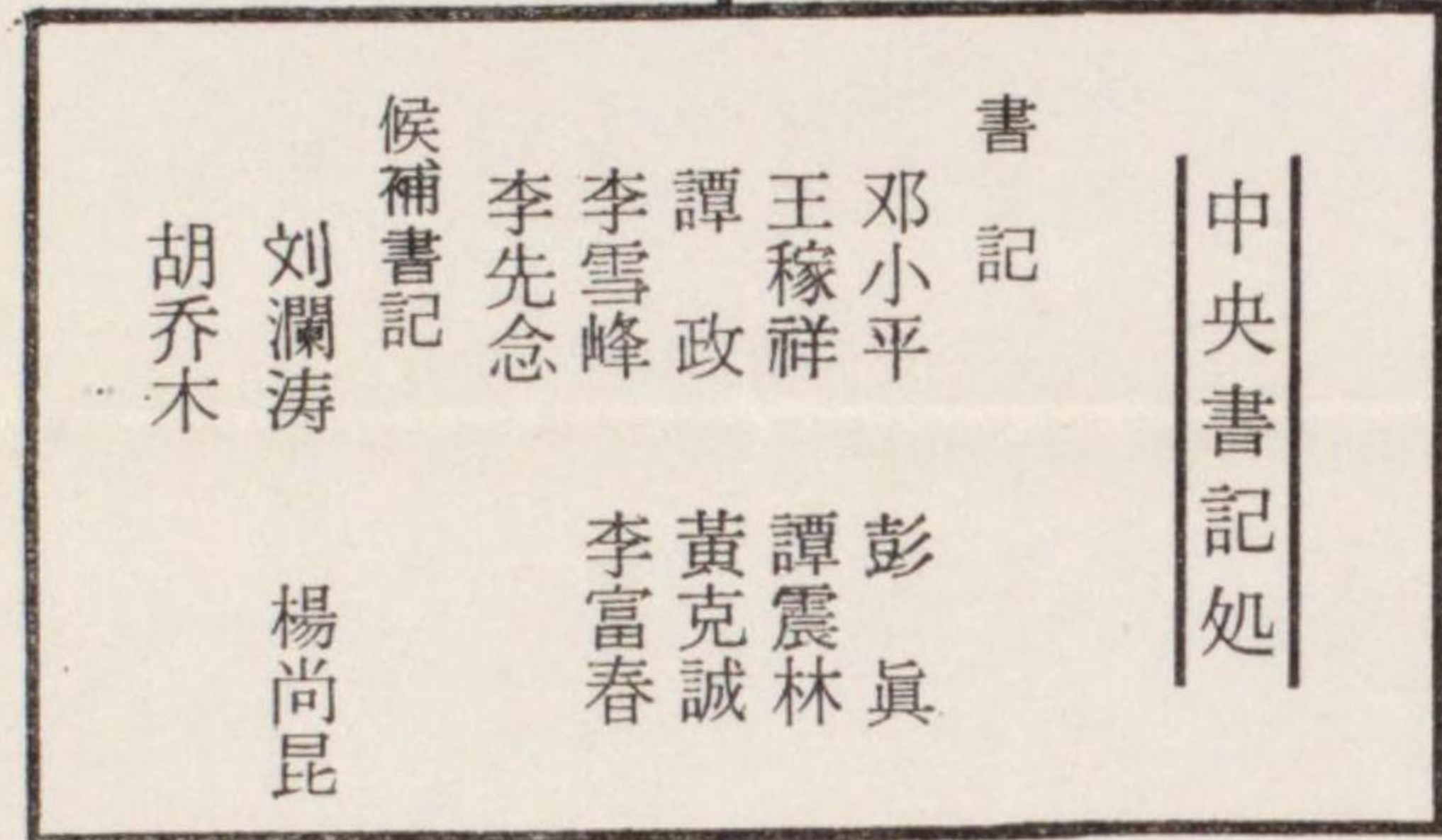
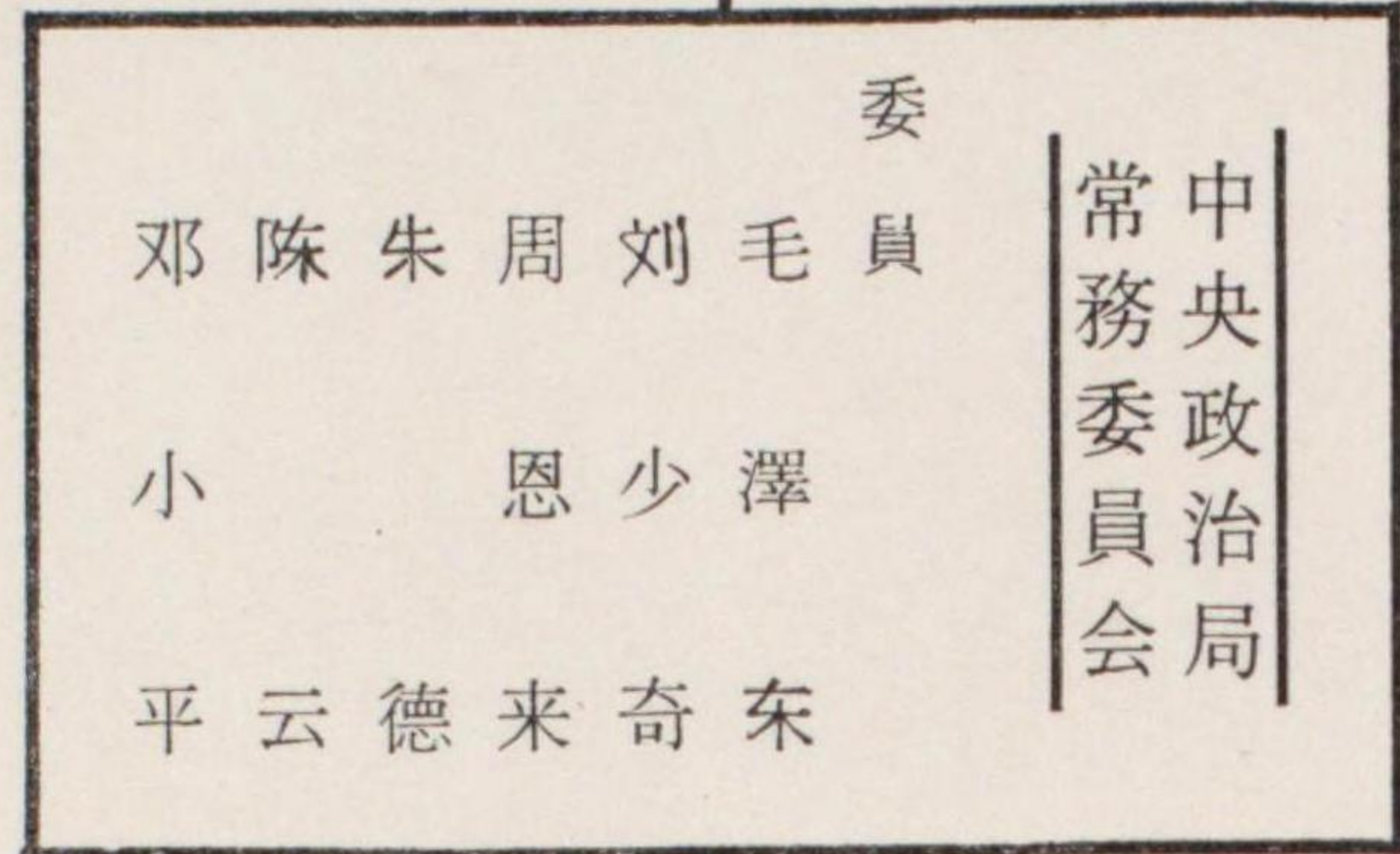
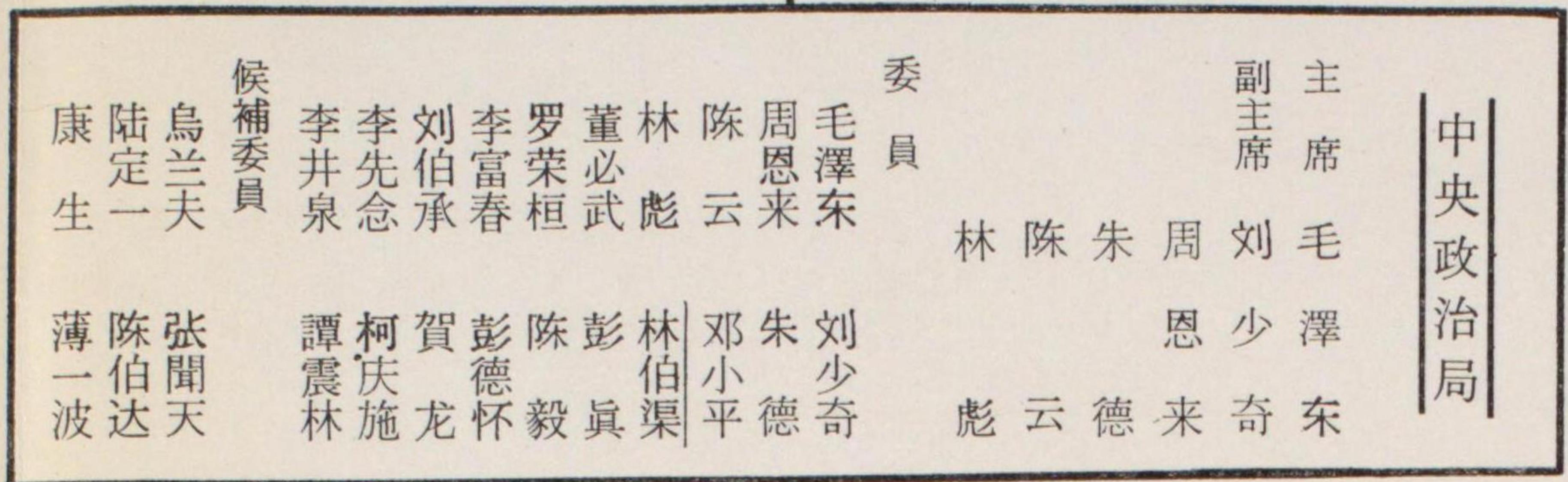
中央政治局 常務委員會	委員 毛澤东	刘少奇	周恩来	朱德	陈云	鄧小平
----------------	-----------	-----	-----	----	----	-----

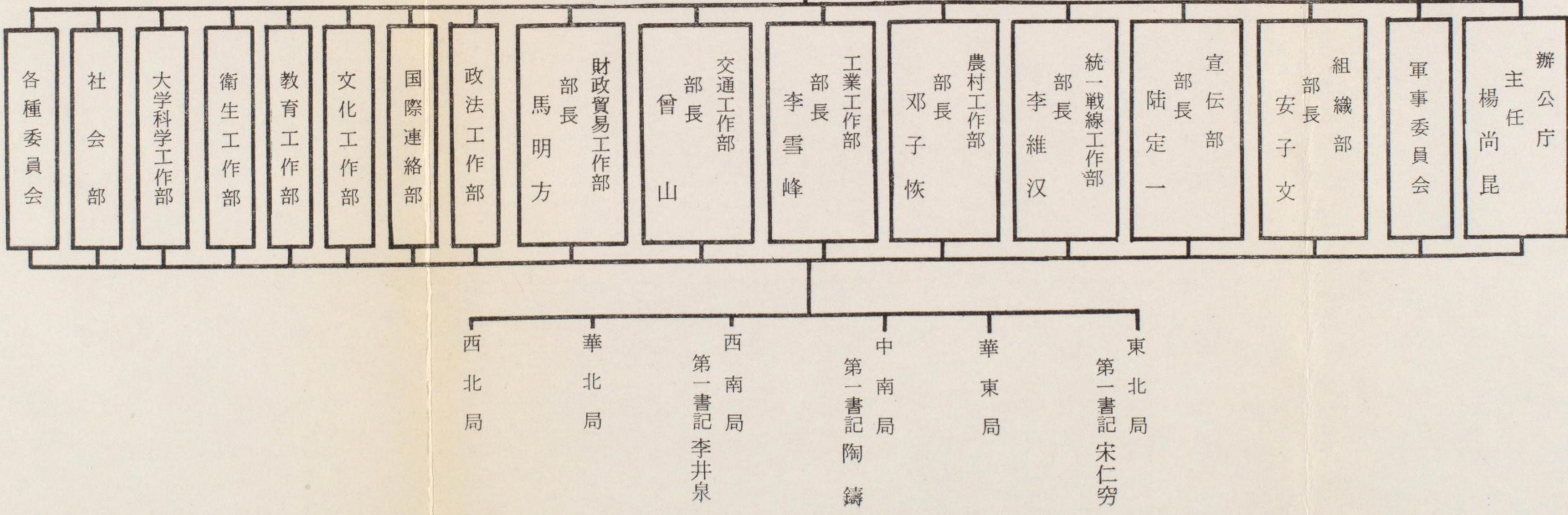
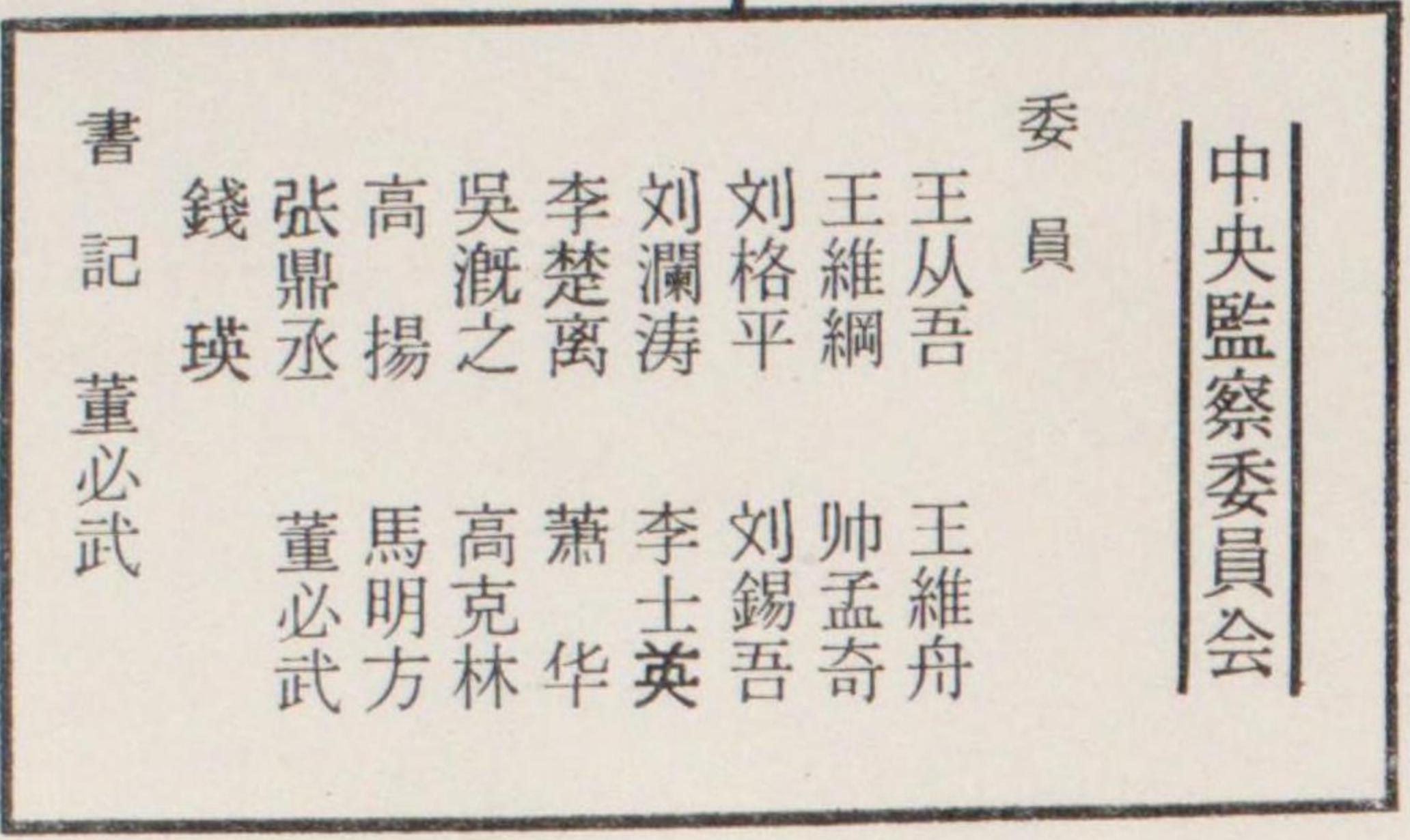
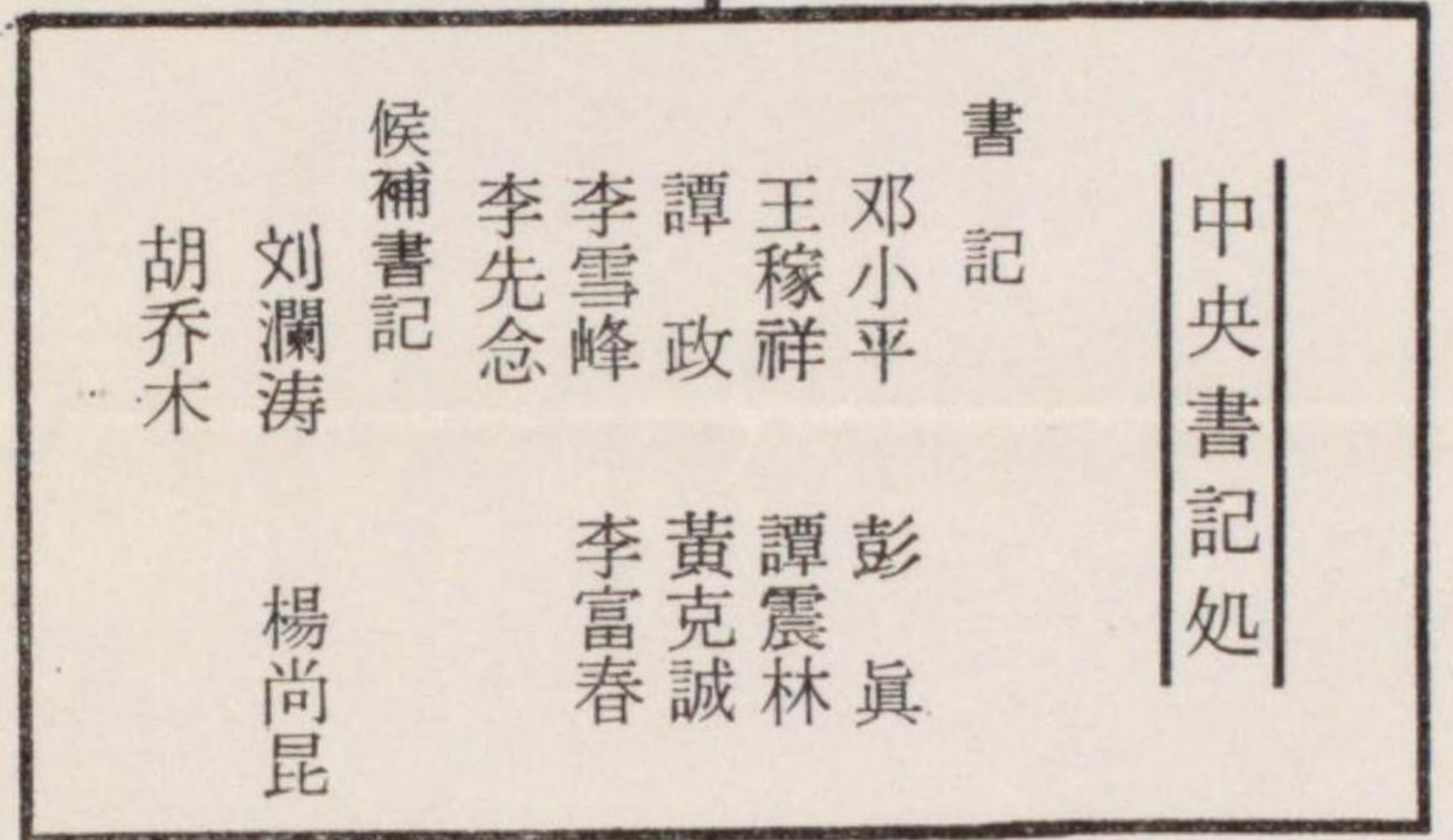
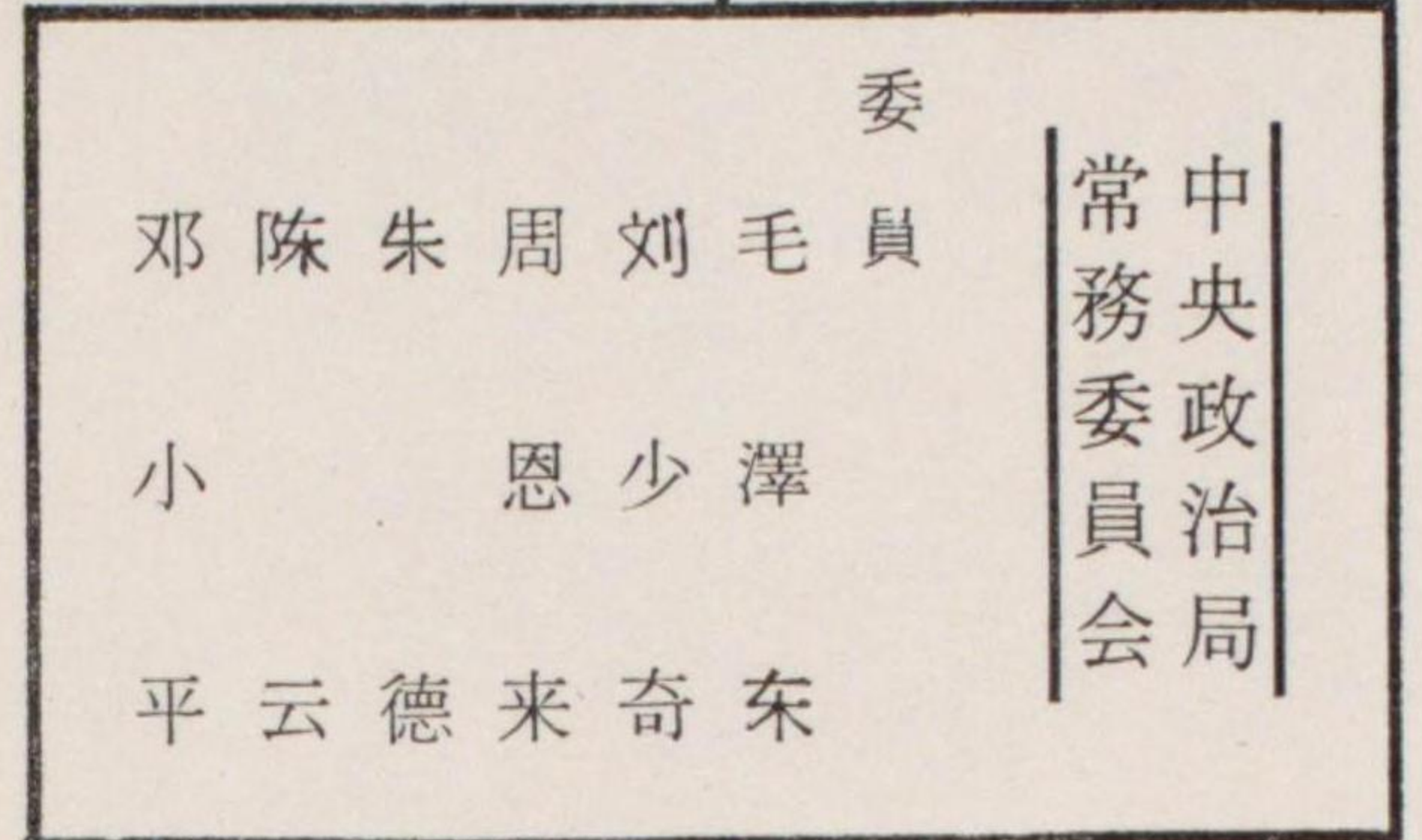
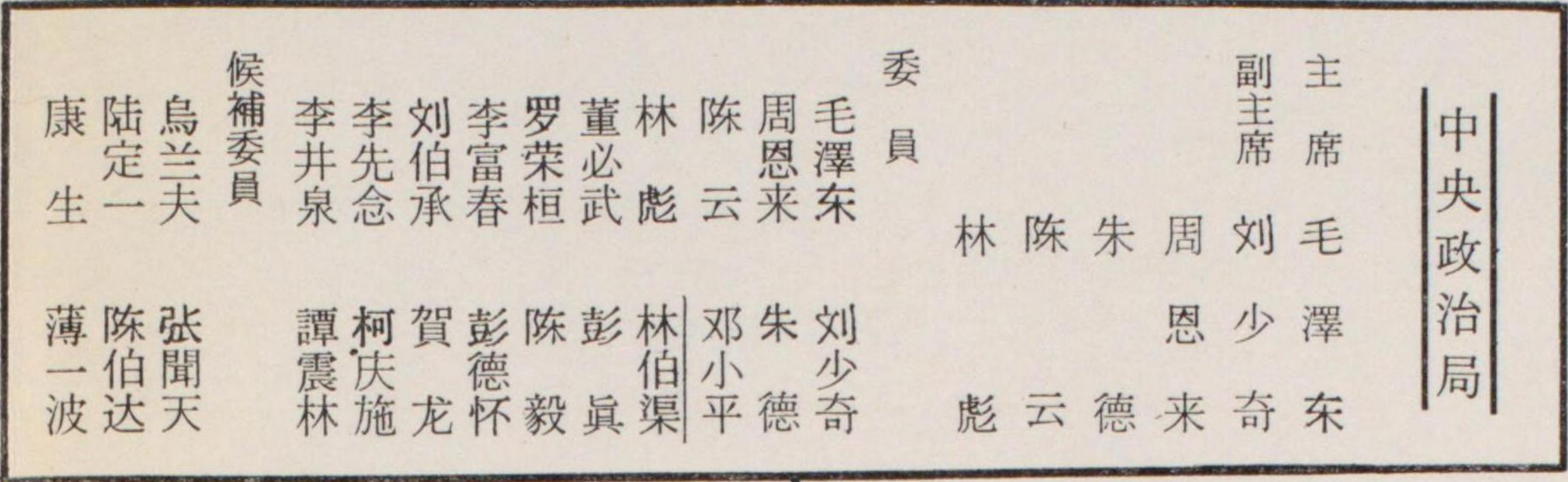
中央書記處	書記 邓小平	王稼祥	譚政	李雪峰	李先念	候補書記 劉瀾涛	胡乔木	彭真	譚震林	黃克誠	李富春	楊尚昆
-------	-----------	-----	----	-----	-----	-------------	-----	----	-----	-----	-----	-----

中央監察委員會	委員 王維舟	王从吾	刘錫吾	李士英	蕭华	高克林	馬明方	董必武
---------	-----------	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----

組織表

(一九六一年六月現在)





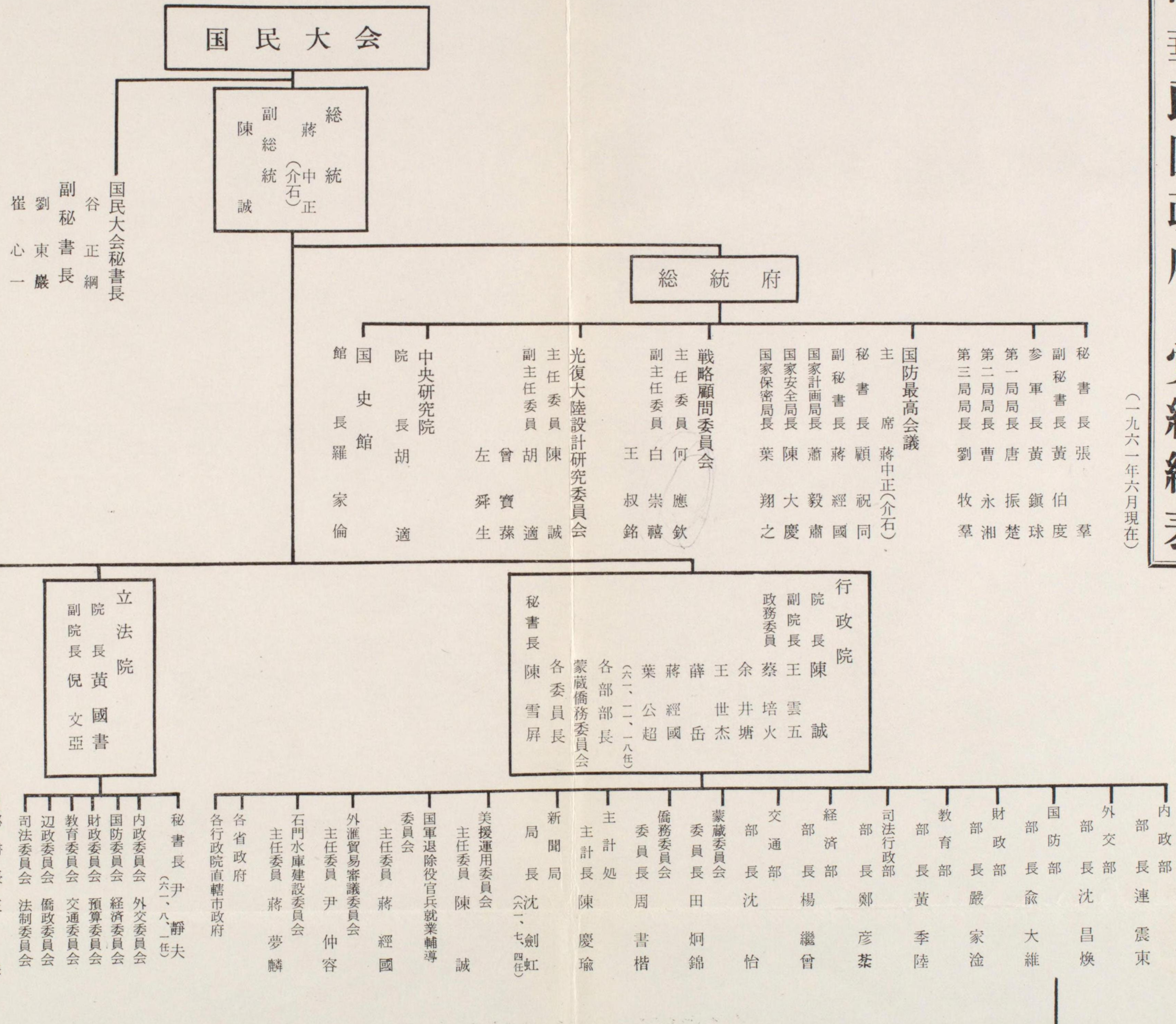
中華民國政

Faint, illegible text and a table structure on the left page.

Faint, illegible text and a table structure on the right page.

中華民國政府·黨組織表

(一九六一年六月現在)



中國國民黨

國民黨中央委員會

- 總裁 蔣中正 (介石)
- 副總裁 陳誠
- 秘書長 唐縱
- 副秘書長 郭驥 秦孝儀 徐慶鐘
- 中央委員 (中央常務委員)
 - 蔣經國 陳誠 周至柔
 - 谷正綱 王叔銘 張其昀
 - 唐縱 鄧傳楷 張道藩
 - 彭孟緝 陶希聖 黃少谷
 - 黃季陸 袁守謙 黃朝琴
 - 沈昌煥 谷鳳翔 胡健中
 - 丘念台 徐鼎 吳化鵬
 - 江國棟

中國民主社會黨

- 主席 向構文
- 秘書長 全候城

台灣省政府

- 主席 周至柔
- 台灣省政府委員會 委員

主任委員 傅秉常

国民大会

總統 蔣中正
副總統 陳誠

国民大会秘書長 谷正綱
副秘書長 劉東巖 崔心一

總統府

參軍局長 黃振球
第一局局長 唐永楚
第二局局長 曹永湘
第三局局長 劉牧羣

國防最高會議 蔣中正(介石)
秘書長 顧祝同
副秘書長 蔣經國
國家計局局長 蕭毅肅
國家安全局長 陳大慶
國家保密局長 葉翔之

戰略顧問委員會
主任委員 何應欽
副主任委員 白崇禧 王叔銘

光復大陸設計研究委員會
主任委員 陳誠
副主任委員 胡寶瑛 左舜生

中央研究院 院長 胡適
國史館 館長 羅家倫

行政院
院長 陳誠
副院長 王雲五
政務委員 蔡培火 余井塘 王世杰 薛岳 蔣經國 葉公超 (六、二、一八任)

各部部長
各部部長 (六、二、一八任)
蒙藏委員會 委員 田炯錦
僑務委員會 委員 周書楷
主計長 陳慶瑜
新聞局長 沈劍虹 (六、一、七、四任)

秘書長 陳雪屏

財政部 部長 俞大維
教育部 部長 黃季陸
司法部 部長 鄭彥棻
經濟部 部長 楊繼曾
交通部 部長 沈怡
蒙藏委員會 委員 田炯錦
僑務委員會 委員 周書楷
主計長 陳慶瑜
新聞局長 沈劍虹 (六、一、七、四任)

美援運用委員會 主任委員 陳誠
國軍退除役官兵就業輔導委員會 主任委員 蔣經國
外匯貿易審議委員會 主任委員 尹仲容
石門水庫建設委員會 主任委員 蔣夢麟
各省直轄市政府 各省直轄市政府

立法院
院長 黃國書
副院長 倪文亞

司法院
院長 謝冠生
副院長 傅秉常

考試院
院長 莫德惠
副院長 程天放

監察院
院長 于右任
副院長 李嗣聰

台灣省議會
議長 黃朝琴
副議長 謝東閣
秘書長 陳翔水

台灣省政府
主席 周至柔
委員
主席 秘書長(郭澄) 民政局長(陳錫卿) 財政局長(謝耿民)
教育局長(劉真) 建設局長(林水樑) 農林局長(金陽鎬)
糧食局長(李連春) 李立柏 楊肇嘉 華清吉 王民寧
鄒清之 侯全成 翁鈴 陳萬 劉潤才 周百鍊 陳友欽
林石城 蔡炳煌

中國國民黨

國民黨中央委員會
總裁 蔣中正(介石)
副總裁 陳誠
秘書長 唐縱
副秘書長 郭驥 秦孝儀 徐慶鐘
中央委員(○中央常務委員)
○蔣經國 陳誠 ○周至柔
○谷正綱 ○王叔銘 ○張其昀
唐縱 鄧傳楷 ○張道藩
○彭孟緝 ○陶希聖 黃少谷
○黃季陸 ○袁守謙 ○黃朝琴
○沈昌煥 ○谷鳳翔 ○胡健中
○丘念台 徐肅 吳化鵬
江國棟

第一組主任 倪文亞
副主任 羅才榮 梁興義
第二組主任 張炎元
副主任 丁樹中 陳雲
第三組主任 鄭彥棻
副主任 李樸生 董世芳 陳元
第四組主任 謝然之
副主任 許聞淵 楚松秋
第五組主任 張寶樹
副主任 張泰祥 梁永章
第六組主任 陳建中
副主任 李白虹 高維翰

中國青年黨
主席 左舜生
中央常務委員會 秘書長 王師曾

中國民主社會黨
主席 向構文
秘書長 全候城

1962 年版

現代中国人名辞典

昭和37年2月1日 第1版 発行

定価 3,000 円

監修者 外務省アジア局

編者 社団法人 霞関会

発行者 大野慶治

発行所 東京都港区芝虎ノ門6、TEL.(591)9049
株式会社 外交時報社

印刷所 東京都千代田区神田鎌倉町13番地
製本所 鎌倉印刷株式会社

乱丁、落丁本はおり替いたします

1985 年 5 月

—— 典 籍 各 人 国 中 外 展 ——

行 展 期 日 1 月 2 日 至 1 月 10 日

円 000,2 冊 宝

員 マ マ マ 管 商 株 香 港 道

企 業 財 産 大 香 港

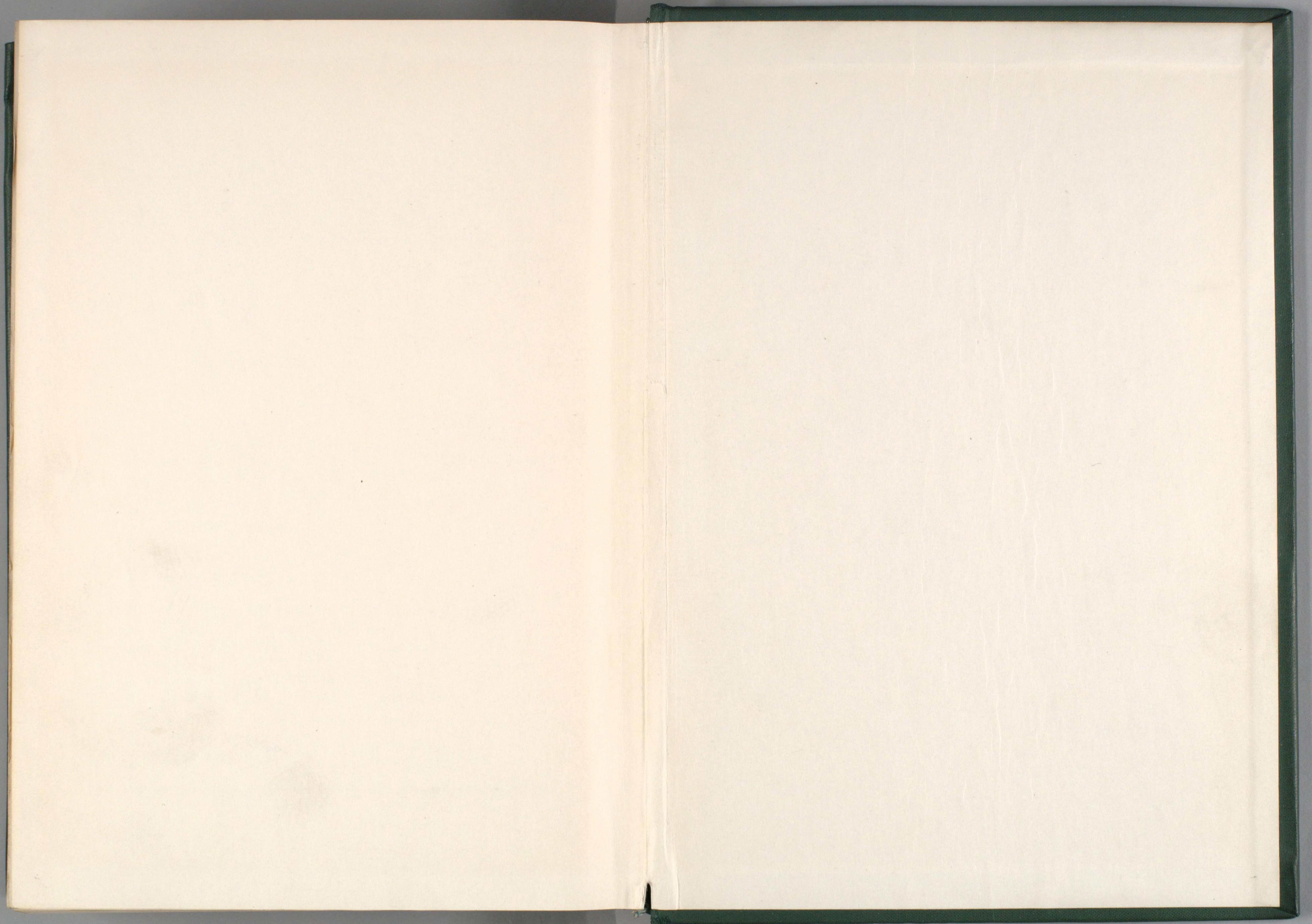
部 署 復 大 香 港 展

TEL: 21111111 香 港 道 111 號

持 牌 和 交 代 香 港 展

香港 銀行 總 行 香 港 道 111 號

港 會 友 利 匯 明 會 辦 香 港 展



282.203
Ka558g



00573361